

平成 24 年度診療報酬改定結果検証に係る調査（平成 24 年度調査）
後発医薬品の使用状況調査 結果概要（速報）（案）

I. 調査の概要

1. 目的

- ・保険薬局における後発医薬品の調剤状況の変化等の把握
- ・医療機関における後発医薬品の使用状況や医師の処方に関する意識等の把握
- ・患者における後発医薬品に関する意識等の把握
- ・一般名処方に関する医師・薬剤師及び患者の意識等の把握

2. 調査対象

本調査では、「保険薬局調査」「病院調査」「医師調査」「診療所調査」「患者調査」の 5 つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。

- ・保険薬局調査：全国の保険薬局の中から無作為抽出した 2,500 施設
(ただし、様式 1（処方せんベース）1,250 施設、様式 1（品目ベース）1,250 施設とした。様式 1 について、詳細後述)。
- ・診療所調査：全国の一般診療所の中から無作為抽出した 2,000 施設。
- ・病院調査：全国の病院の中から無作為抽出した 1,500 施設。
- ・医師調査：上記「病院調査」の対象施設に勤務する、診療科の異なる 2 名の医師。
- ・患者調査：上記「保険薬局調査」の対象施設に調査日に来局した患者。ただし、1 施設につき最大 2 名の患者とした。

3. 調査方法

- ・対象施設・医師・患者が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・保険薬局調査については、施設属性、後発医薬品の調剤状況等を尋ねる「様式 1」と、薬剤料を尋ねる「様式 2」の 2 種類の調査票を配布した。このうち、「様式 1」については、調査対象期間中に対象薬局で受け付けた処方せんへの対応状況を把握するために、過去調査と同様に「処方せんベース」で把握する質問を設けた調査票（以下、「処方せんベース」と、対象の処方せんに記載された「品目ベース」で把握する質問を設けた調査票（以下、「品目ベース」）の 2 種類を設けた。なお、この 2 種類の調査票については他の質問項目は共通とした。
- ・診療所調査については、施設の概況、院外処方せんや一般名処方による処方せんの発行状況、後発医薬品の使用状況や使用に関する意識、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「診療所票」を配布した。

- ・病院調査については、施設の概況や院外処方せんの発行状況、入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「病院票」を配布した。
- ・医師調査については、後発医薬品の使用状況と使用に関する意識等を尋ねる「医師票」を配布した。配布に際しては、上記の「病院調査」の対象施設を通じて行った。
- ・患者調査については、後発医薬品の使用に対する意識等を尋ねる「患者票」を配布した。配布に際しては、上記の「保険薬局調査」の対象施設を通じて行った。
- ・医師調査及び患者調査の回収は、各医師及び患者から、事務局宛の返信用専用封筒にて直接回収した。
- ・調査実施時期は平成 24 年 8 月 31 日～平成 24 年 10 月 22 日。

4. 調査項目

区分	主な調査項目
(1)保険薬局調査	○薬局の概要 ・ 組織形態、職員数 ・ 調剤基本料の種類、基準調剤加算の有無、後発医薬品調剤体制加算の有無、処方せんの応需状況、後発医薬品調剤率 ○処方せんへの対応状況【処方せんベース】（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間） ・ 取り扱い処方せん枚数、1 品目でも「変更不可」となっていない処方せん枚数、すべての品目が「変更不可」となっていない処方せん枚数、1 品目でも後発医薬品を調剤した処方せん枚数、1 品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん枚数、1 品目でも一般名処方となっている処方せん枚数 ・ 薬価収載されておらず後発医薬品に変更できなかった処方せん枚数、患者が希望しなかったために 1 品目も後発医薬品に変更できなかった処方せん枚数、外用剤が処方され同一剤形の後発医薬品が変更できなかった処方せん枚数 ・ すべてが変更不可となっている処方せん枚数、うち、後発医薬品を銘柄指定している処方せん枚数 ○後発医薬品への対応状況等 ・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数、在庫金額、廃棄額の変化、後発医薬品の採用基準 ・ 後発医薬品の調剤に関する考え、後発医薬品の調剤に積極的に取り組んでいない場合の理由 ・ 一般名処方の処方せんについての後発医薬品使用に関する患者の意向確認の状況、把握する手段 ・ 一般名処方の処方せんや後発医薬品への変更が可能な処方せんを

	持参した患者に関して、後発医薬品についての十分な説明を行った患者の割合、後発医薬品を調剤しなかった理由、十分な説明を行わなかった理由等 ・ 患者が後発医薬品への変更を希望したにもかかわらず 1 品目も変更できなかった患者の人数、備蓄がなかった場合の対応等 ・ 薬剤情報提供文書を交付する際の、患者への口頭での説明の状況等 ・ 在庫調整の状況等 ・ 医療機関への変更調剤等に関する情報提供、変更調剤の際に効能の違いがある場合の対応等 ○ジェネリック医薬品軽減額通知の認知度等 ・ ジェネリック医薬品軽減額通知の認知度、ジェネリック医薬品希望カードや薬剤情報提供文書を提示された経験の有無等 ・ 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫等 ○後発医薬品使用についての考えや今後の課題等 ・ 後発医薬品使用についての考え ・ 後発医薬品使用を進める上で医師やメーカー、卸業者に望むこと等 ○薬剤料の変化 ・ 処方せんの記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料及び実際に調剤した薬剤料等
(2)診療所調査	○医師の属性等 ・ 性別、年齢、担当診療科 ○施設の概要 ・ 所在地、開設者、種別、許可病床数、主たる診療科、医師数・薬剤師数 ・ オーダリングシステムの導入状況 ・ 1 か月間の外来延べ患者数、1 か月間の外来診療実日数等 ○後発医薬品の使用状況等 ・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数、購入額、廃棄額 ・ 後発医薬品の備蓄品目数の今後の予定 ・ 1 年前と比較した後発医薬品の供給体制の変化 ・ 後発医薬品の情報収集源、採用に際して重視すること ・ 採用医薬品リストの薬剤師会等への提供状況等 ○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等 ・ 入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を積極的に使用しない場合の理由 ・ 後発医薬品を使用して生じた問題の有無と内容 ・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応等 ○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等

	・ 院外処方せん発行の有無 ・ 後発医薬品の処方に関する意識、処方しない場合の理由 ・ 1年前と比較した後発医薬品の処方状況 ・ 平成24年4月以降、後発医薬品への変更不可欄にチェックした処方せん発行の有無、割合、その理由等 ・ 一般名処方による処方せん発行の経験、状況、それに対する患者からの相談や問合せの有無、事務的な負担の変化等 ・ 一般名処方による処方せんを発行しやすくするための環境 ・ 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の情報提供の有無、望ましい情報提供等 ○患者からの意思表示の状況等 ・ 薬剤情報提供文書を患者から提示された経験の有無、患者数、実際に後発医薬品を処方した患者の割合、薬剤情報提供文書に後発医薬品に関する情報を掲載することになり、患者の後発医薬品に対する関心は高まったか ・ ジェネリック医薬品軽減額通知・ジェネリック医薬品希望カードを患者から提示された経験の有無等 ○後発医薬品の使用にあたっての課題等 ・ 後発医薬品の処方を進める上で必要な環境 ・ 後発医薬品使用にあたっての課題等
(3)病院調査	○施設の概要 ・ 開設者、標榜診療科、病院種別、DPCの対応状況、特定入院料の状況、許可病床数、医師数・薬剤師数 ・ オーダリングシステムの導入状況 ・ 1か月間の外来延べ患者数、1か月間の外来診療実日数、平均在院患者数等 ○後発医薬品の使用状況等 ・ 後発医薬品使用体制加算の状況 ・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数、購入額、廃棄額 ・ 後発医薬品の備蓄品目数の今後の予定 ・ 1年前と比較した後発医薬品の供給体制の変化 ・ 後発医薬品の情報収集源、採用に際して重視すること ・ 採用医薬品リストの薬剤師会等への提供状況等 ○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等 ・ 院内投薬及び院外処方における後発医薬品の使用状況 ・ 一般名処方の処方せん発行の対応状況、それに対する患者からの相談や問合せの有無、事務的な負担の変化等 ・ 一般名処方による処方せんを発行しやすくするための環境

	○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等 ・ 入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を積極的に使用しない場合の理由 ・ 後発医薬品を使用して生じた問題点 ・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応等 ○後発医薬品の使用にあたっての課題等 ・ 後発医薬品の処方を進める上で必要な環境 ・ 後発医薬品使用にあたっての課題等
(4)医師調査	○属性等 ・ 性別、年齢、担当診療科、1日当たり外来診察患者数 ○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等 ・ 後発医薬品の処方に関する意識、処方しない場合の理由 ・ 1年前と比較した後発医薬品の処方状況 ・ 平成24年4月以降、後発医薬品への変更不可欄にチェックした処方せん発行の有無、割合、その理由等 ・ 一般名処方による処方せん発行の経験、状況、それに対する患者からの相談や問合せの有無、事務的な負担の変化等 ・ 一般名処方による処方せんを発行しやすくするための環境 ・ 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の情報提供の有無、望ましい情報提供等 ○患者からの意思表示の状況等 ・ 薬剤情報提供文書を患者から提示された経験の有無、患者数、実際に後発医薬品を処方した患者の割合、薬剤情報提供文書に後発医薬品に関する情報を掲載することになり、患者の後発医薬品に対する関心は高まったか ・ ジェネリック医薬品軽減額通知・ジェネリック医薬品希望カードを患者から提示された経験の有無等 ○後発医薬品の使用にあたっての課題等 ・ 後発医薬品の処方を進める上で必要な環境 ・ 後発医薬品使用にあたっての課題等
(5)患者調査	○属性等 ・ 性別、年齢、都道府県 ・ 診療を受けた診療科、薬局への来局頻度、かかりつけ薬局の有無、加入している公的医療保険の種類 ・ 自己負担額、一般名処方の有無、後発医薬品処方の有無、後発医薬品への変更の有無 ○一般名処方についての経験・考え等

	・ 一般名処方 of 認知状況 ・ 一般名処方 of 処方せんを受け取った経験の有無、保険薬局の薬剤師の説明 ・ 一般名処方 of 処方せんを受け取って困ったこと of 有無、その内容 ・ 処方形態についての意向 ○後発医薬品 of 使用に対する意識等 ・ 後発医薬品に対する関心 of 有無、認知度、使用経験 ・ 医師や薬剤師からの後発医薬品についての説明 of 有無 ・ 後発医薬品処方を申し出た経験 of 有無、申し出 of のしやすさ等 ○先発医薬品から後発医薬品への変更についての経験等 ・ 先発医薬品から後発医薬品に変更した薬 of 有無、そのきっかけ、体調不良などの経験 of 有無、薬代の負担感 ○後発医薬品 of 使用促進の取組に関する経験・考え ・ ジェネリック医薬品軽減額通知受取り of 経験 of 有無、それによる後発医薬品への変更経験 of 有無、後発医薬品に変えなかった場合 of 理由、今後の受取希望 ・ 薬剤情報提供文書 of 後発医薬品に関する情報を見た経験 of 有無、価格差が表示されていたか、薬局で説明を受けたか、薬剤情報提供文書をもとに医師や薬剤師に処方・調剤をお願いした経験があるか、薬剤情報提供文書 of 有用度 ○後発医薬品使用についての意向 ・ 後発医薬品 of 使用に関する今後の意向 ・ 後発医薬品を使用する上で重要なこと ・ 後発医薬品を使用する際の軽減額と使用意向との関係等
--	---

Ⅱ．調査の結果

1．回収結果

図表 1 回収の状況

調査区分	発送数	有効回収数	有効回収率
①保険薬局調査			
保険薬局数(様式1)	2,500	1,113	44.5%
保険薬局数(様式1)(処方せんベース)	1,250	567	45.4%
保険薬局数(様式1)(品目ベース)	1,250	546	43.7%
様式2に記載された処方せん枚数(798 薬局分)	—	42,124	—
②診療所調査			
一般診療所数	2,000	506	25.3%
③病院調査			
病院数	1,500	323	21.5%
④医師調査			
医師数	3,000	458	15.3%
⑤患者調査			
患者数	5,000	1,332	26.6%

2. 保険薬局調査の結果

【調査対象等】

○調査票 様式1（品目ベース・処方せんベースの2種類）

調査対象：全国の保険薬局の中から無作為抽出した保険薬局 2,500 施設

回 答 数：1,113 施設（品目ベース・処方せんベースの回答薬局数の合計）

回 答 者：管理者

○調査票 様式2

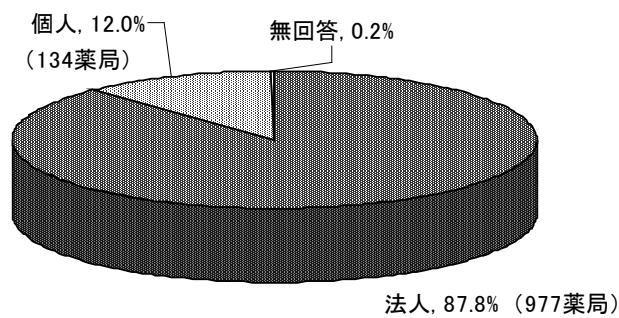
処方せん枚数：42,124 枚（798 薬局分）

回 答 者：管理者

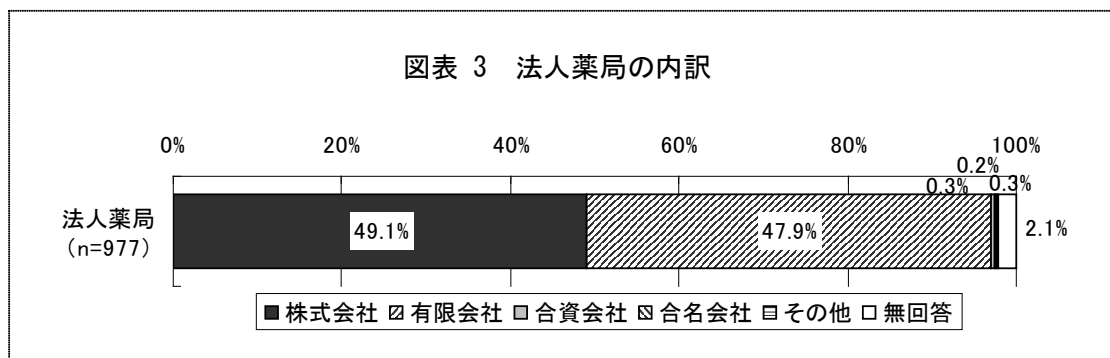
（1）薬局の属性

①組織形態

図表 2 組織形態（法人・個人別）（n=1,113）



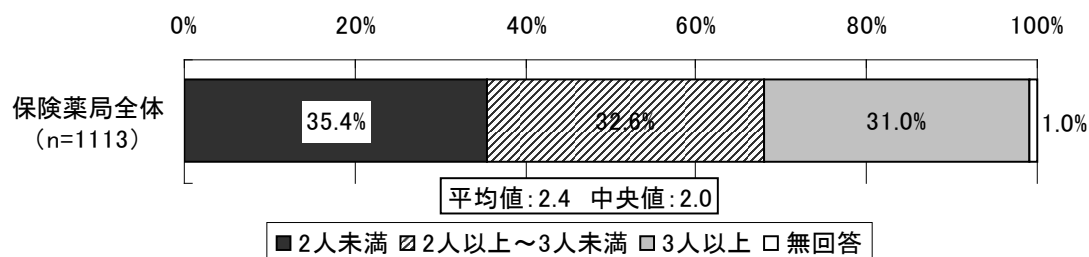
図表 3 法人薬局の内訳



②職員数

1) 薬剤師

図表 4 薬剤師の職員数（常勤換算）

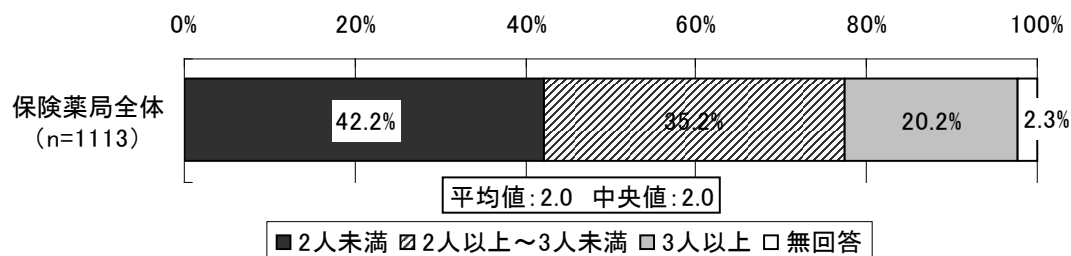


（注）常勤換算は、次の計算式で算出した。また、常勤換算後の職員数は小数点以下第1位までとした（以下、同様である）。

- ・1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（当該薬局が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）
- ・1か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1か月の勤務時間）÷（当該薬局が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）

2) その他

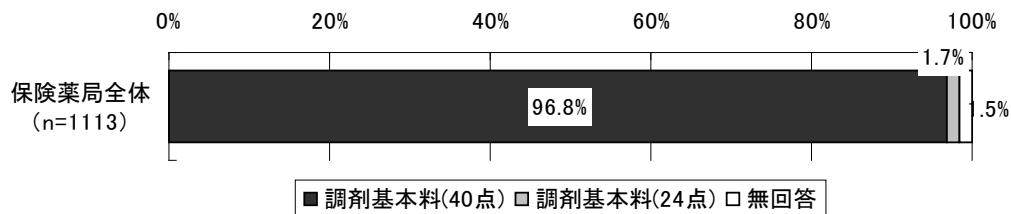
図表 5 その他（事務職員等）の職員数（常勤換算）



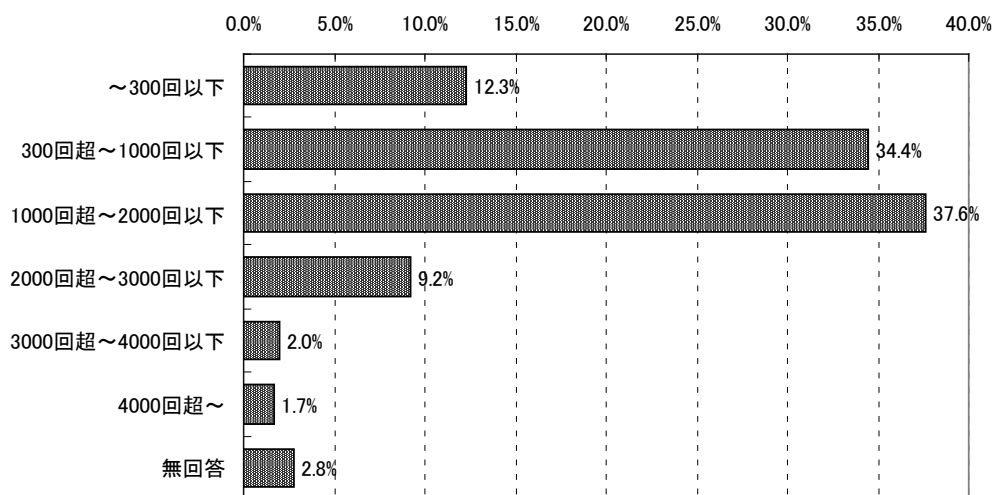
(2) 調剤の状況等

①調剤基本料

図表 6 調剤基本料

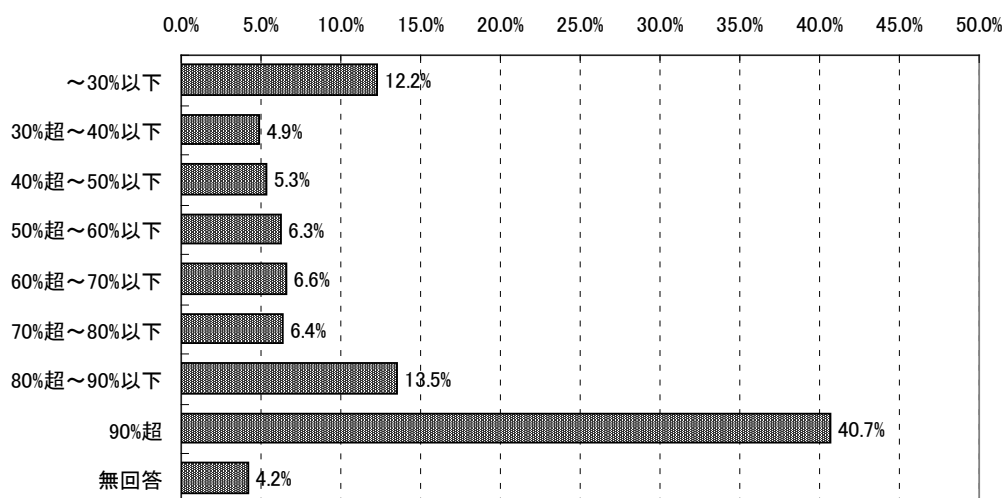


図表 7 全処方せんの受付回数（1 か月当たり）



(注) 調剤基本料の根拠となる「全処方せんの受付回数（回／月）」

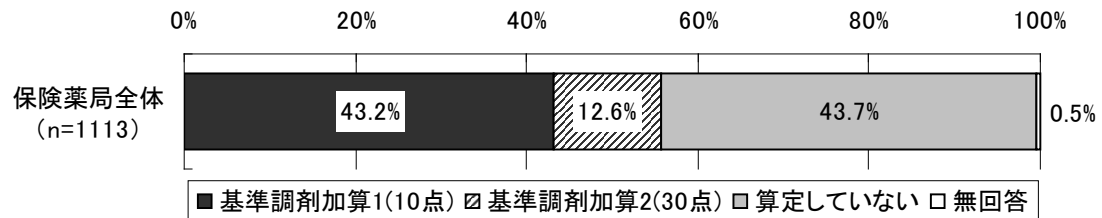
図表 8 主たる保険医療機関に係る処方せんの受付回数の割合



(注) 調剤基本料の根拠となる「全処方せんの受付回数（回／月）」

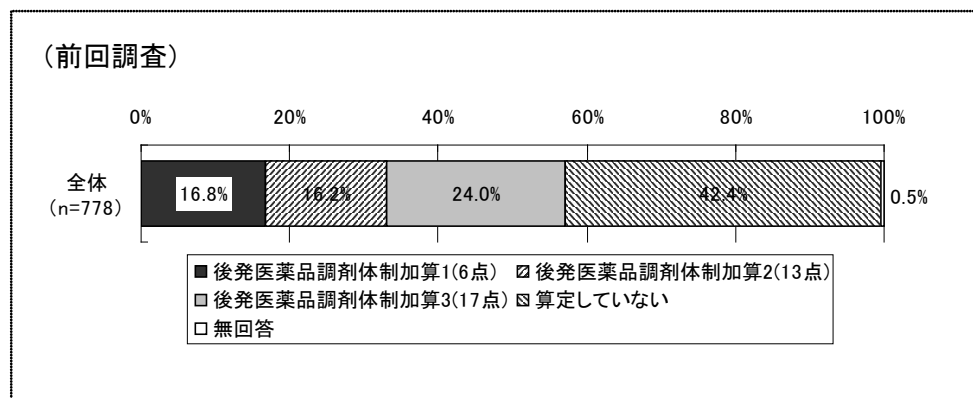
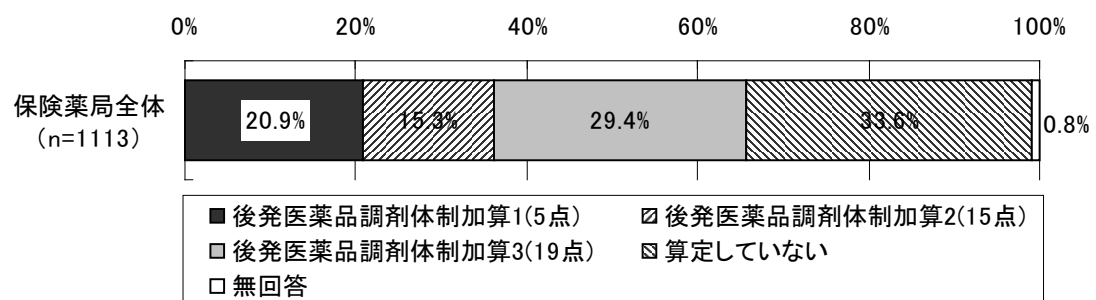
②基準調剤加算

図表 9 基準調剤加算

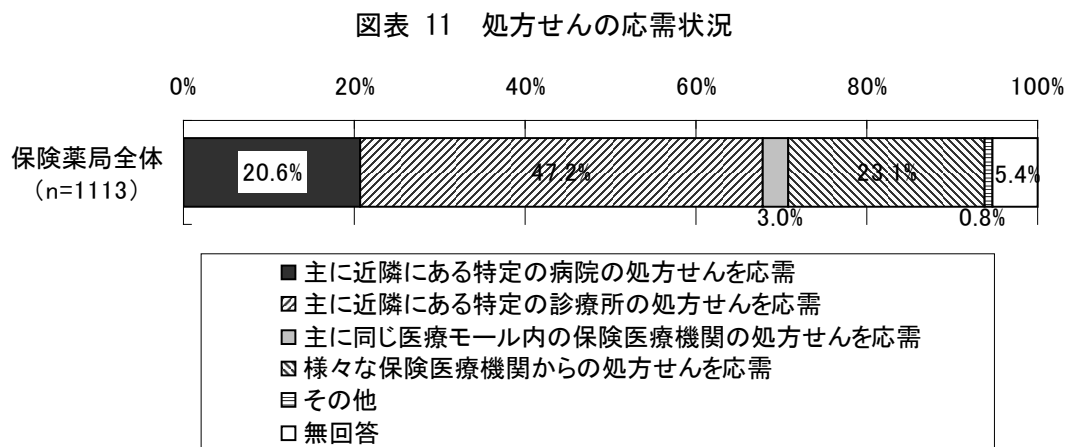


③後発医薬品調剤体制加算

図表 10 後発医薬品調剤体制加算の算定状況



④処方せんの応需状況



⑤後発医薬品調剤率

図表 12 後発医薬品調剤率（数量ベース）（n=956）

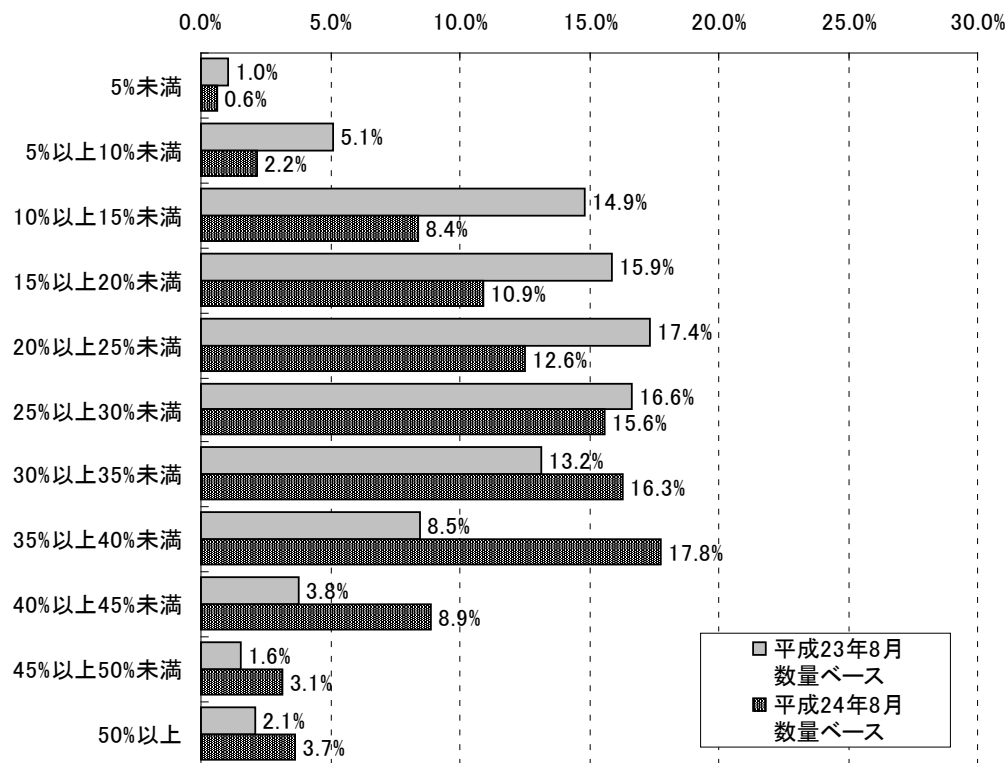
（単位：％）

	平成 23 年			平成 24 年		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1 月	24.0	10.9	23.1	25.5	11.2	24.9
2 月	23.9	10.9	23.0	26.0	11.3	25.1
3 月	23.6	10.7	22.8	25.9	11.3	25.1
4 月	24.0	10.9	23.1	28.0	11.4	27.8
5 月	24.3	11.0	23.4	28.6	11.5	28.9
6 月	24.3	10.9	23.4	29.1	11.5	29.5
7 月	24.3	10.8	23.7	29.3	11.4	29.6
8 月	24.5	10.8	23.5	29.4	11.2	29.9

（注）すべての項目に回答があった 956 施設を集計対象とした。

⑥後発医薬品調剤率別にみた薬局数の分布

図表 13 後発医薬品調剤率（数量ベース）にみた薬局数の分布
（平成 23 年 8 月及び平成 24 年 8 月、n=956）

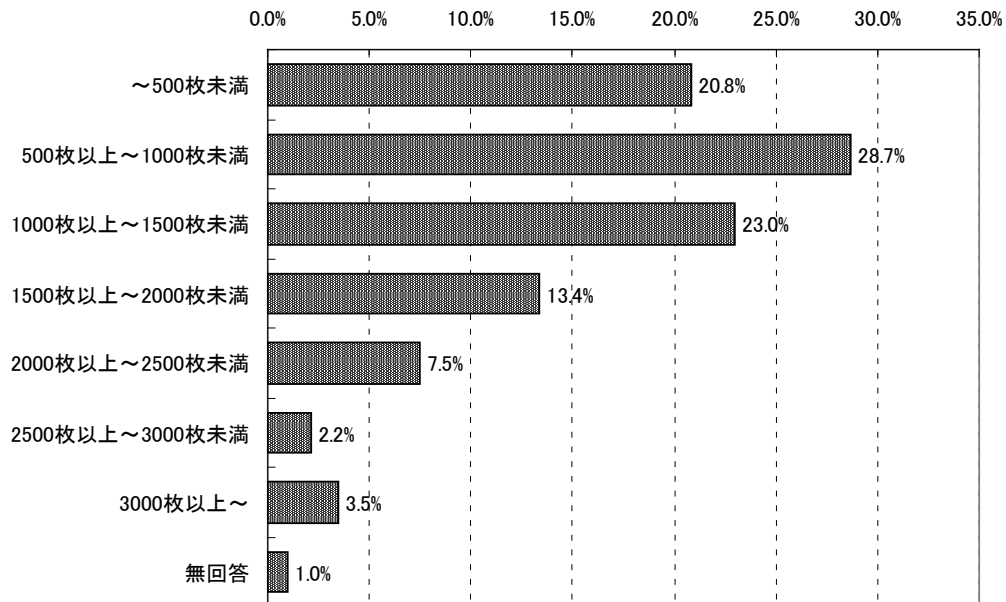


(注) ・ 各月すべてに回答があった 956 施設を集計対象とした。

・ 数量ベース：1 か月間に調剤した後発医薬品について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量
 $\div$ 1 か月間に調剤した全調剤について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量 $\times 100$

⑦ 1 か月間の取扱い処方せん枚数

図表 14 1 か月間の取扱い処方せん枚数（平成 24 年 8 月 1 か月間、n=1113）



図表 15 1 か月間の取扱い処方せん枚数（平成 24 年 8 月 1 か月間、n=1102）

	平均値	標準偏差	中央値
取扱い処方せん枚数(枚)	1,160.6	892.7	999.5

（注）取扱い処方せん枚数について回答があった 1102 施設を集計対象とした。

⑧営業日数（平成 24 年 8 月 1 か月間）

図表 16 営業日数（平成 24 年 8 月 1 か月間、n=1100）

	平均値	標準偏差	中央値
営業日数(日)	22.9	3.5	23.0

（注）・半日の開局は 0.5 日として計算した。

・営業日数について回答があった 1100 施設を集計対象とした。

(3) 取り扱い処方せん状況【様式1が「処方せんベース」である567施設を対象】

①1週間の取り扱い処方せん枚数の内訳

図表 17 1週間の取り扱い処方せん枚数の内訳 (457 薬局分)

	(今回調査)		(参考) 前回調査
	枚数(枚)	割合	
①すべての取り扱い処方せん	125,952	100.0%	100.0%
②①のうち、1品目でも「変更不可」となっていない品目がある処方せん(変更不可欄に、「レ」又は「×」が記載されていない医薬品がある処方せん。一般名処方を含む)	96,576	76.7%	69.0%*1
③②のうち、すべての品目が「変更不可」となっていない処方せん(変更不可欄に、「レ」又は「×」の記載が1つもない処方せん。一般名処方を含む)	86,414	68.6%	—
④②のうち、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん	47,640	37.8%	32.3%
⑤④のうち、1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん(一般名処方によるものを後発医薬品で調剤した場合を含む)	26,410	21.0%	5.7%*2
⑥②のうち、1品目でも一般名処方となっている処方せん	39,155	31.1%	—
⑦②のうち、いずれの先発医薬品にも後発医薬品が薬価収載されておらず、後発医薬品に変更できなかった処方せん	11,853	9.4%	8.1%
⑧②のうち、患者が希望しなかったため、1品目も後発医薬品に変更できなかった処方せん(過去に確認済みの場合を含む)	20,518	16.3%	14.4%
⑨②のうち、外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった処方せん(クリーム、ローション、軟膏はそれぞれ別剤形とする)	3,222	2.6%	1.9%
⑩①のうち、すべてが変更不可となっている処方せん	29,376	23.3%	31.0%
⑪⑩のうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せん	7,898	6.3%	10.9%

*1 前回調査では「『後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更がすべて不可』欄に処方医の署名等がない処方せん」。

*2 前回調査では、「1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん」。

(注) 処方せんベースの調査票回答薬局 567 施設のうち、1 週間の処方せん枚数の内訳について記載のあった 457 施設を集計対象とした。

②後発医薬品への変更割合（処方せん枚数ベース）

図表 18 1品目でも「変更不可」となっていない処方せん（n=96,576）における、
後発医薬品への変更状況

（平成24年9月9日～9月15日1週間分の処方せんベース、457薬局分）

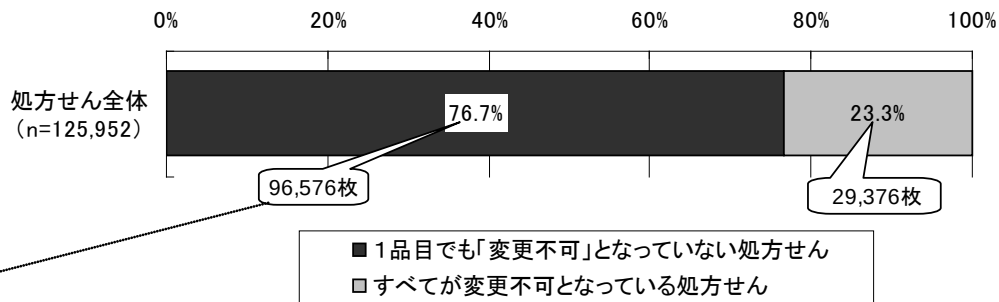
	（今回調査）		（参考） 前回調査
	枚数（枚）	割合	
①1品目でも「変更不可」となっていない処方せん（変更不可欄に、「レ」又は「×」が記載されていない医薬品がある処方せん。一般名処方を含む）	96,576	100.0%	100.0%*1
②①のうち、すべての品目が「変更不可」となっていない処方せん（変更不可欄に、「レ」又は「×」の記載が1つもない処方せん。一般名処方を含む）	86,414	89.5%	—
③①のうち、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん	47,640	49.3%	46.8%
④③のうち、1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん（一般名処方によるものを後発医薬品で調剤した場合を含む）	26,410	27.3%	8.3%*2
⑤①のうち、1品目でも一般名処方となっている処方せん	39,155	40.5%	—
⑥①のうち、いずれの先発医薬品にも後発医薬品が薬価収載されておらず、後発医薬品に変更できなかった処方せん	11,853	12.3%	11.8%
⑦①のうち、患者が希望しなかったため、1品目も後発医薬品に変更できなかった処方せん（過去に確認済みの場合を含む）	20,518	21.2%	20.9%
⑧①のうち、外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった処方せん（クリーム、ローション、軟膏はそれぞれ別剤形とする）	3,222	3.3%	2.8%

*1 前回調査では「『後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更がすべて不可』欄に処方医の署名等がない処方せん」。

*2 前回調査では、「1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん」。

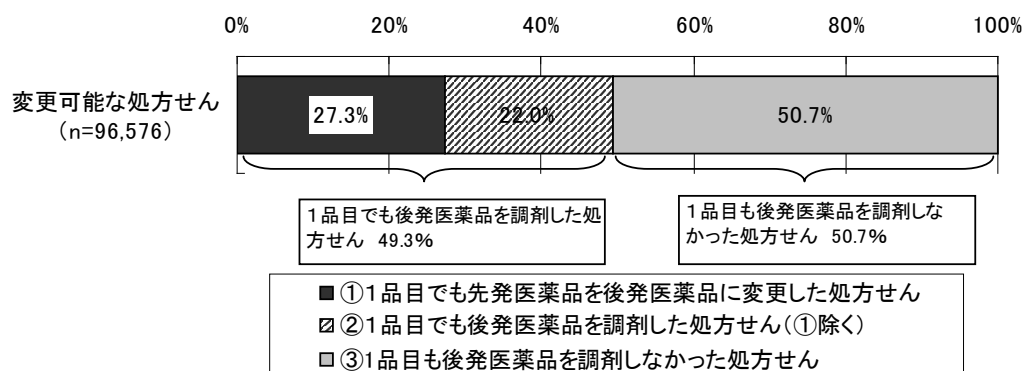
（注）処方せんベースの調査票回答薬局 567 施設のうち、1 週間の処方せん枚数の内訳について記載のあった 457 施設を集計対象とした。

図表 19 すべての処方せんにおける、1品目でも「後発医薬品への変更不可」となっていない処方せんの状況（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間の処方せん枚数ベース）



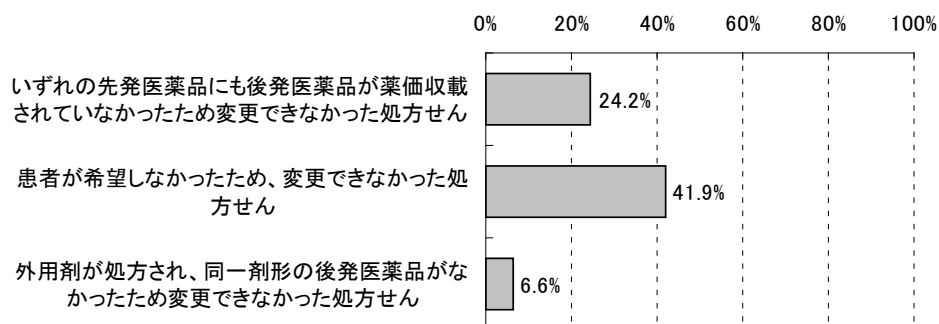
（注）「1品目でも『変更不可』となっていない処方せん」には、一般名処方による処方せんも含まれる。

図表 20 1品目でも「変更不可」となっていない処方せん（n=96,576）における、後発医薬品への変更状況（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間の処方せん枚数ベース）



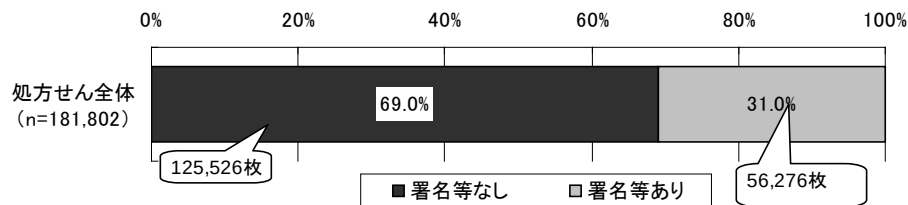
（注）「①1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん」には、一般名処方によるものを後発医薬品で調剤した場合も含まれる。

図表 21 1品目でも「変更不可」となっていない処方せんのうち、1品目も後発医薬品を調剤しなかった処方せん（n=48,936）の内訳（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間の処方せん枚数ベース、複数回答）

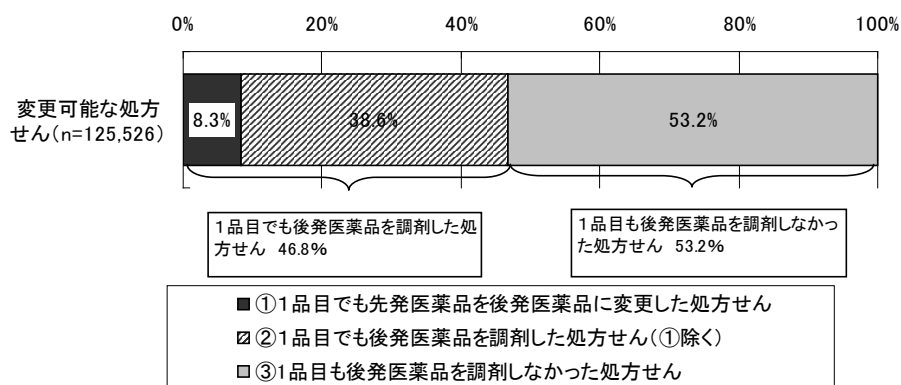


(前回調査)

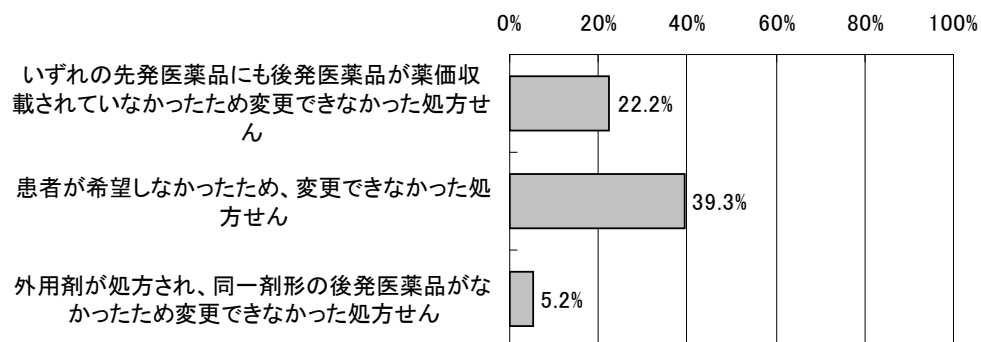
図表 すべての処方せんにおける、「後発医薬品への変更不可」欄の処方医の署名等の有無（平成 23 年 8 月 18 日～8 月 24 日 1 週間の処方せん枚数ベース）



図表 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん（n=125,526）における、後発医薬品への変更状況（平成 23 年 8 月 18 日～8 月 24 日 1 週間の処方せん枚数ベース）

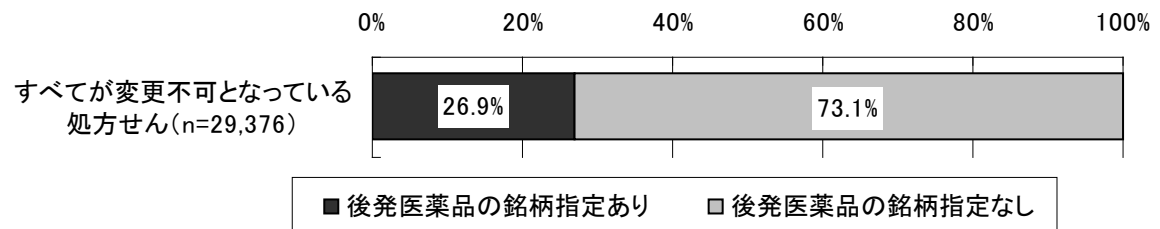


図表 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんのうち、1品目も後発医薬品を調剤しなかった処方せん（n=66,756）の内訳（平成 23 年 8 月 18 日～8 月 24 日 1 週間の処方せん枚数ベース、複数回答）

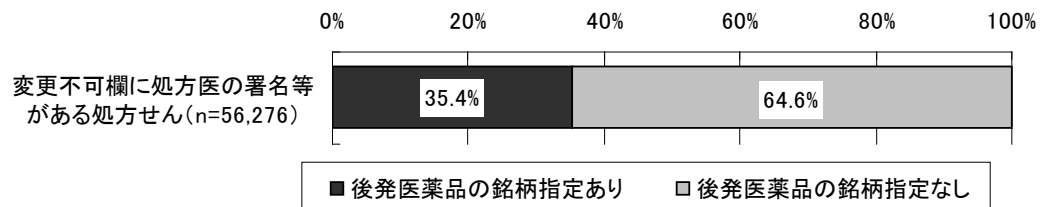


③すべてが変更不可となっている処方せんのうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せんの割合（処方せん枚数ベース）

図表 22 すべてが変更不可となっている処方せんのうち、後発医薬品の銘柄指定をしている処方せんの割合（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間の処方せん枚数ベース）

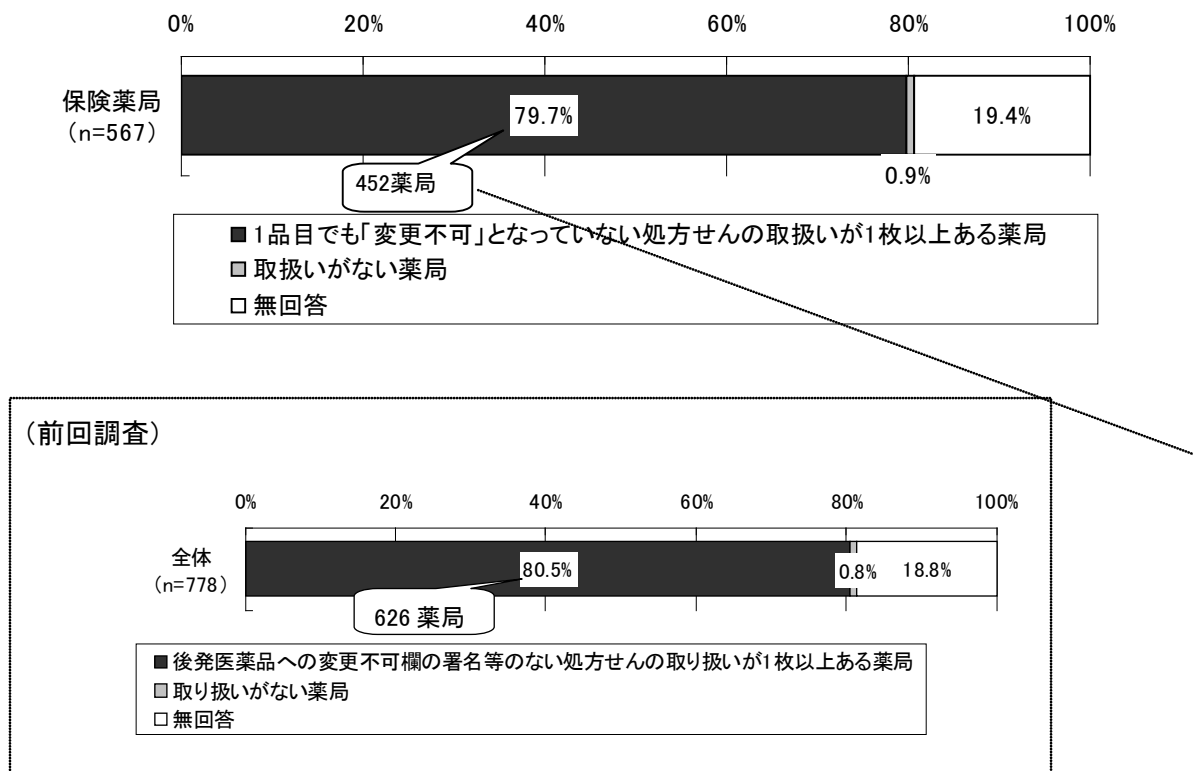


（前回調査）

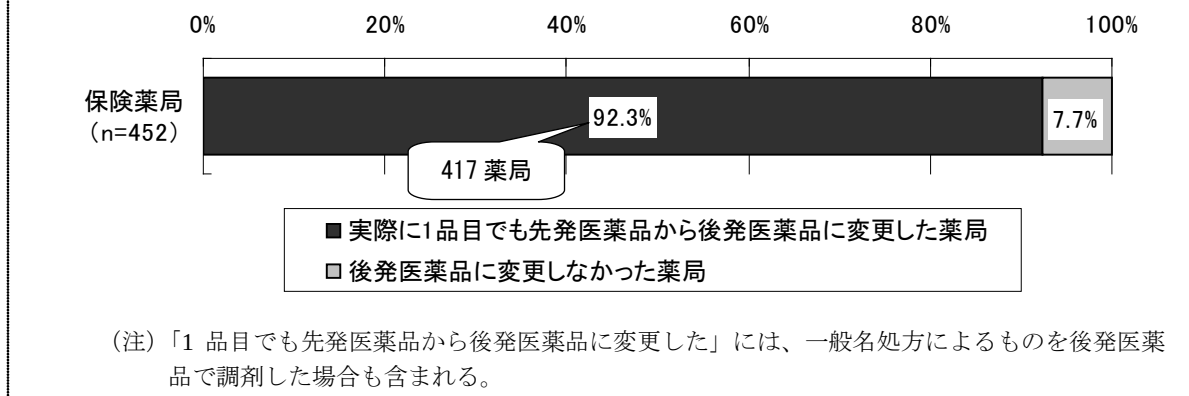


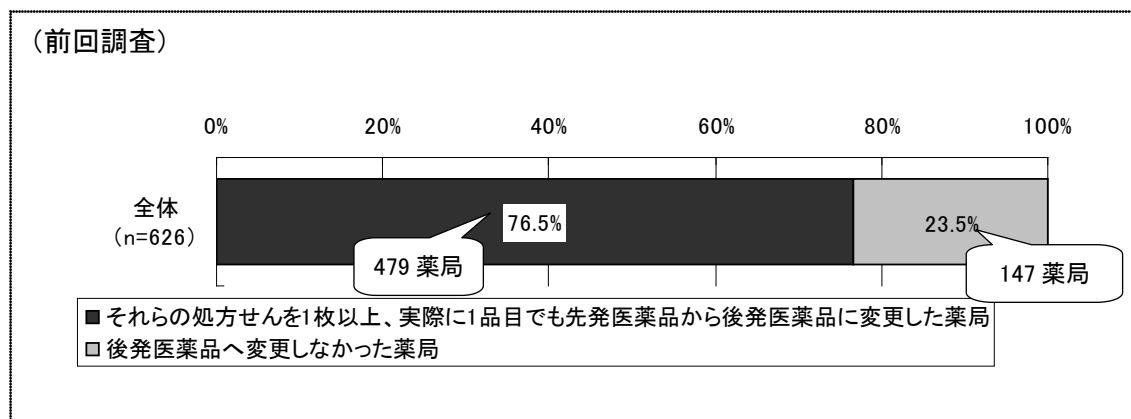
④後発医薬品への変更割合（薬局数ベース）

図表 23 1 か月間の取り扱い処方せんのうち、1 品目でも「変更不可」となっていない処方せんを取り扱った薬局数の割合（薬局数ベース）

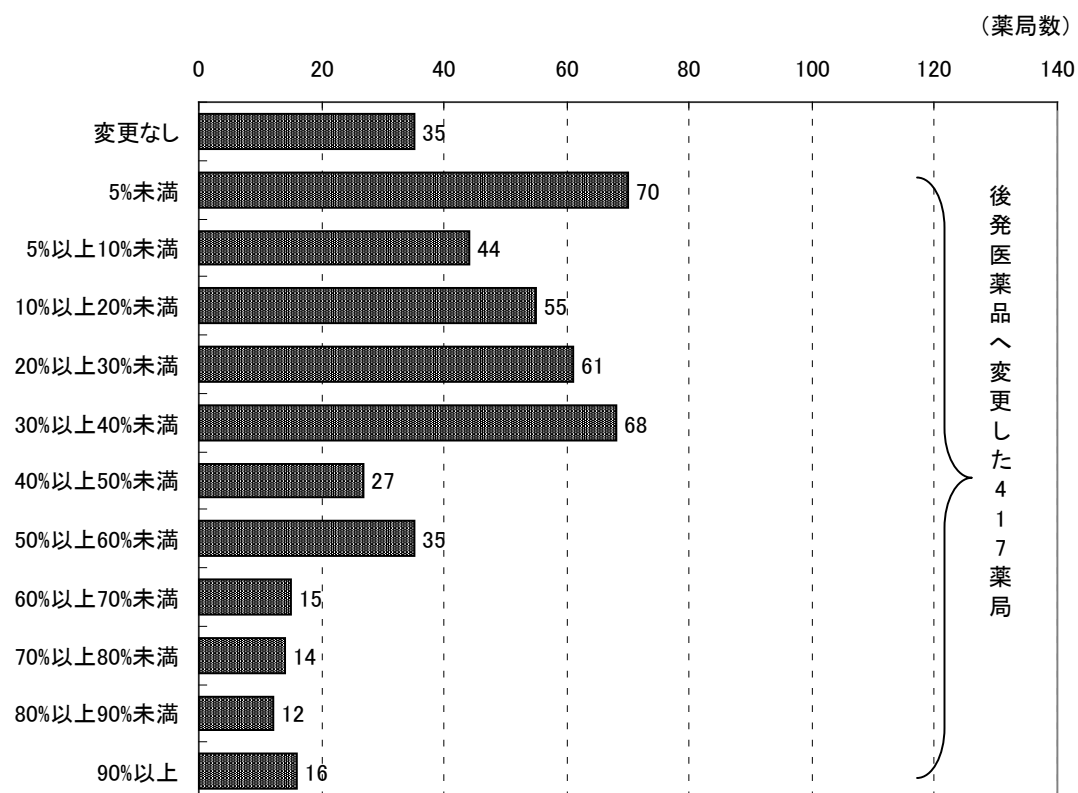


図表 24 1 品目でも「変更不可」となっていない処方せんの取扱いが1 枚以上ある薬局（452 薬局）のうち、実際に1 品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した薬局数の割合（薬局数ベース）





図表 25 1品目でも「変更不可」となっていない処方せんの取扱いが1枚以上ある薬局（452薬局）における、後発医薬品への変更可の処方せんに占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（薬局数ベース）



(注)・1品目でも「変更不可」となっていない処方せんに対する「1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した」処方せんの割合。
・「1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した」処方せんには、一般名処方によるものを後発医薬品で調剤した場合も含まれる。

(4) 取り扱い処方せん状況【様式1が「品目ベース」である546施設を対象】

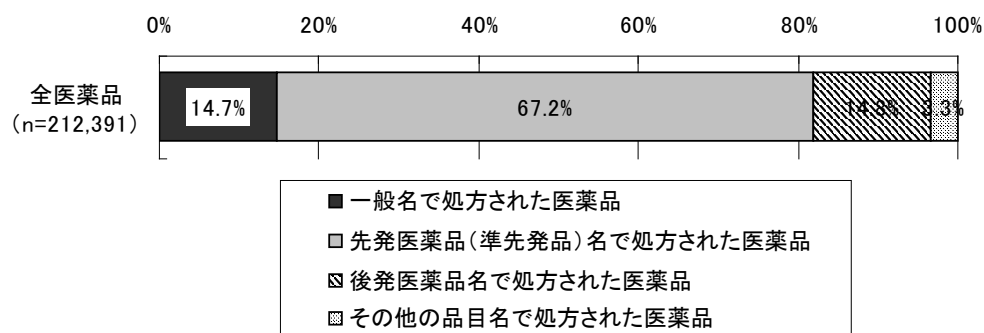
① 1週間の取り扱い処方せん枚数の内訳

図表 26 1週間の取り扱い処方せんに記載された医薬品の品目数と対応状況別品目数
(404薬局、総処方せん100,509枚に記載された212,391品目数)

	品目数	割合
①一般名で処方された医薬品目数	31,268	14.7%
②後発医薬品を選択した医薬品の品目数	19,362	9.1%
③先発医薬品(準先発品を含む)を選択した医薬品の品目数	11,906	5.6%
④先発医薬品(準先発品)名で処方された医薬品目数	142,645	67.2%
⑤「変更不可」となっていない医薬品目数	105,262	49.6%
⑥先発医薬品を後発医薬品に変更した医薬品目数	10,656	5.0%
⑦後発医薬品が薬価収載されていないため、後発医薬品に変更できなかった医薬品目数	34,437	16.2%
⑧患者が希望しなかったため、後発医薬品に変更できなかった医薬品目数(過去に確認済みの場合を含む)	31,042	14.6%
⑨外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった医薬品目数	2,819	1.3%
⑩後発医薬品名で処方された医薬品目数	31,446	14.8%
⑪「変更不可」となっている医薬品目数	6,324	3.0%
⑫その他(漢方製剤など、先発医薬品・準先発品・後発医薬品のいずれにも該当しない医薬品)の品目名で処方された医薬品目数	7,032	3.3%
⑬処方せんに記載された医薬品目数の合計	212,391	100.0%

(注) 品目ベースの調査票回答薬局 546 施設のうち、1 週間の処方せんに記載された医薬品品目数の内訳について記載のあった 404 施設を集計対象とした。この 404 施設の 1 週間に取り扱った処方せん枚数の合計は 100,509 枚であり、処方せん記載の医薬品品目数の総数は 212,391 品目であった。

図表 27 1 週間の取り扱い処方せんに記載された医薬品の処方せん記載内容別内訳
(404 薬局、総処方せん 100,509 枚に記載された 212,391 品目数)

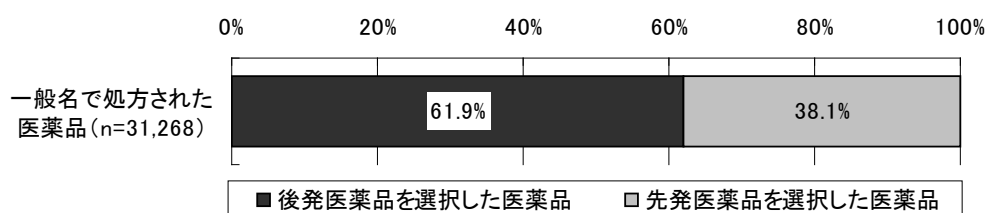


(注)・品目ベースの調査票回答薬局 546 施設のうち、1 週間の処方せんに記載された医薬品品目数の内訳について記載のあった 404 施設を集計対象とした。この 404 施設の 1 週間に取り扱った処方せん枚数の合計は 100,509 枚であり、処方せん記載の医薬品品目数の総数は 212,391 品目であった。
・「その他」とは、漢方製剤など、先発医薬品・準先発品・後発医薬品のいずれにも該当しない医薬品。

②後発医薬品への変更割合等（品目ベース）

1) 一般名で処方された医薬品における後発医薬品を選択した割合

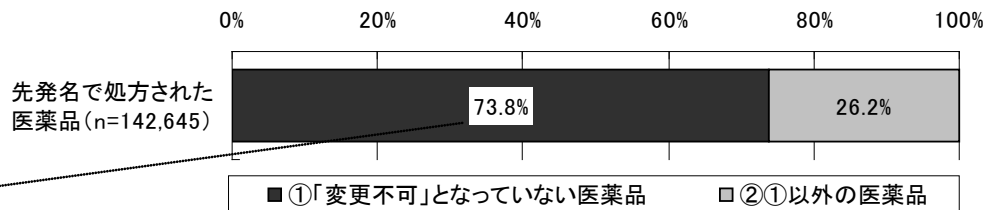
図表 28 一般名で処方された医薬品 (n=31,268) における、後発医薬品の調剤状況
(平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間分の品目ベース、404 薬局分)



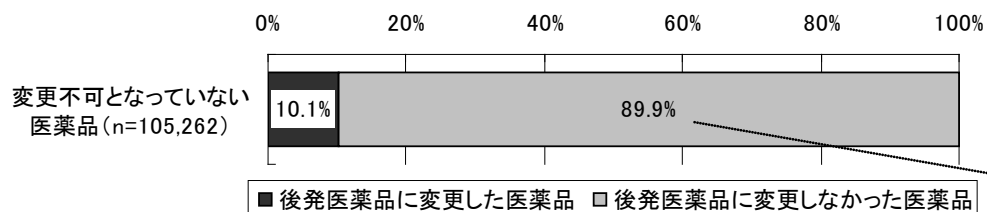
(注)「先発医薬品」には、準先発品も含まれる。

2) 先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品における、「変更不可」のチェックの状況

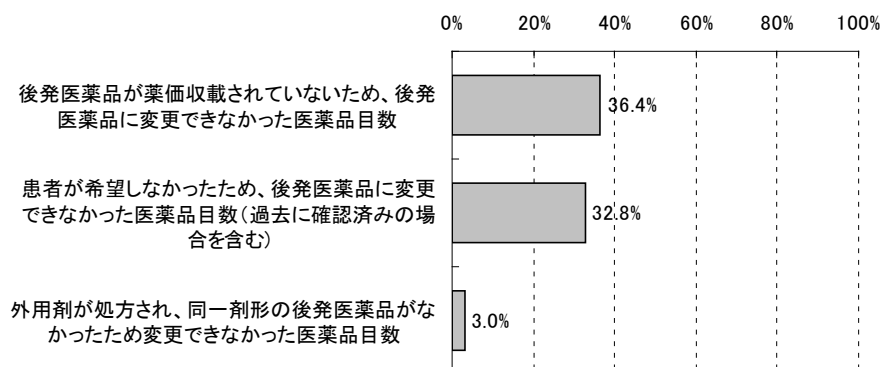
図表 29 先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品（n=142,645）における、「変更不可」の状況
（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間分の品目ベース、404 薬局分）



図表 30 先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品で「変更不可」となっていない医薬品（n=105,262）における、後発医薬品に変更した医薬品の割合
（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間分の品目ベース、404 薬局分）

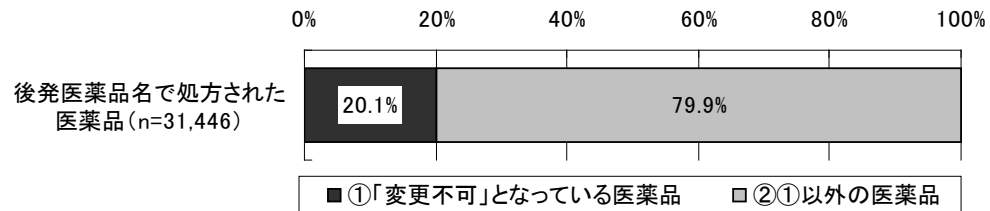


図表 31 先発医薬品名で処方され「変更不可」となっていない医薬品のうち、後発医薬品に変更しなかった医薬品（n=94,606）について、後発医薬品を調剤しなかった理由別分布
（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間分の品目ベース、複数回答）



3) 後発医薬品名で処方された医薬品における、「変更不可」のチェックの状況

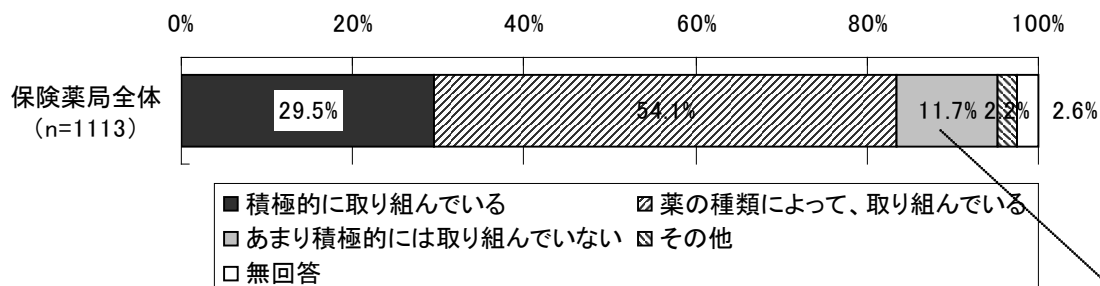
図表 32 後発医薬品名で処方された医薬品（n=31,446）における、「変更不可」の状況
（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間分の品目ベース、404 薬局分）



(5) 後発医薬品への対応状況

①後発医薬品の調剤に関する考え

図表 33 後発医薬品の調剤に関する考え

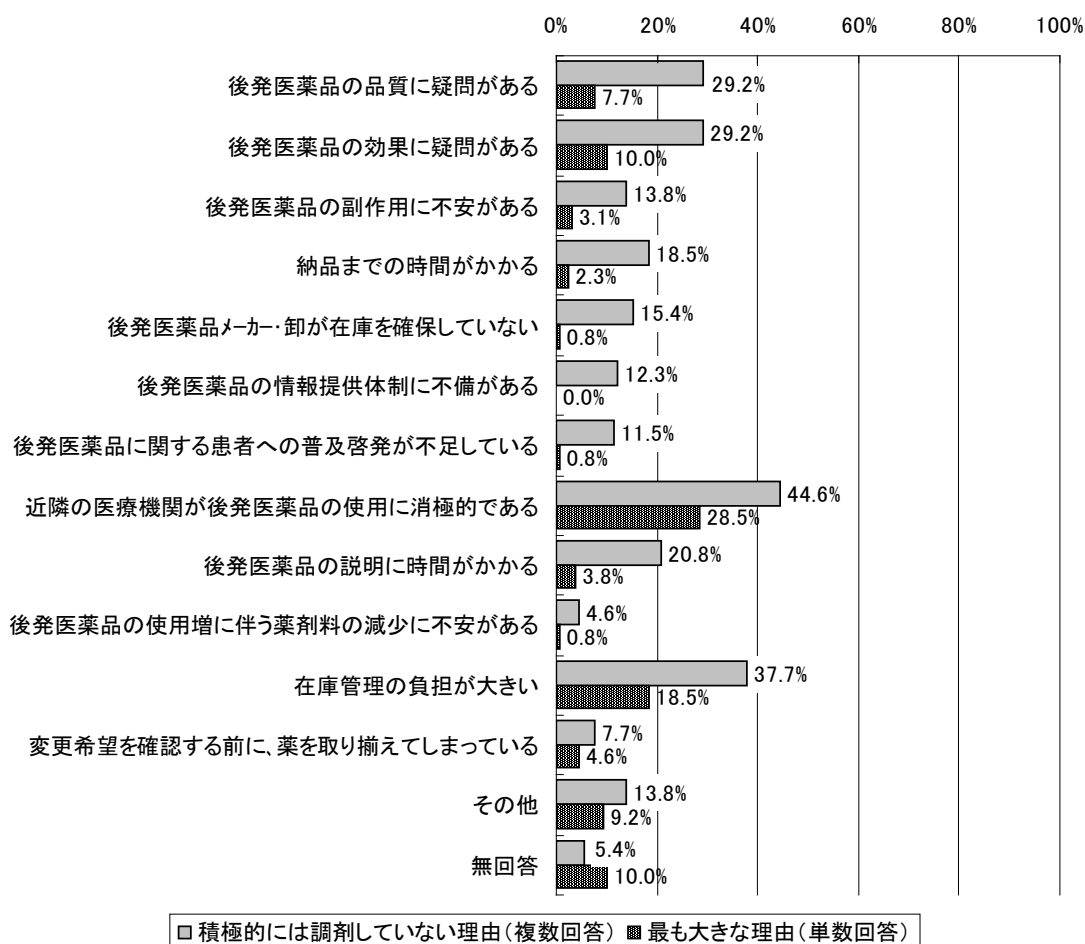


(注) 凡例の正確な表現は次のとおり。

「積極的に取り組んでいる」：「後発医薬品を積極的に患者に説明して、調剤するよう取り組んでいる」
「薬の種類によって、取り組んでいる」：「薬の種類によって、後発医薬品を患者に説明して、調剤するよう取り組んでいる」。前回調査では「薬効によって、後発医薬品を患者に説明して、調剤するよう取り組んでいる」と異なる。

「あまり積極的には取り組んでいない」：「後発医薬品の説明・調剤にあまり積極的には取り組んでいない」。

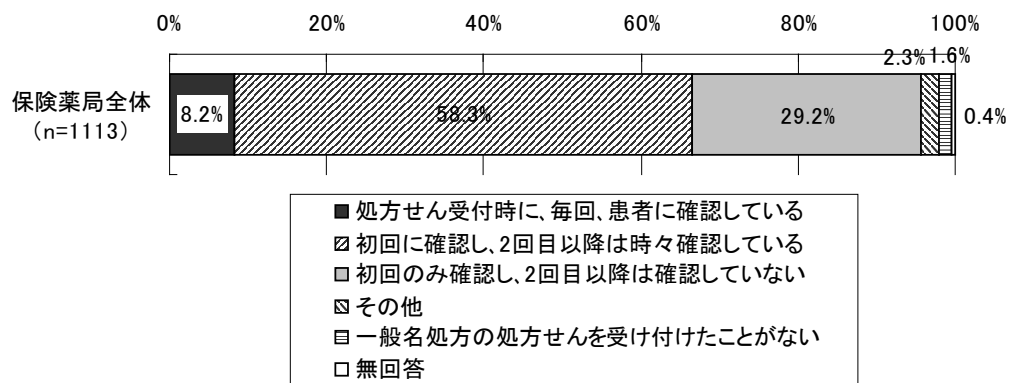
図表 34 あまり積極的には取り組んでいない理由（「後発医薬品の説明・調剤にあまり積極的には取り組んでいない」と回答した薬局、n=130、複数回答）



②後発医薬品使用に関する患者の意向確認

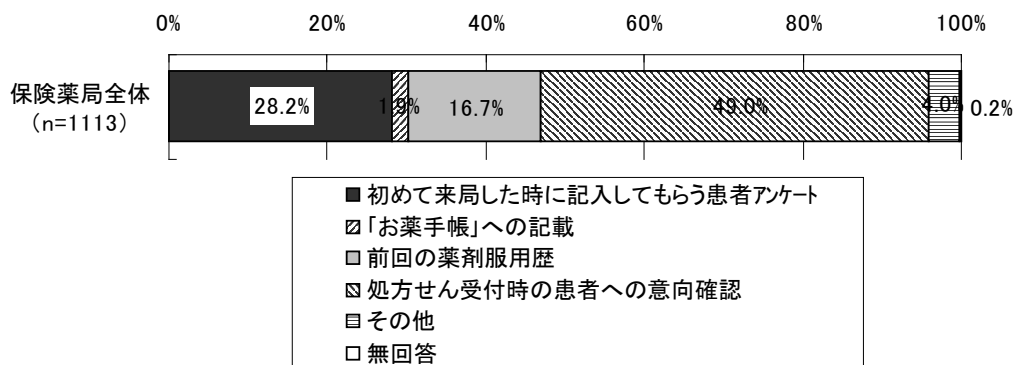
1) 一般名処方処方せんについて、後発医薬品使用に関する患者の意向確認の状況

図表 35 一般名処方処方せんについて、後発医薬品使用に関する患者の意向の確認状況



2) 後発医薬品使用に関する患者の意向を把握する手段

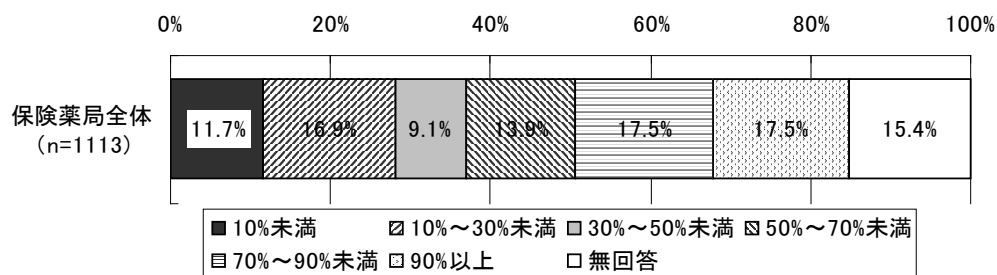
図表 36 後発医薬品使用に関する患者の意向を把握する手段として最も多く利用しているもの



③後発医薬品についての患者への説明等の状況

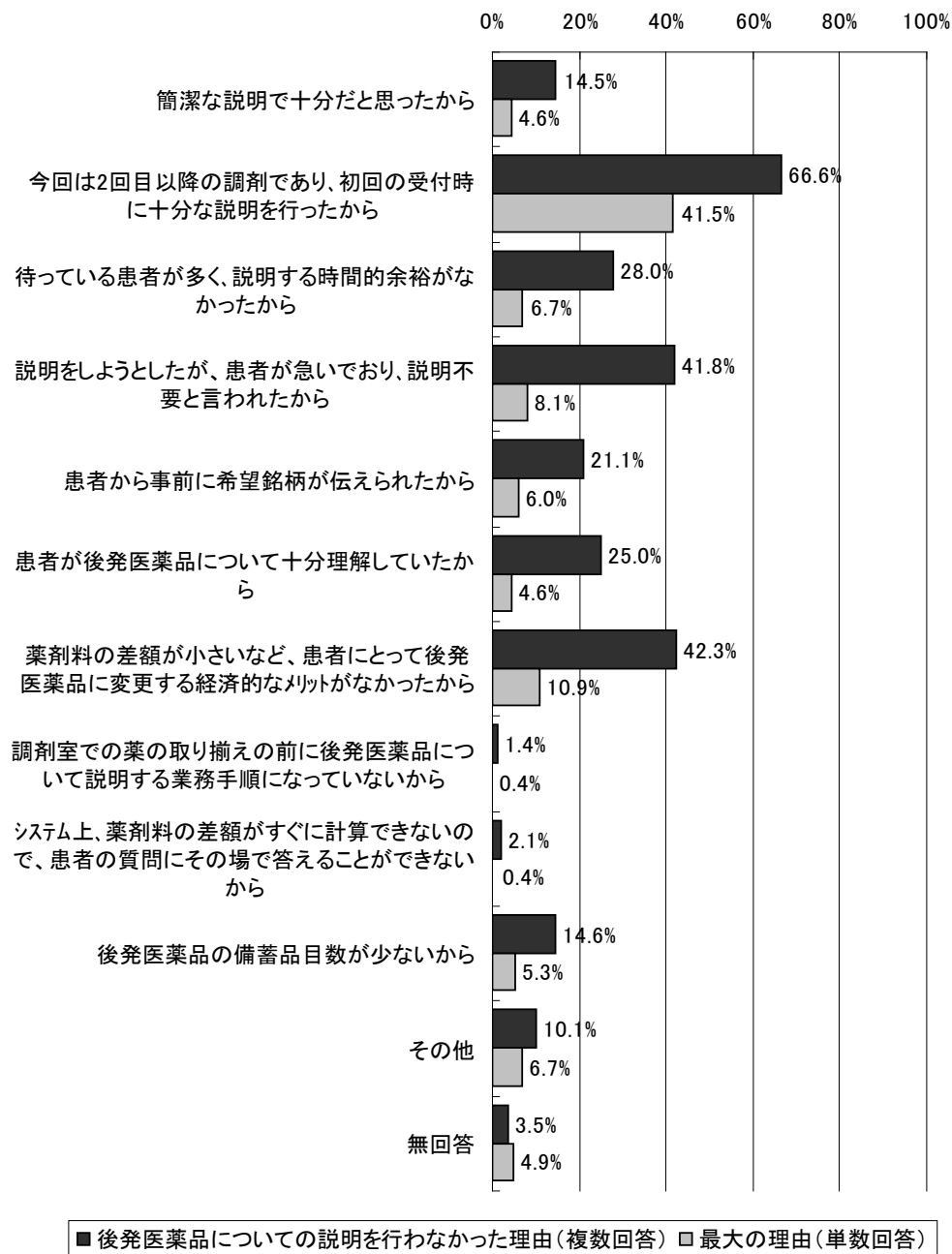
- 1) 後発医薬品への変更が可能な処方せん（一般名処方せんは除く）で、かつ、変更可能な先発医薬品が処方された患者のうち、後発医薬品についての十分な説明を行った患者の割合（平成 24 年 4 月以降）

図表 37 後発医薬品への変更が可能な処方せん（一般名処方せんは除く）で、かつ、変更可能な先発医薬品が処方された患者のうち、後発医薬品についての十分な説明を行った患者の割合（平成 24 年 4 月以降）



- (注) ・「後発医薬品への変更が可能な処方せん（一般名処方せんは除く）」とは、変更可能な先発医薬品が処方された処方せんで「変更不可」欄に「レ」又は「×」が記載されていない医薬品が記載された処方せん。
 ・「後発医薬品についての十分な説明」とは、後発医薬品と先発医薬品とが同等であること（例えば、品質、安定性、生物学的同等性試験結果など）の説明に加え、患者の処方せんにおける変更前の薬剤料と変更後の薬剤料の差額等についての説明など。

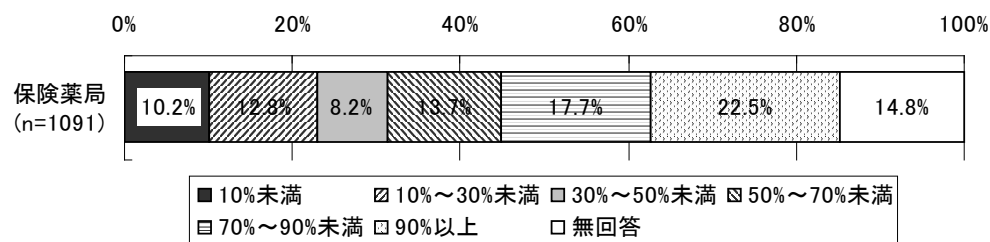
図表 38 後発医薬品への変更可能な処方せんを持参した患者に後発医薬品についての十分な説明をしなかった理由 (n=1018)



(注) 後発医薬品への変更可能な処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品についての十分な説明を行った患者の割合が「100%」と回答した 95 施設以外の施設を集計対象とした。

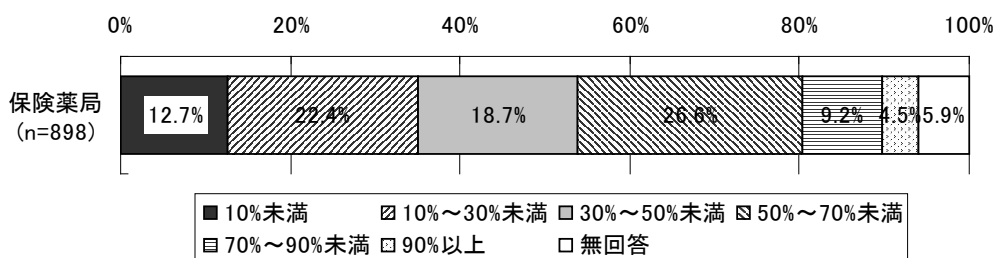
- 2) 一般名処方の処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品についての十分な説明を行った患者の割合（平成 24 年 4 月以降）

図表 39 一般名処方の処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品についての十分な説明を行った患者の割合
（平成 24 年 4 月以降、一般名処方の取り扱いがあった薬局、薬局数ベース）



- 3) 後発医薬品についての十分な説明を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合

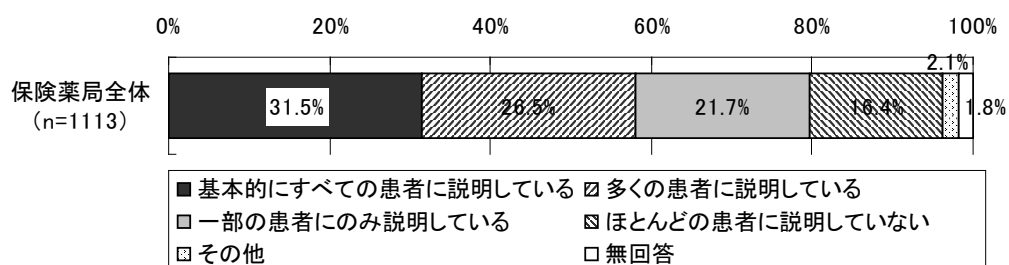
図表 40 後発医薬品についての十分な説明を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合（薬局数ベース）



（注）後発医薬品についての説明を行った患者がいない施設 215 施設を除いて集計対象とした。

- 4) 薬剤情報提供文書を交付する際の患者への口頭での説明状況

図表 41 薬剤情報提供文書を交付する際の患者への口頭での説明状況

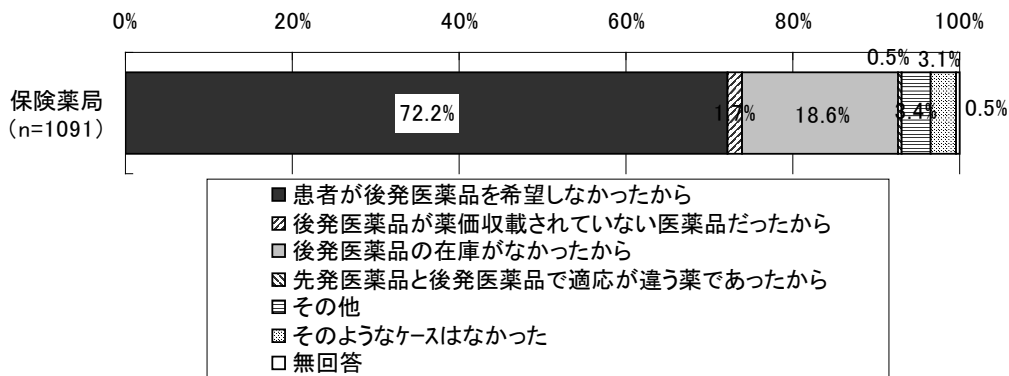


（注）後発医薬品情報を付記した薬剤情報提供文書を交付する際に、患者に記載内容を口頭でも説明しているかを尋ねた。

④後発医薬品の調剤状況等

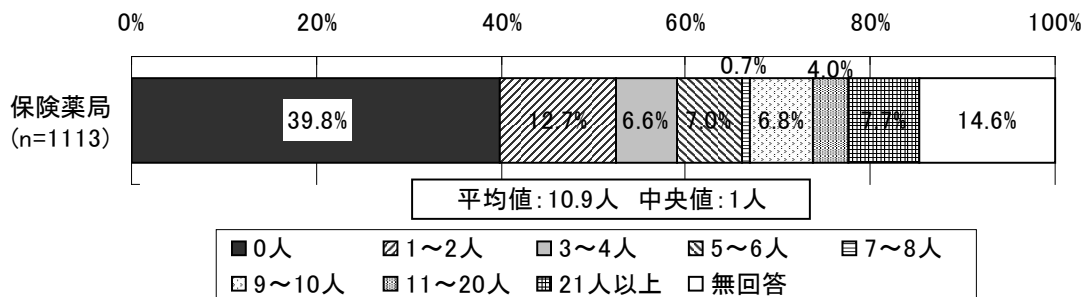
- 1) 一般名処方の方せんを持参した患者のうち、後発医薬品を調剤しなかったケースについて最も多い理由

図表 42 一般名処方の方せんを持参した患者のうち、後発医薬品を調剤しなかったケースについて最も多い理由（一般名処方の取り扱いがあった薬局、薬局数ベース）



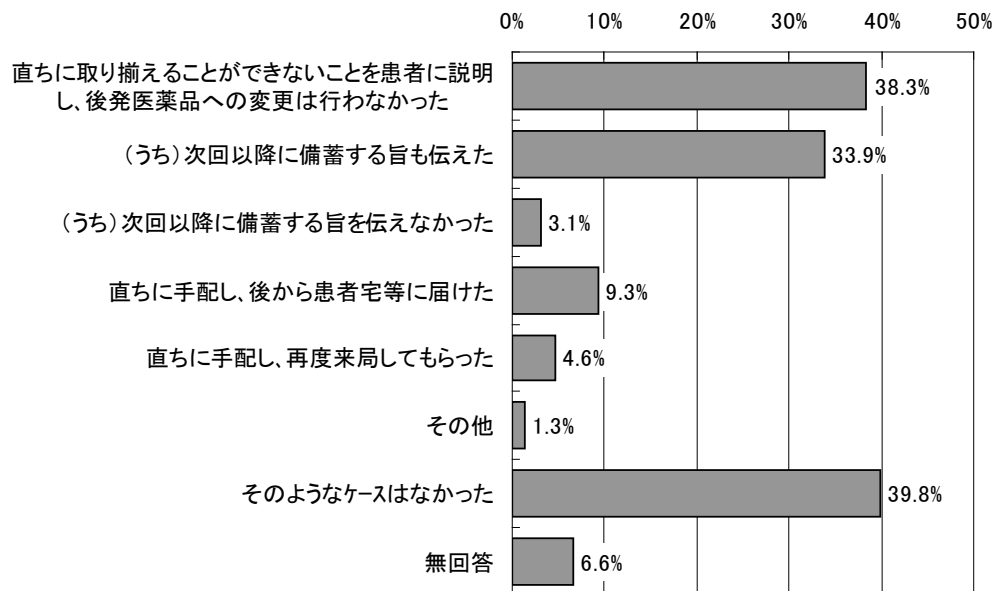
- 2) 後発医薬品への変更を患者が希望したが、後発医薬品に1品目も変更できなかった患者数（平成24年8月1か月間）

図表 43 後発医薬品への変更を患者が希望したが、後発医薬品に1品目も変更できなかった患者数（平成24年8月1か月間、薬局数ベース）



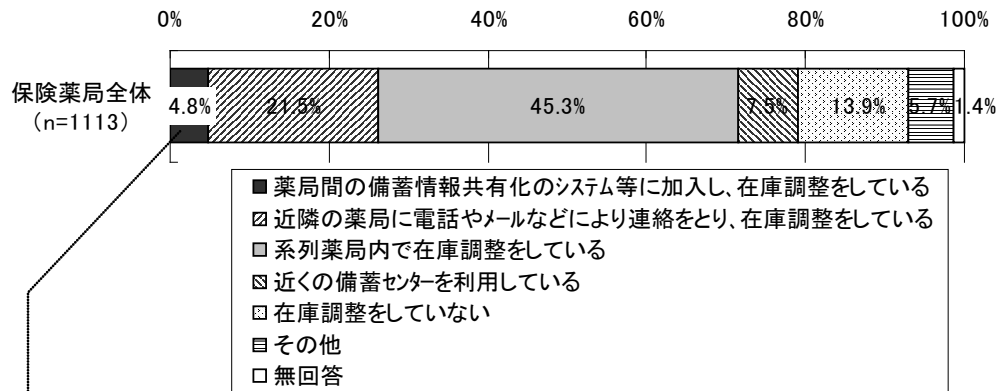
3) 後発医薬品の備蓄がなかったため直ちに取り揃えることができなかった患者に対する
主な対応

図表 44 後発医薬品の備蓄がなかったため直ちに取り揃えることができなかった
患者に対する主な対応（単数回答、n=1113）



4) 後発医薬品の在庫がない、あるいは不動在庫となりそうな場合の在庫調整の方法

図表 45 後発医薬品の在庫がない、あるいは不動在庫となりそうな場合の在庫調整の方法（最も多いもの）



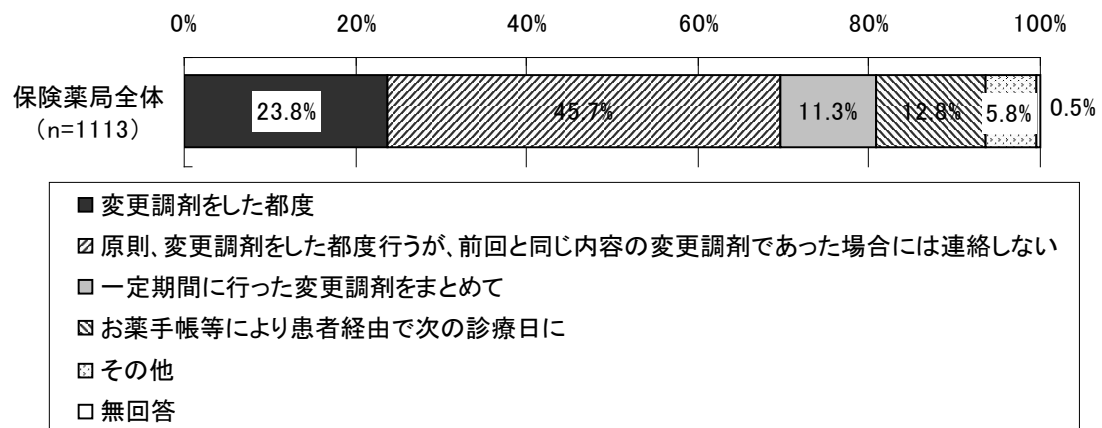
図表 46 会費・通信料など1か月分の費用
(備蓄情報共有化のためのシステム等に参加している場合、n=35)

	平均値	標準偏差	中央値
1か月分の費用(円)	2,605.7	3,066.1	2,000

⑤医療機関への情報提供等

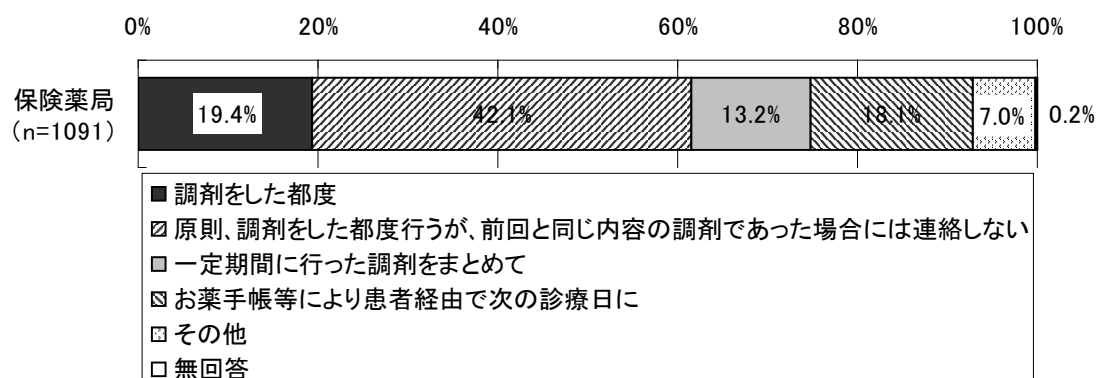
1) 後発医薬品への変更調剤について医療機関（医師）に情報提供を行うタイミング

図表 47 後発医薬品への変更調剤について医療機関（医師）に情報提供を行うタイミング
（最も多いもの）



2) 一般名処方箋の医薬品の調剤について医療機関（医師）に情報提供を行うタイミング

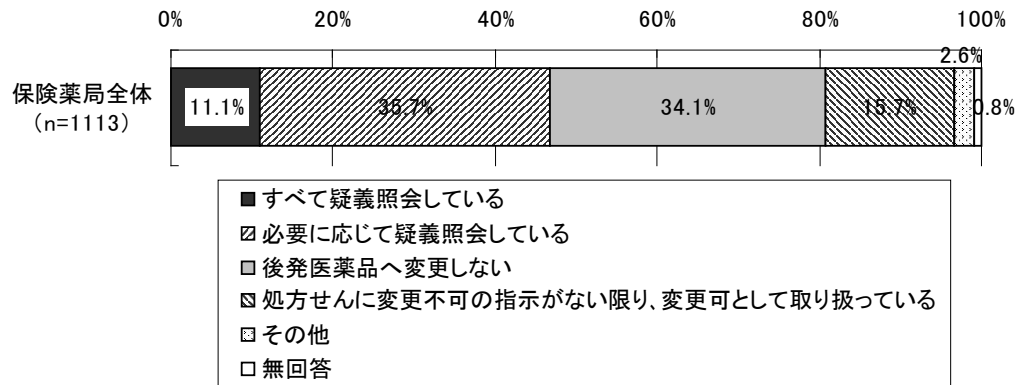
図表 48 一般名処方箋の医薬品の調剤について医療機関（医師）に情報提供を行う
タイミング（最も多いもの、一般名処方箋の取り扱いがあった薬局）



（注）一般名処方箋の処方せんを取り扱っている保険薬局を集計対象とした。

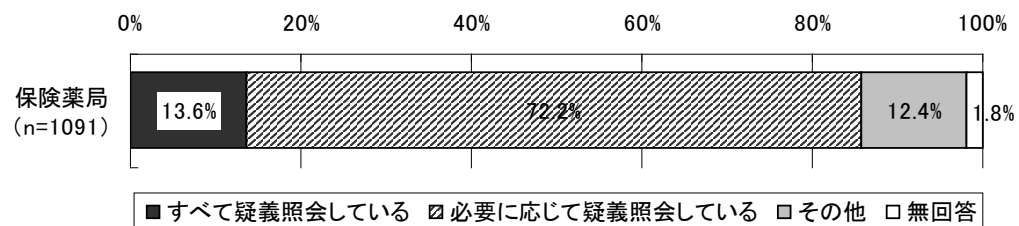
3) 変更調剤時における先発医薬品と後発医薬品の効能の違いがある場合の対応

図表 49 変更調剤時における先発医薬品と後発医薬品の効能の違いがある場合の対応



4) 一般名処方で、先発医薬品と後発医薬品の効能の違いがある場合の対応

図表 50 一般名処方で、先発医薬品と後発医薬品の効能の違いがある場合の対応

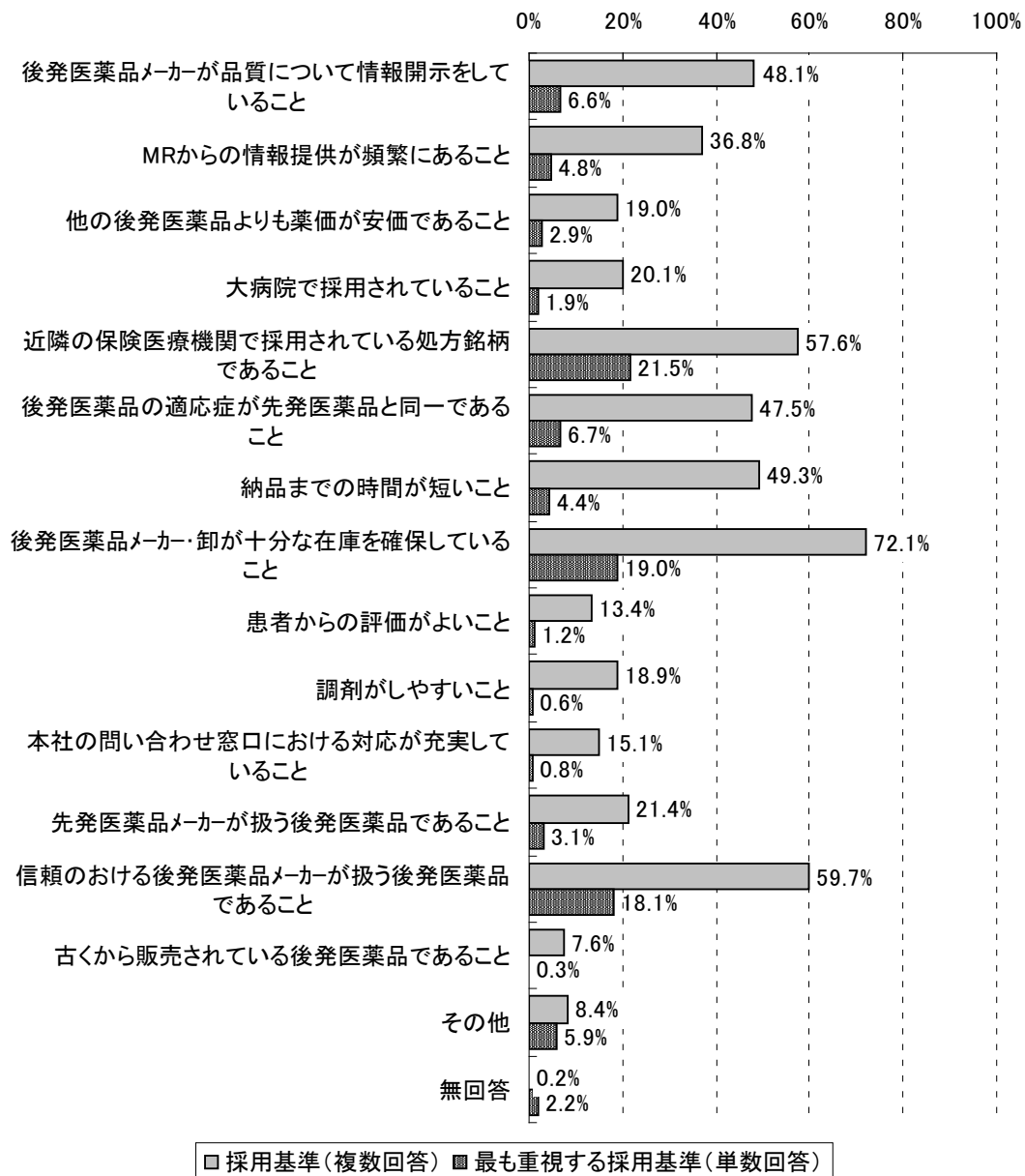


(注) 一般名処方の処方せんを取り扱っている保険薬局を集計対象とした。

(6) 備蓄医薬品の状況等

①後発医薬品の採用基準

図表 51 後発医薬品の採用基準 (n=1113)



②医薬品の備蓄品目数

図表 52 備蓄医薬品品目数の変化 (n=752)

		平成 23 年 8 月 または把握可 能な 23 年度の 1 か月分	平成 24 年 8 月 または把握可 能な直近 1 か月 分	増加率
医薬品全品目数 (A)	平均値	826.6	895.2	8.3%
	標準偏差	413.6	427.2	
	中央値	766.5	818.5	6.8%
うち、後発医薬品の品目数 (B)	平均値	141.7	180.3	27.2%
	標準偏差	105.3	124.1	
	中央値	119.5	157.0	31.4%
(B) / (A)	平均値	17.1%	20.1%	
	中央値	15.6%	19.2%	

(注) 医薬品品目数について回答のあった 752 施設を集計対象とした。

図表 53 1 つの先発医薬品 (同一規格) に対する後発医薬品の平均備蓄品目数 (n=814)

	平均値	標準偏差	中央値
1 つの先発医薬品に対する後発医薬品の 平均備蓄品目数 (品目)	1.1	0.5	1

(注) 1 つの先発医薬品に対する後発医薬品の平均備蓄品目数について回答のあった 814 施設を集計対象とした。

③医薬品の在庫金額及び廃棄額

図表 54 医薬品の在庫金額及び廃棄額 (1 か月分、n=496)

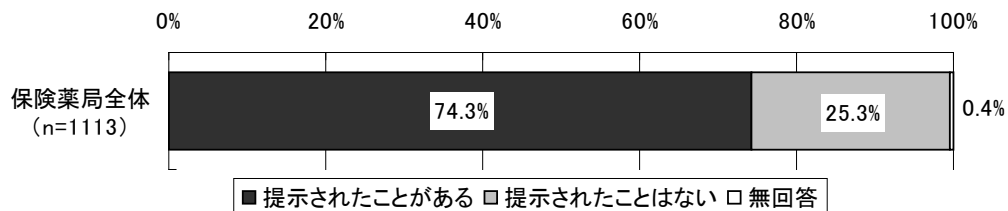
			平成 23 年 8 月 または把握可 能な 23 年度の 1 か 月分	平成 24 年 8 月 または把握可 能な直近 1 か月分	増加率
在庫金額 (円)	医薬品全品目	平均値	6,890,336.0	7,349,309.5	6.7%
		標準偏差	5,934,540.5	6,713,569.6	
		中央値	5,429,000.0	5,629,393.5	3.7%
	うち、後発医薬品	平均値	721,761.7	901,843.7	25.0%
		標準偏差	863,605.5	1,023,269.6	
		中央値	496,537.5	630,010.5	26.9%
廃棄額 (円)	医薬品全品目	平均値	36,827.8	36,535.4	-0.8%
		標準偏差	79,504.6	74,916.5	
		中央値	10,000.0	10,000.0	0.0%
	うち、後発医薬品	平均値	5,670.8	6,710.9	18.3%
		標準偏差	19,505.7	20,823.3	
		中央値	463.5	608.0	31.2%

(注) 医薬品の在庫金額・廃棄額について回答のあった 496 施設を集計対象とした。

(7) 患者からの意思表示の状況等

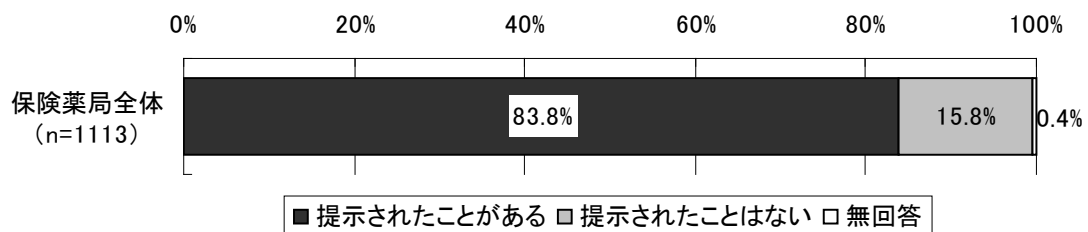
①「ジェネリック医薬品軽減額通知」などを患者から提示された経験の有無

図表 55 「ジェネリック医薬品軽減額通知」などを患者から提示された経験の有無



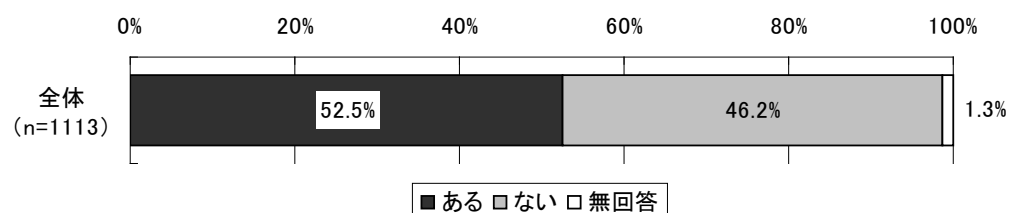
②「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示された経験の有無

図表 56 「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示された経験の有無



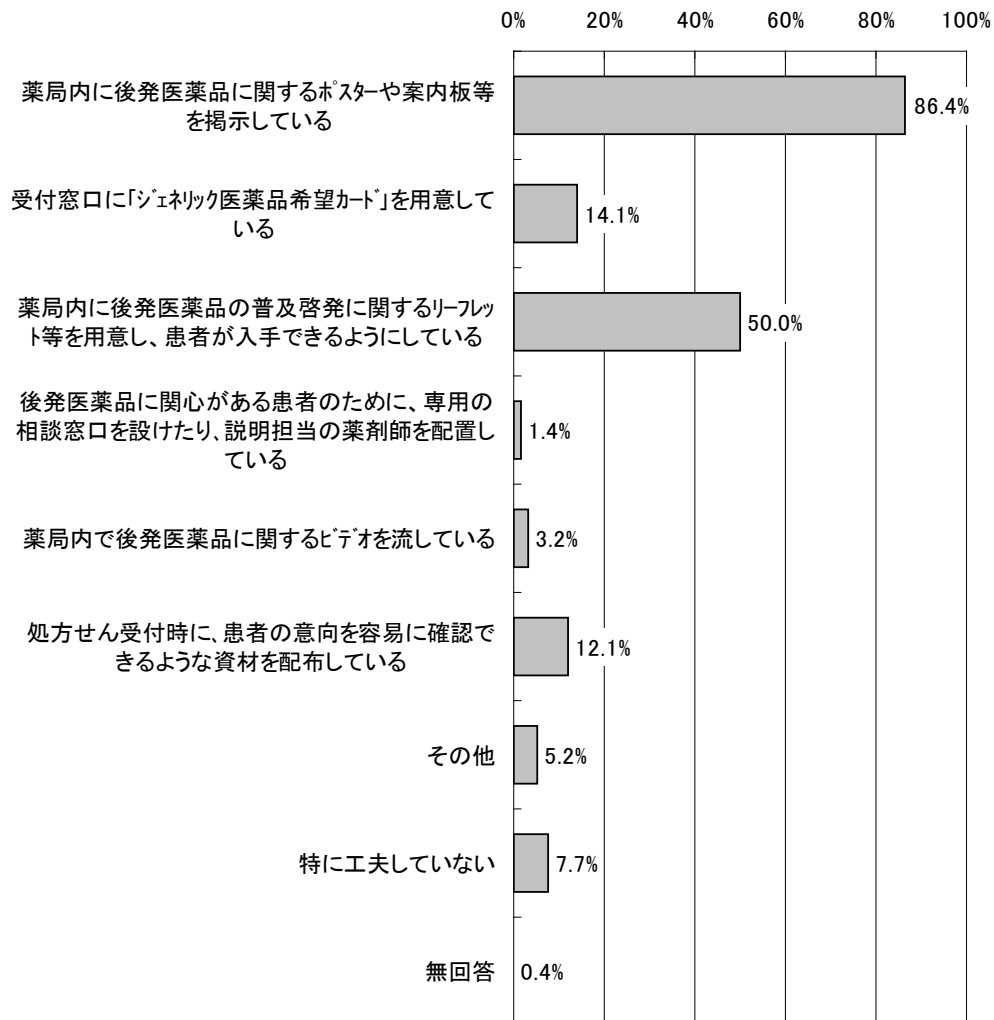
③「薬剤情報提供文書」を患者から提示され、後発医薬品についての説明を行った経験の有無

図表 57 「薬剤情報提供文書」を患者から提示され、後発医薬品についての説明を行った経験の有無



④患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫

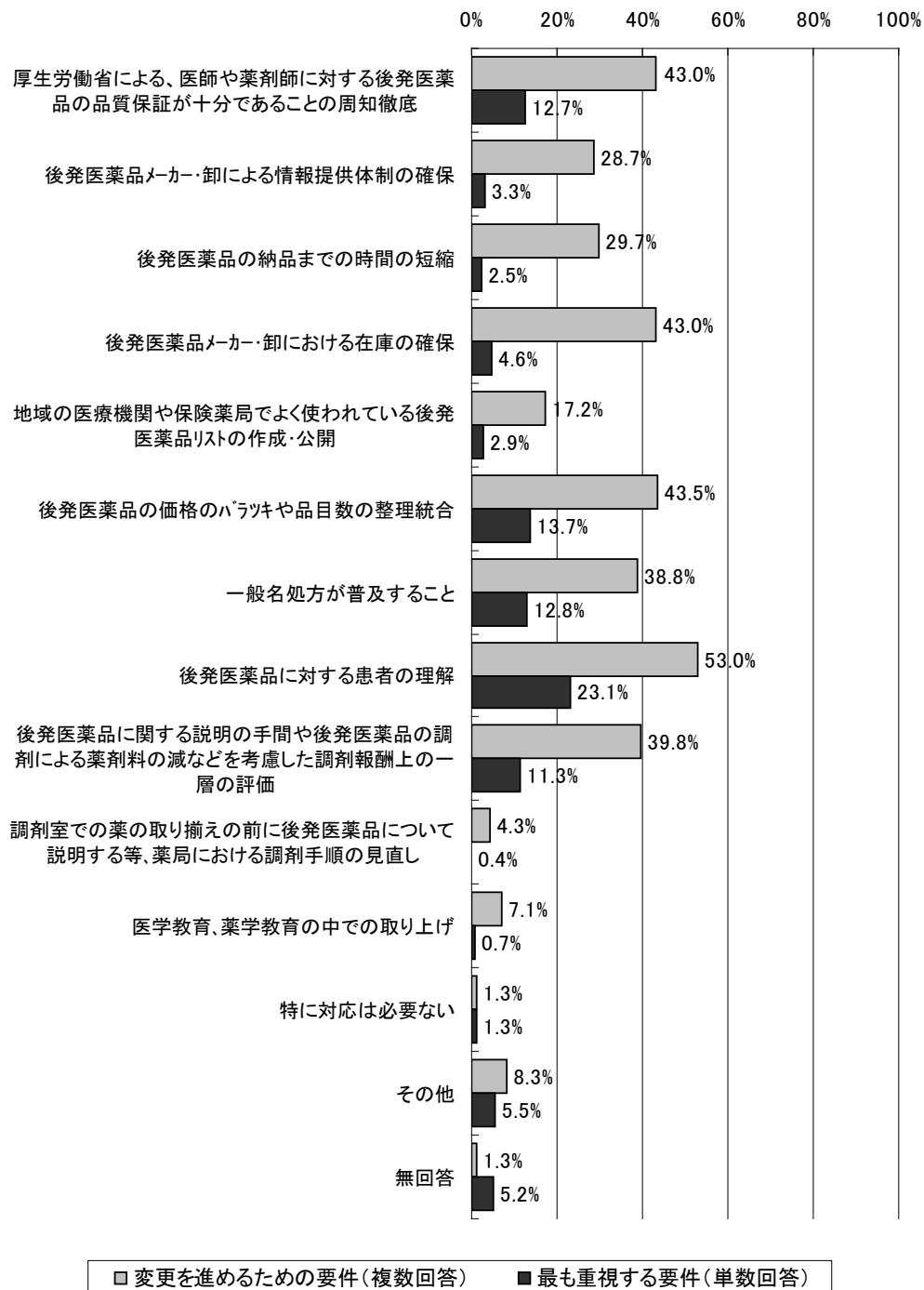
図表 58 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫（複数回答、n=1113）



(8) 後発医薬品への変更を進めるための要件

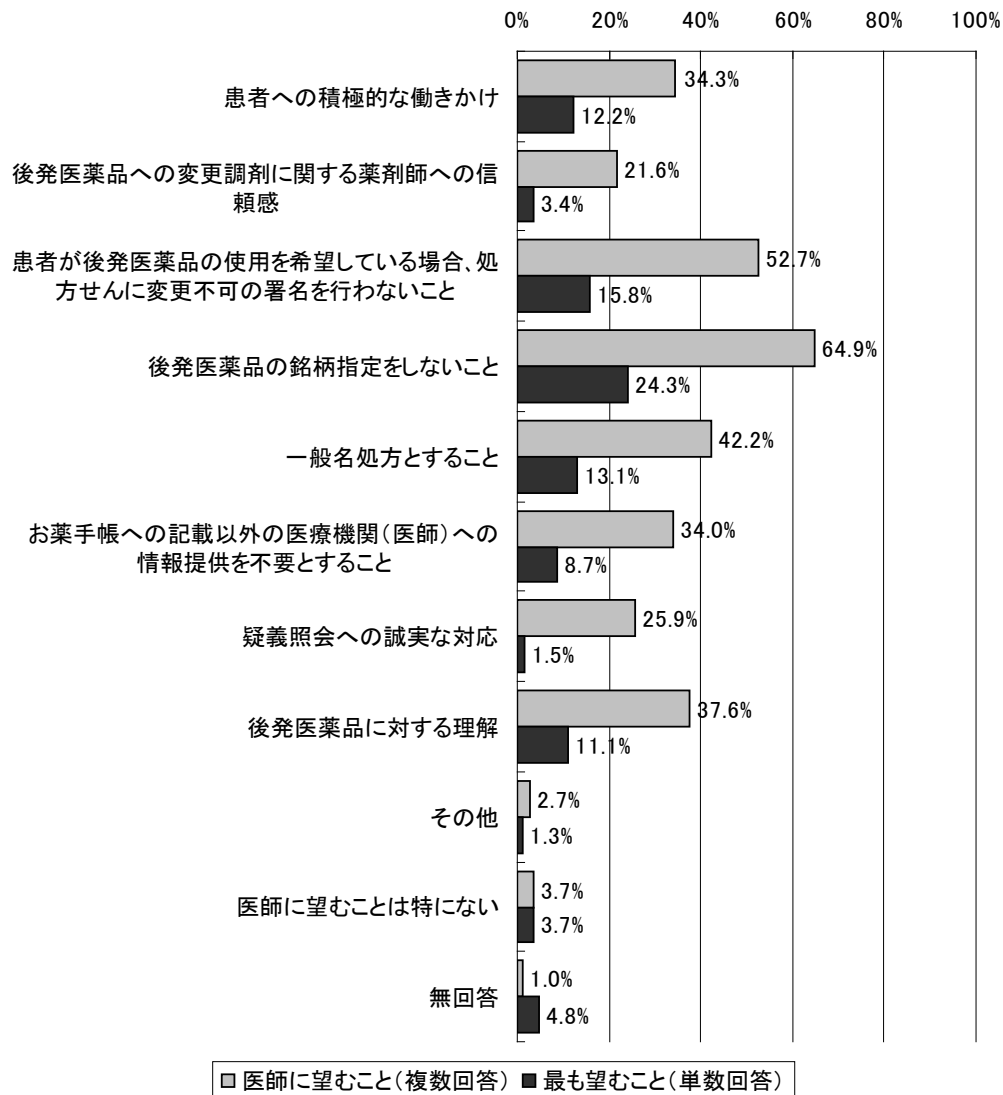
①薬局の立場として後発医薬品への変更を進めるための要件

図表 59 後発医薬品への変更が可能な処方せん（一般名処方を含む）を受け付けたが、変更しなかった場合に関して、今後、薬局の立場として後発医薬品への変更を進めるための要件（n=1113）



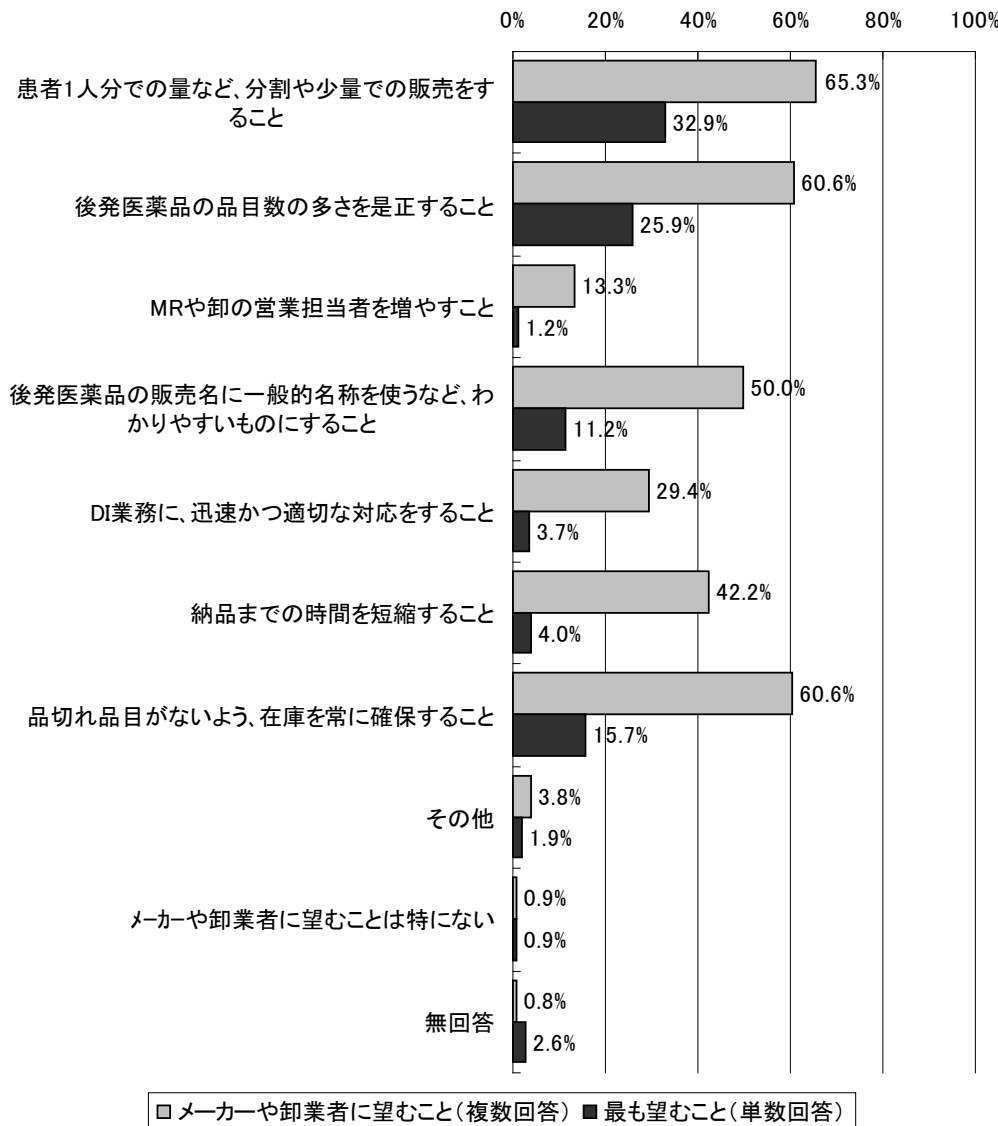
②後発医薬品の使用を進める上で医師に望むこと

図表 60 後発医薬品の使用を進める上で医師に望むこと (n=1113)



③後発医薬品の使用を進める上で後発医薬品メーカーや卸業者に望むこと

図表 61 後発医薬品の使用を進める上で後発医薬品メーカーや卸業者に望むこと
(n=1113)



(9) 後発医薬品に変更して調剤した処方せんに係る薬剤料の状況

図表 62 9/9～9/15に先発医薬品から後発医薬品に変更して調剤・一般名処方の医薬品を後発医薬品で調剤した処方せん（42,124 枚）の状況

	(今回調査)			(前回調査)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料 (A) (点)	664.0	1,096.7	319.0	970.7	1,597.1	504.0
実際に調剤した薬剤料 (B) (点)	546.2	981.4	240.0	734.3	1,300.6	355.0
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合 (B/A) (%)	82.3		75.2	75.6		70.4

※前回調査の処方せん枚数は 10,756 枚（平成 23 年 8 月 18 日から 8 月 24 日までの処方せん）。

(注) 前回調査では「先発医薬品を後発医薬品に変更して調剤した医薬品が 1 品目でもある処方せん」のみを対象としているが、今回調査ではそれに加えて、「一般名処方となっている医薬品を後発医薬品で調剤した医薬品が 1 品目でもある処方せん」も対象としている点に留意する必要がある。

図表 63 患者一部負担金割合別にみた、9/9～9/15に先発医薬品から後発医薬品に変更して調剤・一般名処方の医薬品を後発医薬品で調剤した処方せん（42,124 枚）の状況

	全体	0 割	1 割	2 割	3 割	10 割
処方せん枚数(枚)	42,124	6,406	14,369	360	20,894	43
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料 (A) (点)	664.0	555.3	829.1	629.5	584.8	268.4
実際に調剤した薬剤料 (B) (点)	546.2	482.0	690.0	577.2	466.7	207.2
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合 (B/A) (%)	82.3	86.8	83.2	91.7	79.8	77.2

(注) ・患者一部負担金割合の「全体」には、患者一部負担金割合が不明だった処方せん 52 枚が含まれる。

・前回調査では「先発医薬品を後発医薬品に変更して調剤した医薬品が 1 品目でもある処方せん」のみを対象としているが、今回調査ではそれに加えて、「一般名処方となっている医薬品を後発医薬品で調剤した医薬品が 1 品目でもある処方せん」も対象としている点に留意する必要がある。

3. 診療所・病院・医師調査の結果

【調査対象等】

○診療所調査

調査対象：全国の一般診療所の中から無作為に抽出した一般診療所

回答数：506 施設

回答者：開設者・管理者

○病院調査

調査対象：全国の病院の中から無作為に抽出した病院

回答数：323 施設

回答者：開設者・管理者

○医師調査

調査対象：上記「病院調査」の対象施設で外来診療を担当する医師

1 施設につき、診療科の異なる医師 2 名

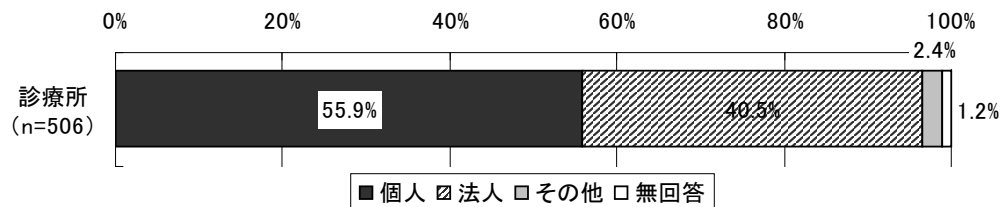
回答数：458 人

(1) 施設の概要等

①診療所の施設属性

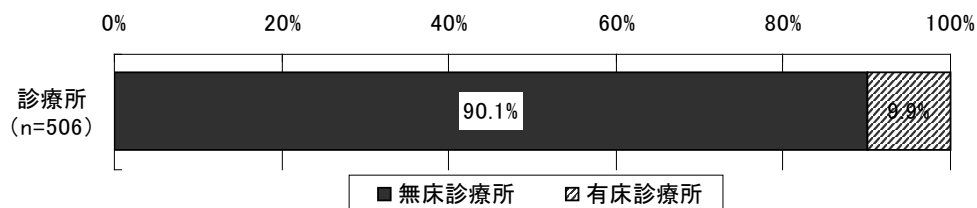
1) 診療所の開設者

図表 64 診療所の開設者



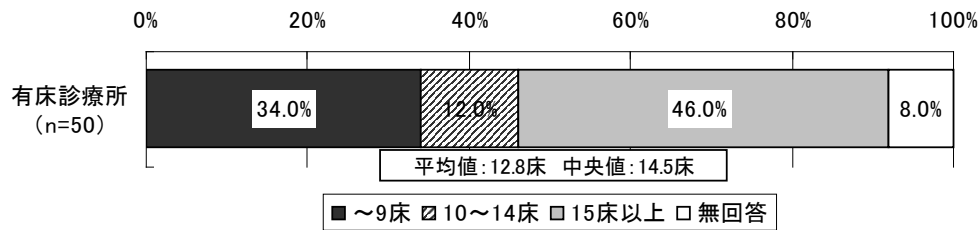
2) 診療所の種別

図表 65 診療所の種別



3) 有床診療所の病床規模

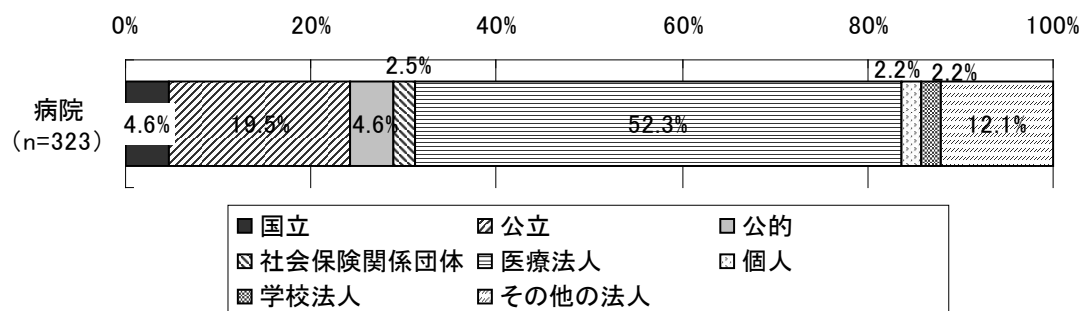
図表 66 有床診療所の病床規模



②病院の施設属性

1) 病院の開設者

図表 67 病院の開設者



(注) 開設者は以下の通り。

国 立：厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、その他（国、独立行政法人）

公 立：都道府県、市町村、地方独立行政法人

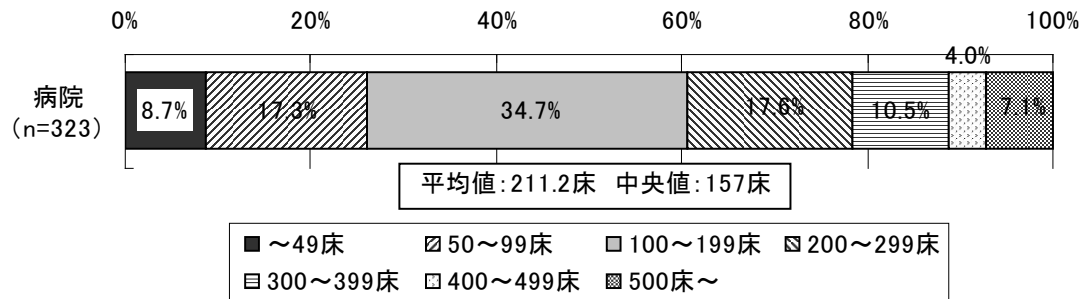
公 的：日本赤十字社、済生会、北海道社会事業協会、全国厚生農業協同組合連合会、国民健康保険団体連合会

社会保険関係団体：全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合

その他の法人：公益法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人

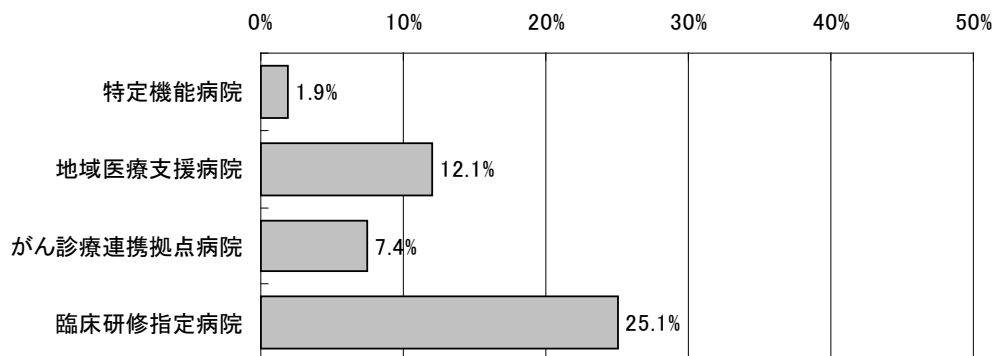
2) 病院の病床規模

図表 68 病院の病床規模



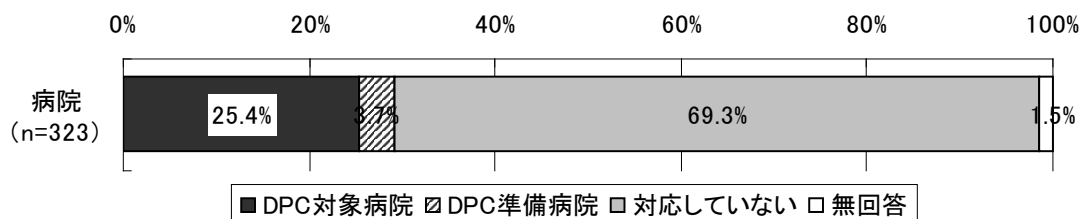
3) 病院の種別

図表 69 病院の種別（複数回答、n=323）



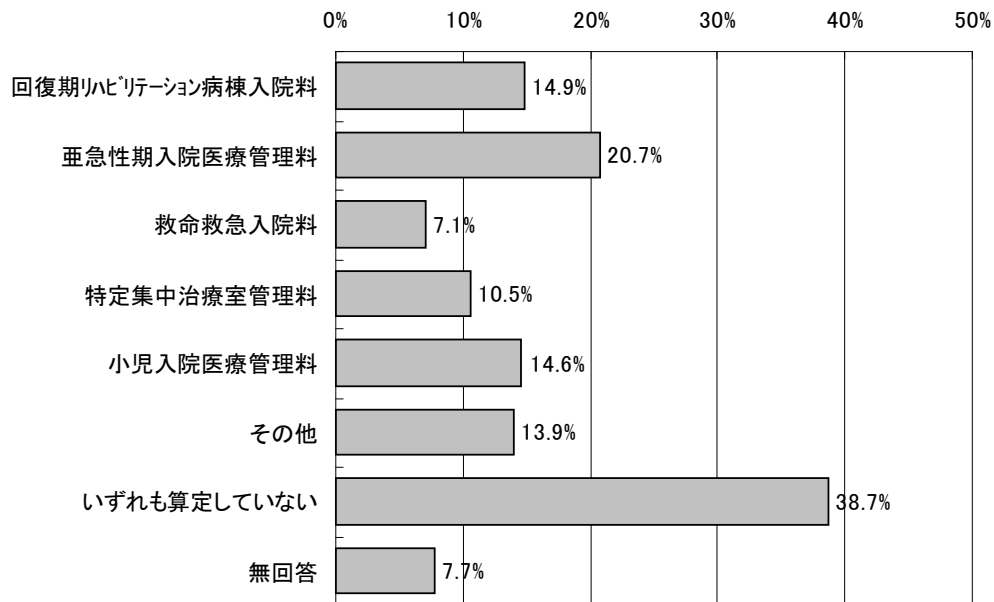
4) D P Cの対応状況

図表 70 D P Cの対応状況



5) 特定入院料の状況

図表 71 特定入院料の状況（複数回答、n=323）

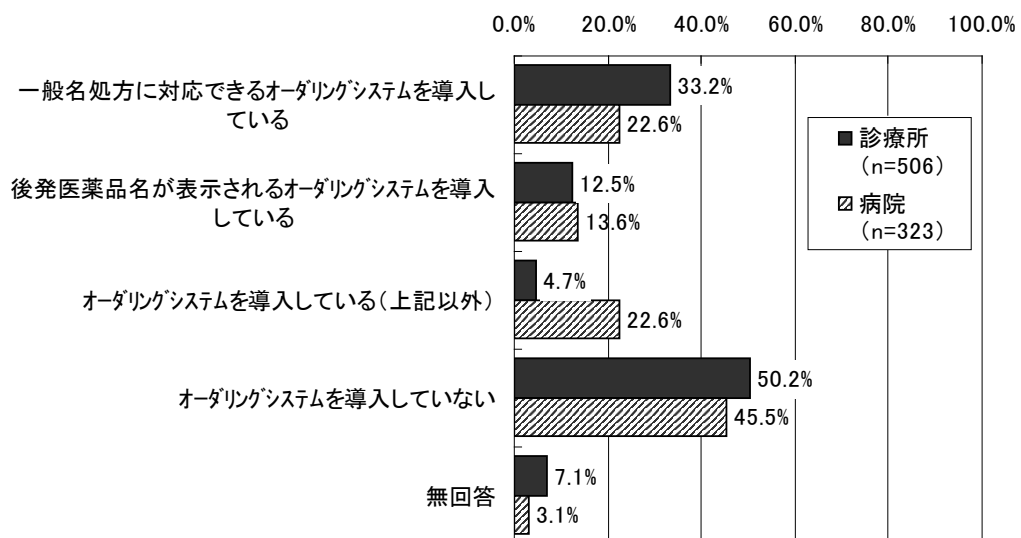


(注)「その他」は、「投薬・注射に係る薬剤料が包括されている特定入院料（精神科救急入院料等）」である。

③オーダリングシステムの導入状況等

1) オーダリングシステムの導入状況

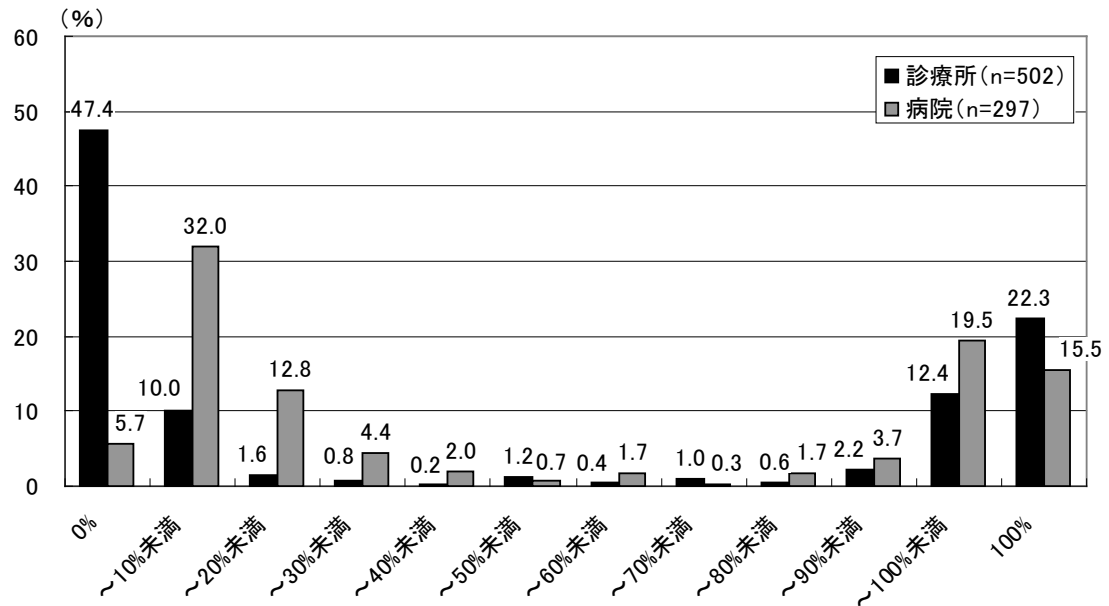
図表 72 オーダリングシステムの導入状況（複数回答）



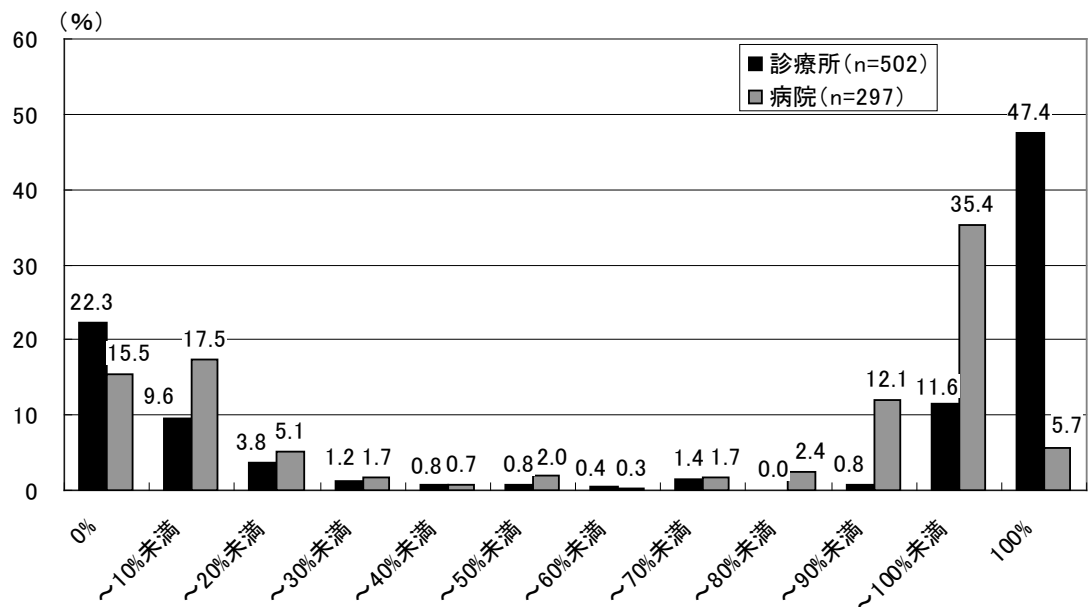
2) 院内処方と院外処方の割合

図表 73 院内処方・院外処方の割合別施設数

【院内処方】



【院外処方】



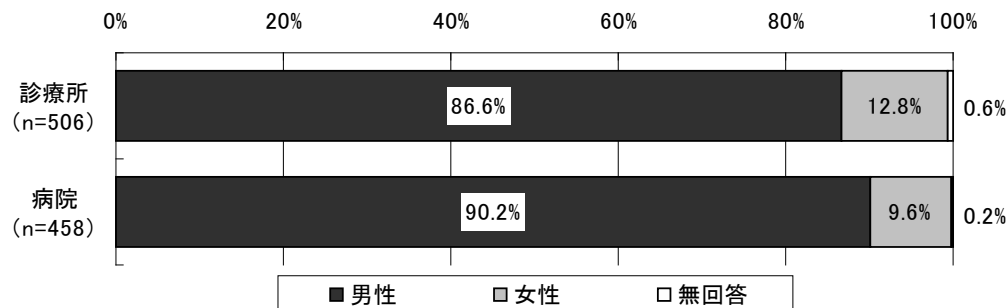
(注) 院内処方、院外処方の割合について回答のあった施設を集計対象とした。

(2) 医師の属性等

①医師の属性

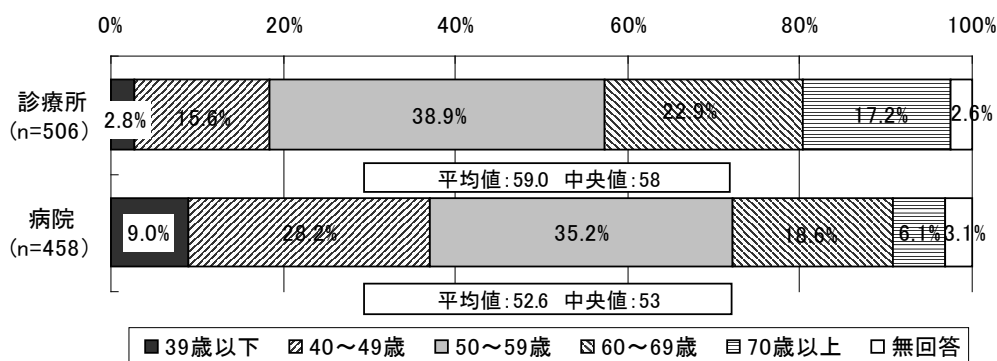
1) 医師の性別

図表 74 医師の性別



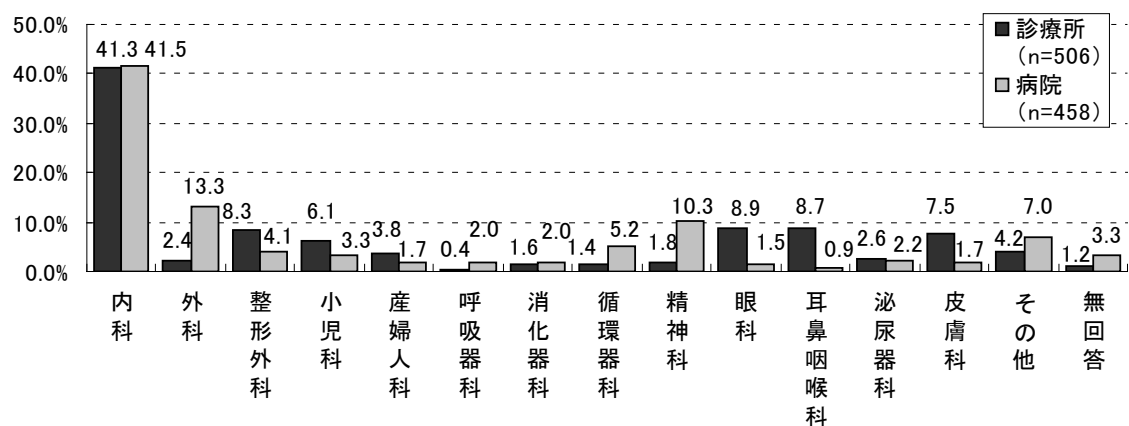
2) 医師の年齢

図表 75 医師の年齢



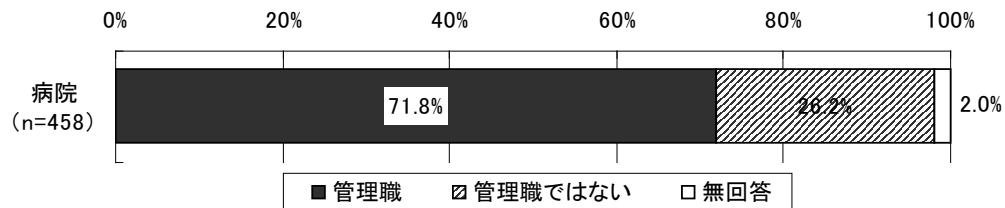
3) 医師の主たる担当診療科

図表 76 医師の主たる担当診療科



4) 病院医師の職位

図表 77 病院医師の職位



(注) 本調査での「管理職」とは、院長、副院長、各診療科の科長職以上。

②病院医師における1日当たり平均外来診察患者数

図表 78 病院医師における1日当たり平均外来診察患者数（医師1人当たり）

	平均値	標準偏差	中央値
1日当たり平均外来診察患者数(人)	28.0	15.8	25.0

(注) 1日当たり平均外来患者診察患者数について回答のあった436人の回答を集計対象とした。

(3) 診療所・病院の診療体制

①診療所の診療体制

図表 79 診療所における1施設当たりの常勤の医師数・薬剤師数

	回答施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
医師数(人)	506	1.2	0.5	1
薬剤師数(人)	501	0.1	0.3	0

②病院の診療体制

図表 80 病院における1施設当たりの医師数・薬剤師数（常勤換算）

	回答施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
医師数(人)	302	34.5	69.6	11
薬剤師数(人)	314	6.8	8.9	4

(4) 診療所・病院における医薬品の備蓄状況等

① 医薬品の備蓄状況等

1) 診療所における医薬品の備蓄状況

図表 81 診療所における医薬品の備蓄状況等

	診療所全体 (n=360)			【無床診療所】院外処方率 50%未満 (n=120)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1. 医薬品備蓄品目数(品目)						
①全医薬品	87.6	135.9	30.0	178.7	169.3	149.0
②①のうち、後発医薬品	21.2	43.2	5.0	45.1	59.1	24.5
③後発医薬品割合(②/①)	24.2%		16.7%	25.2%		16.4%
2. 調剤用医薬品購入額(円)						
①全医薬品	772,185	1,438,136	61,352	1,736,531	1,761,466	1,041,667
②①のうち、後発医薬品	134,451	320,397	464	305,178	418,170	165,000
③後発医薬品割合(②/①)	17.4%		0.8%	17.6%		15.8%
3. 調剤用医薬品廃棄額(円)						
①全医薬品	6,858	31,385	0	13,619	36,291	0
②①のうち、後発医薬品	2,012	13,024	0	3,684	12,306	0
③後発医薬品割合(②/①)	29.3%		—	27.1%		—

	【無床診療所】院外処方率 50%以上 (n=205)			【有床診療所】 (n=33)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1. 医薬品備蓄品目数(品目)						
①全医薬品	22.9	41.0	5.0	159.5	162.6	110.0
②①のうち、後発医薬品	4.8	12.0	0.0	34.7	53.9	15.0
③後発医薬品割合(②/①)	21.0%		0.0%	21.8%		13.6%
2. 調剤用医薬品購入額(円)						
①全医薬品	157,253	659,581	0	1,107,152	1,689,171	450,000
②①のうち、後発医薬品	21,225	97,663	0	212,693	489,787	40,290
③後発医薬品割合(②/①)	13.5%		—	19.2%		9.0%
3. 調剤用医薬品廃棄額(円)						
①全医薬品	932	7,341	0	19,443	72,439	0
②①のうち、後発医薬品	101	899	0	7,922	35,560	0
③後発医薬品割合(②/①)	10.8%		—	40.7%		—

(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

2) 病院における医薬品の備蓄品目数

図表 82 病院における医薬品の備蓄品目数 (n=302)

		①全医薬品	②うち後発医薬品	②／①
内服薬	平均値	414.8	57.8	13.9%
	標準偏差	200.6	41.5	
	中央値	380.5	49.5	13.0%
外用薬	平均値	153.0	23.6	15.5%
	標準偏差	90.5	14.8	
	中央値	126.0	22.0	17.5%
注射薬	平均値	244.6	35.8	14.6%
	標準偏差	172.9	28.7	
	中央値	190.5	27.0	14.2%
合計	平均値	812.4	117.3	14.4%
	標準偏差	433.1	67.3	
	中央値	678.0	103.0	15.2%

(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

図表 83 病院における医薬品の備蓄品目数（病院種別）

		特定機能病院 (n=6)			DPC 対象病院 (特定機能病院を除く) (n=74)		
		①全医薬品	②うち後発医薬品	②／①	①全医薬品	②うち後発医薬品	②／①
内服薬	平均値	836.2	43.7	5.2%	591.3	57.5	9.7%
	標準偏差	137.7	28.0		173.7	42.3	
	中央値	845.5	37.0	4.4%	566.0	43.5	7.7%
外用薬	平均値	316.5	55.5	17.5%	240.0	30.2	12.6%
	標準偏差	65.2	49.7		89.1	12.4	
	中央値	295.0	39.0	13.2%	238.0	30.5	12.8%
注射薬	平均値	712.3	66.3	9.3%	435.3	70.6	16.2%
	標準偏差	68.8	18.2		118.2	27.0	
	中央値	707.5	67.5	9.5%	440.5	69.0	15.7%
合計	平均値	1865.0	165.5	8.9%	1266.6	158.3	12.5%
	標準偏差	227.5	67.0		322.4	67.9	
	中央値	1852.5	155.0	8.4%	1277.5	149.0	11.7%

		DPC 準備病院 (n=12)			それ以外の病院 (n=210)		
		①全医薬品	②うち後発医薬品	②／①	①全医薬品	②うち後発医薬品	②／①
内服薬	平均値	568.8	38.9	6.8%	331.8	59.4	17.9%
	標準偏差	187.2	23.8		143.9	42.2	
	中央値	630.5	32.0	5.1%	320.0	51.0	15.9%
外用薬	平均値	217.7	22.0	10.1%	113.9	20.5	18.0%
	標準偏差	73.9	10.3		58.4	11.9	
	中央値	220.0	22.0	10.0%	102.5	18.5	18.0%
注射薬	平均値	367.6	34.3	9.3%	157.0	22.8	14.5%
	標準偏差	156.8	14.5		95.0	17.0	
	中央値	410.5	33.0	8.0%	136.0	20.0	14.7%
合計	平均値	1154.0	95.2	8.2%	602.7	102.7	17.0%
	標準偏差	384.2	31.3		262.9	62.1	
	中央値	1276.5	91.5	7.2%	567.5	88.0	15.5%

(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

3) 病院における医薬品の購入金額・廃棄額

図表 84 病院における医薬品購入額・廃棄額（平成 24 年 8 月 1 か月間、n=227）

	平均値	標準偏差	中央値
調剤用医薬品購入金額(円)			
①全医薬品	34,287,156	69,543,875	8,917,975
②後発医薬品	2,438,962	4,201,099	960,000
③後発医薬品割合(②/①)	7.1%		10.8%
調剤用医薬品廃棄額(円)			
①全医薬品	49,170	110,115	7,518
②後発医薬品	3,970	15,969	0
③後発医薬品割合(②/①)	8.1%		0.0%

(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

図表 85 病院における医薬品購入額・廃棄額（病院種別、平成 24 年 8 月 1 か月間）

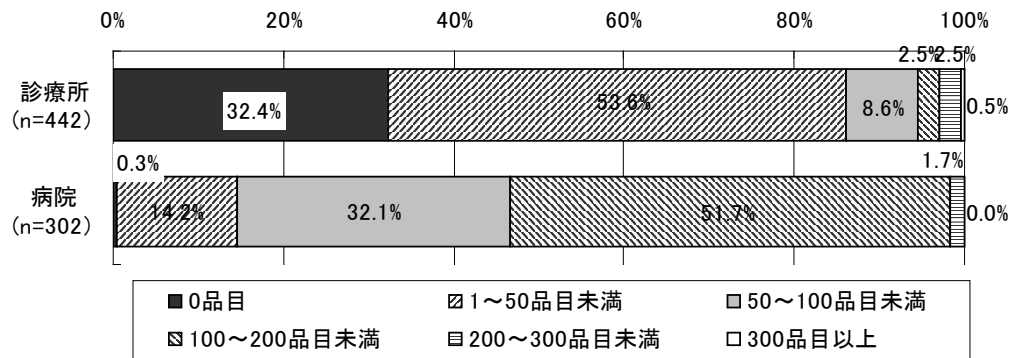
	特定機能病院(n=4)			DPC 対象病院(特定機能病院を除く) (n=57)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
調剤用医薬品購入金額(円)						
①全医薬品	285,932,691	175,011,496	289,328,338	75,005,119	83,476,637	49,579,448
②後発医薬品	15,706,399	5,420,143	14,574,748	5,364,097	5,850,014	4,604,785
③後発医薬品割合(②/①)	5.5%		5.0%	7.2%		9.3%
調剤用医薬品廃棄額(円)						
①全医薬品	442,166	308,267	526,070	84,237	126,740	55,714
②後発医薬品	17,101	13,098	18,342	4,517	13,538	0
③後発医薬品割合(②/①)	3.9%		3.5%	5.4%		0.0%

	DPC 準備病院 (n=9)			それ以外の病院 (n=157)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
調剤用医薬品購入金額(円)						
①全医薬品	45,785,777	80,295,343	16,500,000	12,433,693	29,455,270	5,268,140
②後発医薬品	1,934,752	2,215,671	1,097,000	1,067,850	1,708,940	623,799
③後発医薬品割合(②/①)	4.2%		6.6%	8.6%		11.8%
調剤用医薬品廃棄額(円)						
①全医薬品	49,042	97,281	10,000	26,434	67,510	2,920
②後発医薬品	270	425	0	3,656	17,146	0
③後発医薬品割合(②/①)	0.6%		0.0%	13.8%		0.0%

(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

4) 診療所・病院における後発医薬品の備蓄品目数

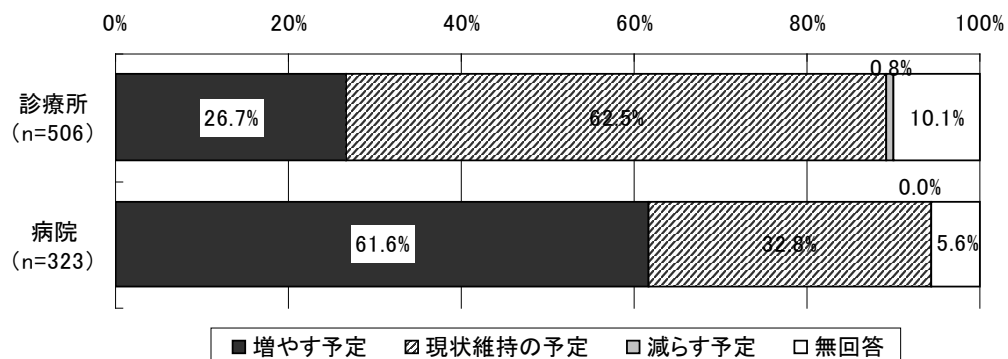
図表 86 後発医薬品の備蓄品目数



(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

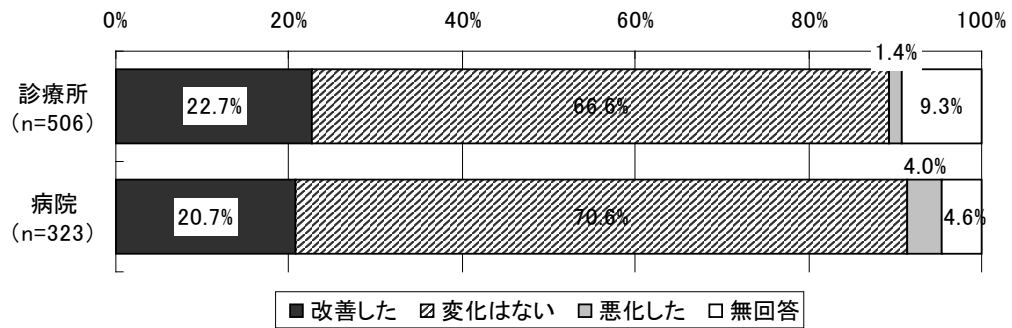
②診療所・病院における後発医薬品備蓄品目数の今後の予定

図表 87 診療所・病院における後発医薬品備蓄品目数の今後の予定



③後発医薬品の供給体制（1年前と比較して）

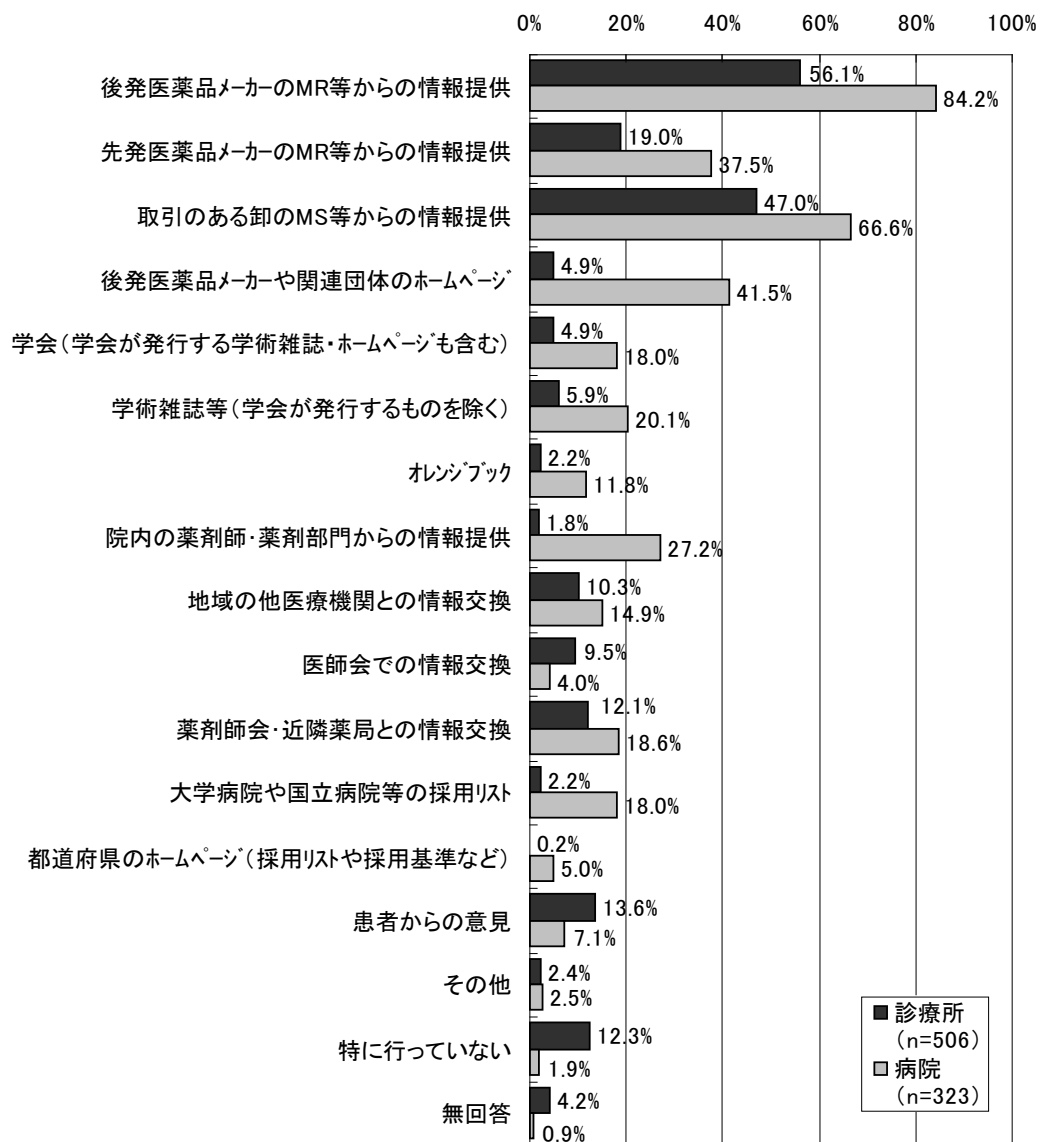
図表 88 後発医薬品の供給体制（1年前と比較して）



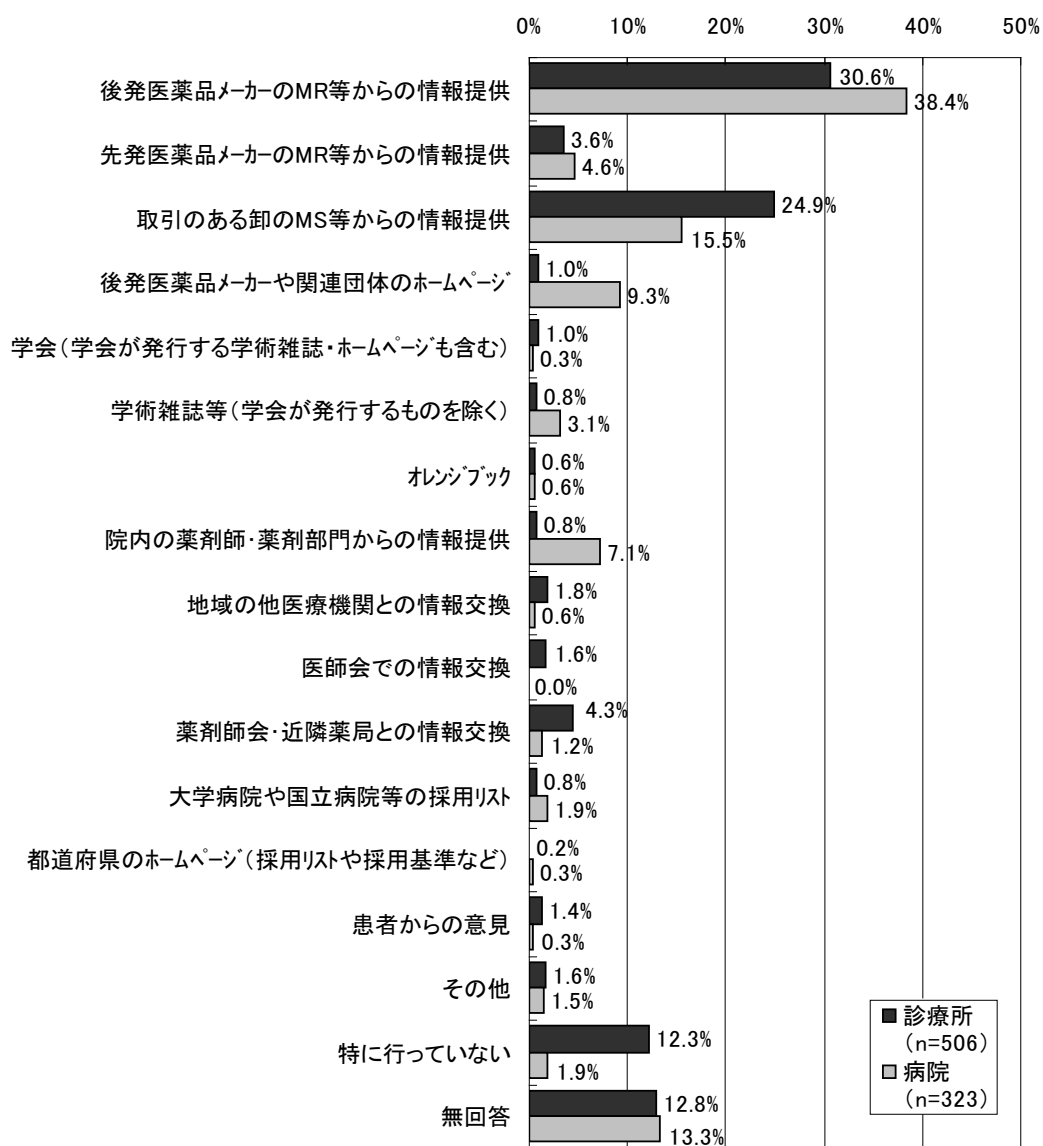
(5) 診療所・病院における後発医薬品の採用状況等

①後発医薬品に関する情報の収集源

図表 89 診療所・病院における後発医薬品に関する情報の収集源（複数回答）

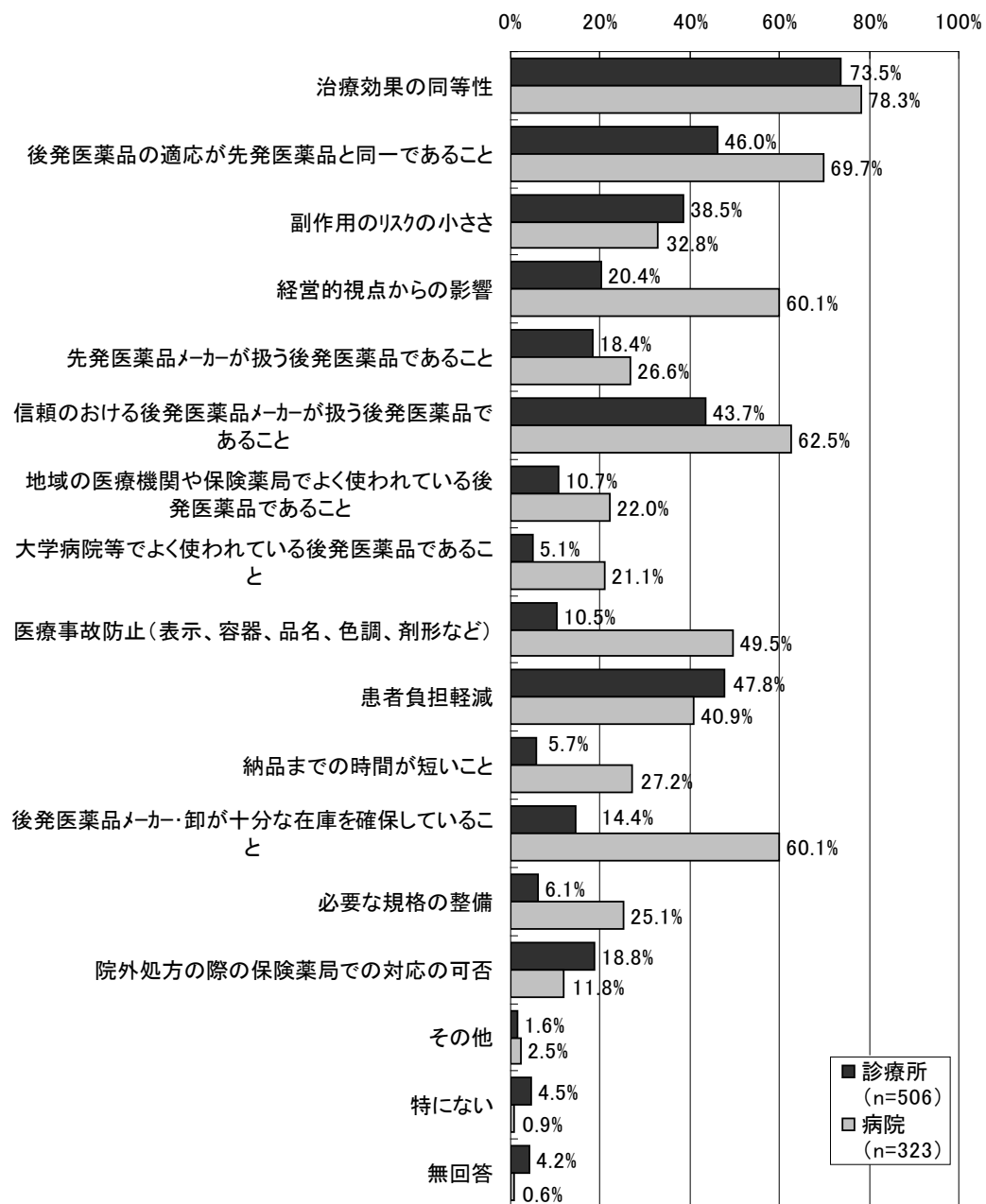


図表 90 診療所・病院における、最も活用している後発医薬品に関する情報の収集源
(単数回答)

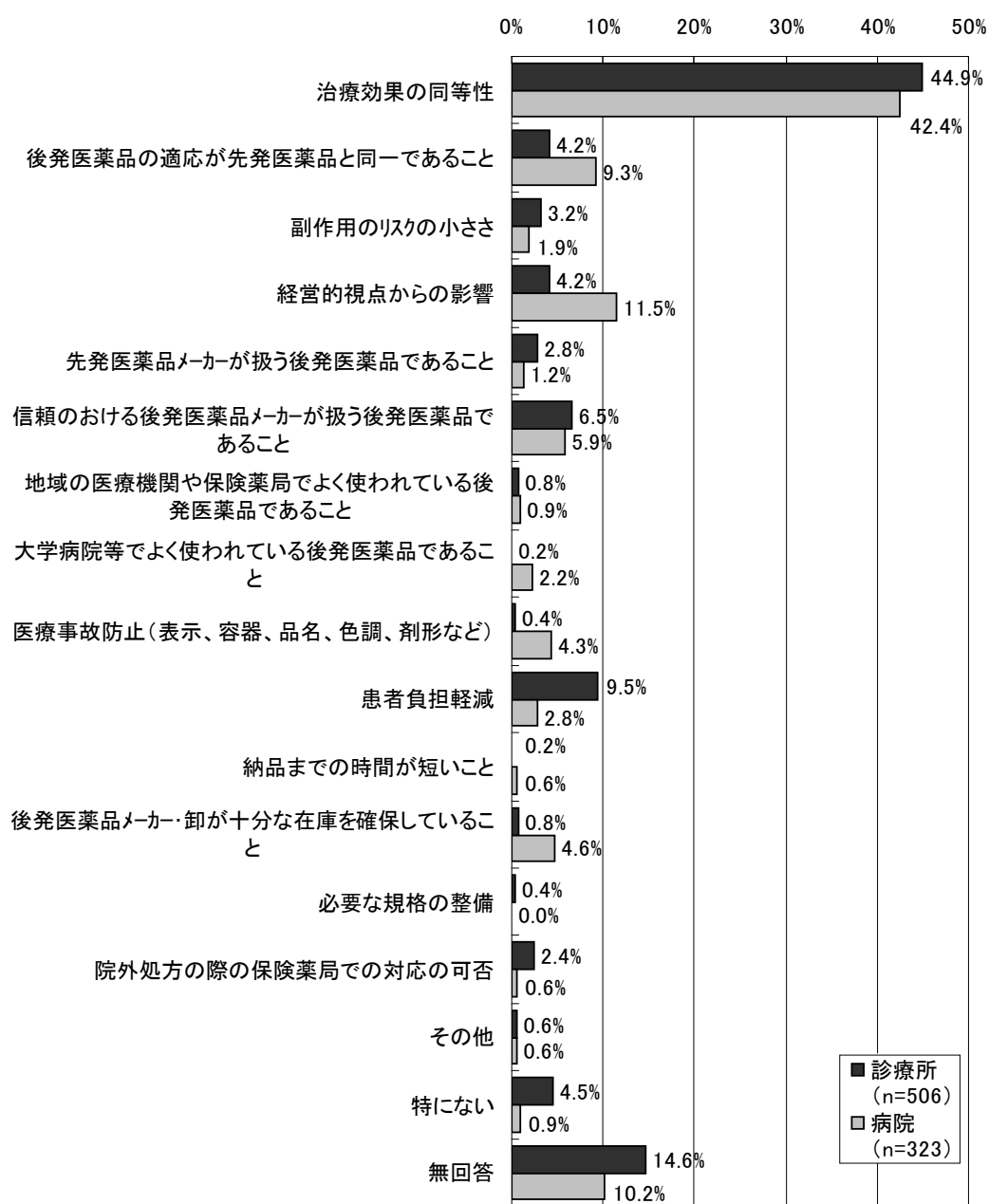


②後発医薬品を採用する際に重視すること

図表 91 診療所・病院における後発医薬品を採用する際に重視すること（複数回答）

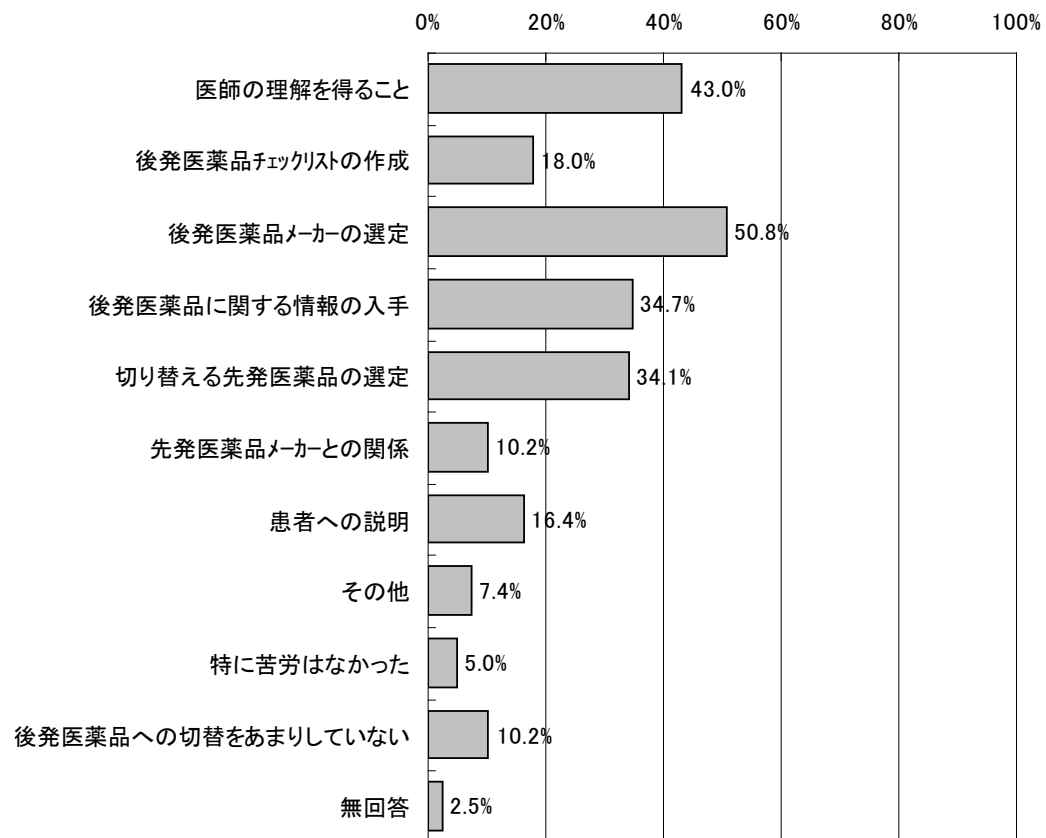


図表 92 診療所・病院における後発医薬品を採用する際に最も重視すること（単数回答）



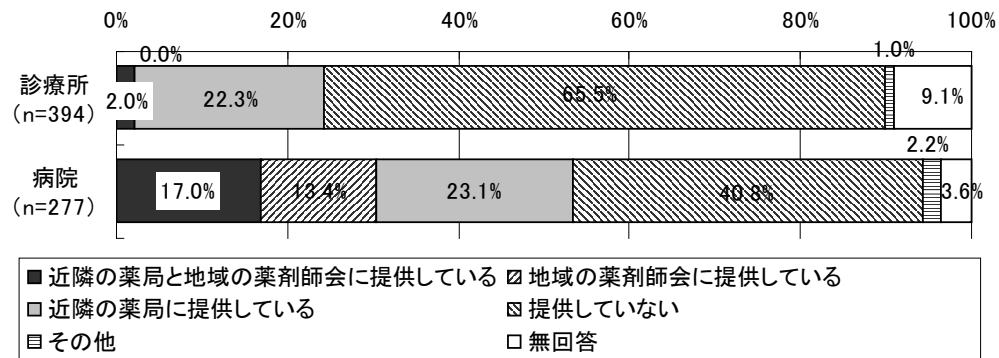
③後発医薬品の導入・切替の際に苦労したこと（病院のみ）

図表 93 後発医薬品の導入・切替の際に苦労したこと（病院、n=323、複数回答）



④後発医薬品リストの近隣薬局・地域薬剤師会等への提供状況

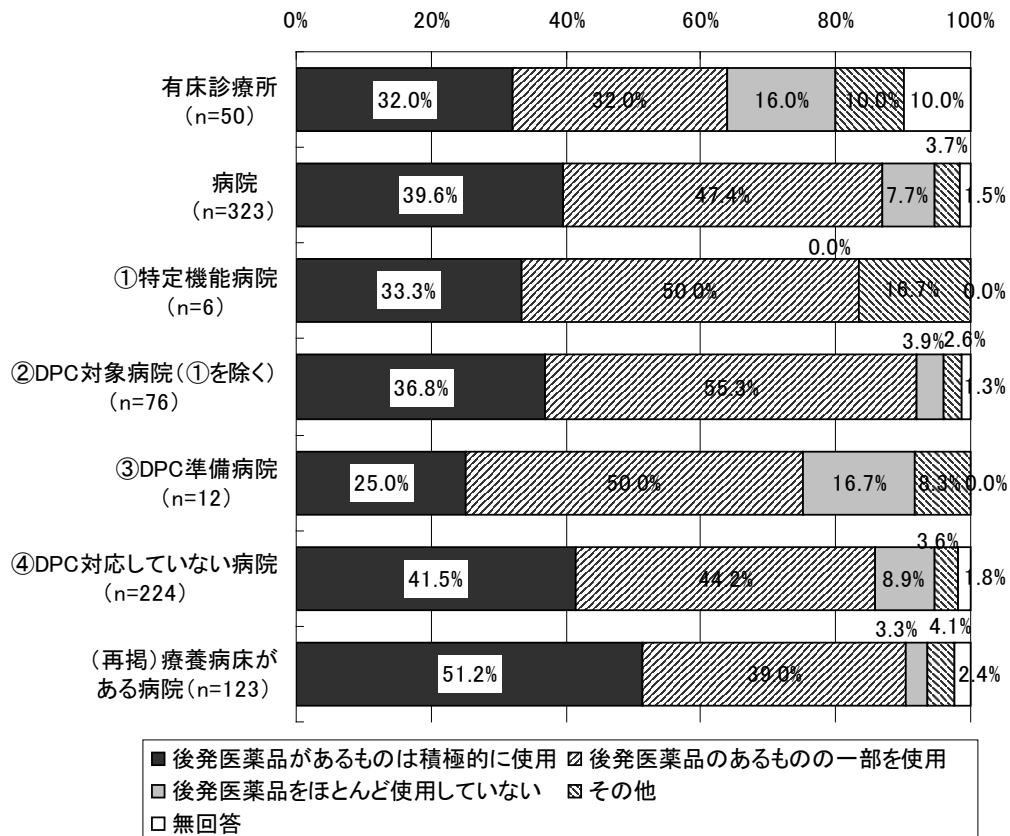
図表 94 後発医薬品リストの近隣薬局・地域薬剤師会等への提供状況
(院外処方せんを発行している施設のみ)



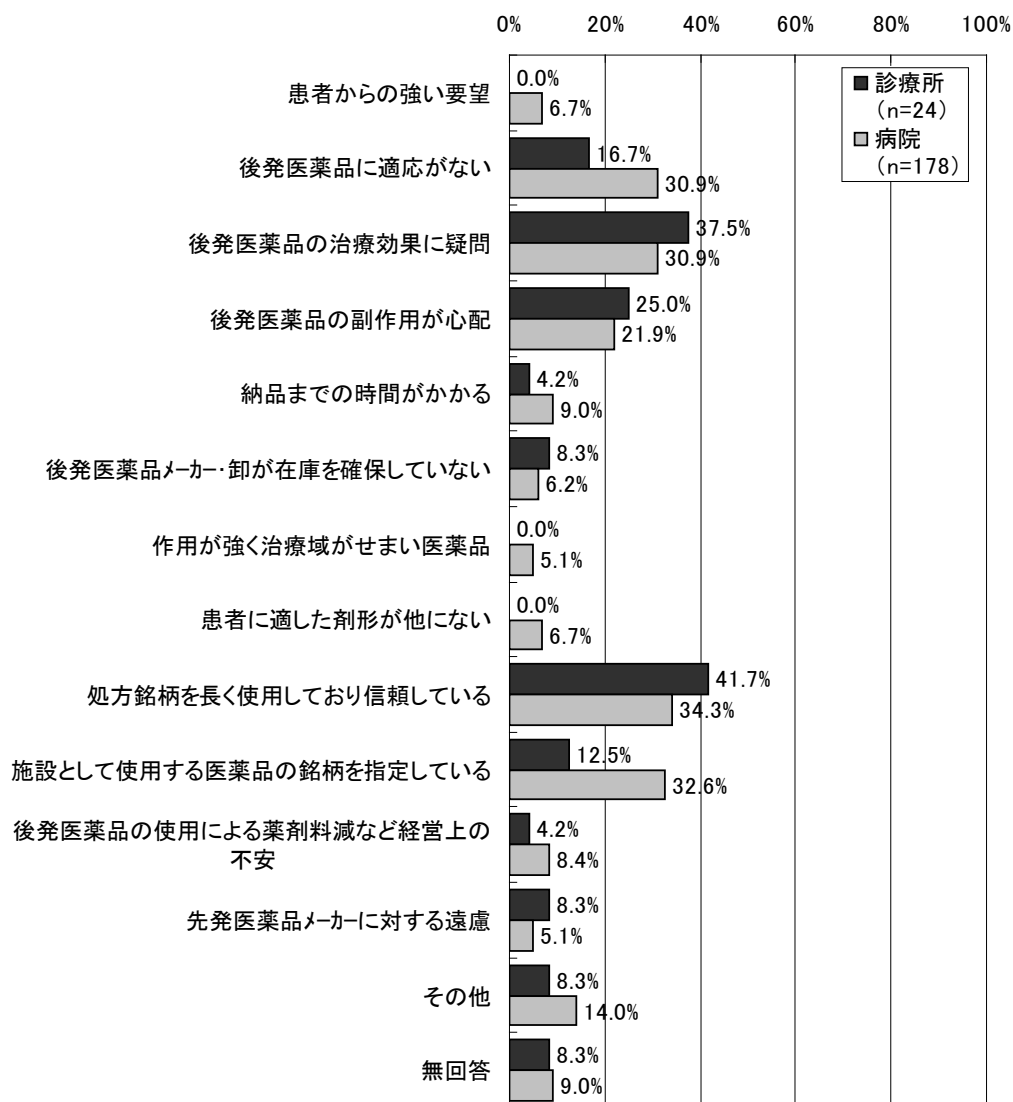
(6) 入院患者に対する後発医薬品の使用状況等

①入院患者に対する後発医薬品の使用状況

図表 95 入院患者に対する後発医薬品の使用状況

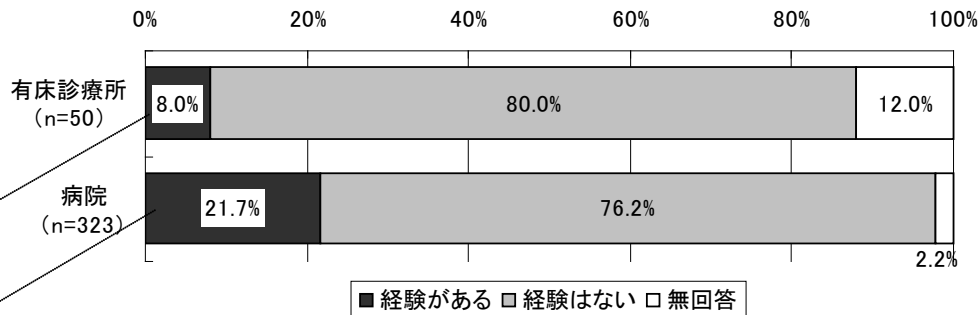


図表 96 入院患者に対して後発医薬品を選択しなかった理由
 (「後発医薬品のあるものの一部を使用」または「後発医薬品をほとんど使用していない」
 と回答した有床診療所・病院、複数回答)

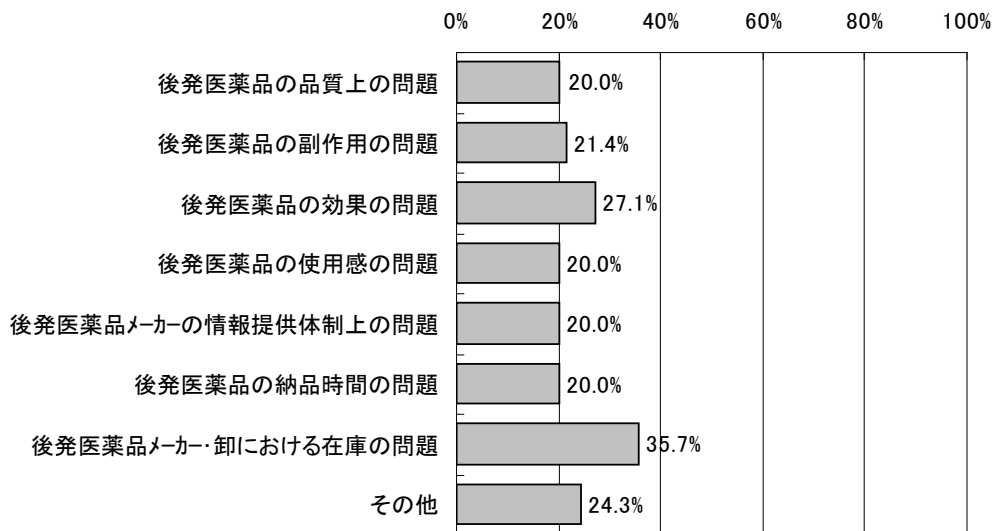


②入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験の有無（平成 24 年 4 月以降）

図表 97 入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験の有無
（平成 24 年 4 月以降）



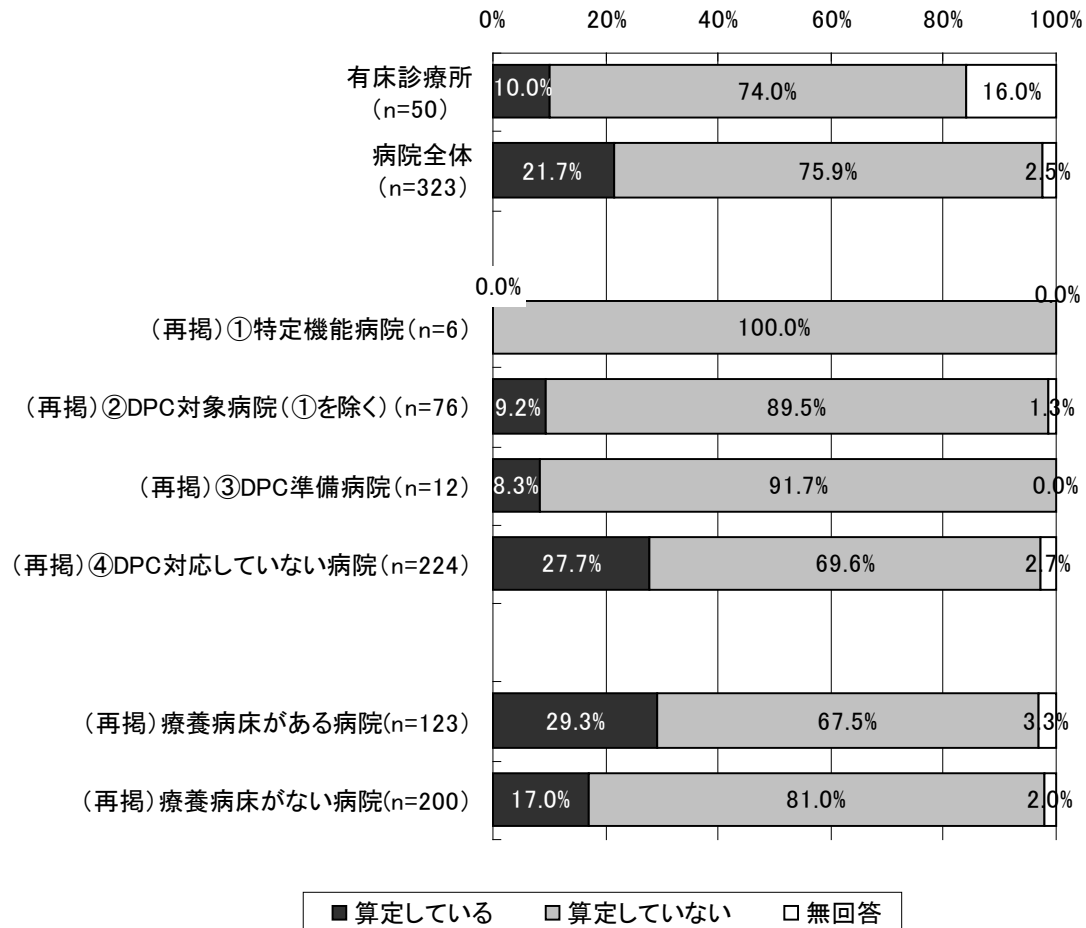
図表 98 「入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験がある」と回答した病院における、後発医薬品使用で生じた問題（複数回答、n=70）



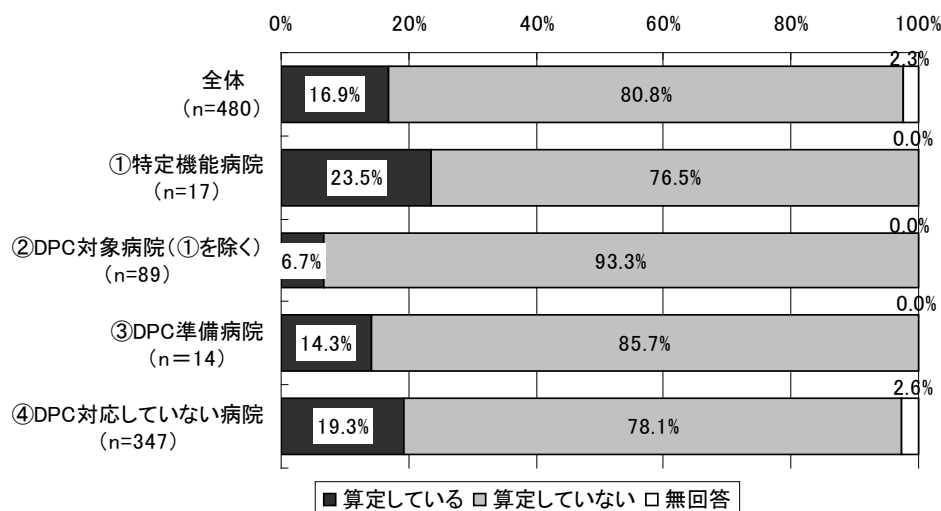
※有床診療所 4 件の回答は、「後発医薬品の効果の問題」が 2 件、「後発医薬品の使用感の問題」が 1 件、「その他」が 2 件であった。

③後発医薬品使用体制加算の状況

図表 99 後発医薬品使用体制加算の状況



(参考) 前回調査



図表 100 後発医薬品使用体制加算の種類

	有床診療所		病院		(再掲)療養病床がある病院	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
全体	5	100.0%	70	100.0%	36	100.0%
後発医薬品使用体制加算 1	2	40.0%	26	37.1%	17	47.2%
後発医薬品使用体制加算 2	2	40.0%	36	51.4%	16	44.4%
無回答	1	20.0%	8	11.4%	3	8.3%

図表 101 後発医薬品使用体制加算の施設基準の届出時期

	有床診療所		病院		(再掲)療養病床がある病院	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
全体	5	100.0%	70	100.0%	36	100.0%
平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月	1	20.0%	19	27.1%	12	33.3%
平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	0	0.0%	10	14.3%	3	8.3%
平成 24 年 4 月以降	2	40.0%	36	51.4%	20	55.6%
無回答	2	40.0%	5	7.1%	1	2.8%

図表 102 後発医薬品使用体制加算の算定回数（平成 24 年 8 月 1 か月間）

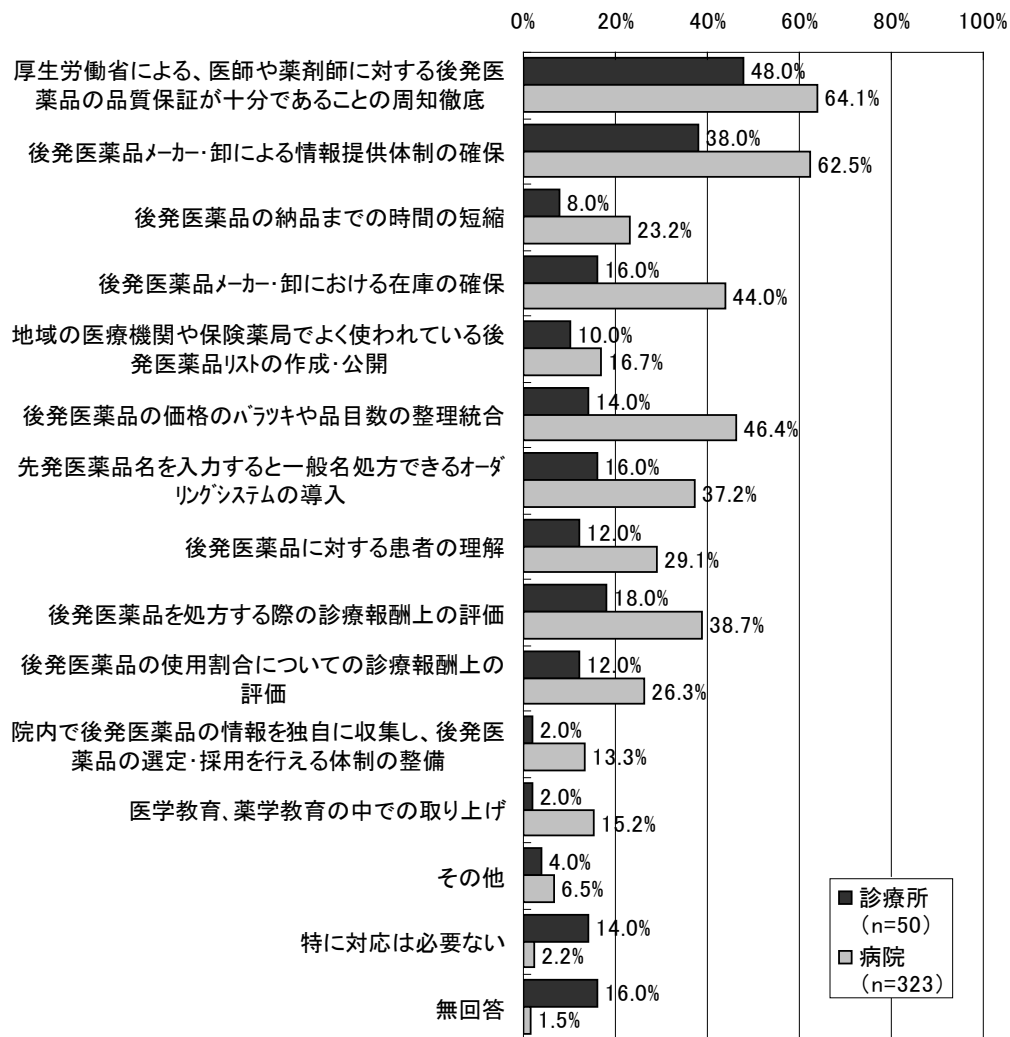
(単位：回)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
有床診療所	2	89.0	77.8	89
病院全体	55	43.4	49.8	23
(再掲)①特定機能病院	0	—	—	—
②DPC 対象病院(①を除く)	7	1.4	1.8	0
③DPC 準備病院	0	—	—	—
④DPC 対応していない病院	48	49.5	50.5	32.5
(再掲)療養病床がある病院	31	44.2	51.5	30

(注)「後発医薬品使用体制加算」について「算定している」と回答した施設は有床診療所が 5 施設、病院全体が 70 施設、①特定機能病院が 0 施設、②DPC 対象病院(①を除く)が 7 施設、③DPC 準備病院が 1 施設、④DPC 対応していない病院が 62 施設あった。このうち、平成 24 年 8 月 1 か月間の「後発医薬品使用体制加算」の算定回数について回答があった施設(上記図表中の「件数」)を集計対象とした。

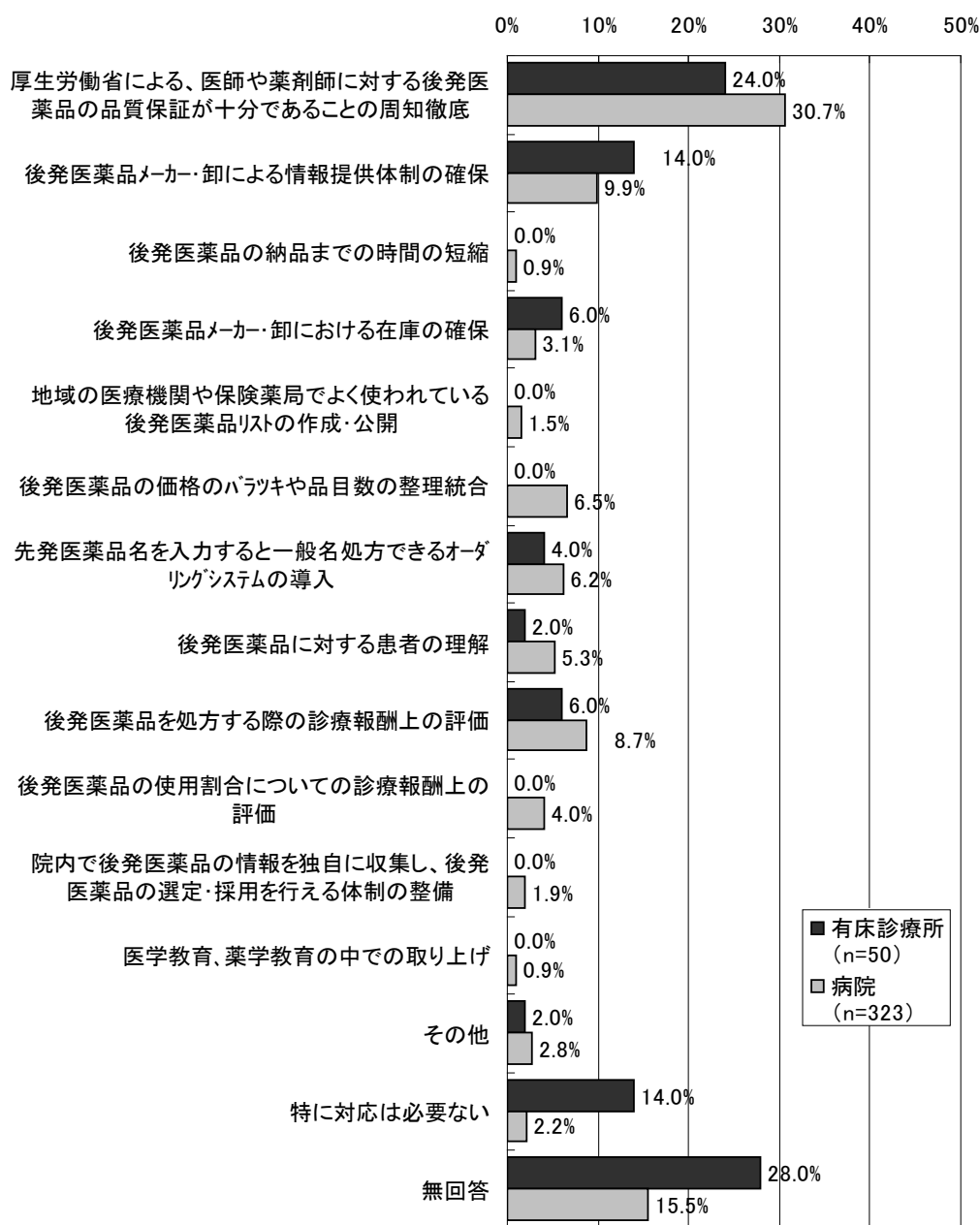
④今後どのような対応が進めば施設として入院患者等*に後発医薬品の使用を進めてもよいと思うか

図表 103 今後どのような対応が進めば施設として入院患者等に後発医薬品の使用を進めてもよいと思うか（複数回答）



（注）ここでは、入院患者への投薬・注射の他、外来患者への院内投薬を含むため、「入院患者等」とした。

図表 104 今後どのような対応が進めば施設として入院患者等に後発医薬品の使用を進めてもよいと思うか（最も重要なもの、単数回答）

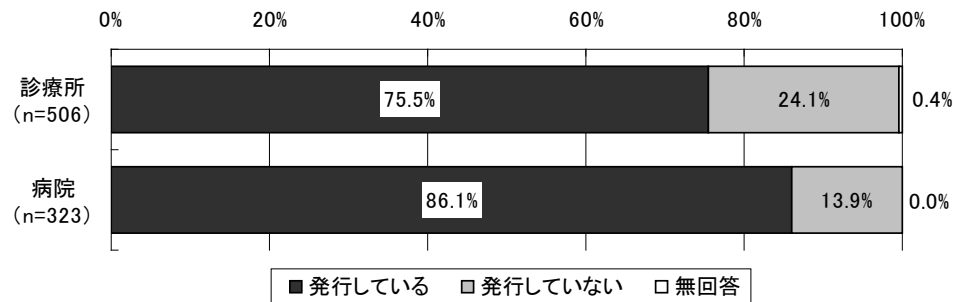


（注）ここでは、入院患者への投薬・注射の他、外来患者への院内投薬を含むため、「入院患者等」とした。

(7) 外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（施設ベース）

①院外処方せん発行状況（平成 24 年 4 月以降）

図表 105 院外処方せん発行状況（平成 24 年 4 月以降）



②外来診療の状況

図表 106 診療所・病院における外来診療の状況（平成 24 年 8 月 1 か月間）

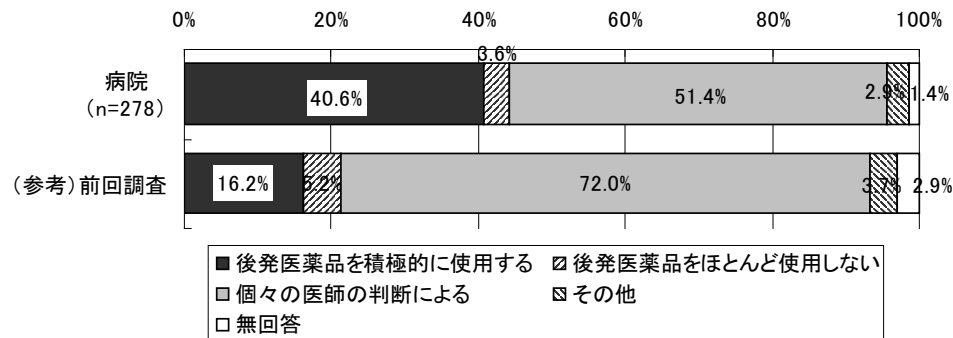
	診療所 (n=310)			病院 (n=224)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
①外来診療実日数(日)	19.2	4.8	20.0	23.7	2.9	23.0
②外来延べ患者数(人)	1,192.5	856.7	1,055.0	7,185.5	8,258.0	4,186.5
③処方せん料の算定回数(回)	737.3	688.2	620.5	3,185.3	3,680.6	1,805.5
④一般名処方加算の算定回数(回)	278.1	381.5	80.5	308.1	743.2	0.0
⑤一般名処方加算算定率(④／③)	37.7%		13.0%	9.7%		0.0%

(注)・上記①～④のすべての項目について回答が施設を集計対象とした。

・「半日」の場合は 0.5 日とした。

③病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院外処方する場合の施設としての対応方針

図表 107 病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院外処方する場合の施設としての対応方針

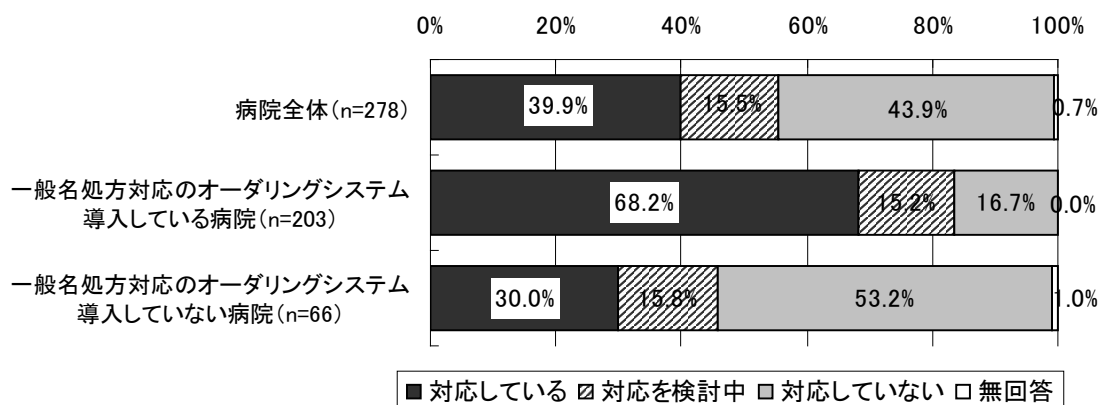


(注) ・院外処方を実施している施設を対象として集計した。
 ・今回調査の「後発医薬品を積極的に使用する」には、後発医薬品の銘柄処方のほか、一般名処方や院外処方せんの後発医薬品への「変更不可」欄にチェック等を行わない場合を含む。

④病院における一般名処方による処方せん発行への対応状況等

1) 病院における一般名処方による処方せん発行への対応状況

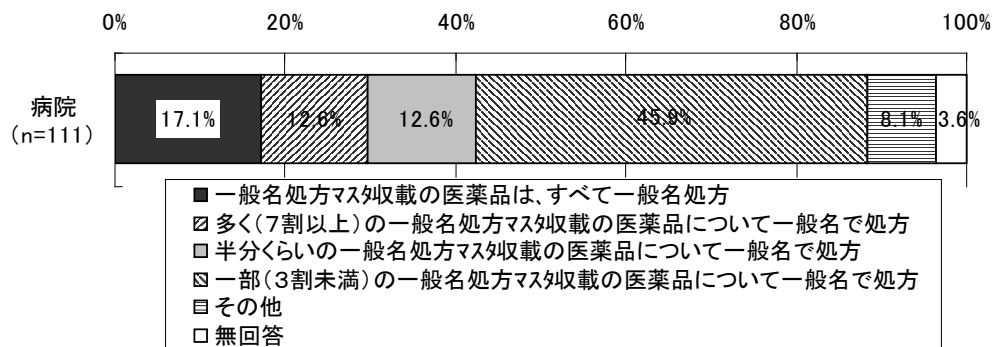
図表 108 病院における、一般名処方による処方せん発行への対応状況
 (平成 24 年 4 月以降、オーダリングシステム導入状況別)



(注) 院外処方を実施している施設を対象として集計した。

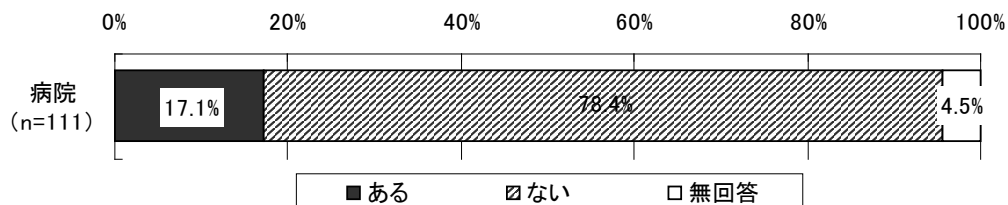
2) 病院における一般名処方による処方せんの発行状況

図表 109 病院における一般名処方による処方せんの発行状況
(一般名処方による処方せん発行に対応している病院)



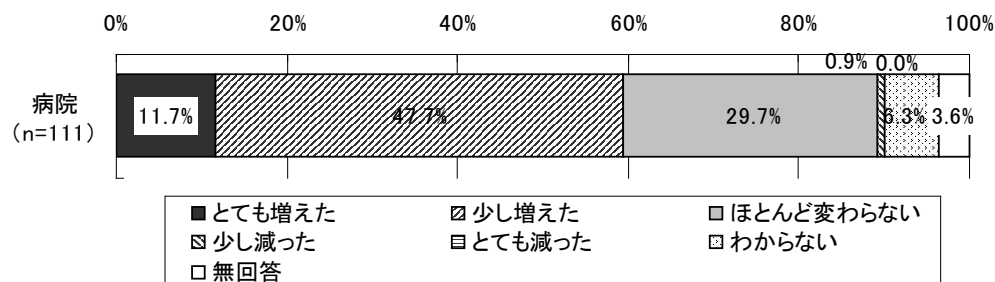
3) 病院における、一般名処方による処方せん発行により患者から相談や問合せを受けた経験の有無

図表 110 一般名処方による処方せんの発行により患者から相談や問合せを受けた経験の有無 (一般名処方による処方せん発行に対応している病院)



4) 病院における、一般名処方による処方せん発行による事務的な負担の変化

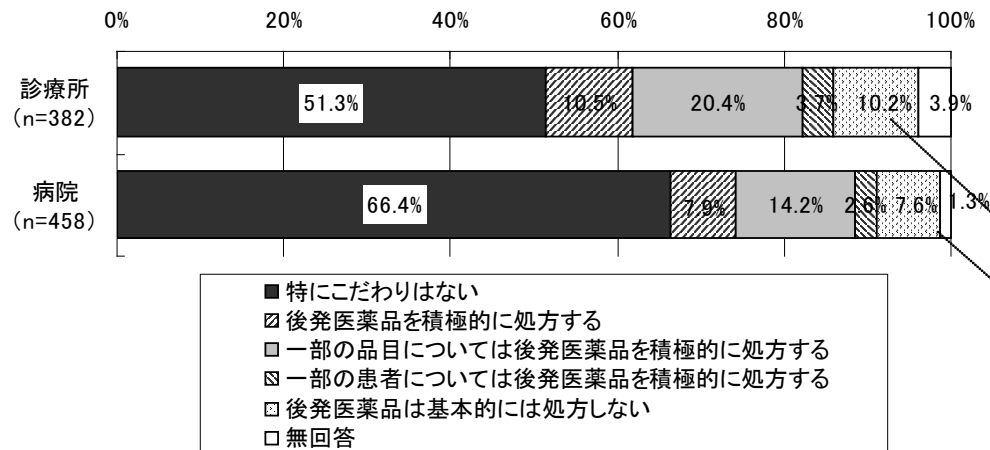
図表 111 一般名処方による処方せんの発行による事務的な負担の変化
(一般名処方による処方せん発行に対応している病院)



(8) 外来診療における院外処方せん発行時や後発医薬品の処方に関する医師の考え等
(医師ベース)

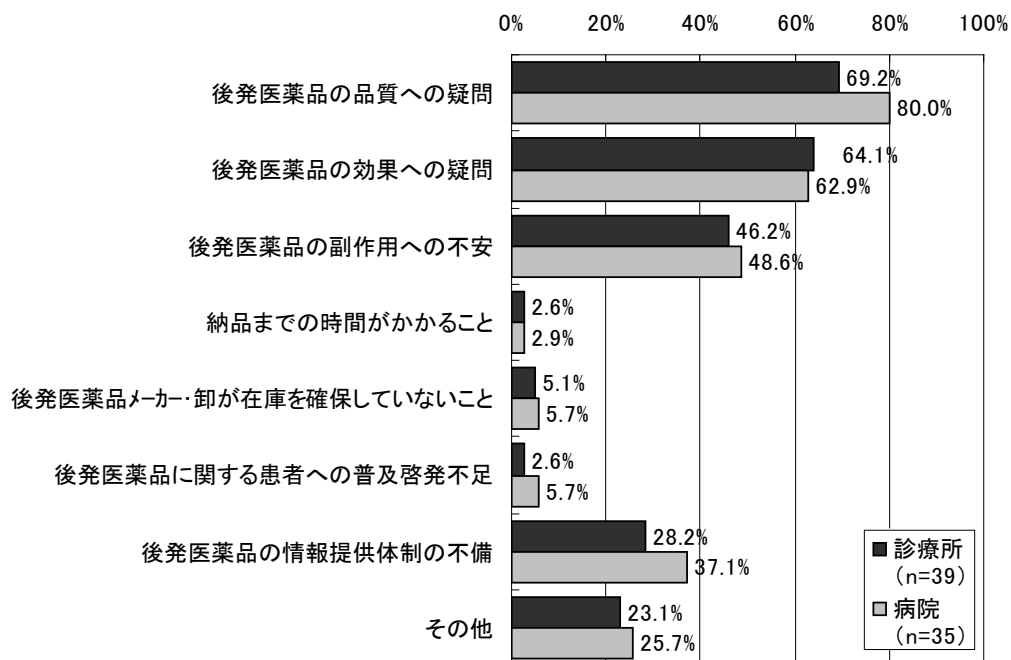
①外来診療における後発医薬品の処方に関する考え

図表 112 外来診療における後発医薬品の処方に関する考え (医師ベース)



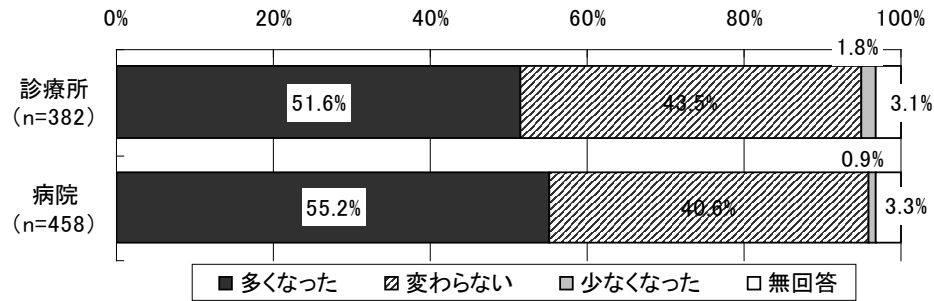
(注) 「特にこだわりはない」は一般名処方や「変更不可」欄にチェック等を行わない場合を含む。

図表 113 外来診療において後発医薬品を基本的には処方しない理由
(「後発医薬品は基本的には処方しない」と回答した医師、複数回答、医師ベース)



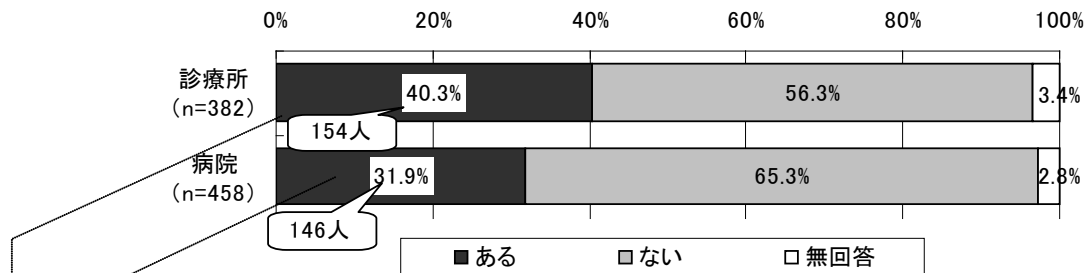
②外来診療における後発医薬品の処方の変化（１年前と比較して）

図表 114 外来診療における後発医薬品の処方の変化（１年前と比較して）（医師ベース）

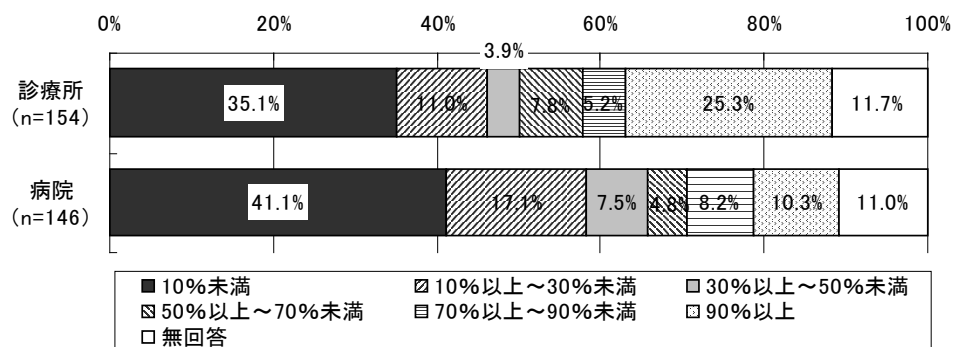


③後発医薬品への「変更不可」欄にチェックした処方せんの発行経験等（平成 24 年 4 月以降）

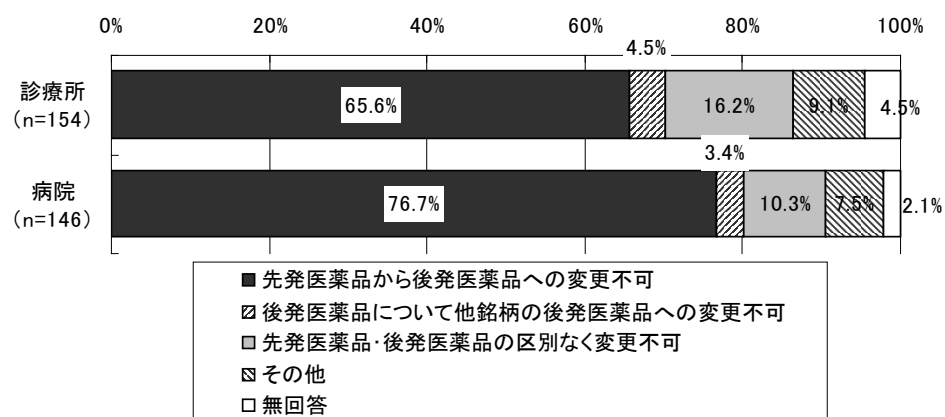
図表 115 後発医薬品への「変更不可」欄にチェックした処方せんの発行経験の有無
（平成 24 年 4 月以降、医師ベース）



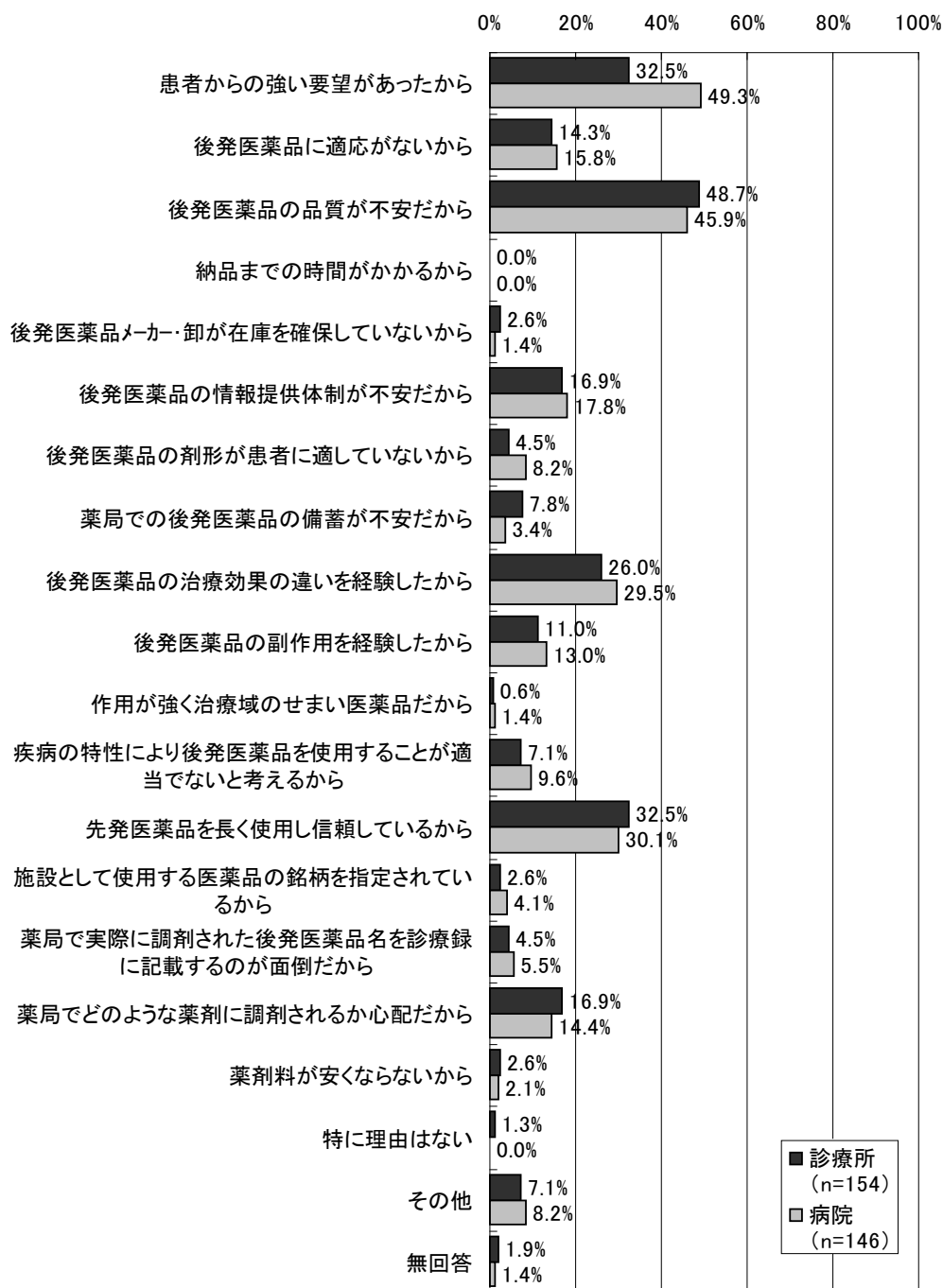
図表 116 院外処方せん枚数全体に占める、「変更不可」欄にチェックした処方せんの割合（医師ベース）



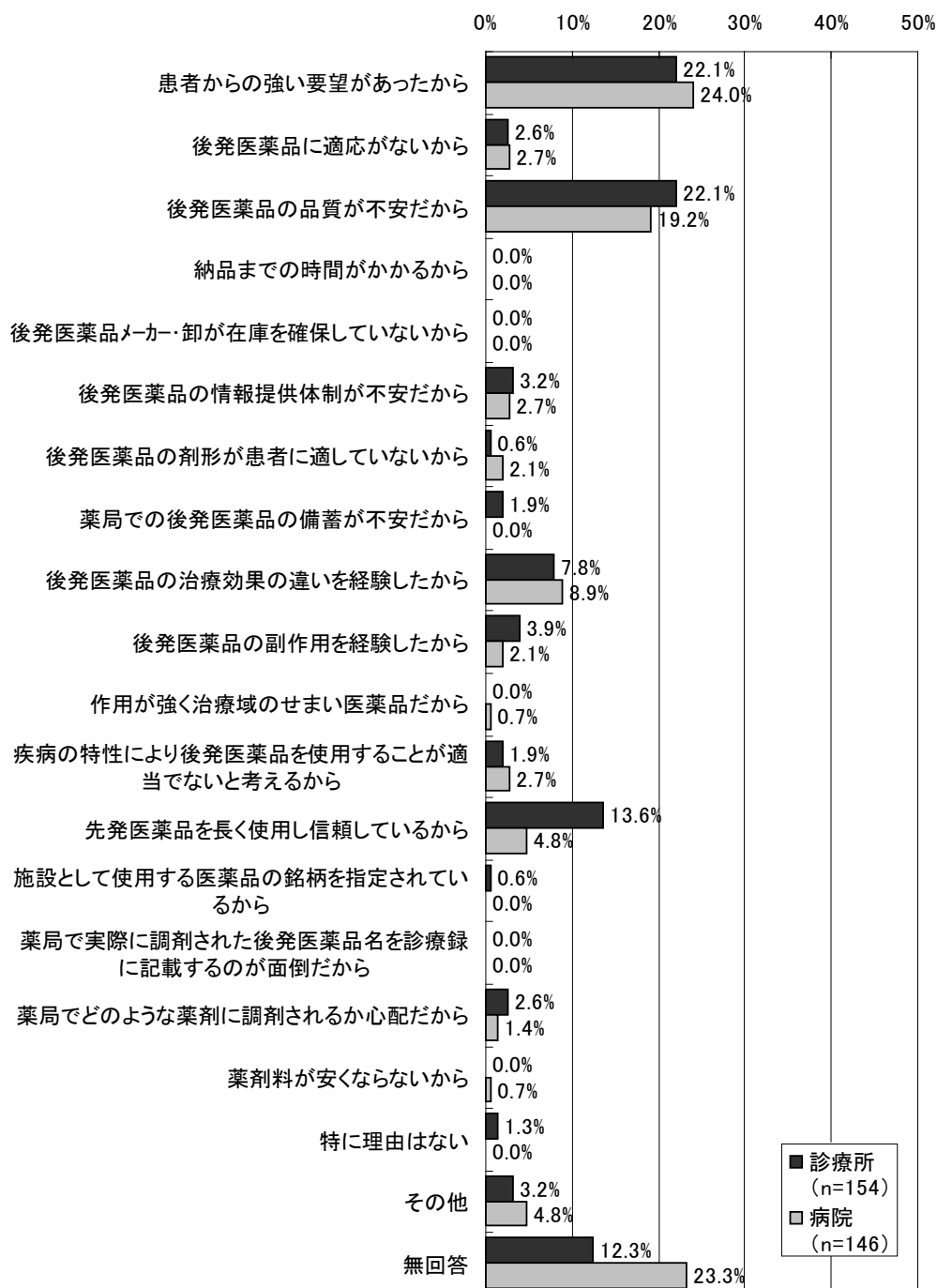
図表 117 一部の医薬品について「変更不可」とするケースとして最も多いもの
（平成 24 年 4 月以降、医師ベース）



図表 118 一部の医薬品について「変更不可」とする理由（医師ベース、複数回答）



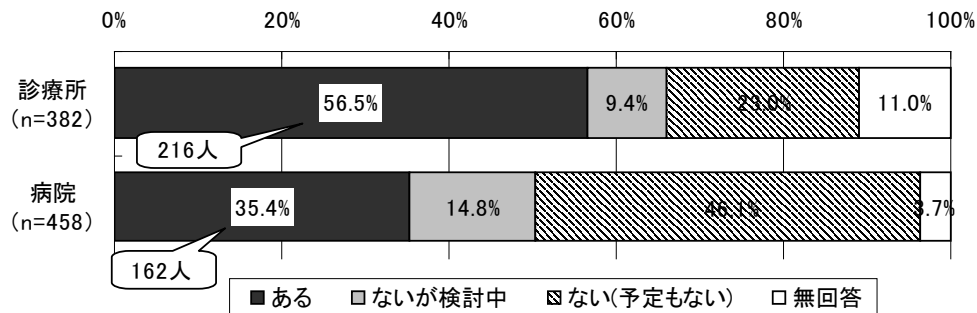
図表 119 一部の医薬品について「変更不可」とする最も多い理由
(医師ベース、単数回答)



④一般名処方による処方せん発行の経験等（平成 24 年 4 月以降）

1) 一般名処方による処方せん発行の経験の有無（平成 24 年 4 月以降、医師ベース）

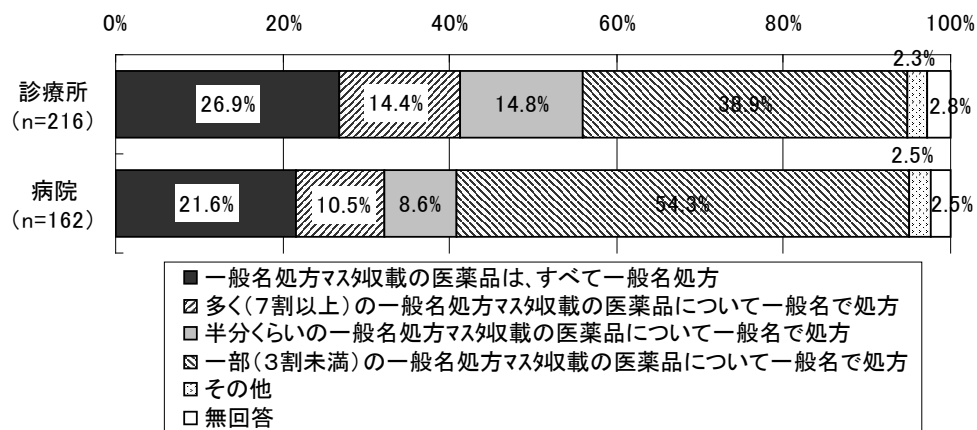
図表 120 一般名処方による処方せん発行の経験の有無（平成 24 年 4 月以降、医師ベース）



2) 一般名処方による処方せんの発行状況（平成 24 年 4 月以降、医師ベース）

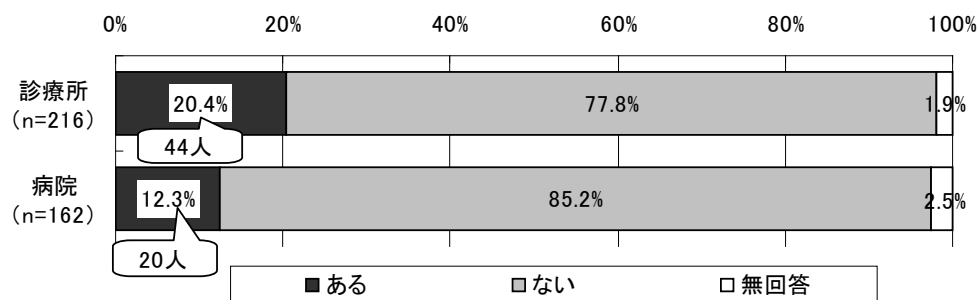
図表 121 一般名処方による処方せんの発行状況

（平成 24 年 4 月以降、一般名処方による処方せんの発行の経験のある医師、医師ベース）



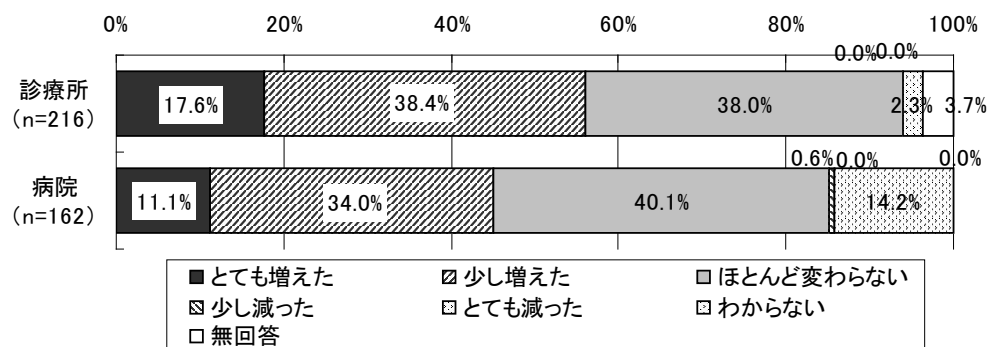
3) 一般名処方の処方せん発行による、患者からの相談や問い合わせを受けた経験の有無
(平成 24 年 4 月以降、医師ベース)

図表 122 一般名処方の処方せん発行による、患者からの相談や問い合わせを受けた経験の有無 (平成 24 年 4 月以降、医師ベース)



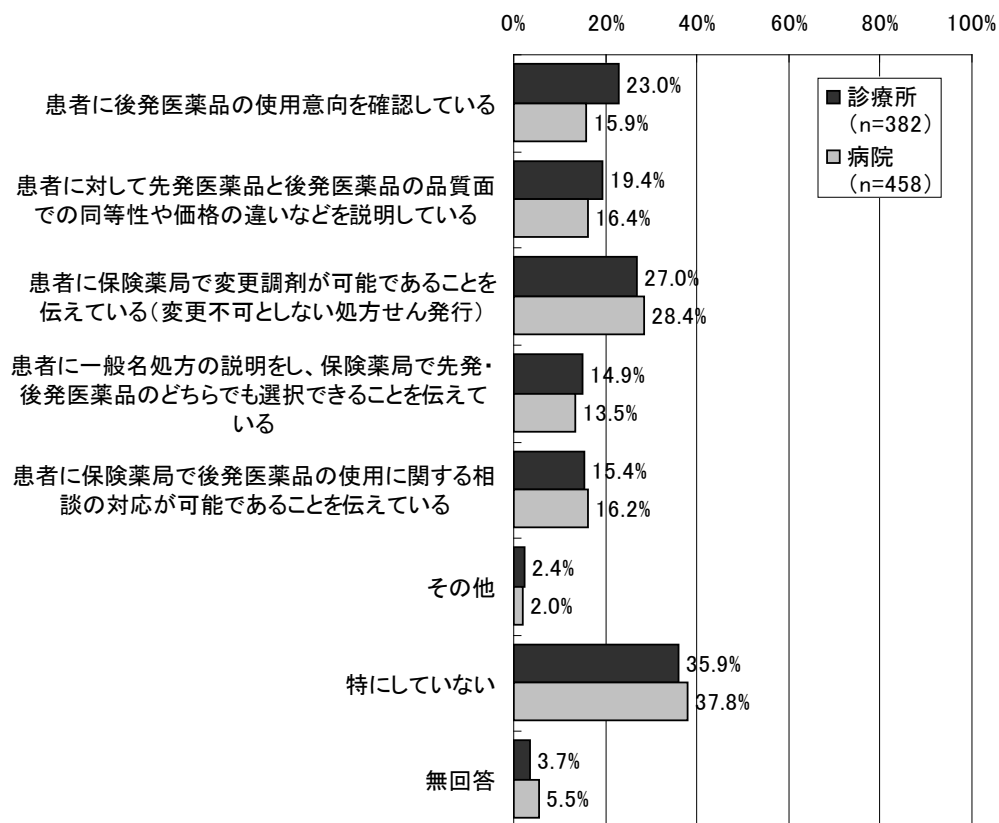
4) 一般名処方の処方せん発行による事務的な負担の変化 (平成 24 年 4 月以降、医師ベース)

図表 123 一般名処方の処方せん発行による事務的な負担の変化 (平成 24 年 4 月以降、医師ベース)



5) 投薬または処方せんの交付を行う際、患者が後発医薬品を選択しやすくするためにどのような対応をしているか

図表 124 投薬または処方せんの交付を行う際、患者が後発医薬品を選択しやすくするためにどのような対応をしているか（複数回答、医師ベース）

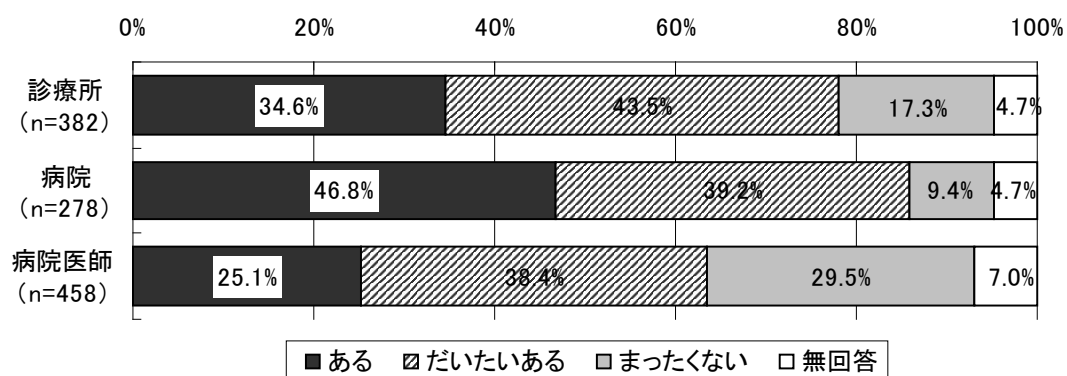


(9) 保険薬局からの情報提供の状況と意向

①変更調剤時の保険薬局からの情報提供等

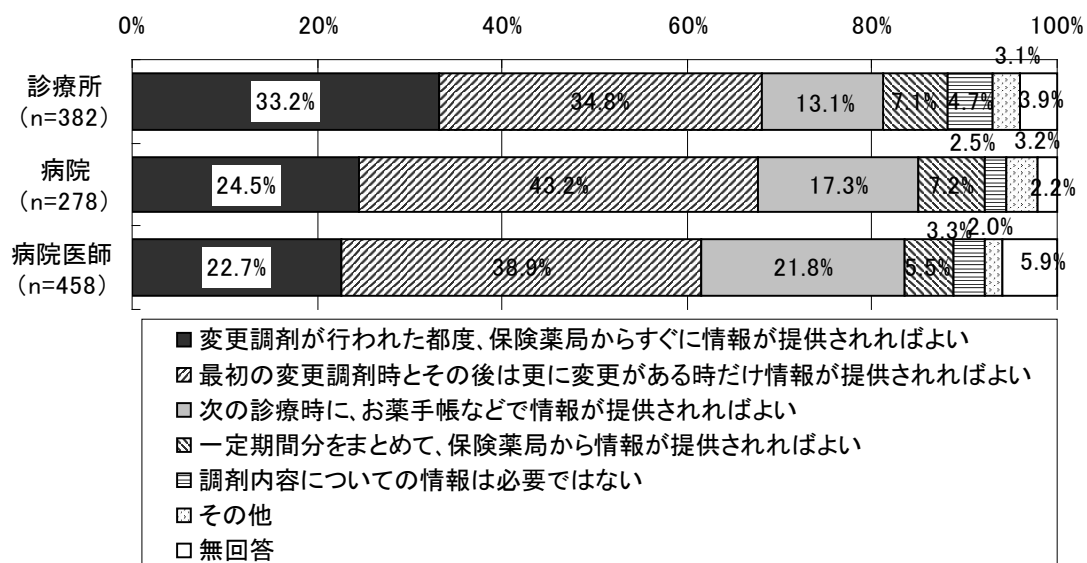
- 1) 保険薬局で先発医薬品を後発医薬品に変更した場合の、変更された銘柄等についての情報提供の有無

図表 125 保険薬局で先発医薬品を後発医薬品に変更した場合の、変更された銘柄等についての情報提供の有無



- 2) 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の望ましい情報提供のあり方

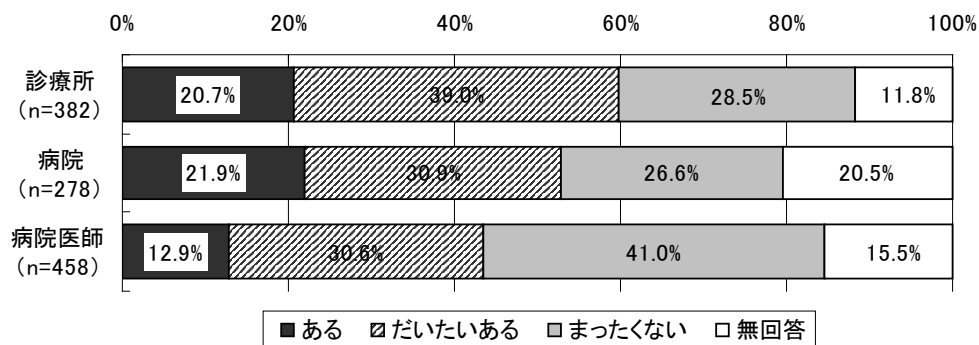
図表 126 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の望ましい情報提供のあり方



②一般名処方に対する保険薬局からの情報提供等

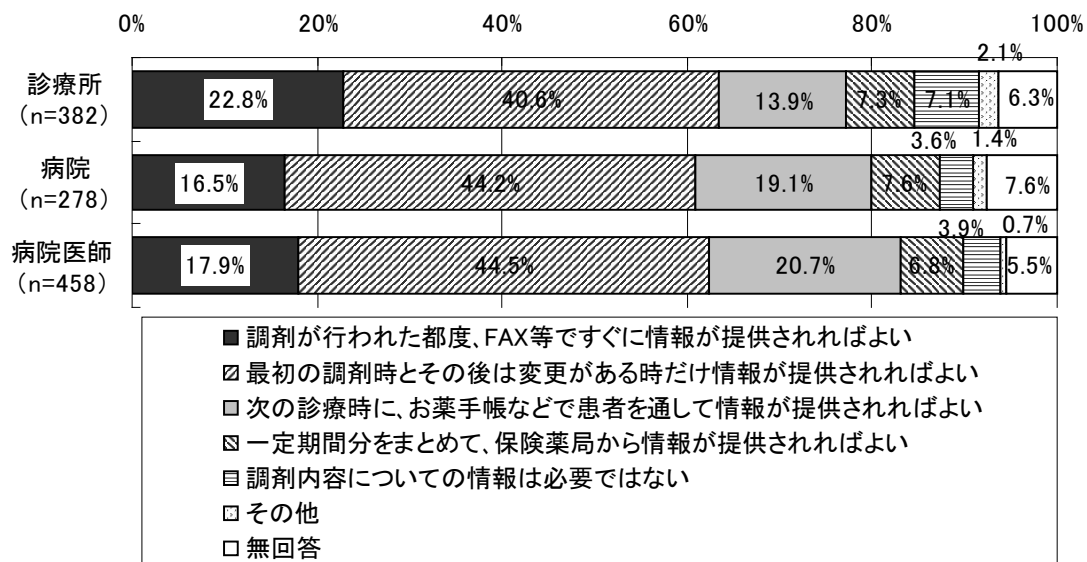
1) 一般名処方について医薬品の銘柄等に関する保険薬局からの情報提供等

図表 127 一般名処方について医薬品の銘柄等に関する保険薬局からの情報提供の有無



2) 一般名処方について、望ましいと思う保険薬局からの情報提供のあり方

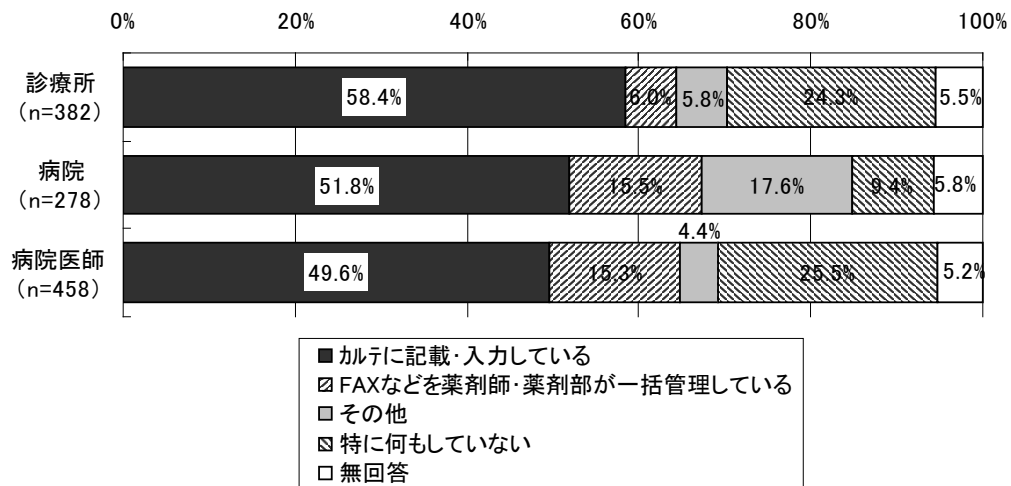
図表 128 一般名処方について、望ましいと思う保険薬局からの情報提供のあり方



③保険薬局からフィードバックされた情報の管理方法と活用状況

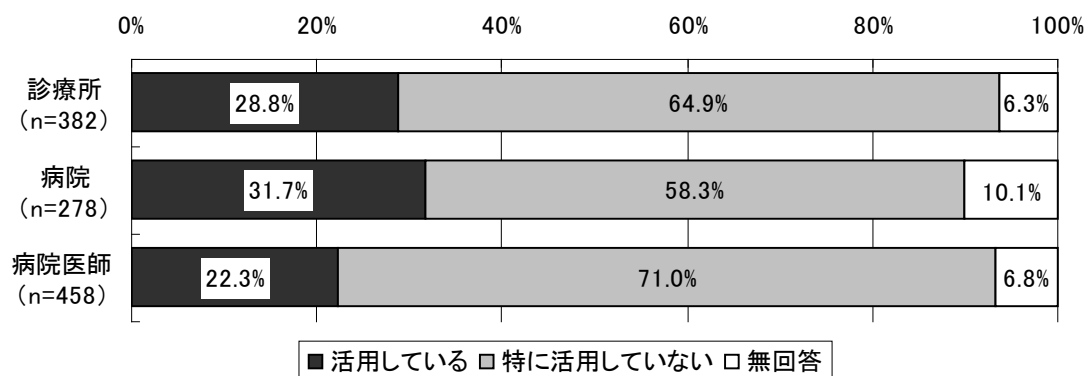
1) 保険薬局からフィードバックされた情報の管理方法

図表 129 保険薬局からフィードバックされた情報の管理方法



2) 保険薬局からフィードバックされた情報の活用状況

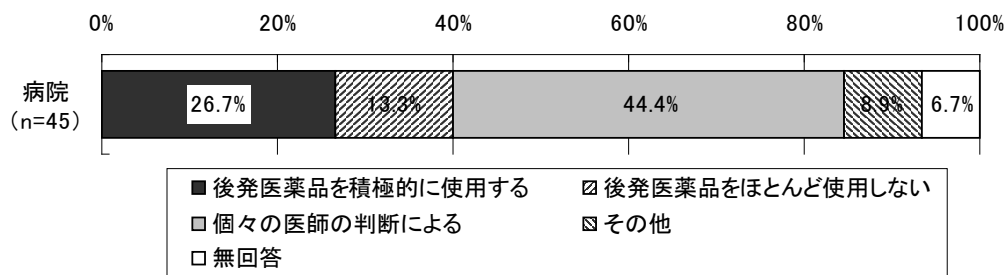
図表 130 保険薬局からフィードバックされた情報の活用状況



(10) 院外処方せんを発行していない施設における、外来患者に対する院内投薬の状況や後発医薬品の使用に関する考え

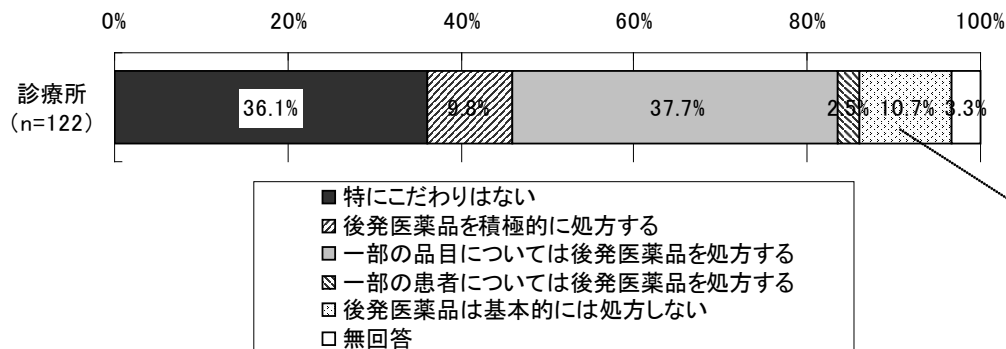
①院外処方せんを発行していない病院における、外来患者に院内投薬する際の後発医薬品の処方に関する考え

図表 131 院外処方せんを発行していない病院における、外来患者に院内投薬する際の後発医薬品の処方に関する考え

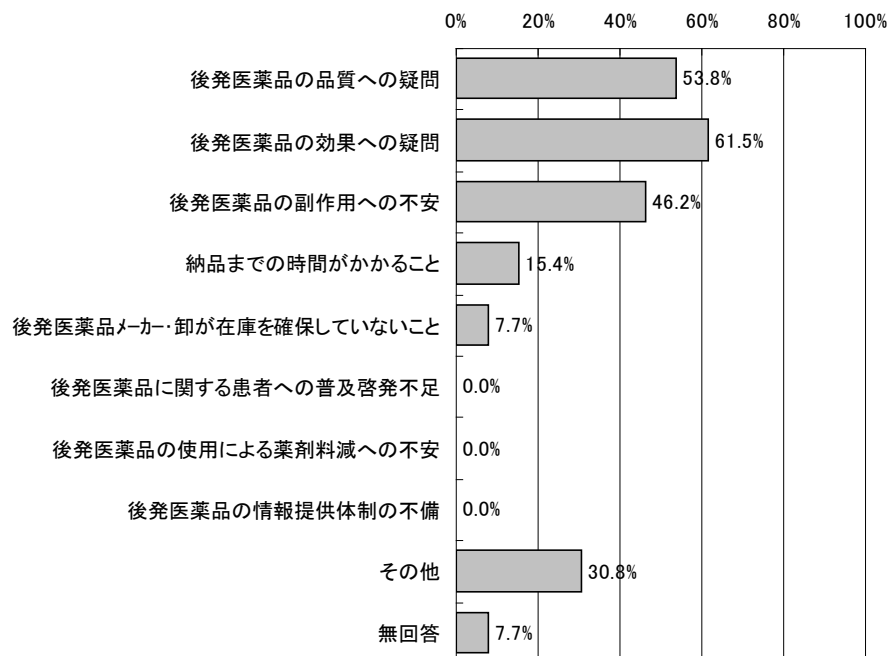


②院外処方せんを発行していない診療所における、外来患者に院内投薬する際の後発医薬品の処方に関する考え

図表 132 院外処方せんを発行していない診療所における、外来患者に院内投薬する際の後発医薬品の処方に関する考え

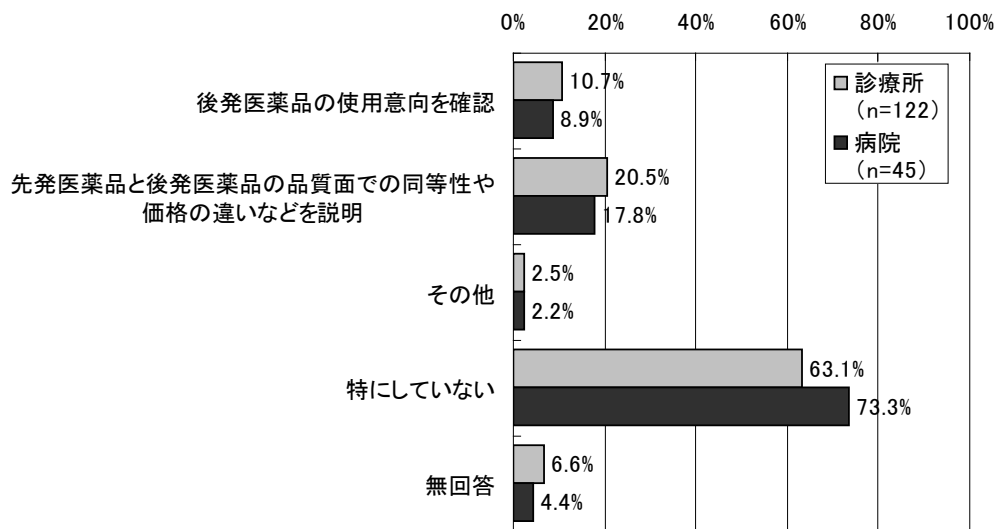


図表 133 後発医薬品を基本的には処方しない理由
(「後発医薬品は基本的には処方しない」と回答した施設、複数回答、n=13)



③院外処方せんを発行していない施設における、患者が後発医薬品を選択しやすくするために行っている対応

図表 134 院外処方せんを発行していない施設における、患者が後発医薬品を選択しやすくするために行っている対応（複数回答）

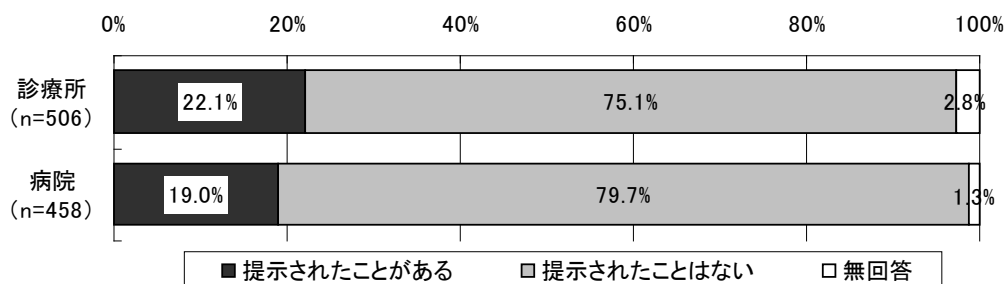


(11) 患者からの意思表示等の状況

①「薬剤情報提供文書」を患者から提示された経験等（平成 24 年 4 月以降）

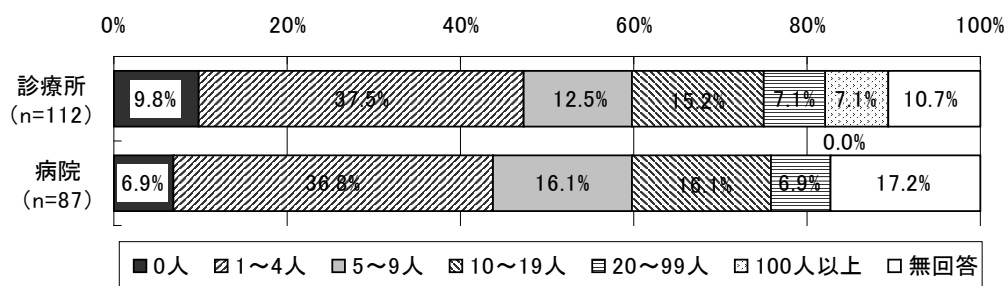
1)「薬剤情報提供文書」を患者から提示された経験の有無（平成 24 年 4 月以降）

図表 135 「薬剤情報提供文書」を患者から提示された経験の有無
（平成 24 年 4 月以降、医師ベース）



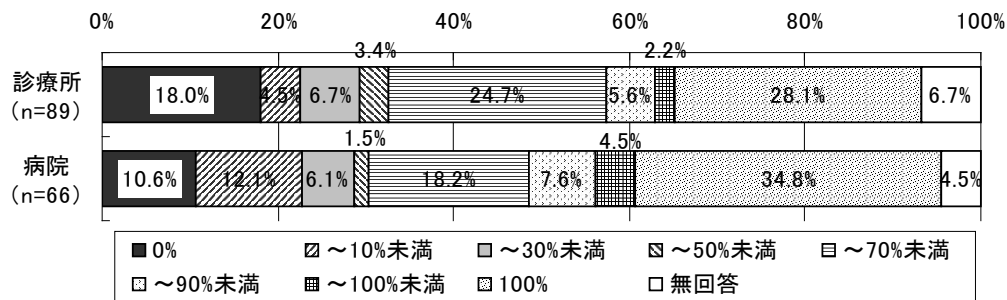
2)「薬剤情報提供文書」を提示した患者数（平成 24 年 8 月 1 か月間）

図表 136 「薬剤情報提供文書」を提示した患者数
（平成 24 年 8 月 1 か月間、「提示されたことがある」と回答した医師、医師ベース）



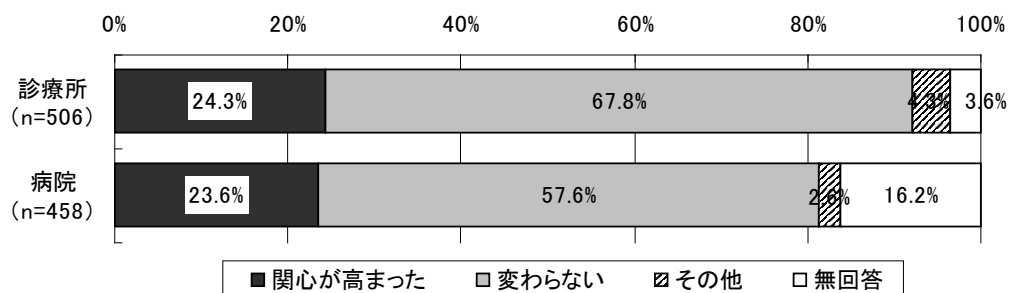
- 3)「薬剤情報提供文書」を提示した患者のうち後発医薬品を実際に処方（一般名処方を含む）した患者の割合

図表 137 「薬剤情報提供文書」を提示した患者のうち後発医薬品を実際に処方（一般名処方を含む）した患者の割合（平成 24 年 8 月 1 か月間、「薬剤情報提供文書」を提示した患者がいた場合、医師ベース）



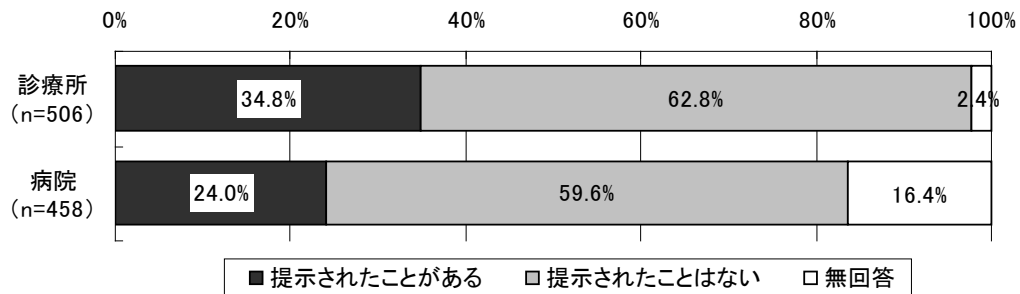
- 4)「薬剤情報提供文書」に後発医薬品に関する情報を掲載することとなったことにより、患者の後発医薬品に対する関心が高まったか

図表 138 「薬剤情報提供文書」に後発医薬品に関する情報を掲載することとなったことにより、患者の後発医薬品に対する関心が高まったか（医師ベース）



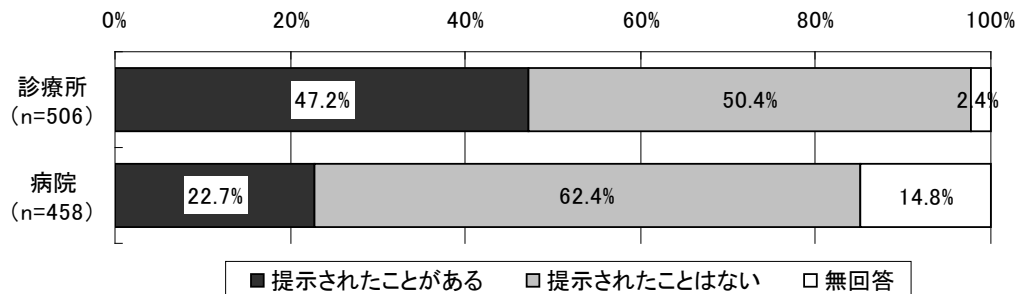
②「ジェネリック医薬品軽減額通知」などを患者から提示された経験

図表 139 「ジェネリック医薬品軽減額通知」などを患者から提示された経験
(医師ベース)



③「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示された経験

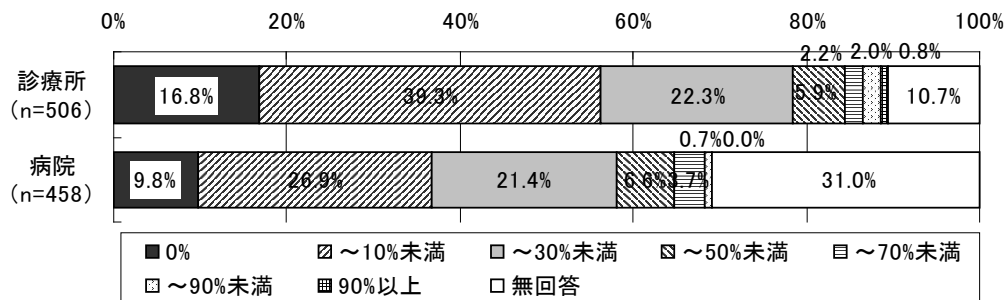
図表 140 「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示された経験 (医師ベース)



④後発医薬品について関心がある患者の状況等（平成 24 年 4 月以降）

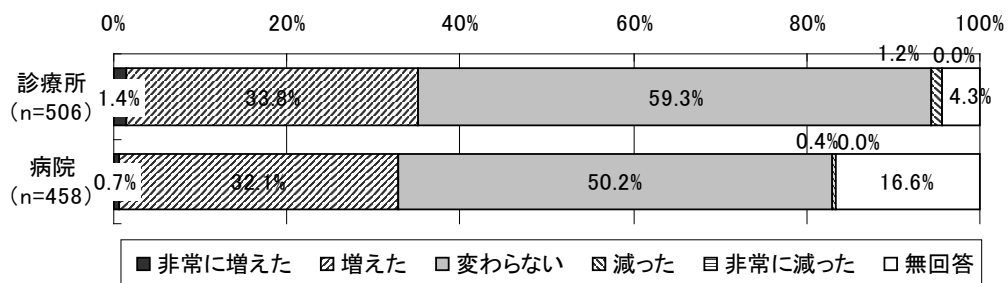
1) 後発医薬品について関心がある患者の割合（平成 24 年 4 月以降）

図表 141 後発医薬品について関心がある患者の割合（平成 24 年 4 月以降）
（医師ベース）



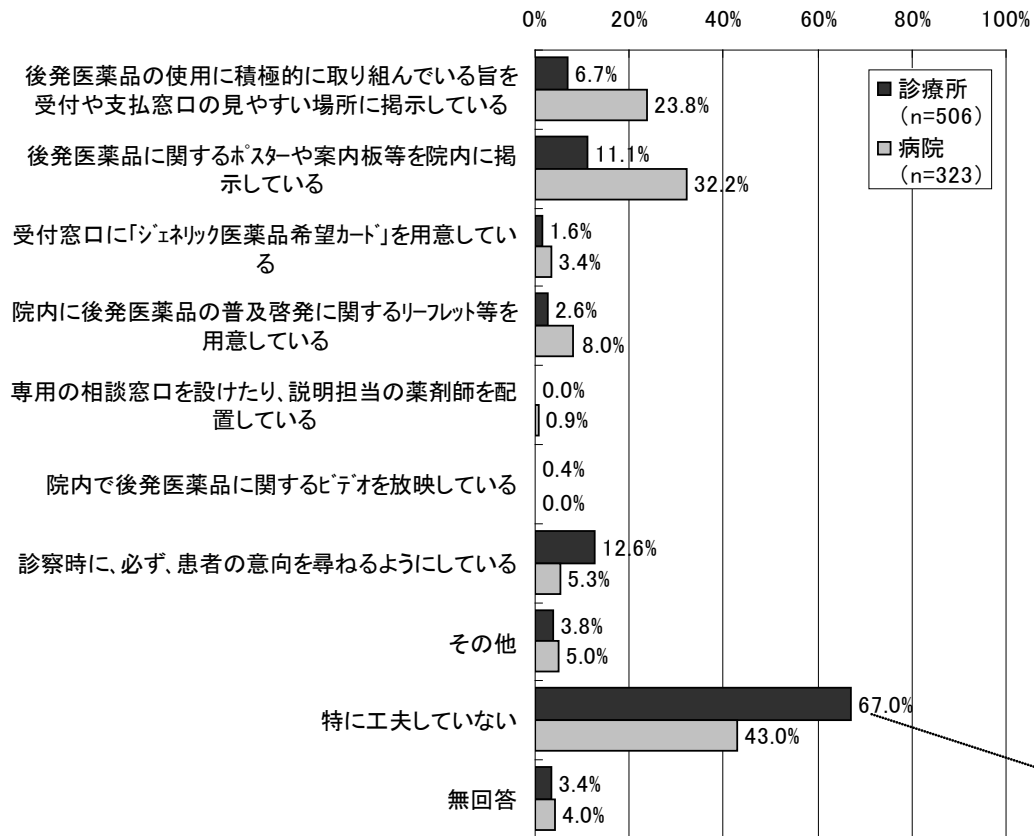
2) 後発医薬品について関心がある患者数の変化（1 年前と比較して）

図表 142 後発医薬品について関心がある患者数の変化（1 年前と比較して）
（医師ベース）

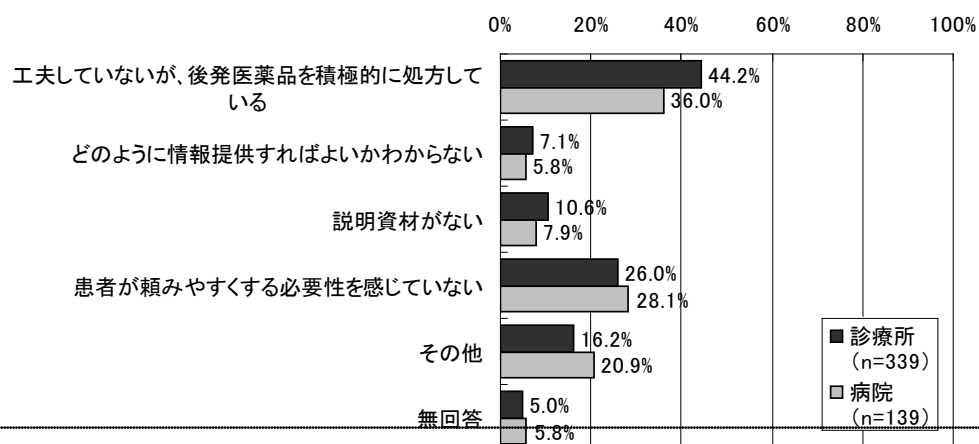


⑤患者が後発医薬品を頼みやすくするための施設としての工夫

図表 143 患者が後発医薬品を頼みやすくするための施設としての工夫（複数回答）



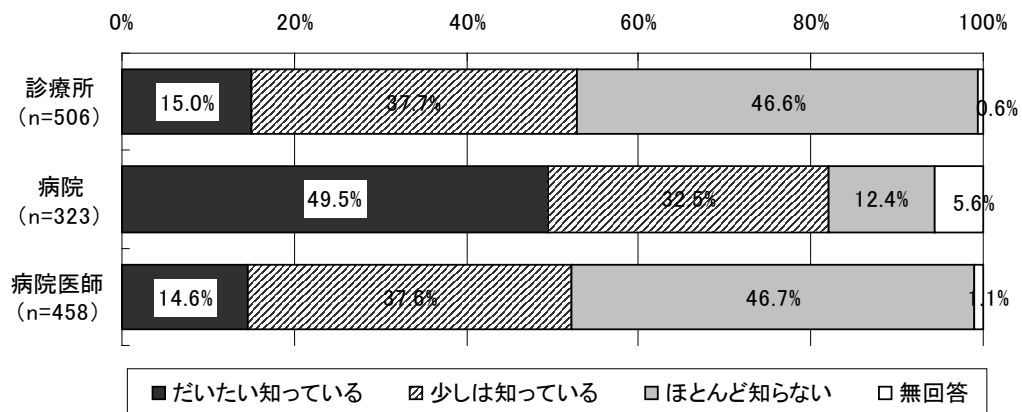
図表 144 患者が後発医薬品を頼みやすくするために工夫していない理由（「特に工夫していない」と回答した施設、複数回答）



(12) 医療機関・医師における後発医薬品使用に関する意識等

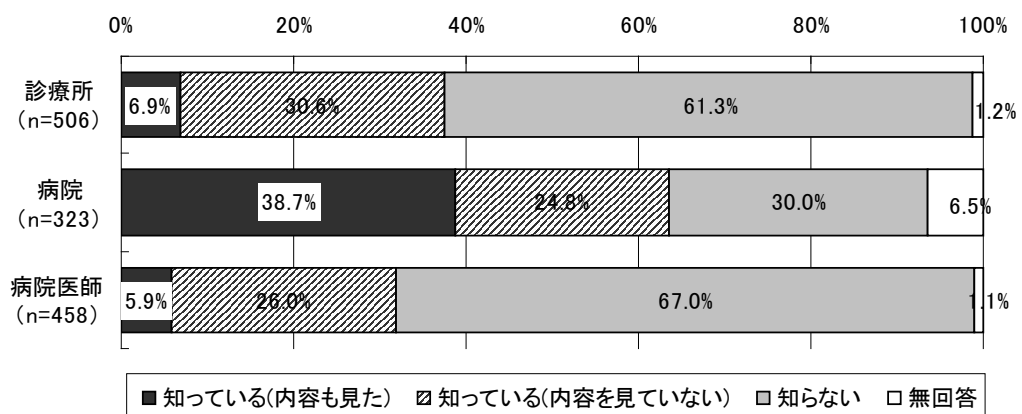
①医療機関・医師における、後発医薬品が薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るために必要なデータの内容に関する認知状況

図表 145 医療機関・医師における、後発医薬品が薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るために必要なデータの内容に関する認知状況



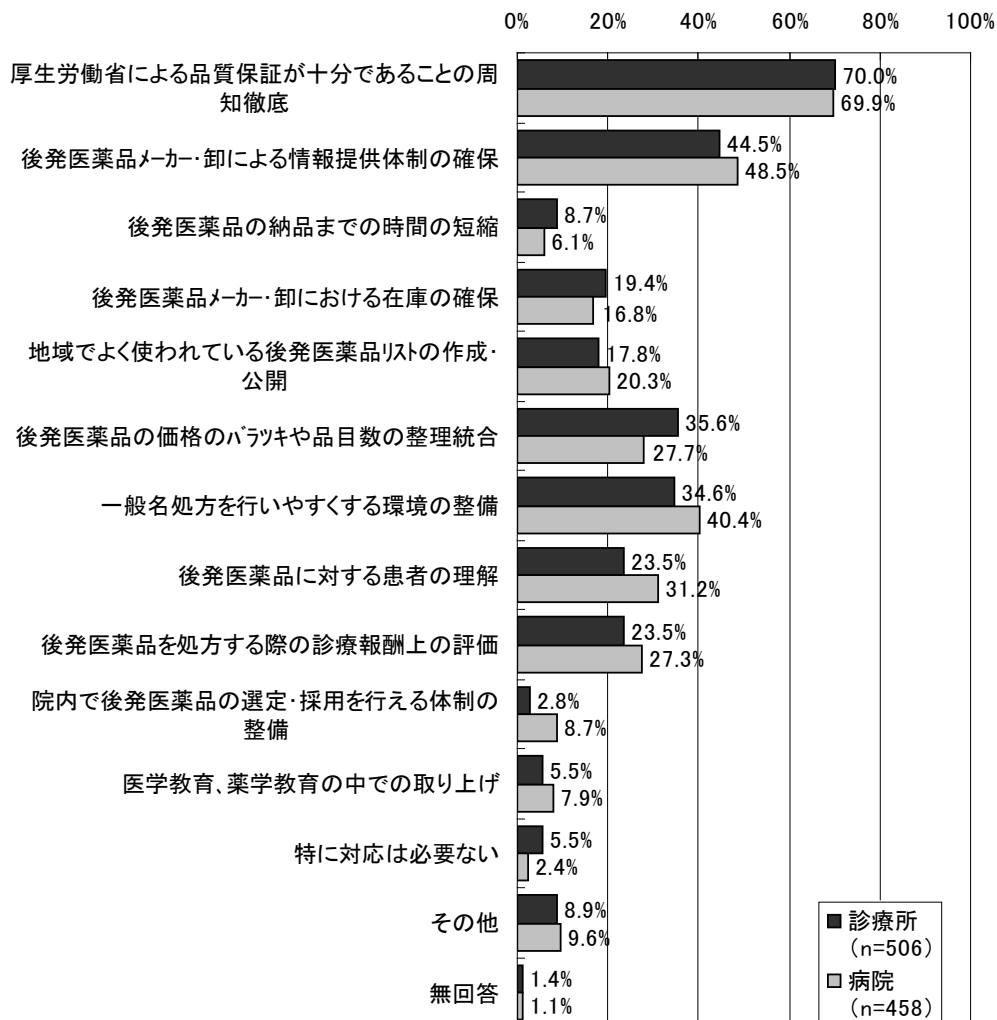
②医療機関・医師における、『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品 Q & A～』に関する認知状況

図表 146 医療機関・医師における、『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品 Q & A～』に関する認知状況

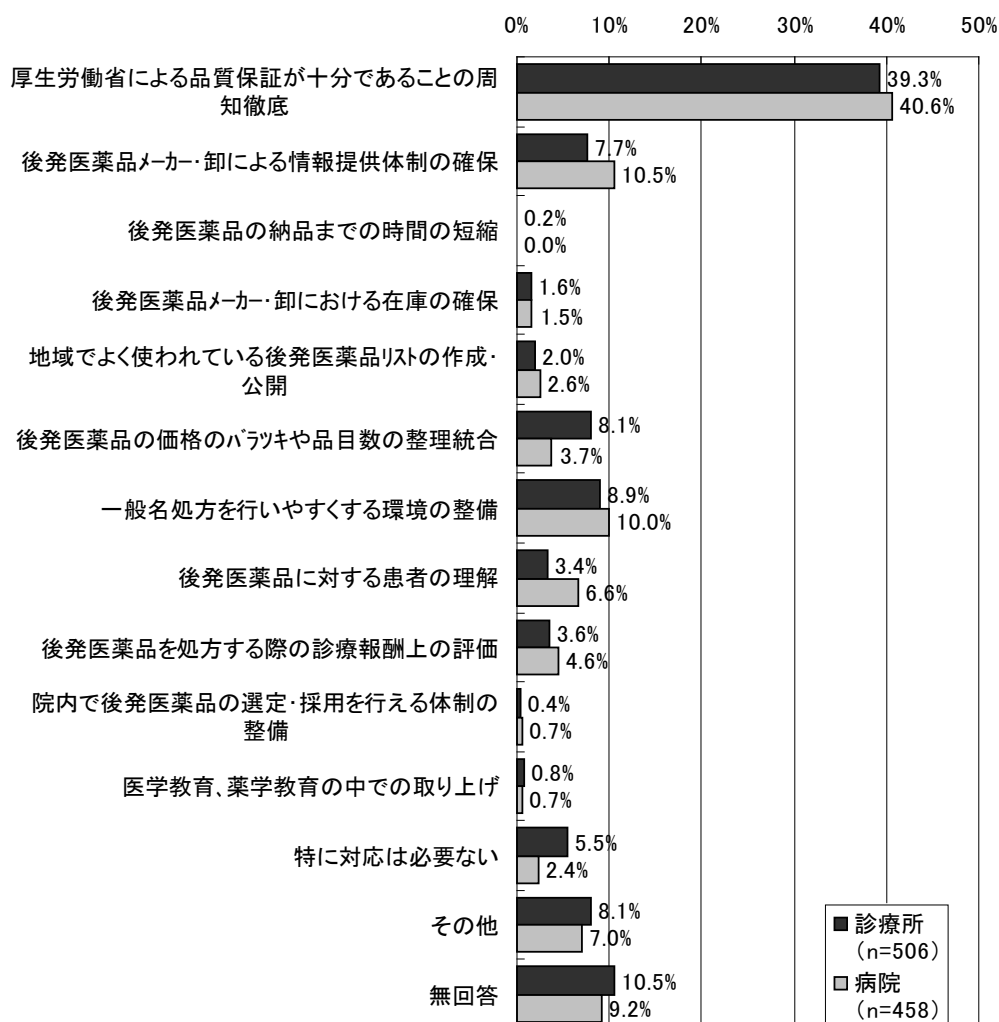


③後発医薬品の処方を進めるための環境

図表 147 どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いか（医師ベース、複数回答）



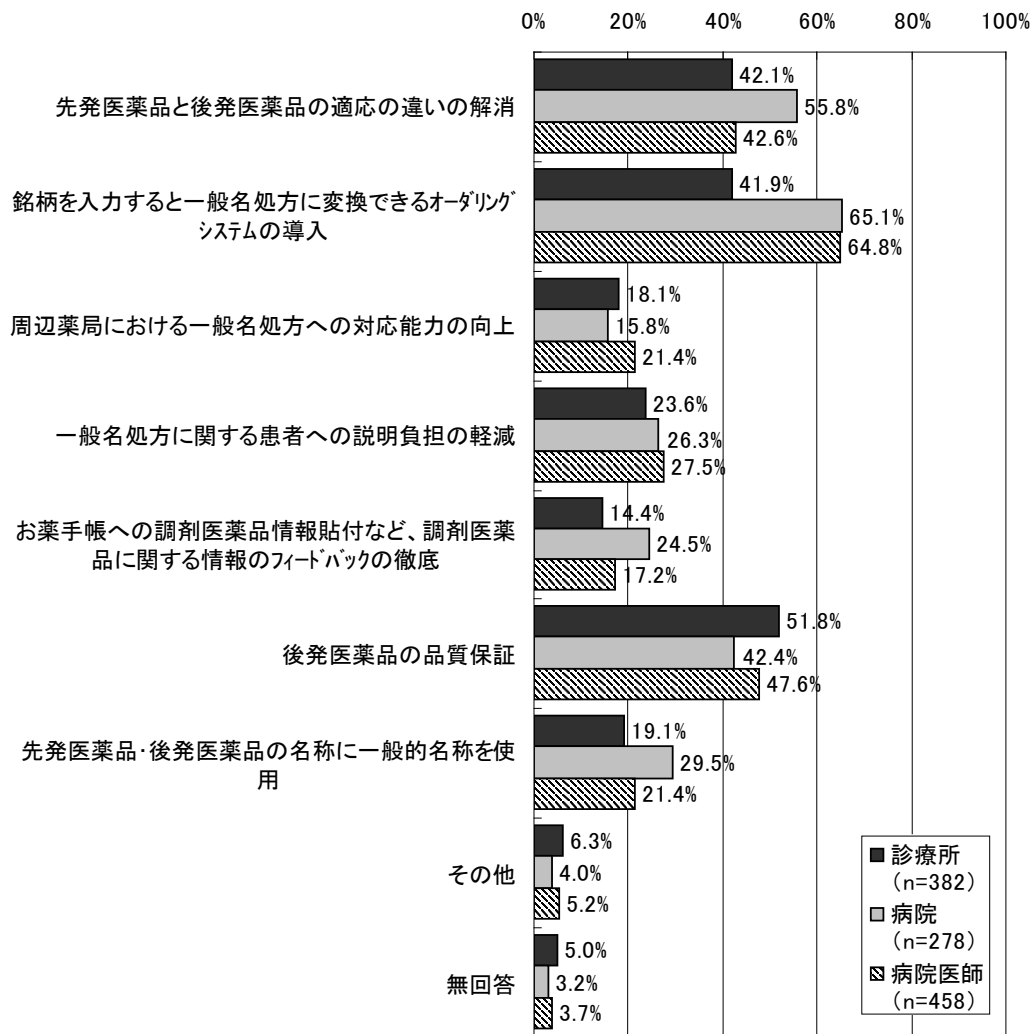
図表 148 どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いか（最も重要なもの、医師ベース、単数回答）



(13) 後発医薬品の使用を進める上で望むこと

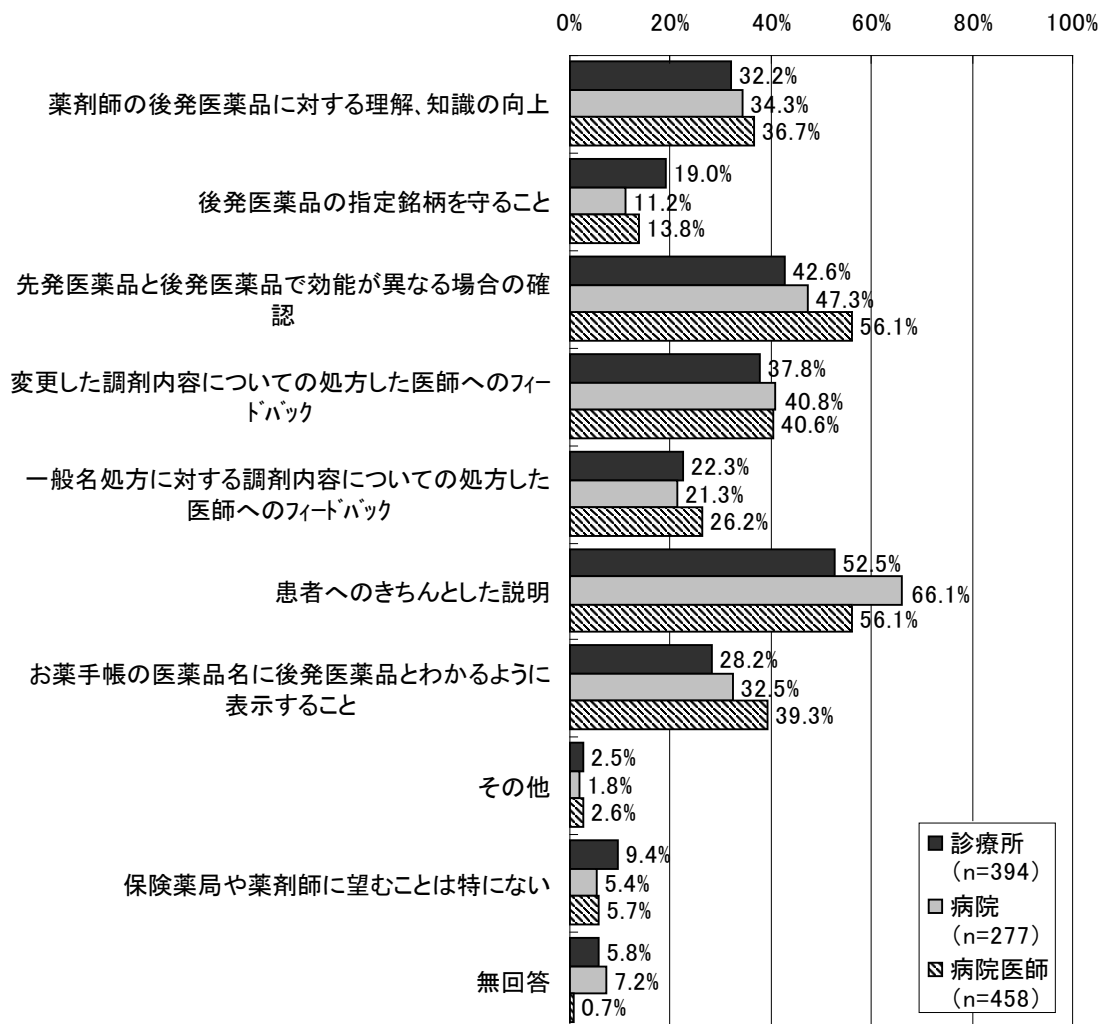
①一般名処方による処方せんを発行しやすくする方法

図表 149 一般名処方による処方せんを発行しやすくする方法（複数回答）

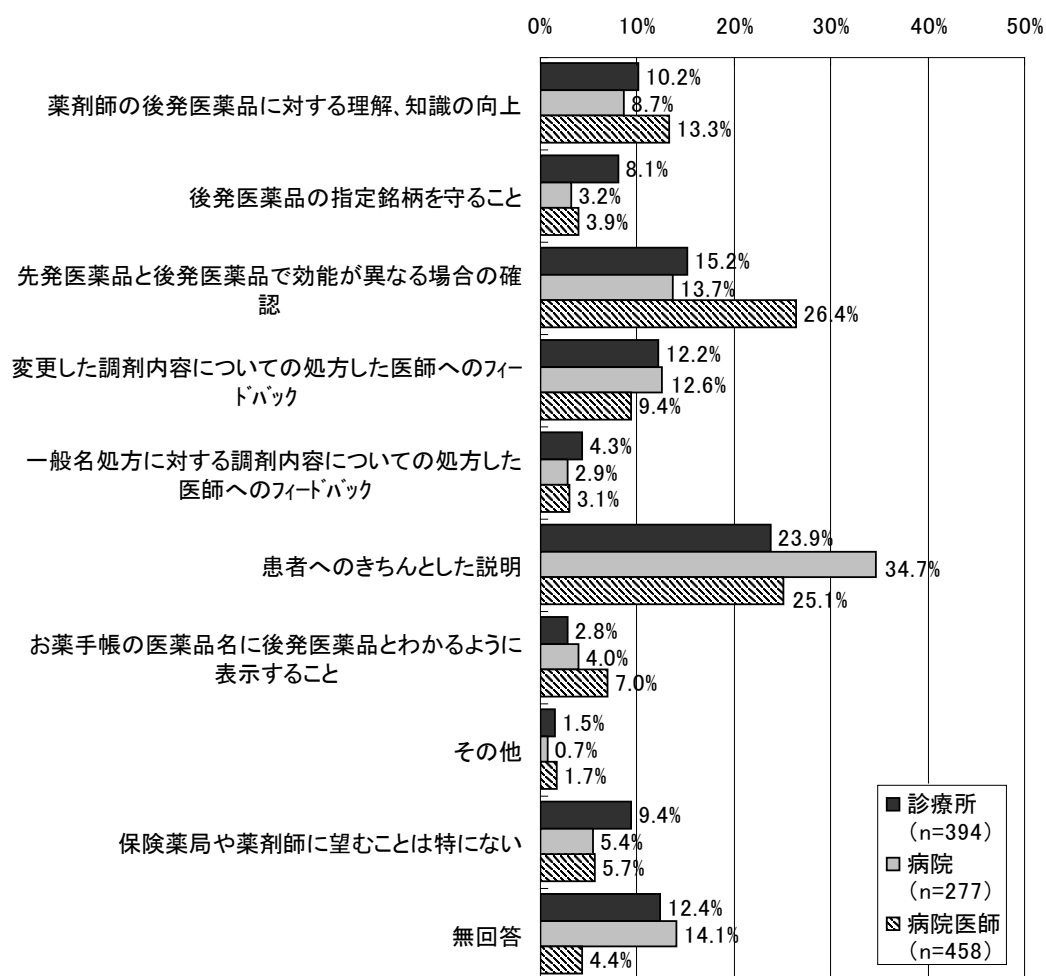


②後発医薬品の使用を進める上で保険薬局や薬剤師に望むこと

図表 150 後発医薬品の使用を進める上で保険薬局や薬剤師に望むこと（複数回答）

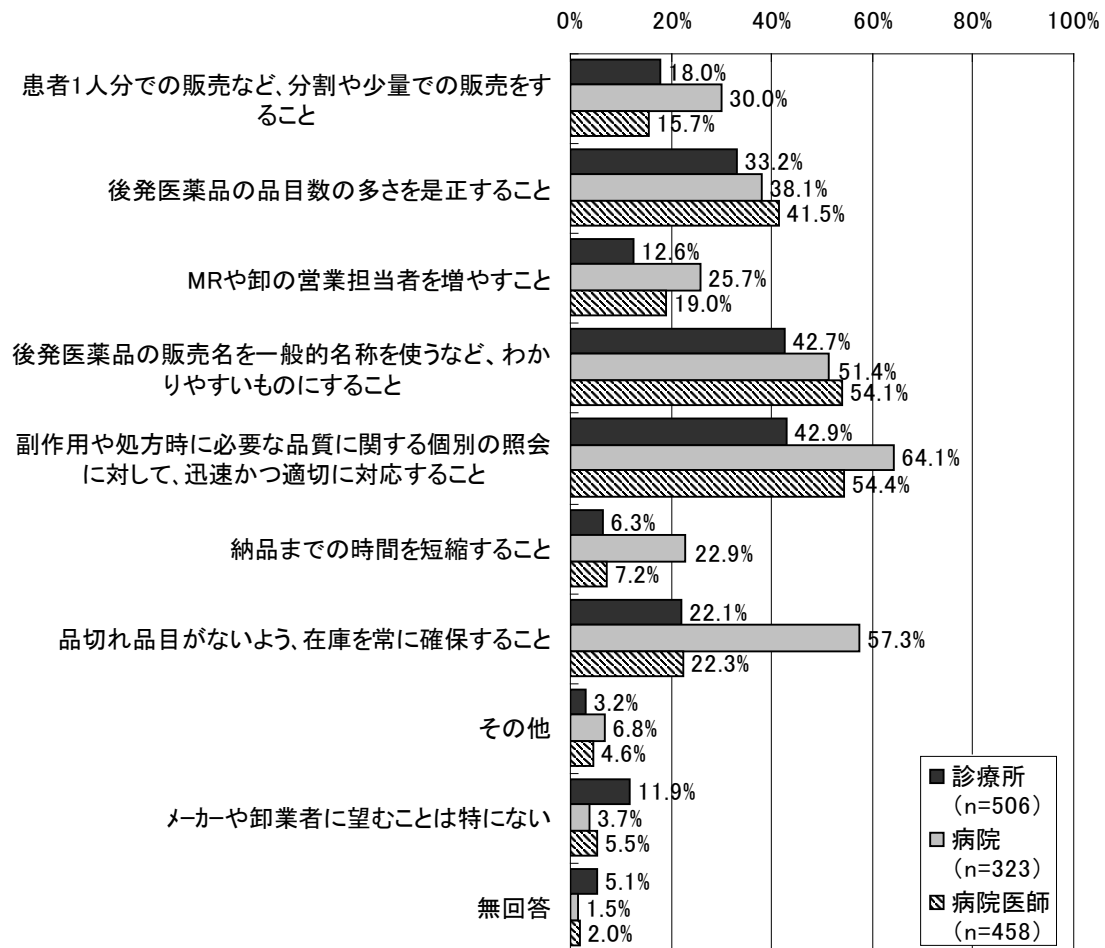


図表 151 後発医薬品の使用を進める上で保険薬局や薬剤師に最も望むこと（単数回答）

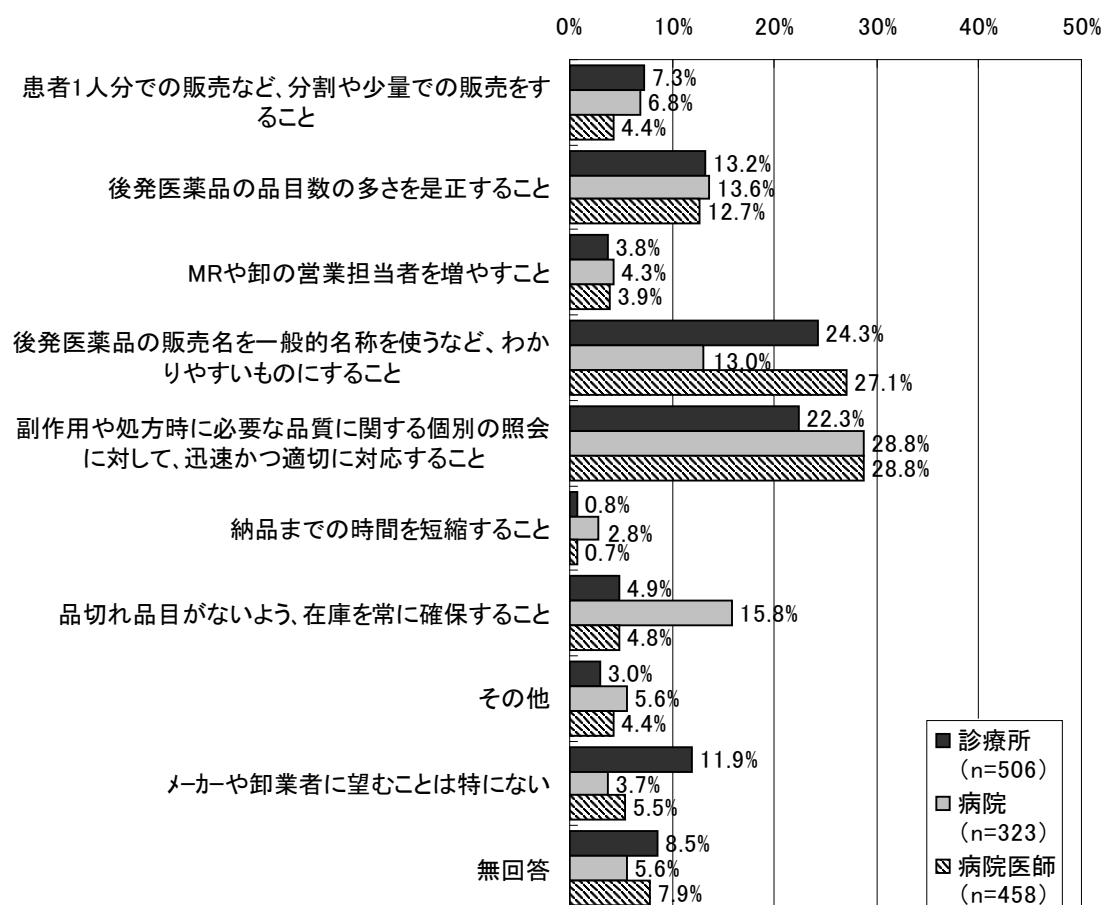


③後発医薬品の使用を進める上でメーカーや卸業者に望むこと

図表 152 後発医薬品の使用を進める上でメーカーや卸業者に望むこと（複数回答）



図表 153 後発医薬品の使用を進める上でメーカーや卸業者に最も望むこと（単数回答）



4. 患者調査の結果

【調査対象等】

調査対象：「保険薬局調査」の対象施設に調査日に処方せんを持って来局した患者。

ただし、1施設につき最大2名の患者を対象とした。

回答数：1,332人

回答者：患者本人または家族

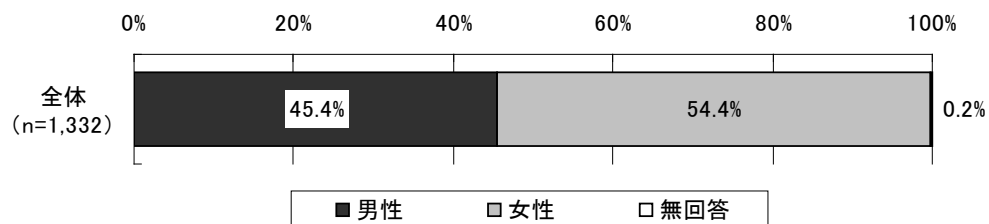
調査方法：調査対象薬局を通じて配布。回収は各患者から調査事務局宛の返信用封筒にて直接回収

(1) 患者の属性等

①患者の基本属性

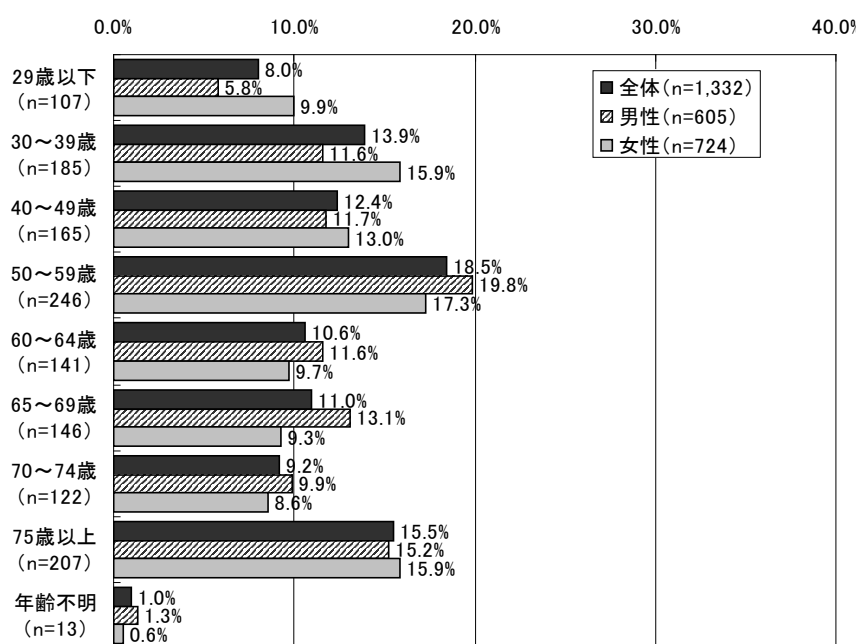
1) 性別

図表 154 性別



2) 年齢

図表 155 男女別 年齢分布



図表 156 平均年齢

(単位：歳)

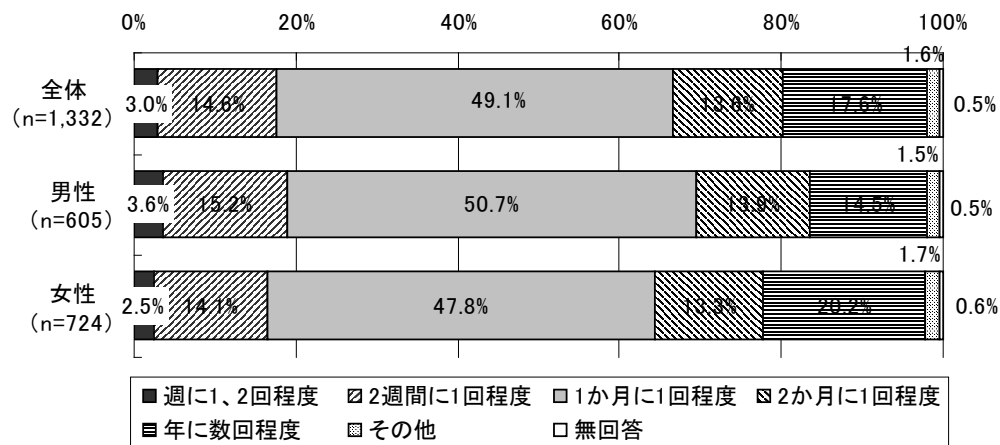
	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,319	55.5	17.8	58
男性	597	57.0	16.9	60
女性	720	54.3	18.5	56

(注)「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

②薬局の来局頻度等

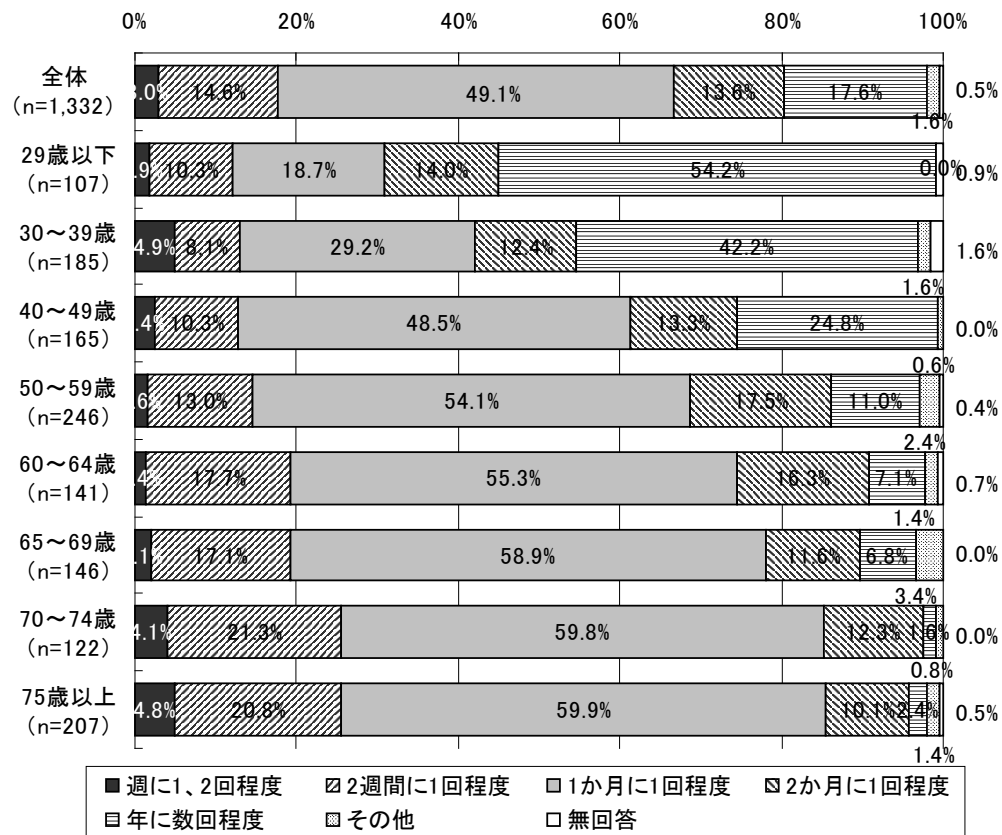
1) 薬局への来局頻度

図表 157 薬局への来局頻度（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

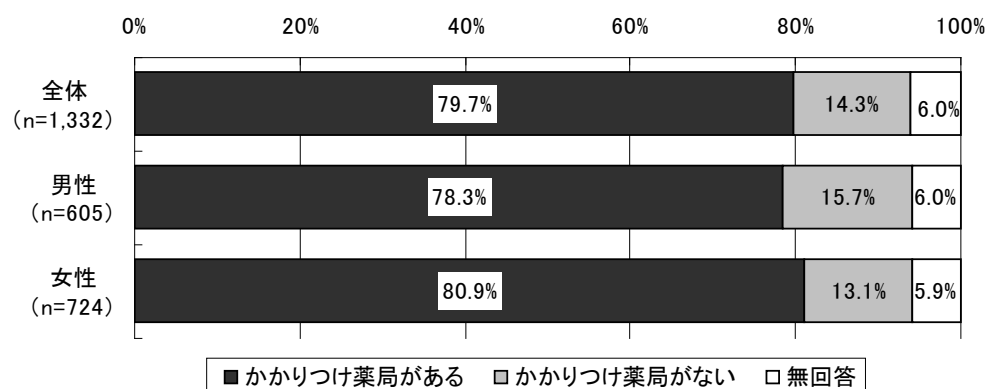
図表 158 薬局への来局頻度（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

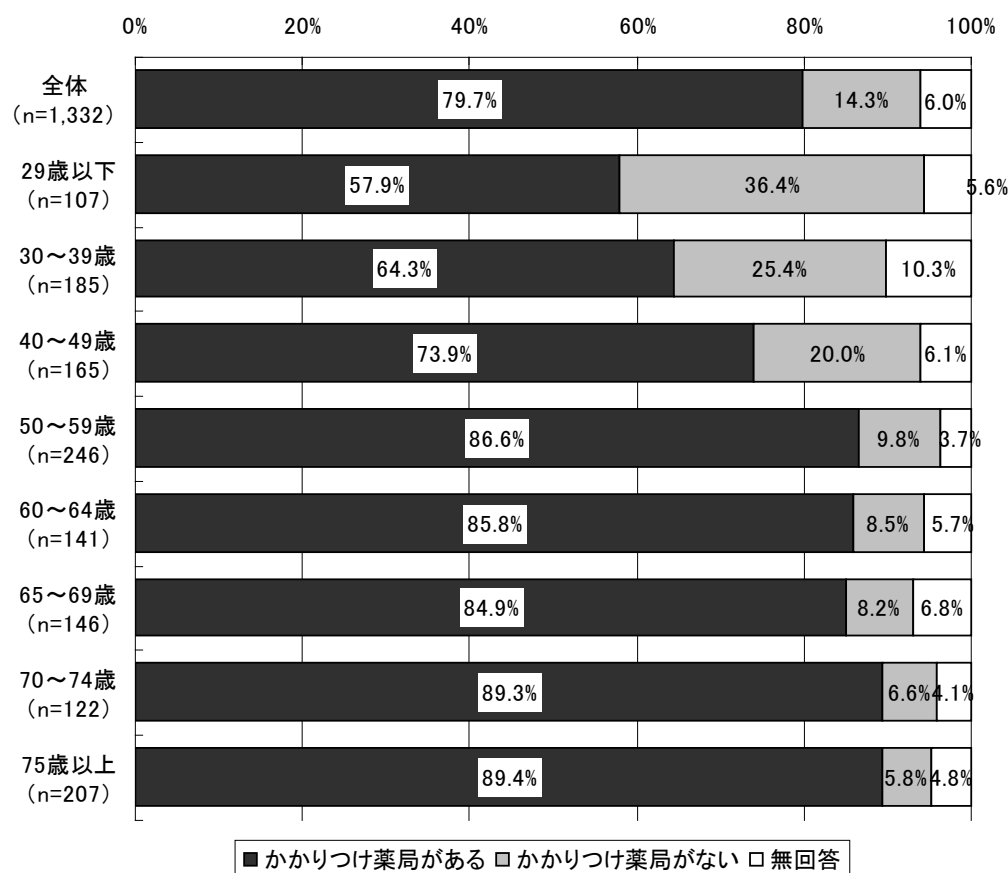
2) かかりつけの薬局の有無

図表 159 かかりつけの薬局の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

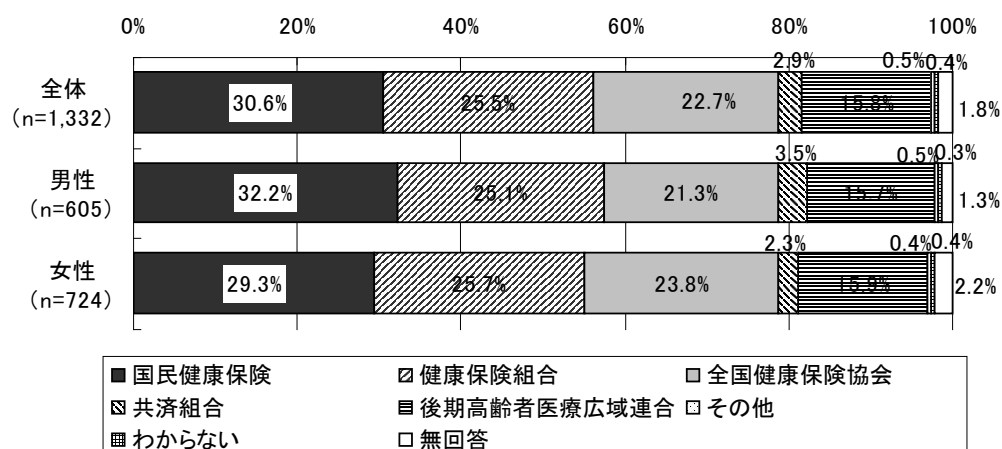
図表 160 かかりつけの薬局の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

3) 公的医療保険の種類

図表 161 公的医療保険の種類（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

図表 162 公的医療保険の種類（年齢階級別）

(単位：上段「人」／下段「%」)

	総数	国民健康保険	健康保険組合	全国健康保険協会	共済組合	後期高齢者医療広域連合	その他	わからない	無回答
全体	1,332 100.0	407 30.6	340 25.5	302 22.7	38 2.9	210 15.8	6 0.5	5 0.4	24 1.8
29 歳以下	107 100.0	16 15.0	45 42.1	37 34.6	5 4.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 3.7
30～39 歳	185 100.0	30 16.2	72 38.9	75 40.5	4 2.2	0 0.0	0 0.0	1 0.5	3 1.6
40～49 歳	165 100.0	28 17.0	64 38.8	63 38.2	7 4.2	0 0.0	1 0.6	0 0.0	2 1.2
50～59 歳	246 100.0	60 24.4	87 35.4	73 29.7	19 7.7	0 0.0	3 1.2	1 0.4	3 1.2
60～64 歳	141 100.0	67 47.5	38 27.0	29 20.6	3 2.1	0 0.0	0 0.0	2 1.4	2 1.4
65～69 歳	146 100.0	108 74.0	16 11.0	13 8.9	0 0.0	1 0.7	1 0.7	1 0.7	6 4.1
70～74 歳	122 100.0	97 79.5	11 9.0	9 7.4	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	4 3.3
75 歳以上	207 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	207 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

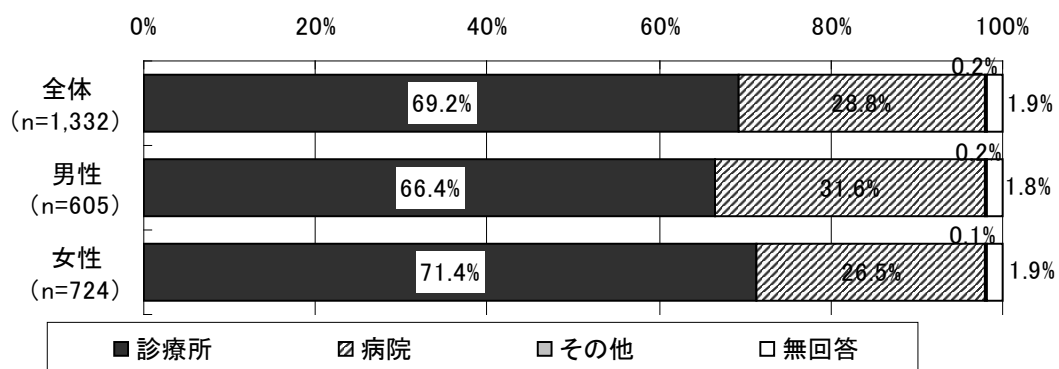
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の 13 人が含まれる。

(2) 調査日における受診・調剤状況等

①受診した医療機関の種類等

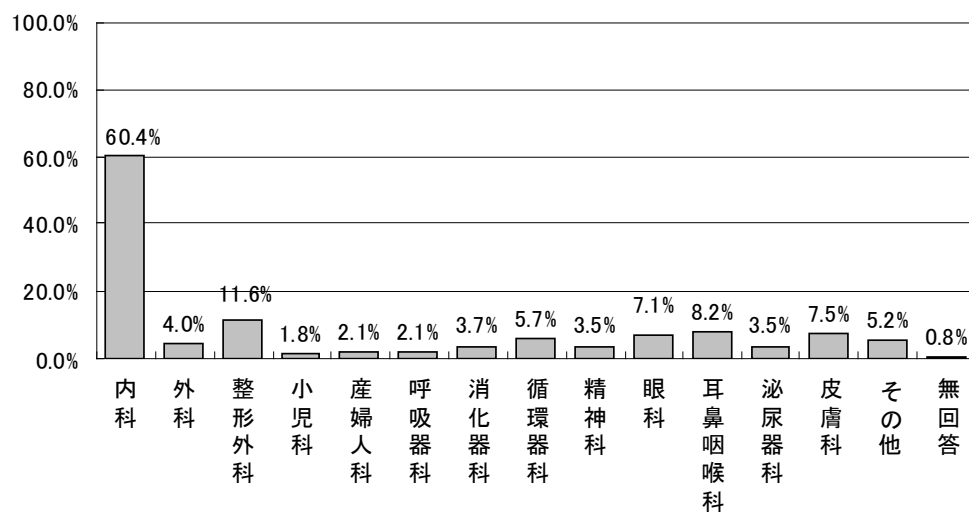
1) 受診した医療機関の種類

図表 163 受診した医療機関の種類



2) 受診した診療科

図表 164 受診した診療科（複数回答、n=1,332）



②処方状況等

1) 薬局窓口での自己負担額

図表 165 薬局窓口での自己負担額（男女別）

（単位：円）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,278	2,196.7	2,591.8	1,410
男性	585	2,447.9	2,872.2	1,550
女性	691	1,981.5	2,310.1	1,300

（注）・「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

・自己負担額について記入のあったものを集計対象とした。

図表 166 薬局窓口での自己負担額（年齢階級別）

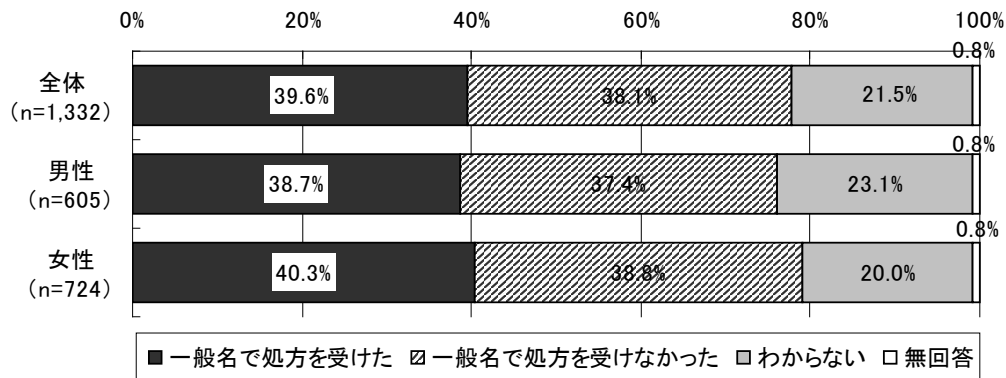
（単位：円）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,278	2,196.7	2,591.8	1,410
29歳以下	105	1,076.5	1,325.6	890
30～39歳	171	1,543.8	2,071.8	980
40～49歳	157	2,236.3	2,123.7	1,690
50～59歳	236	2,649.1	2,575.8	1,960
60～64歳	139	2,908.2	3,280.2	1,670
65～69歳	142	3,367.4	3,880.3	2,055
70～74歳	117	1,807.0	2,208.6	950
75歳以上	203	1,689.8	1,754.1	1,230

（注）「全体」には、「年齢」について無回答の8人が含まれる。

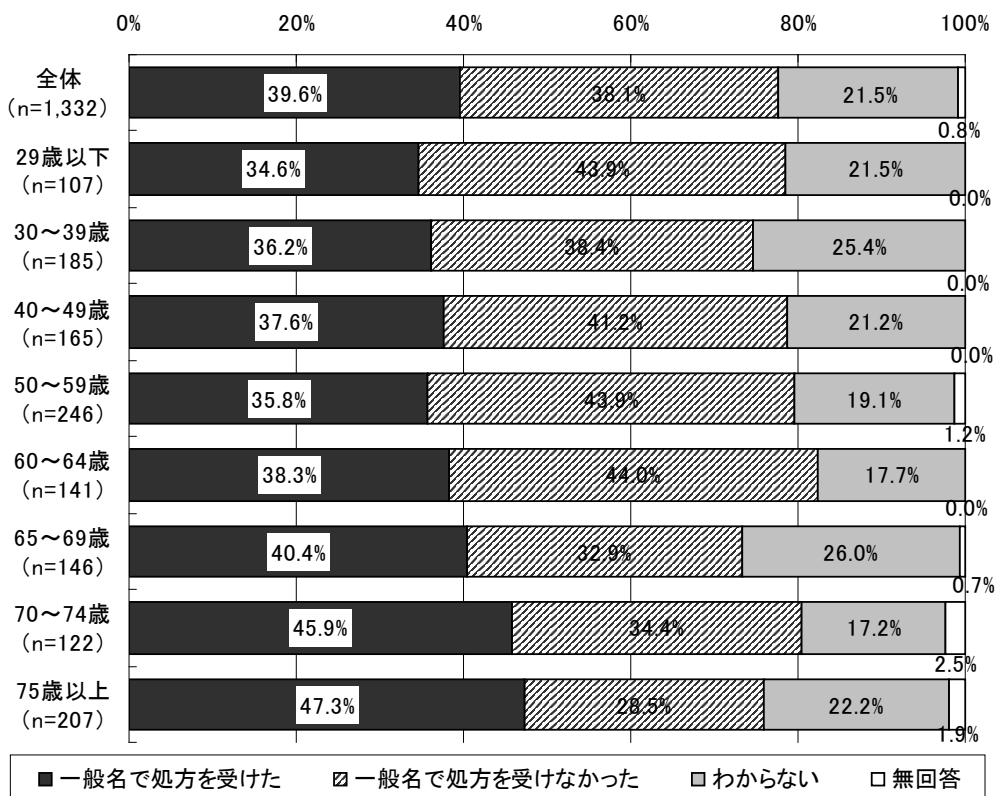
2) 一般名処方の有無

図表 167 一般名処方の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

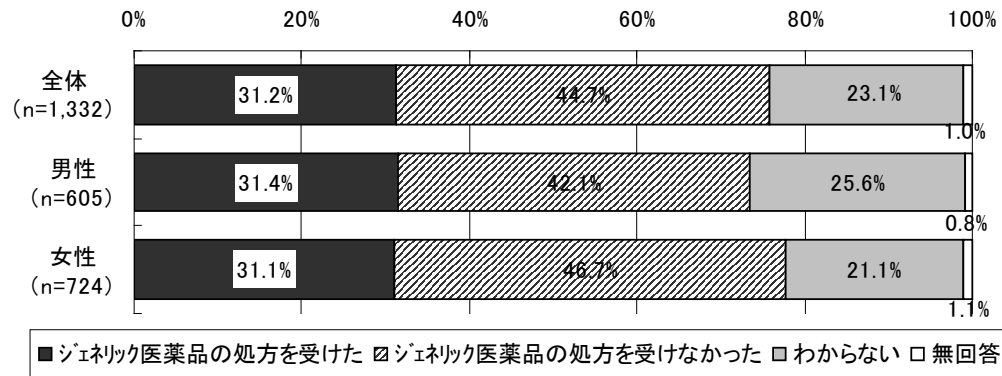
図表 168 一般名処方の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

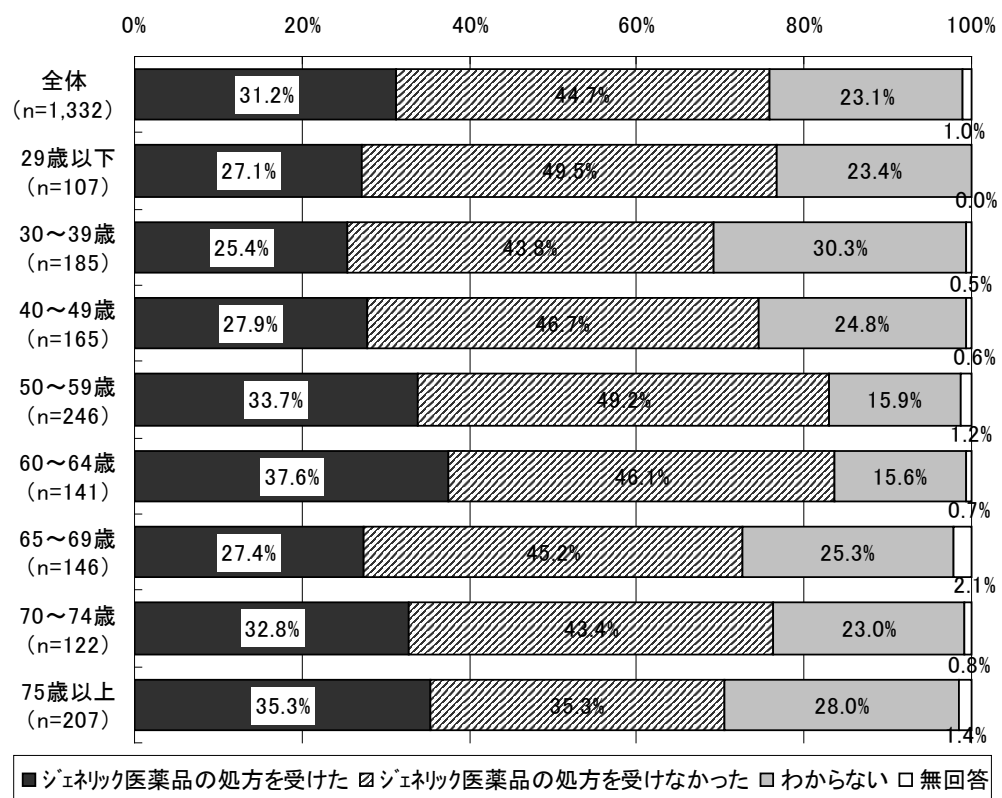
3) ジェネリック医薬品処方の有無

図表 169 ジェネリック医薬品処方の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

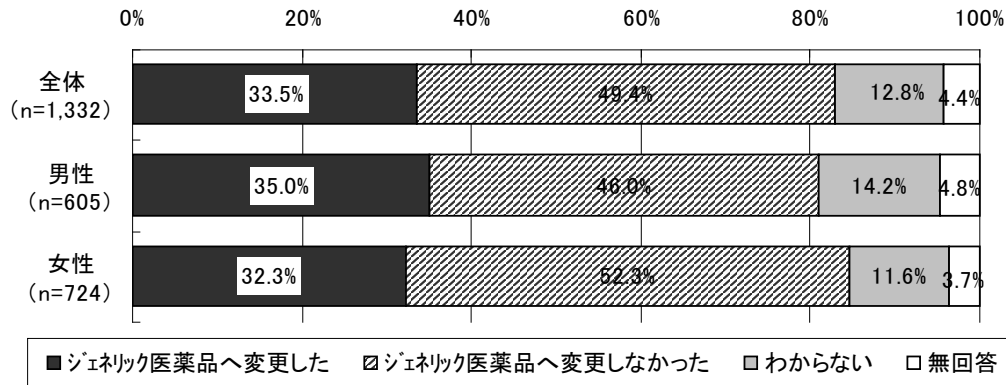
図表 170 ジェネリック医薬品の処方の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

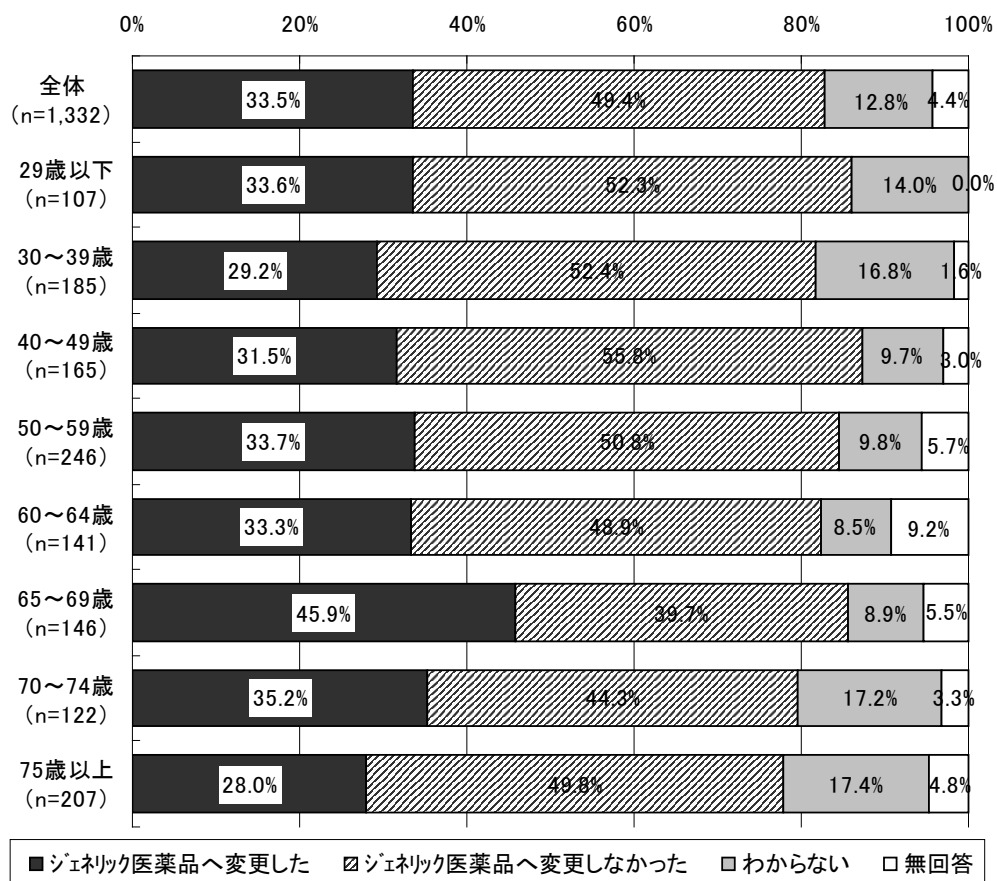
4) 薬局でのジェネリック医薬品への変更の有無

図表 171 薬局でのジェネリック医薬品への変更の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 172 薬局でのジェネリック医薬品への変更の有無（年齢階級別）

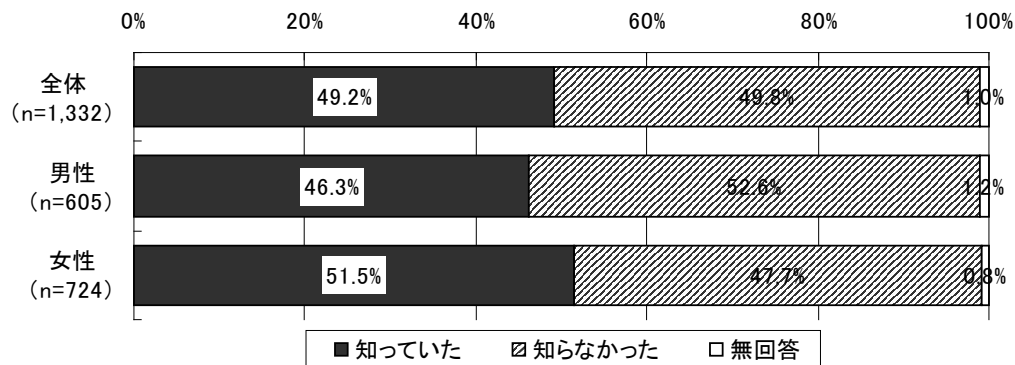


(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

(3) 一般名処方の処方せんの認知状況等

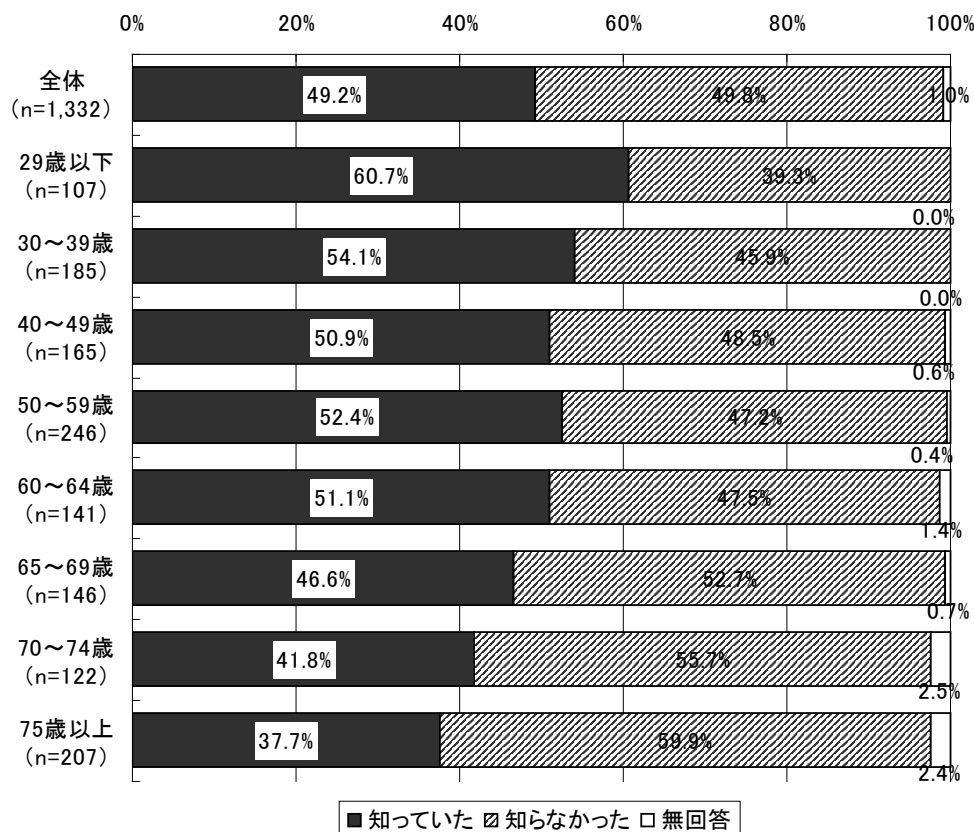
①一般名処方の処方せんの認知状況

図表 173 一般名処方の処方せんの認知状況（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

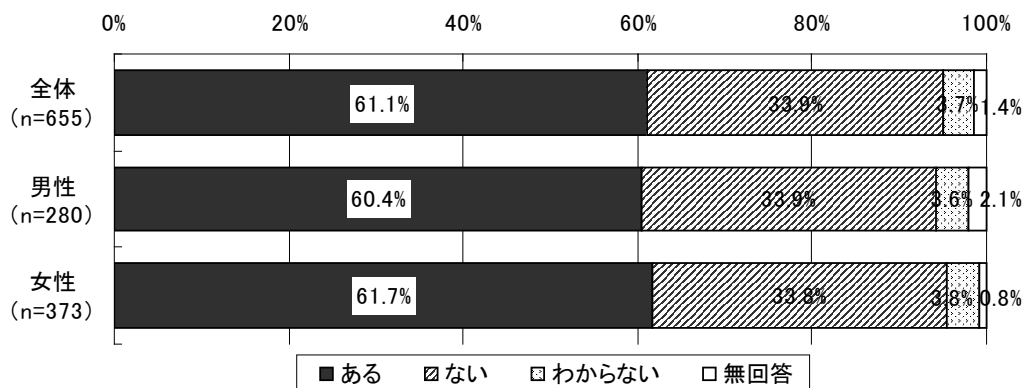
図表 174 一般名処方の処方せんの認知状況（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

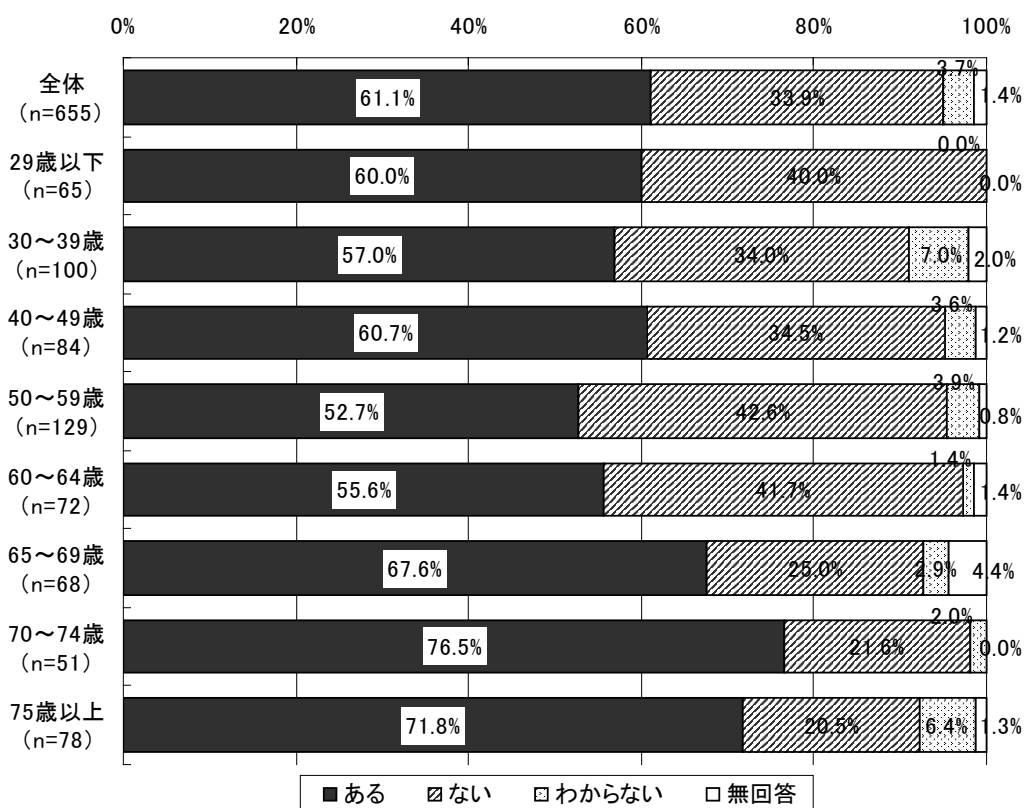
②一般名処方の処方せんを受け取った経験の有無

図表 175 一般名処方の処方せんを受け取った経験の有無
(一般名処方の処方せんを知っている人、男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

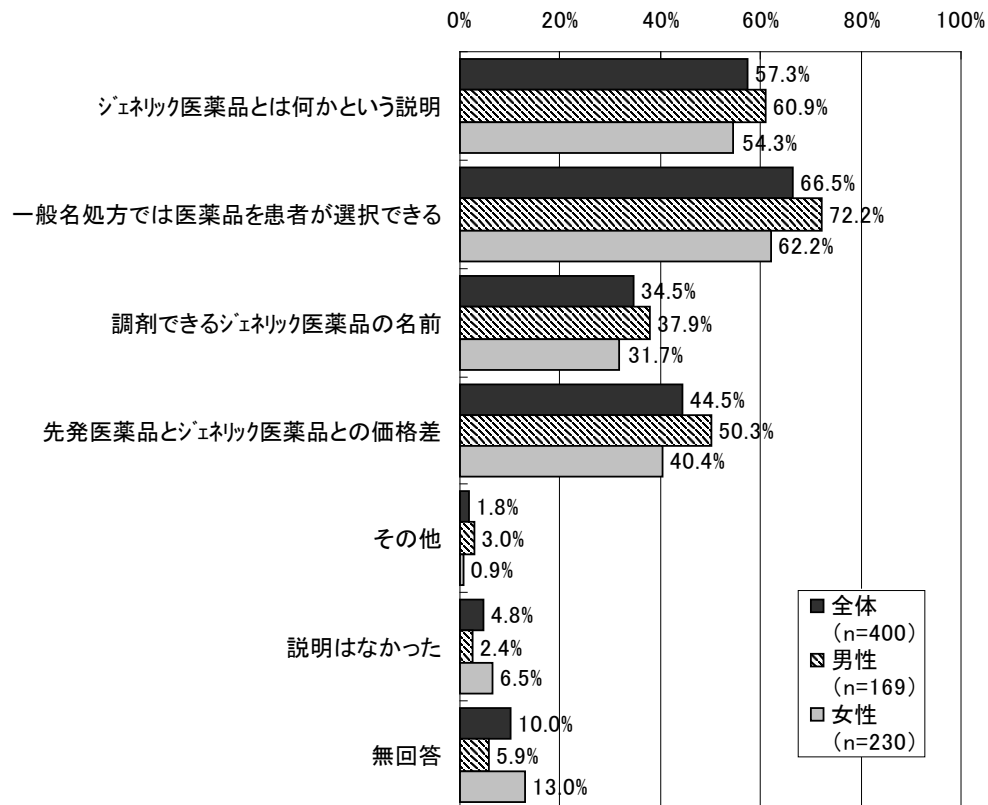
図表 176 一般名処方の処方せんを受け取った経験の有無
(一般名処方の処方せんを知っている人、年齢階級別)



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の8人が含まれる。

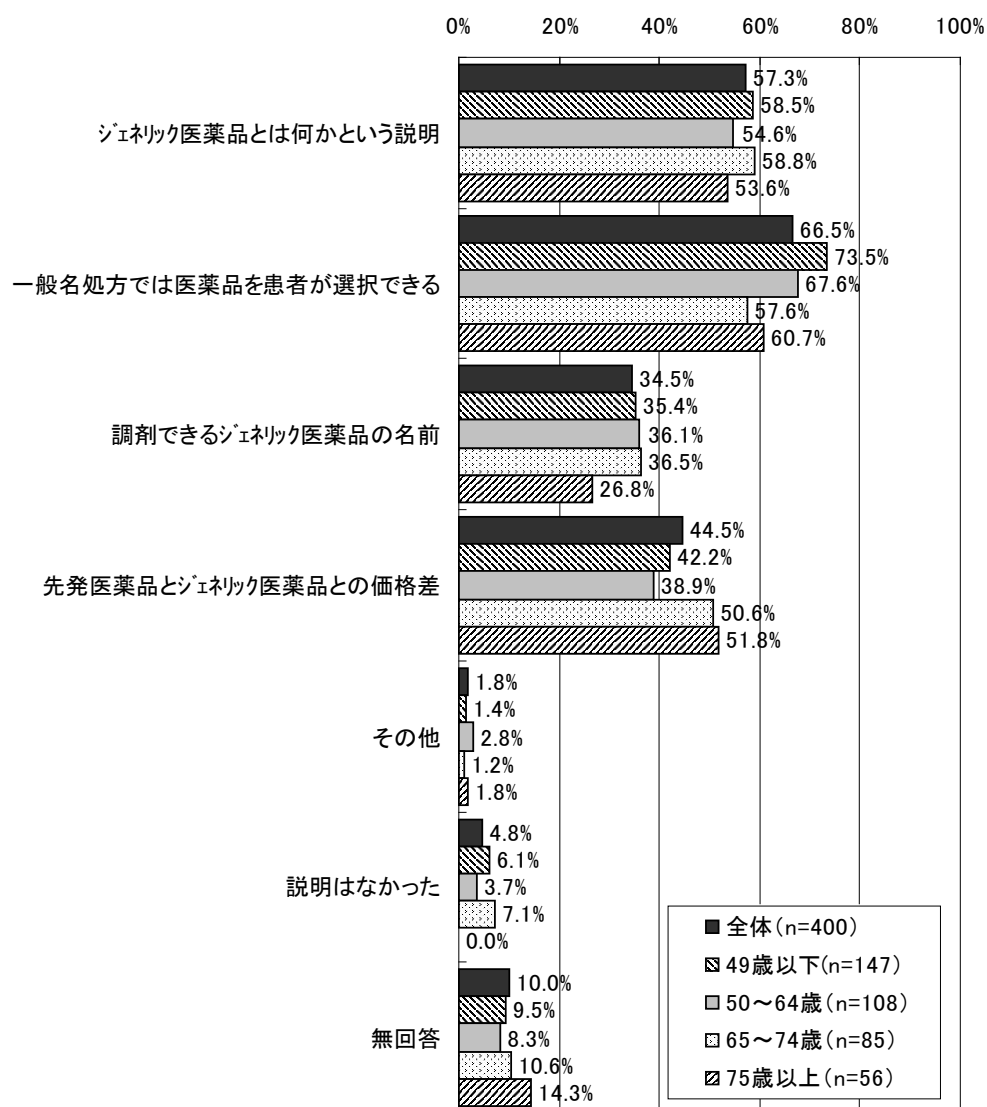
③一般名処方処方せんについて薬局の薬剤師から受けた説明内容

図表 177 一般名処方処方せんについて薬局の薬剤師から受けた説明内容
(一般名処方処方せんを受け取った経験のある人、男女別、複数回答)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の1人が含まれる。

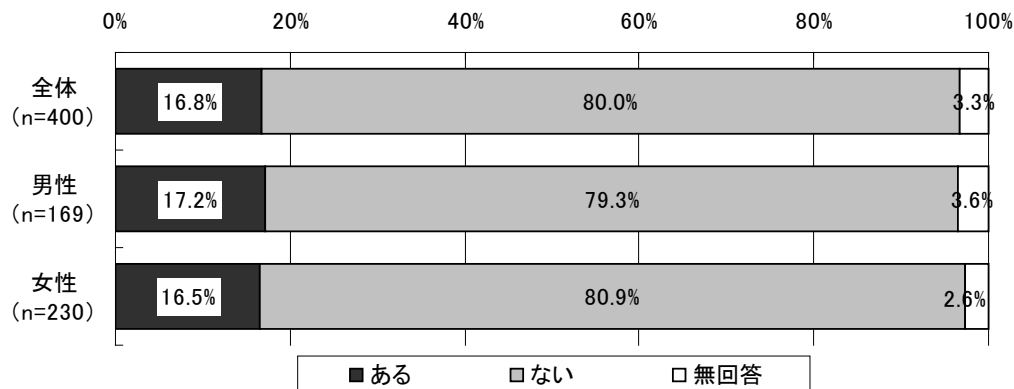
図表 178 一般名処方処方せんについて薬局の薬剤師から受けた説明内容
(一般名処方処方せんを受け取った経験のある人、年齢階級別、複数回答)



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の4人が含まれる。

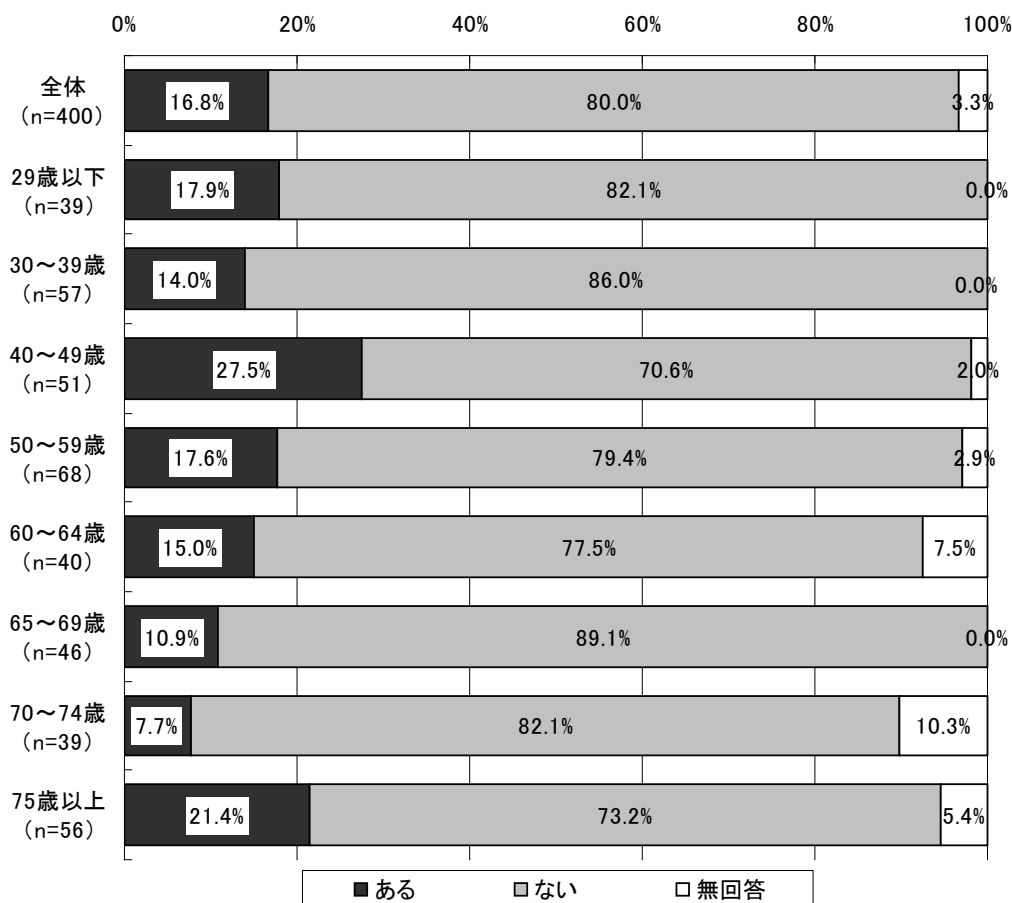
④一般名処方の処方せんを受け取って困った経験

図表 179 一般名処方の処方せんを受け取って困った経験の有無
(一般名処方の処方せんを受け取った経験のある人、男女別、複数回答)



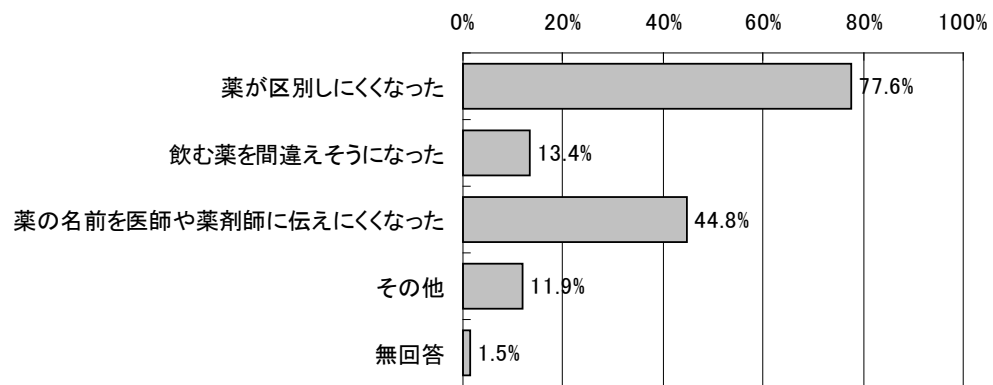
(注)「全体」には、「性別」について無回答の1人が含まれる。

図表 180 一般名処方の処方せんを受け取って困った経験の有無
(一般名処方の処方せんを受け取った経験のある人、年齢階級別、複数回答)



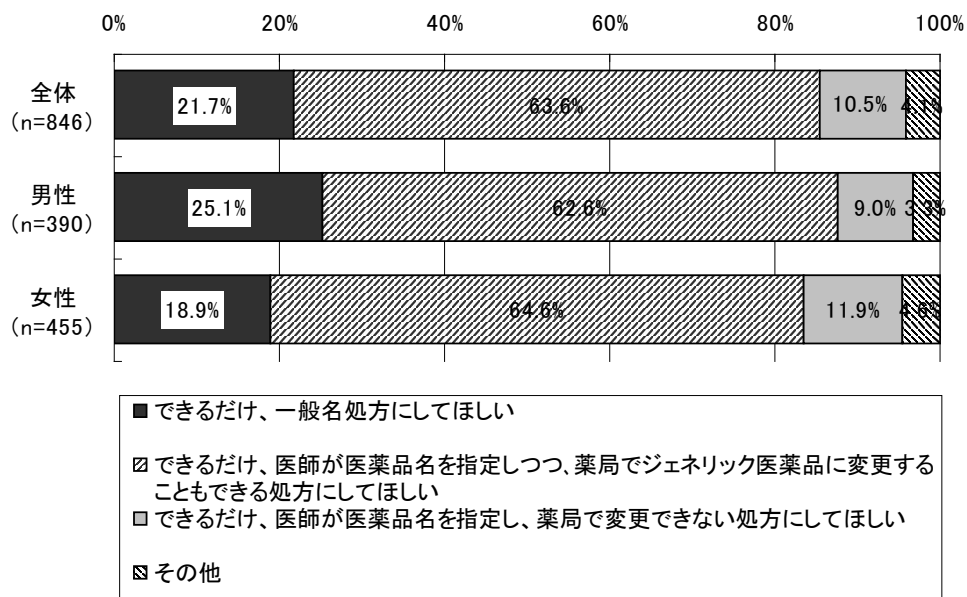
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の4人が含まれる。

図表 181 一般名処方の処方せんを受け取って困った経験の内容
 (一般名処方の処方せんを受け取って困った経験のある人、複数回答、n=67)



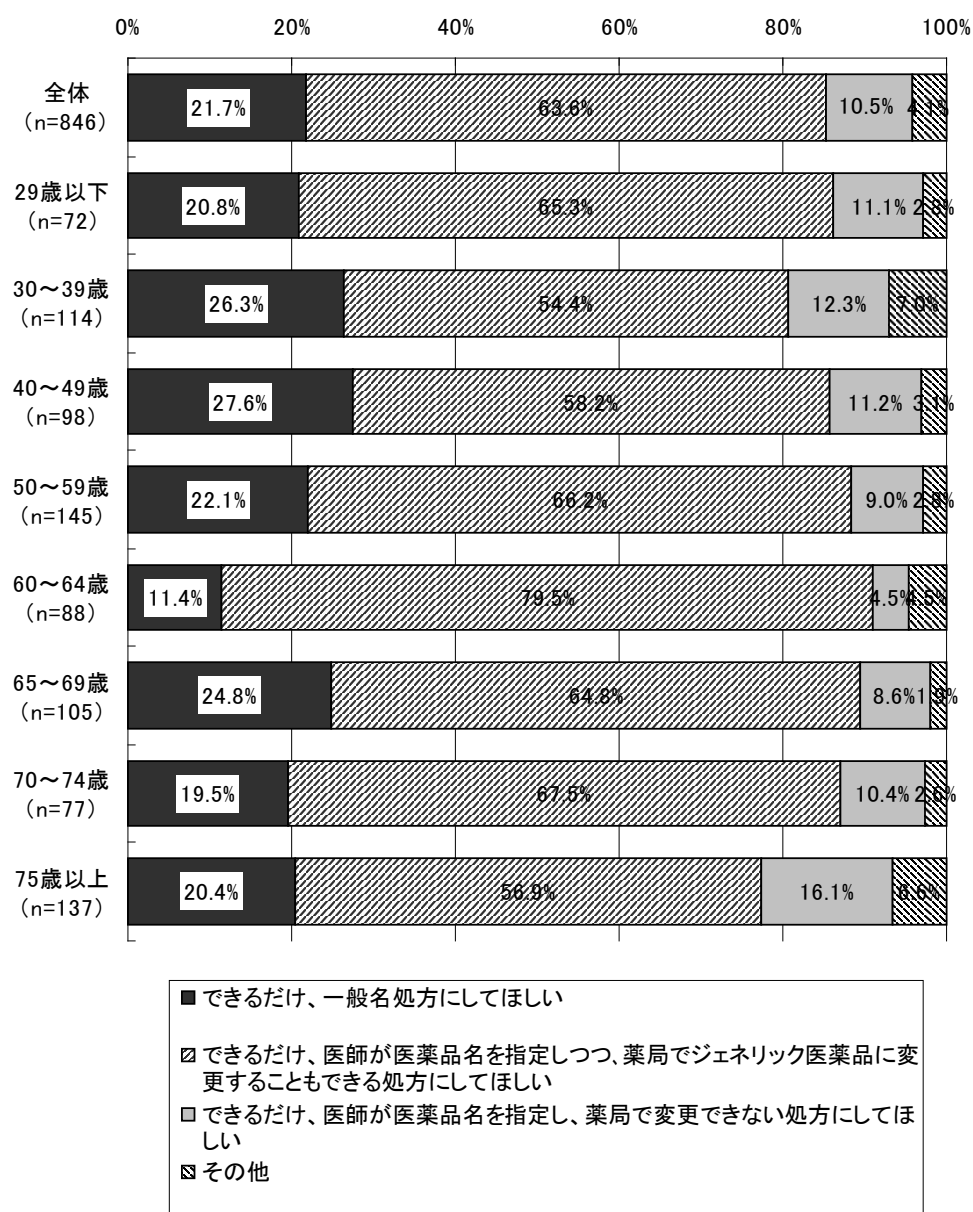
(4) 処方についての今後の意向

図表 182 処方についての今後の意向（男女別）



(注) 本調査項目について回答があった 846 人を集計対象とした。

図表 183 処方についての今後の意向（年齢階級別）

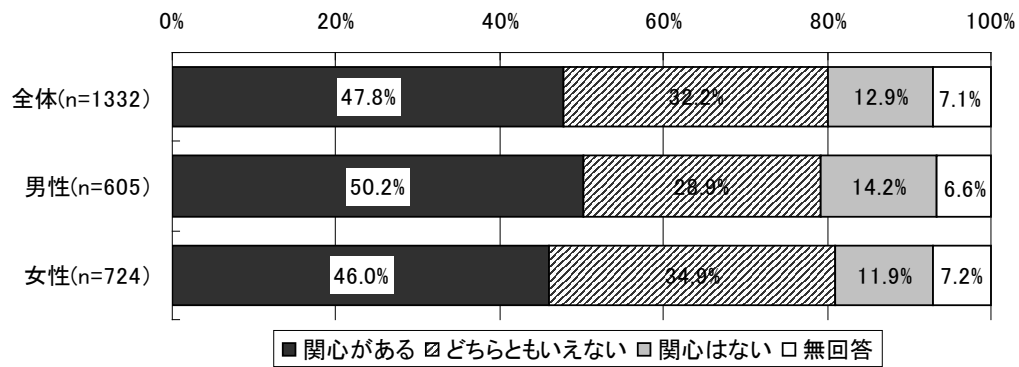


（注）本調査項目について回答があった 846 人を集計対象とした。

(5) 後発医薬品の使用状況等

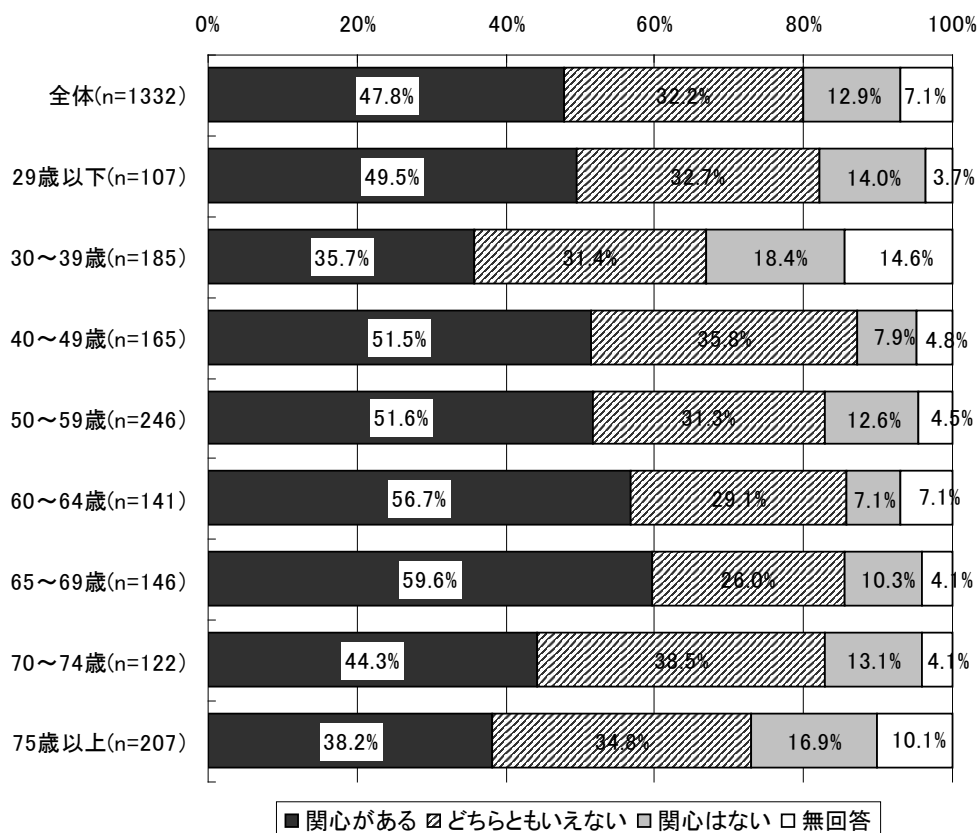
①後発医薬品に対する関心

図表 184 後発医薬品に対する関心（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

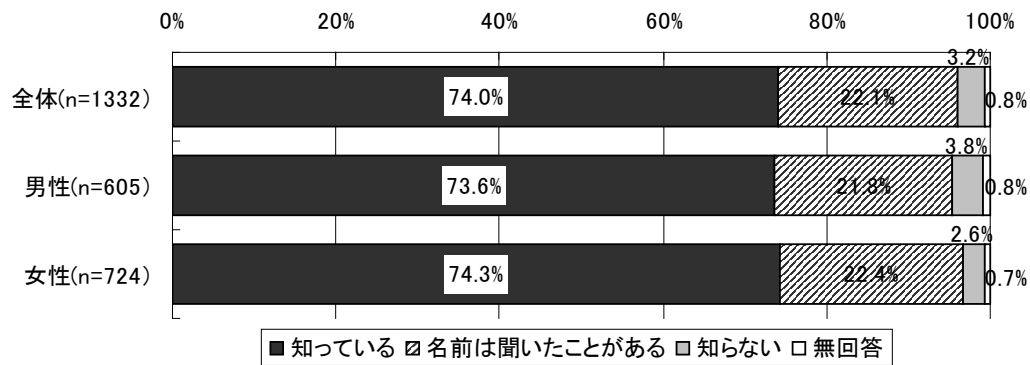
図表 185 後発医薬品に対する関心（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

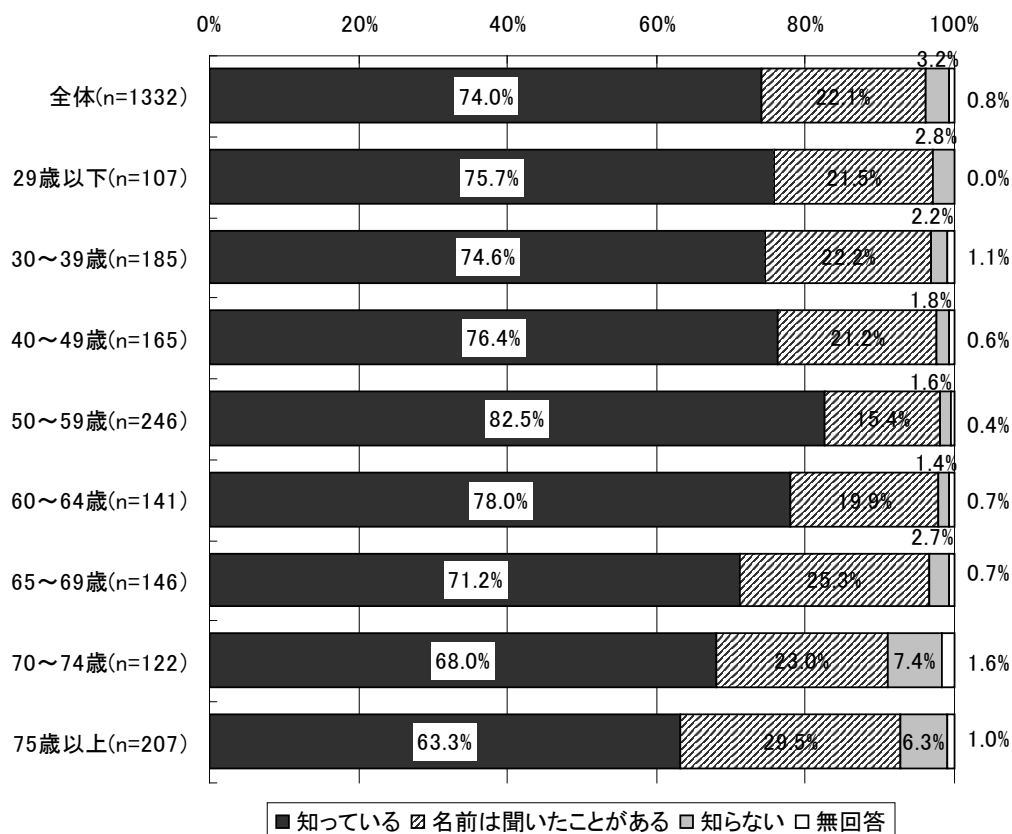
②後発医薬品の認知状況

図表 186 後発医薬品の認知状況（男女別）



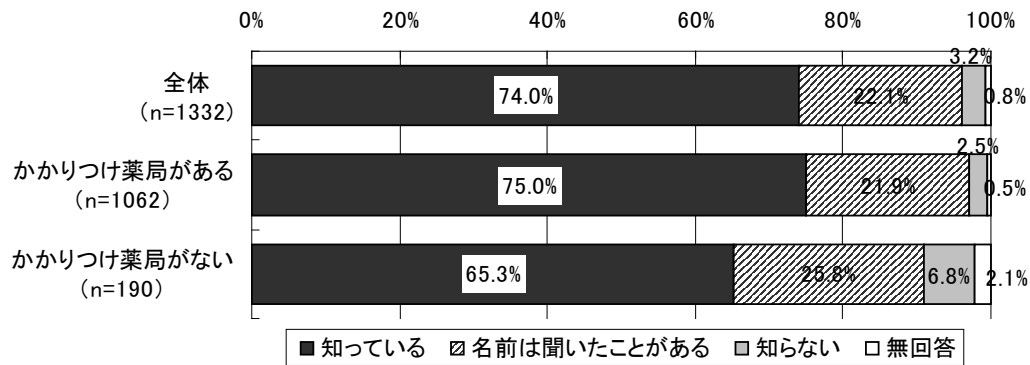
(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 187 後発医薬品の認知状況（年齢階級別）



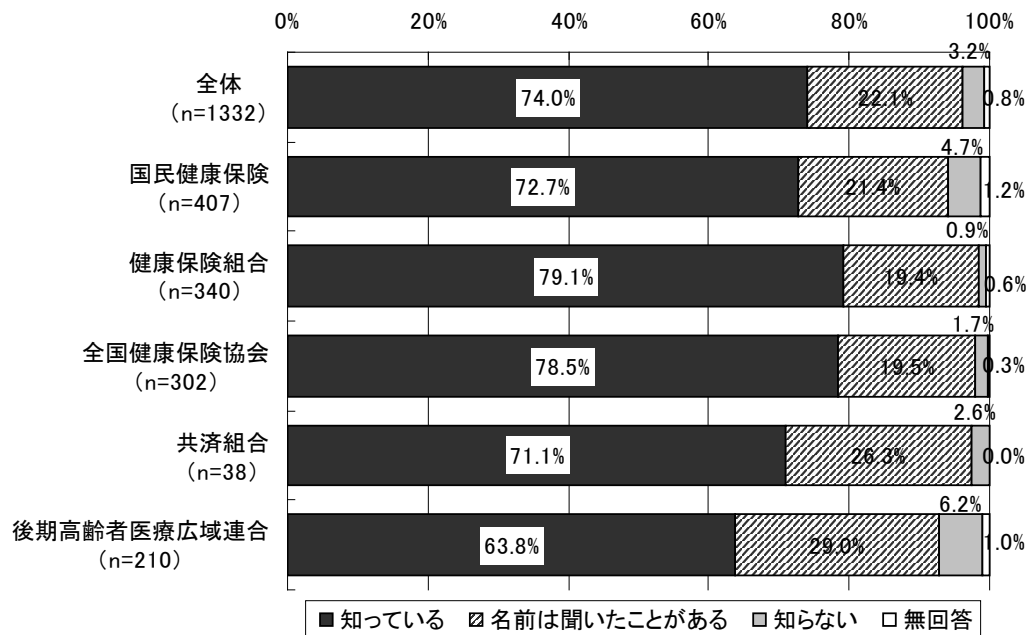
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

図表 188 後発医薬品の認知状況（かかりつけ薬局の有無別）



(注)「全体」には、「かかりつけ薬局の有無」について無回答の 80 人が含まれる。

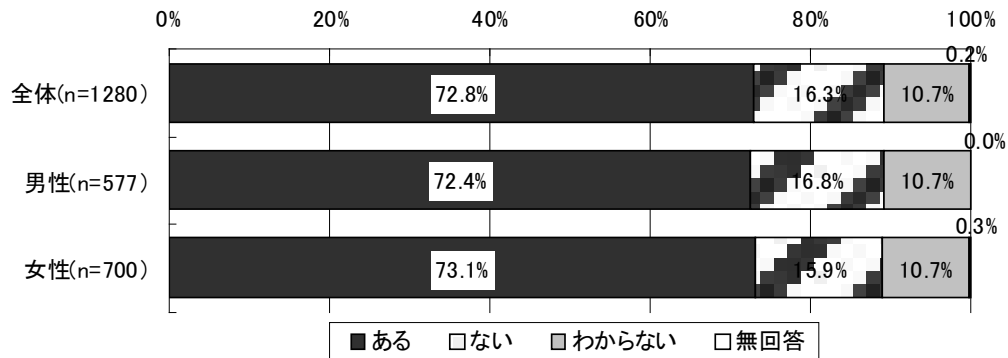
図表 189 後発医薬品の認知状況（公的医療保険の種類別）



(注)「全体」には、「公的医療保険の種類」について「その他」「わからない」、無回答の 35 人が含まれる。

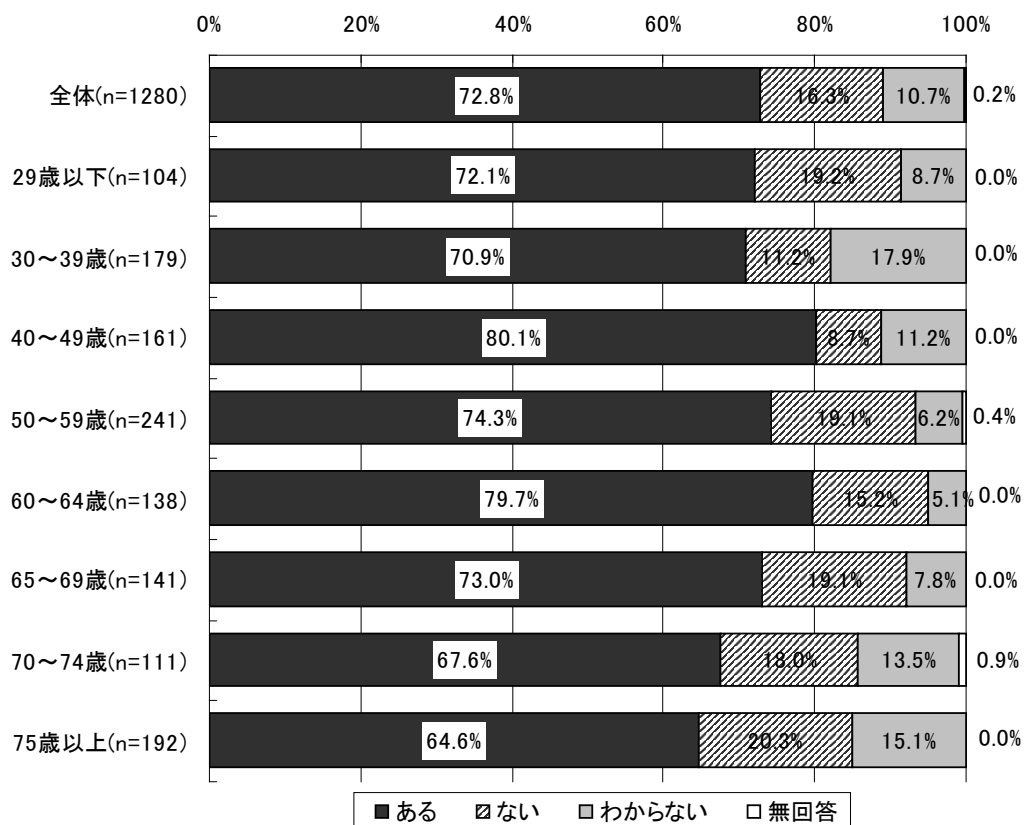
③後発医薬品の使用経験

図表 190 後発医薬品の使用経験（後発医薬品を知っている人、男女別）



（注）「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

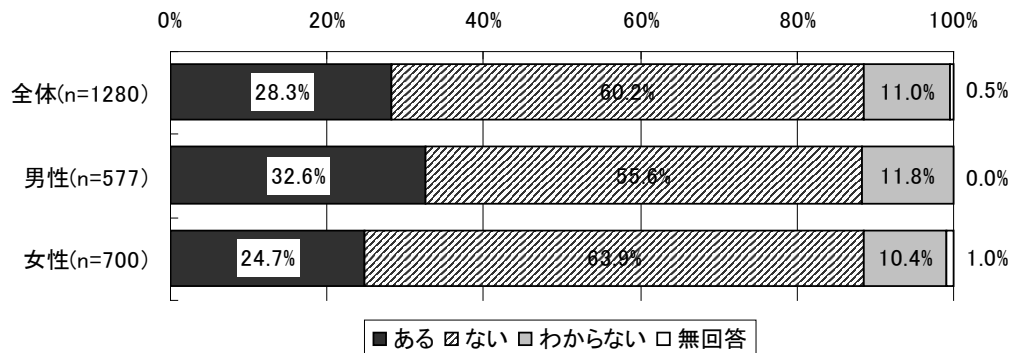
図表 191 後発医薬品の使用経験（後発医薬品を知っている人、年齢階級別）



（注）「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

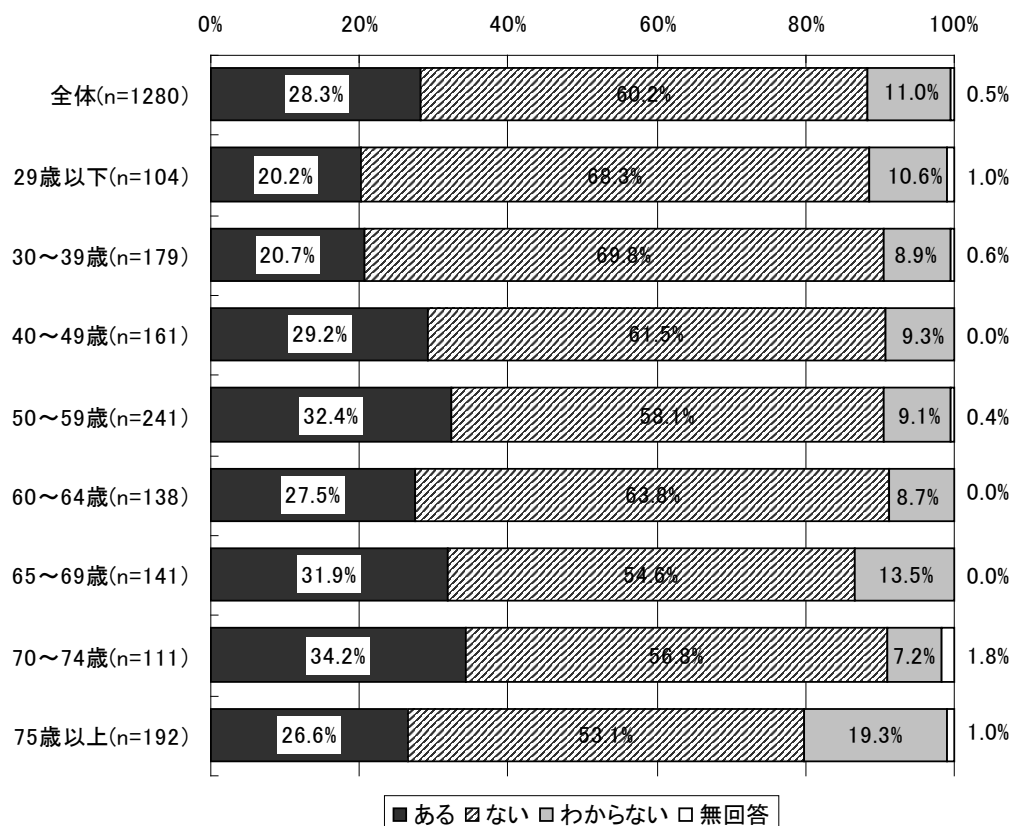
④医師から後発医薬品についての説明を受けた経験の有無

図表 192 医師から後発医薬品についての説明を受けた経験の有無
(後発医薬品を知っている人、男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

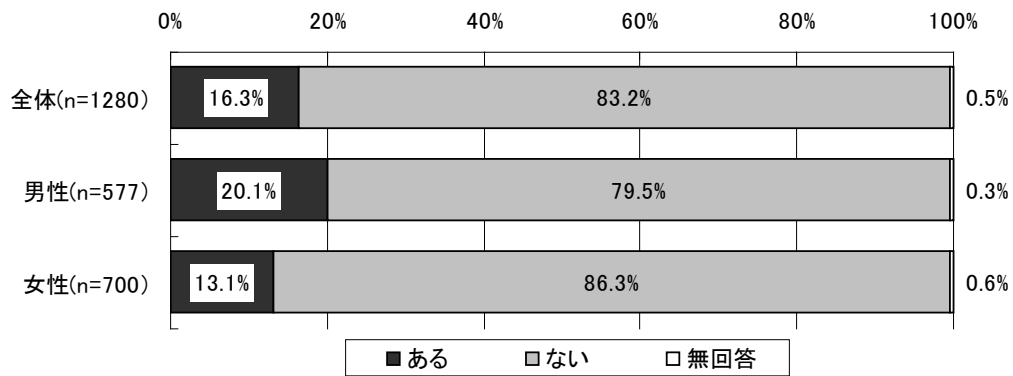
図表 193 医師から後発医薬品についての説明を受けた経験の有無
(後発医薬品を知っている人、年齢階級別)



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

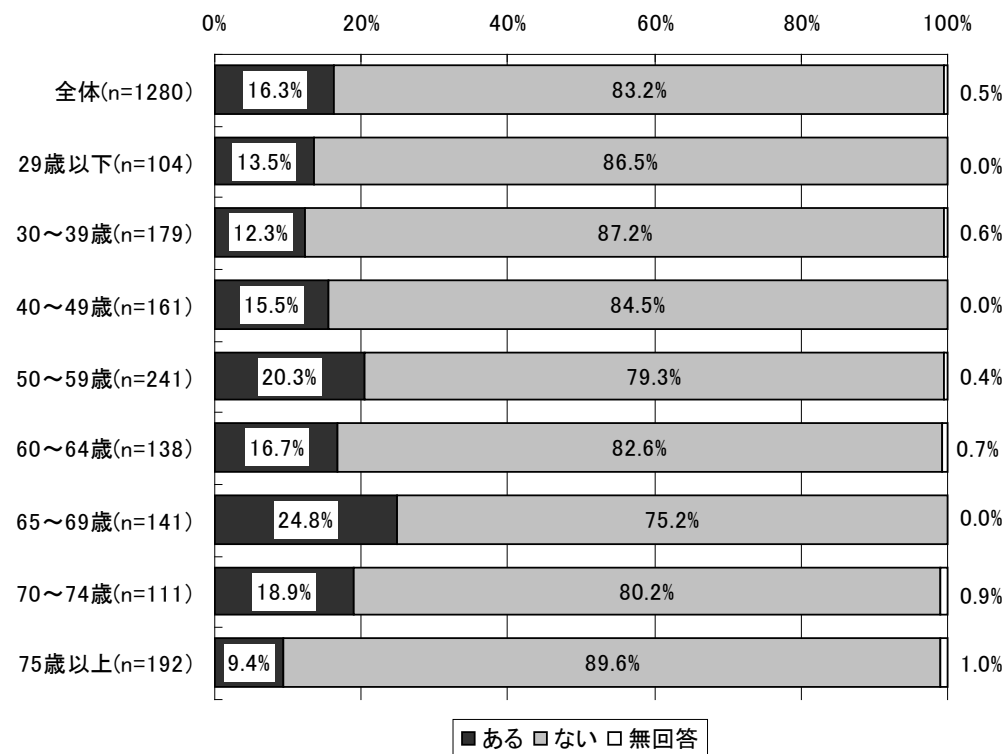
⑤医師に後発医薬品の処方をお願いした経験の有無等

図表 194 医師に後発医薬品の処方をお願いした経験の有無
(後発医薬品を知っている人、男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

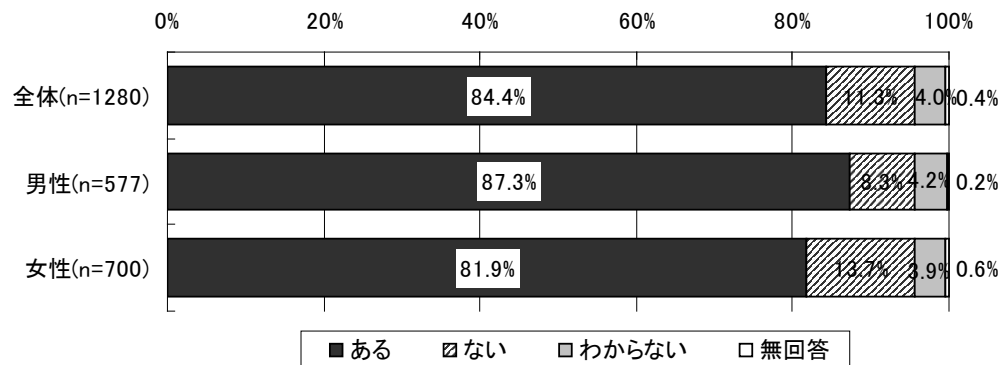
図表 195 医師に後発医薬品の処方をお願いした経験の有無
(後発医薬品を知っている人、年齢階級別)



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

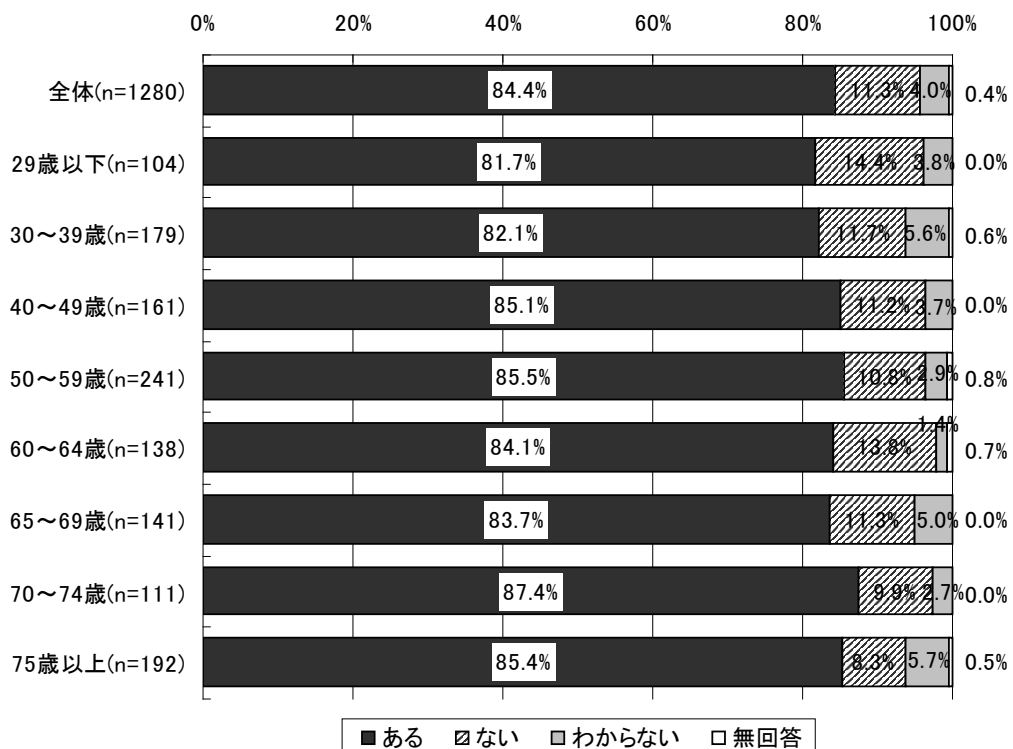
⑥薬局で薬剤師から後発医薬品についての説明を受けた経験の有無

図表 196 薬局で薬剤師から後発医薬品についての説明を受けた経験の有無
(後発医薬品を知っている人、男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

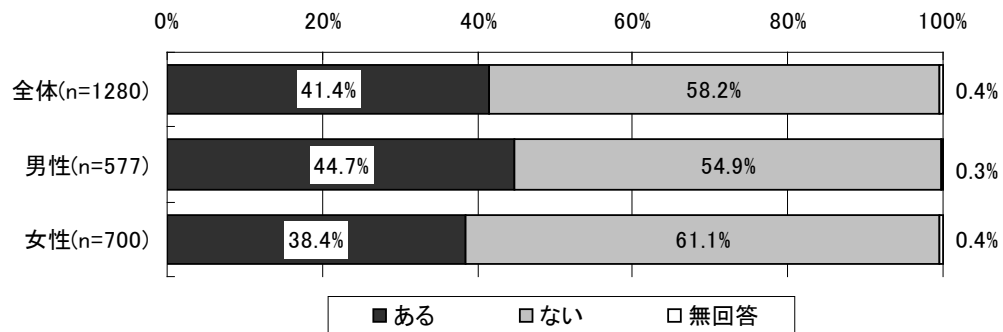
図表 197 薬局で薬剤師から後発医薬品についての説明を受けた経験の有無
(後発医薬品を知っている人、年齢階級別)



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

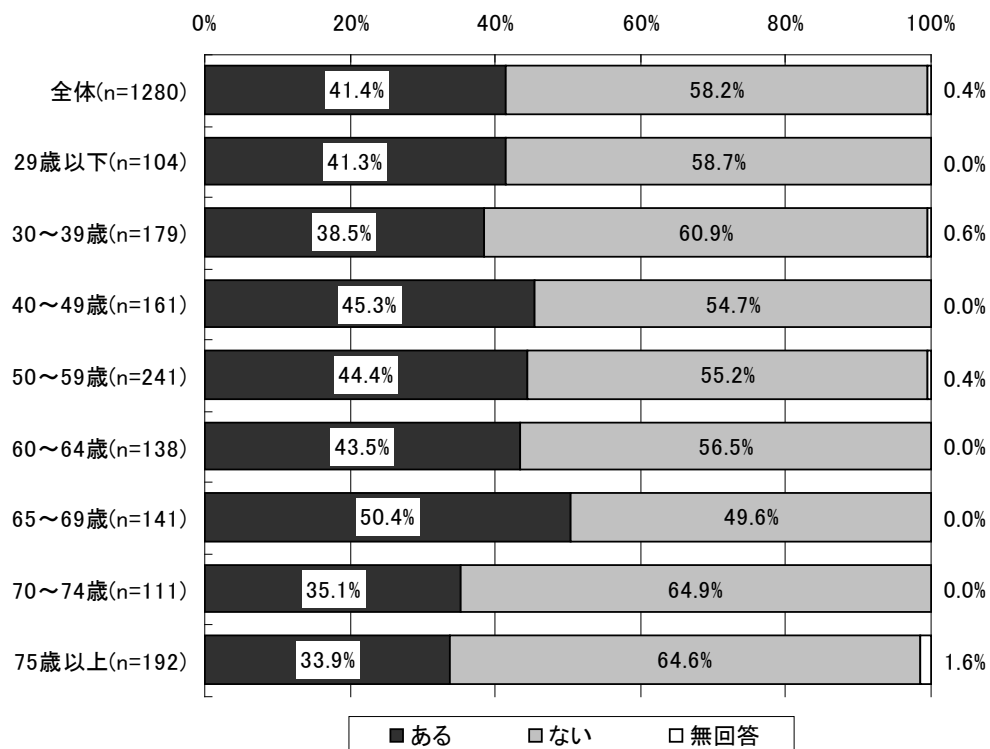
⑦薬局で薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験の有無等

図表 198 薬局で薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験の有無
(後発医薬品を知っている人、男女別)



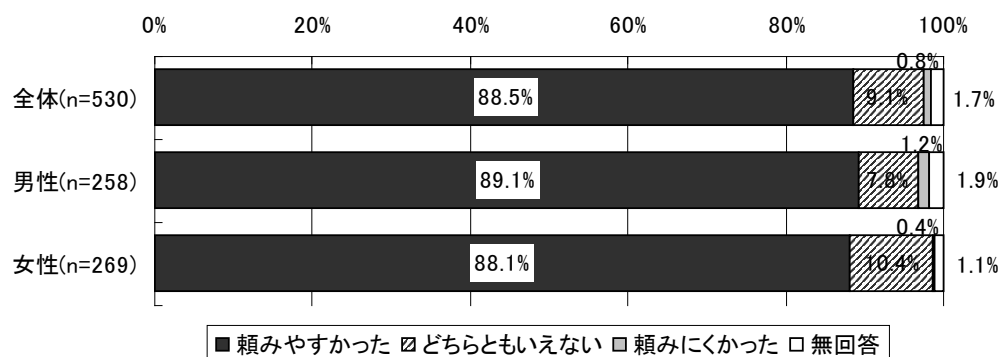
(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 199 薬局で薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験の有無
(後発医薬品を知っている人、年齢階級別)



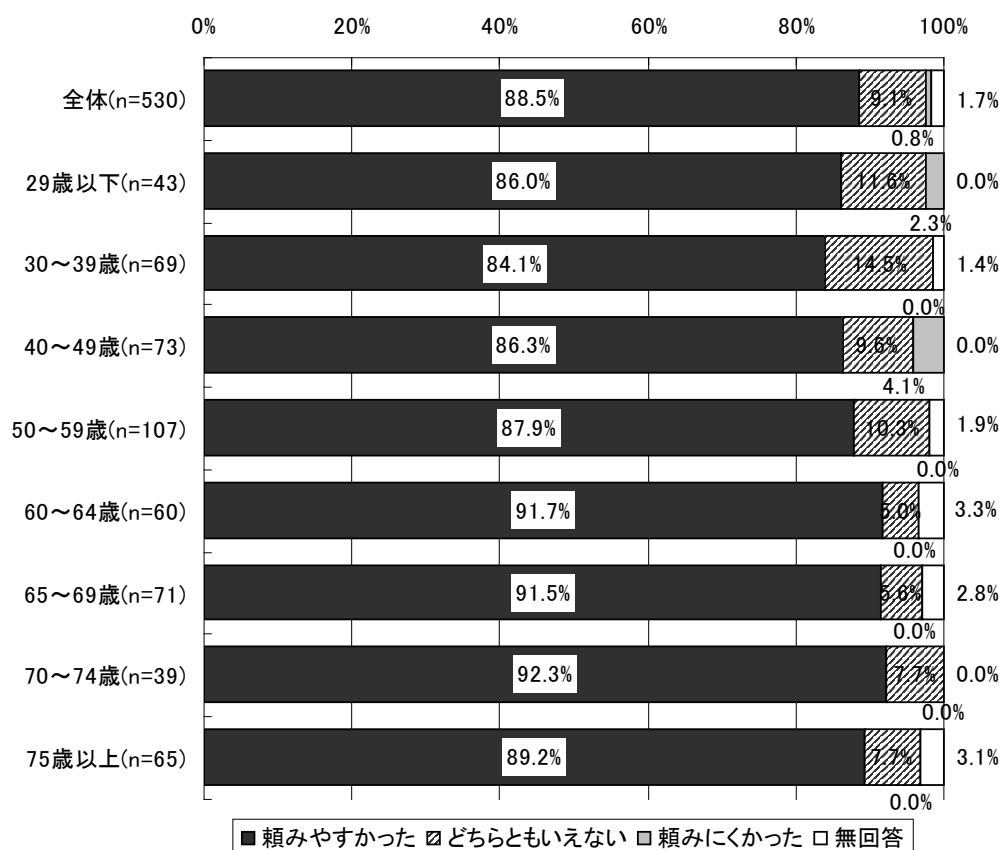
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

図表 200 薬局で薬剤師に後発医薬品の調剤を頼みやすかったか
(調剤をお願いした経験のある人、男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

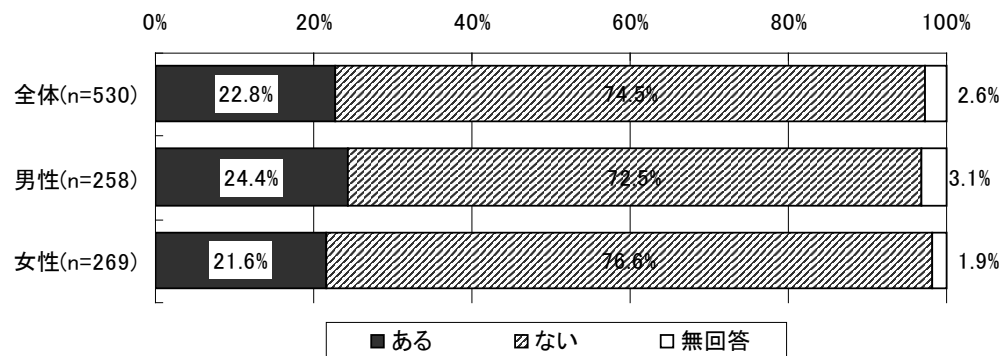
図表 201 薬局で薬剤師に後発医薬品の調剤を頼みやすかったか
(調剤をお願いした経験のある人、年齢階級別)



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の3人が含まれる。

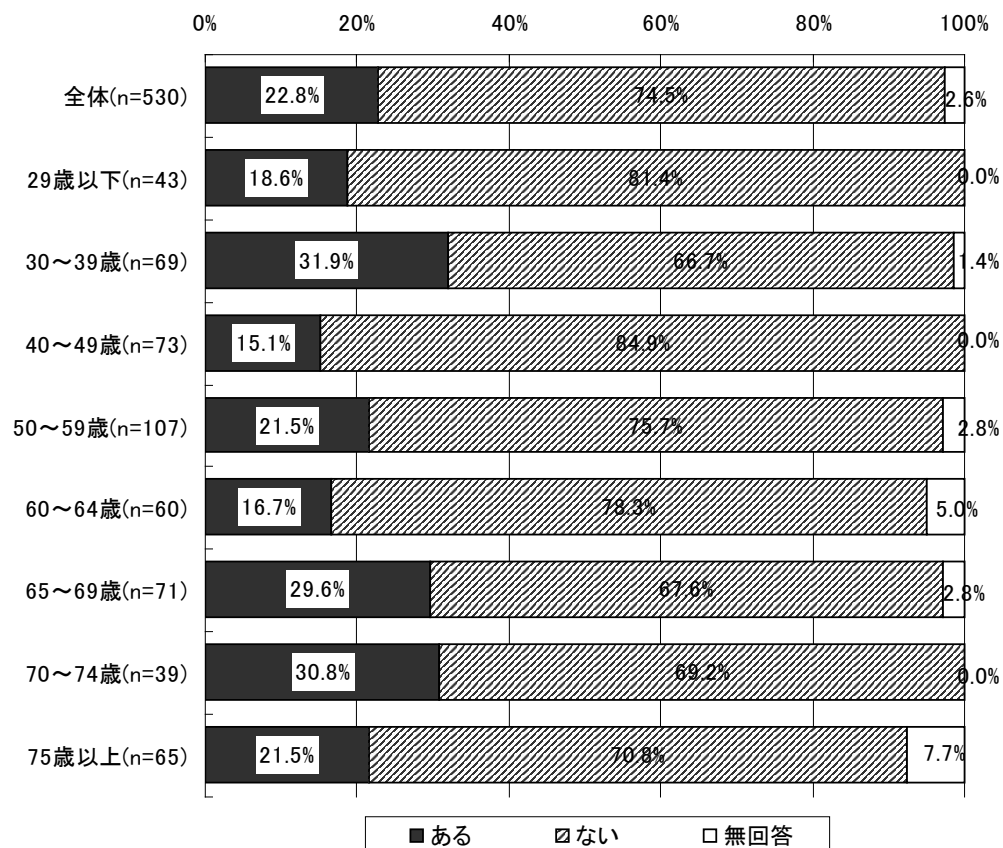
⑧薬局で後発医薬品に変更してもらえなかった経験の有無等（平成 24 年 4 月以降）

図表 202 薬局で後発医薬品に変更してもらえなかった経験の有無
（薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験のある人、男女別）



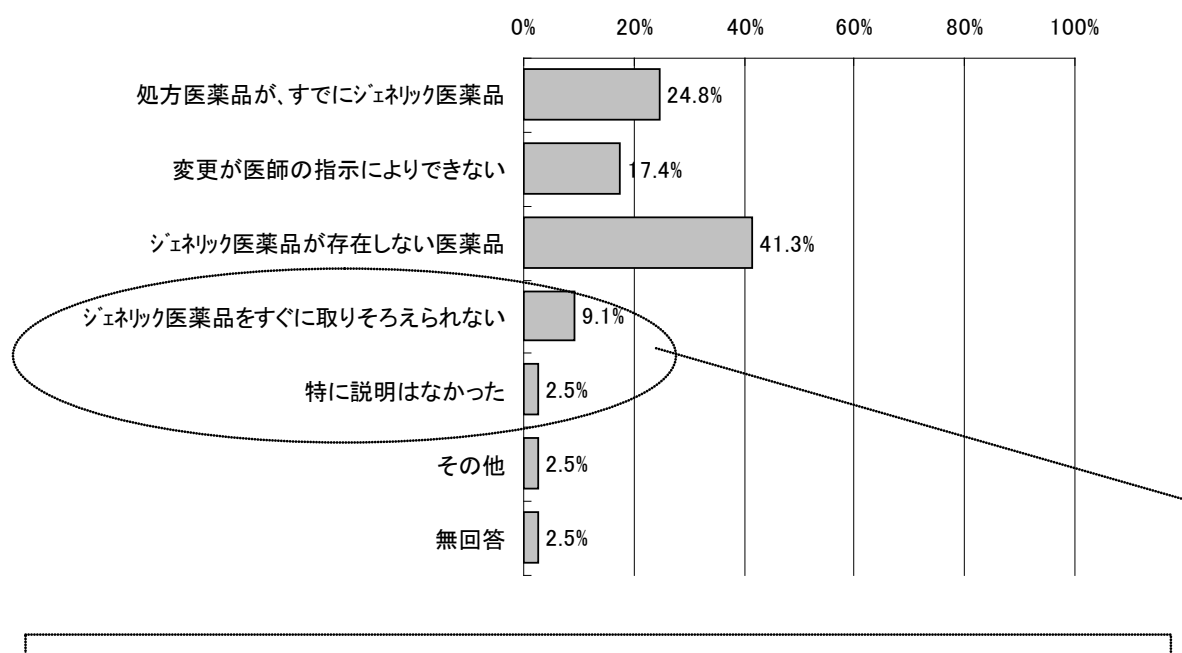
（注）「全体」には、「性別」について無回答の 3 人が含まれる。

図表 203 薬局で後発医薬品に変更してもらえなかった経験の有無
（薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験のある人、年齢階級別）

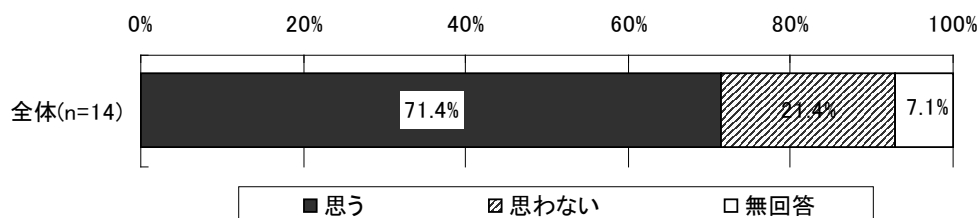


（注）「全体」には、「年齢」について無回答の 3 人が含まれる。

図表 204 後発医薬品に変更してもらえなかった際の薬局からの説明内容
(薬局で後発医薬品に変更してもらえなかった経験のある人、単数回答、n=121)

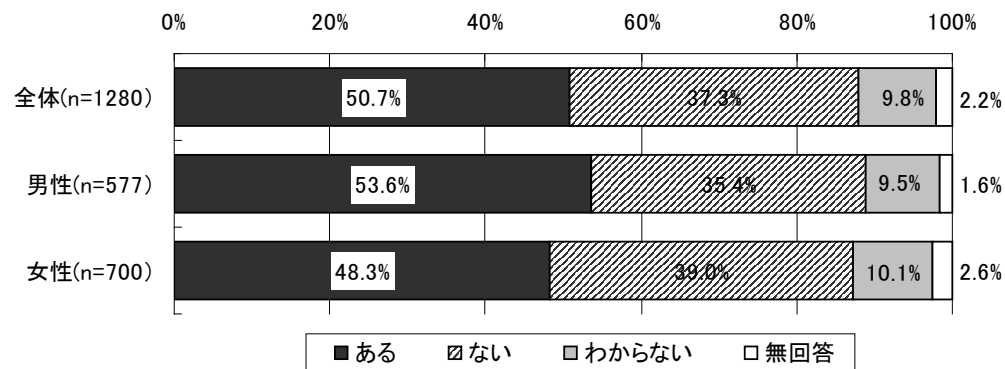


図表 205 後発医薬品を積極的に調剤している薬局が近くにある場合は、その薬局に
処方せんを持っていきたいと思うか
(上記で「ジェネリック医薬品をすぐに取り揃えられない」「特に説明はなかった」
と回答した人)



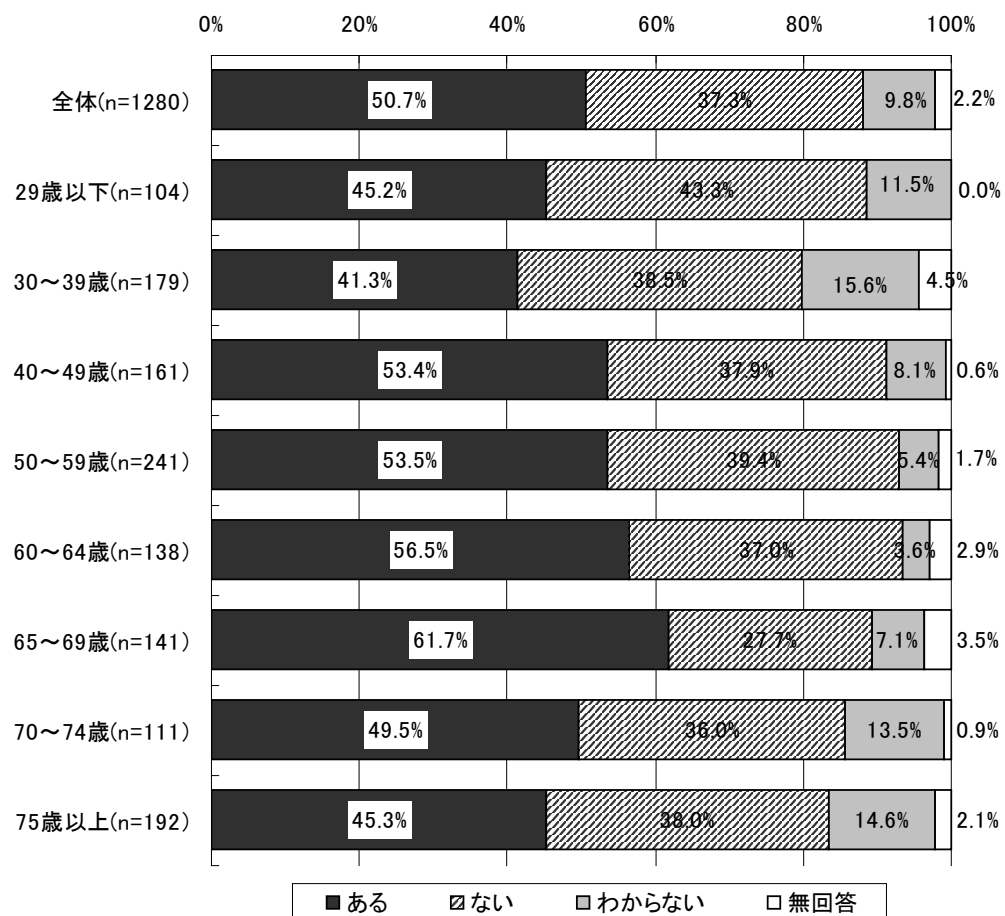
⑨先発医薬品から後発医薬品に変更した経験等

図表 206 先発医薬品から後発医薬品に変更した薬の有無
(後発医薬品を知っている人、男女別)



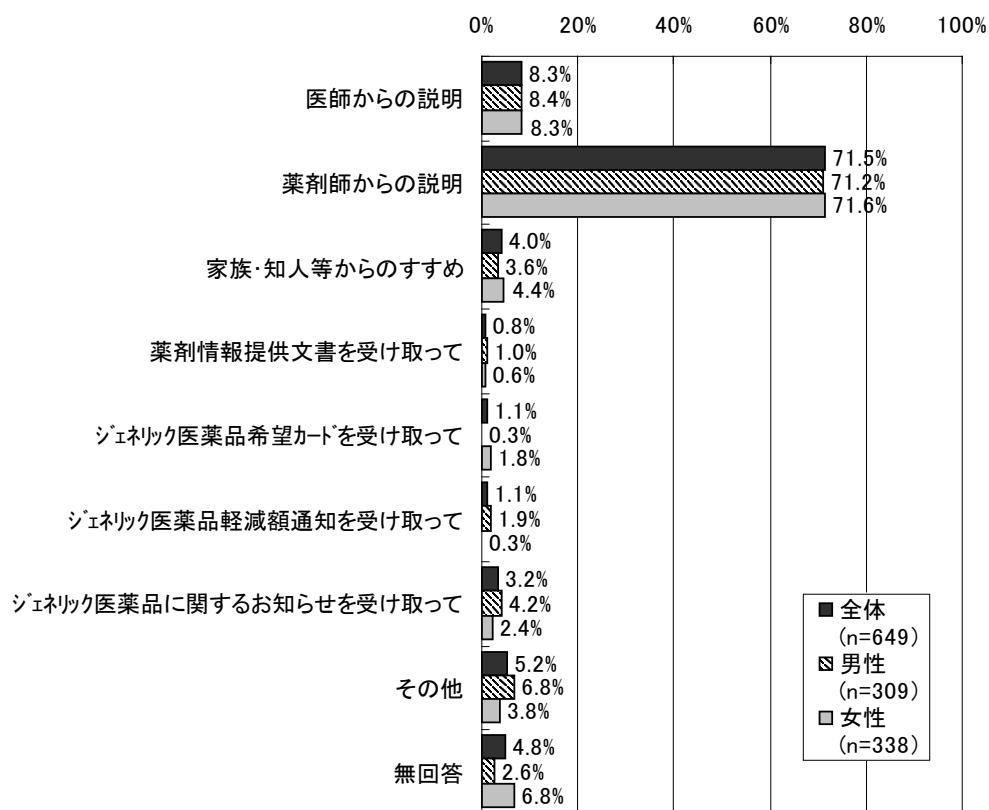
(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 207 先発医薬品から後発医薬品に変更した薬の有無
(後発医薬品を知っている人、年齢階級別)



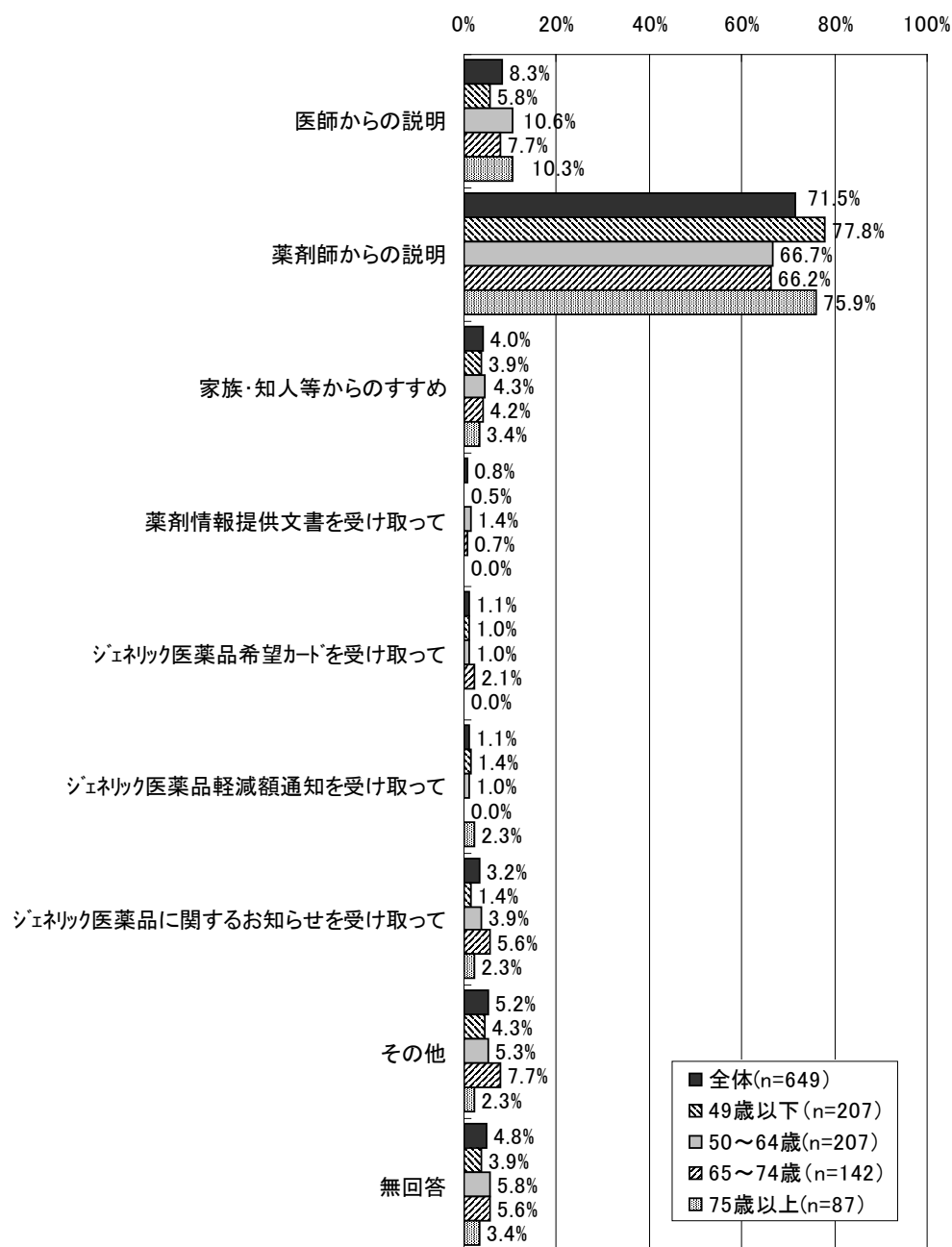
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

図表 208 先発医薬品から後発医薬品に変更した最大のきっかけ
(先発医薬品から後発医薬品に変更した薬がある人、単数回答、男女別)



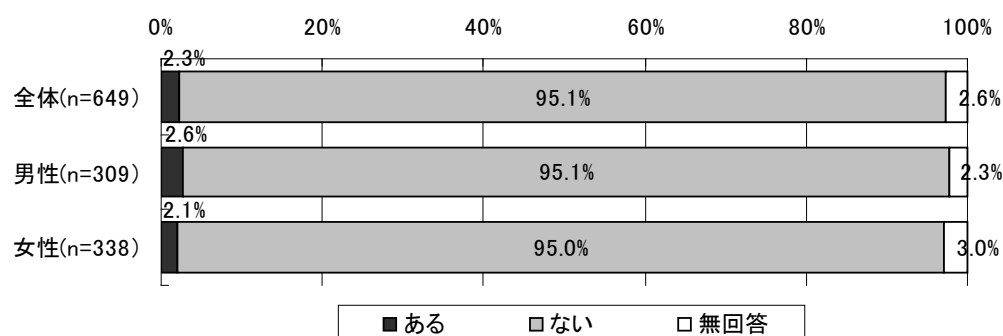
(注)「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

図表 209 先発医薬品から後発医薬品に変更した最大のきっかけ
(先発医薬品から後発医薬品に変更した薬がある人、単数回答、年齢階級別)



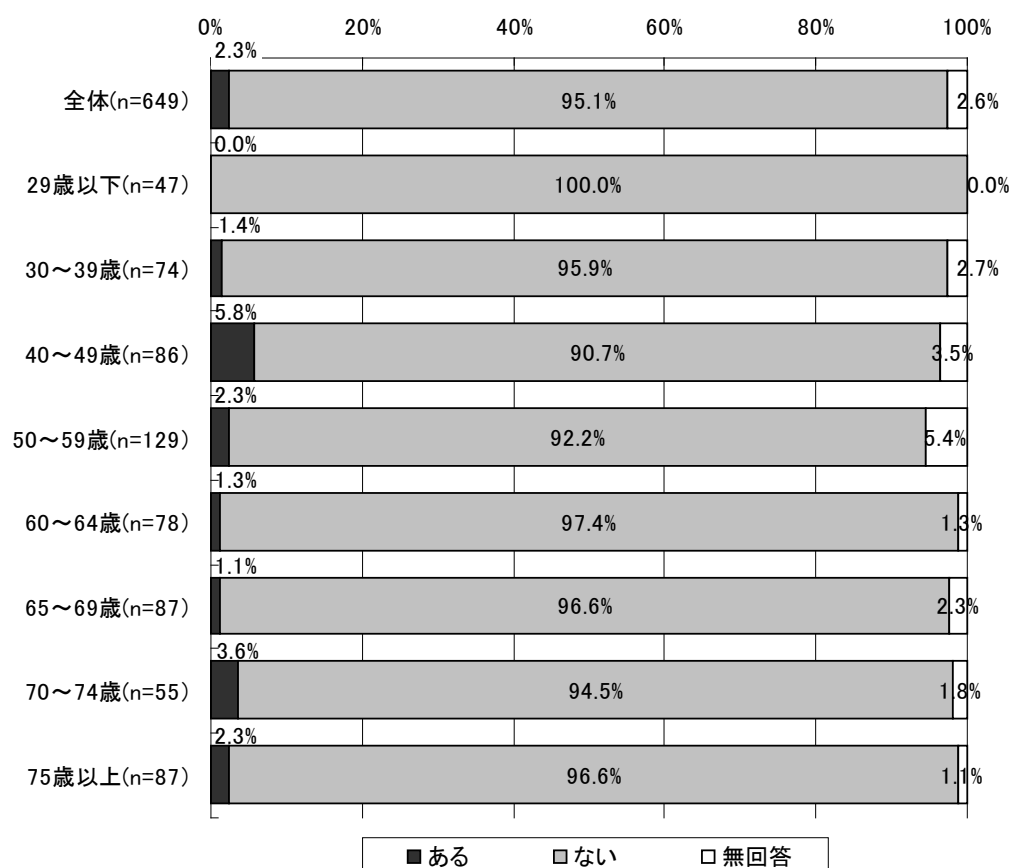
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の6人が含まれる。

図表 210 後発医薬品変更時における、アレルギーなどの体調不良の経験の有無
(先発医薬品から後発医薬品に変更した薬がある人、男女別)



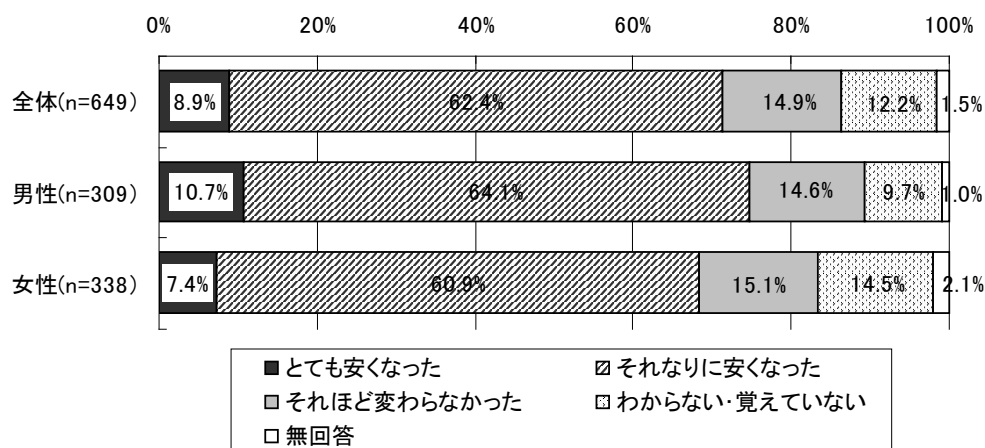
(注)「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

図表 211 後発医薬品変更時における、アレルギーなどの体調不良の経験の有無
(先発医薬品から後発医薬品に変更した薬がある人、年齢階級別)



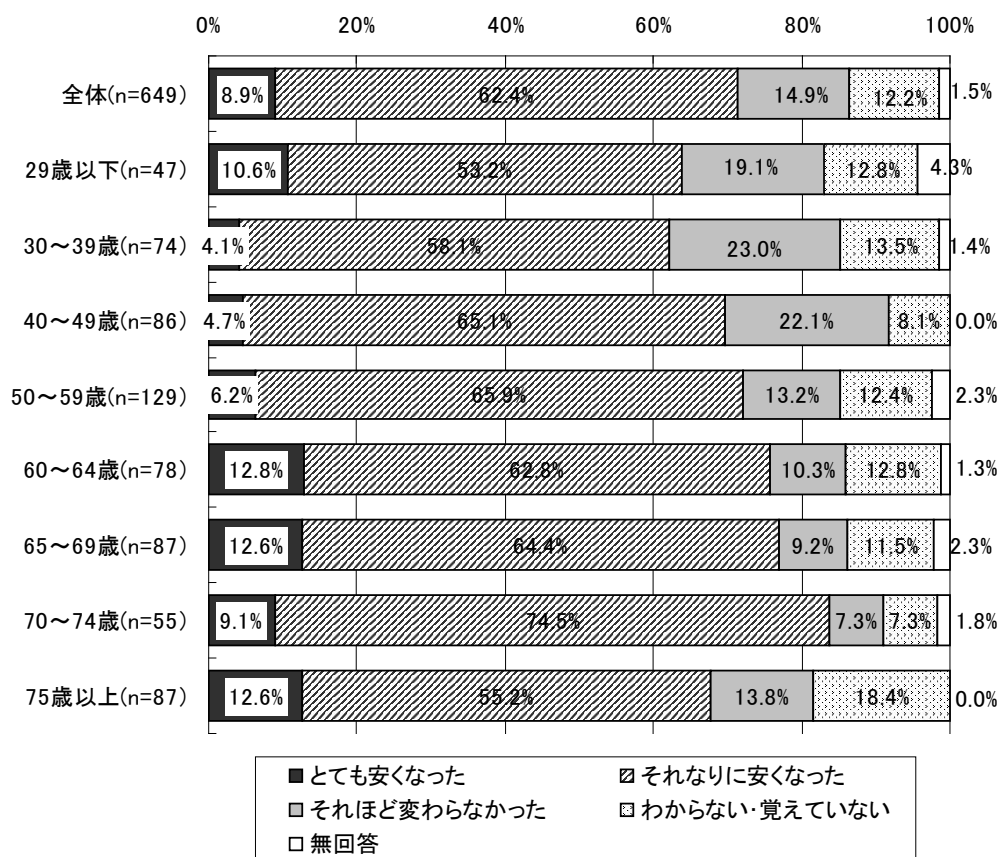
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の6人が含まれる。

図表 212 後発医薬品変更時における、薬局窓口での薬代の負担感の変化
(先発医薬品から後発医薬品に変更した薬がある人、男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

図表 213 後発医薬品変更時における、薬局窓口での薬代の負担感の変化
(先発医薬品から後発医薬品に変更した薬がある人、年齢階級別)



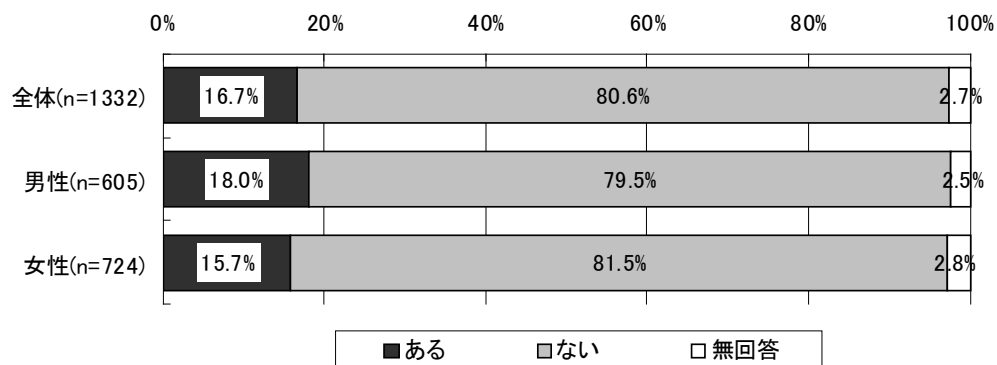
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の6人が含まれる。

(6) ジェネリック医薬品軽減額通知の受取状況等

①ジェネリック医薬品軽減額通知の受取状況等

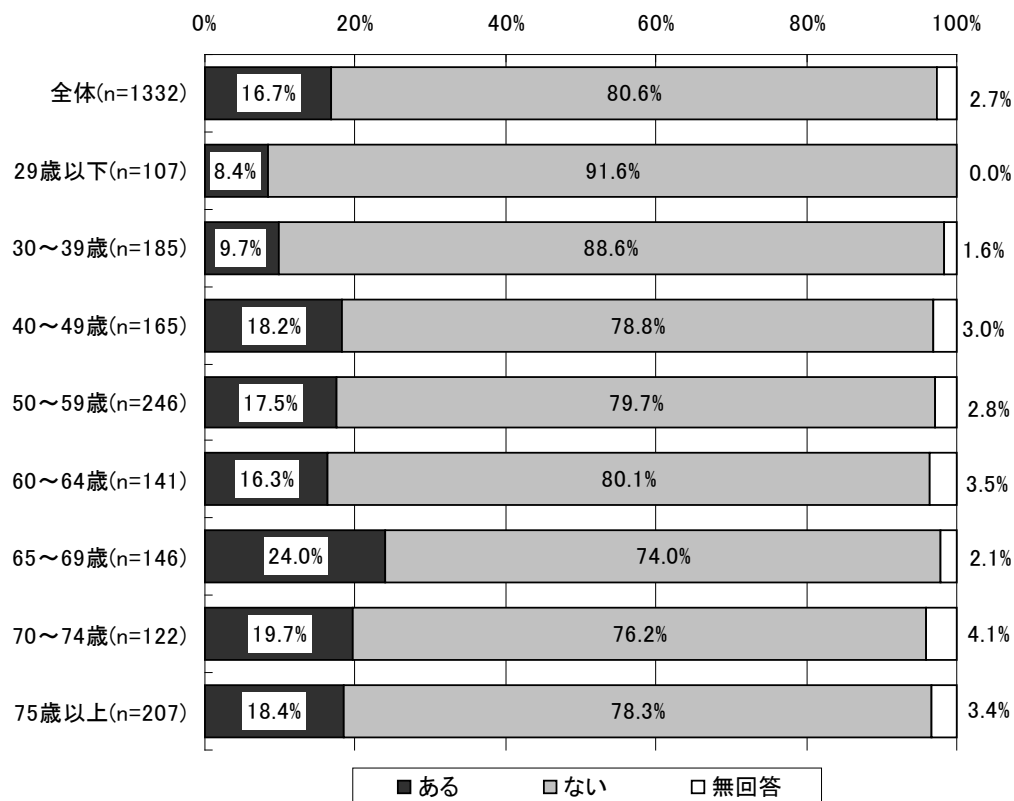
1) ジェネリック医薬品軽減額通知の受取経験の有無

図表 214 ジェネリック医薬品軽減額通知の受取経験の有無（男女別）



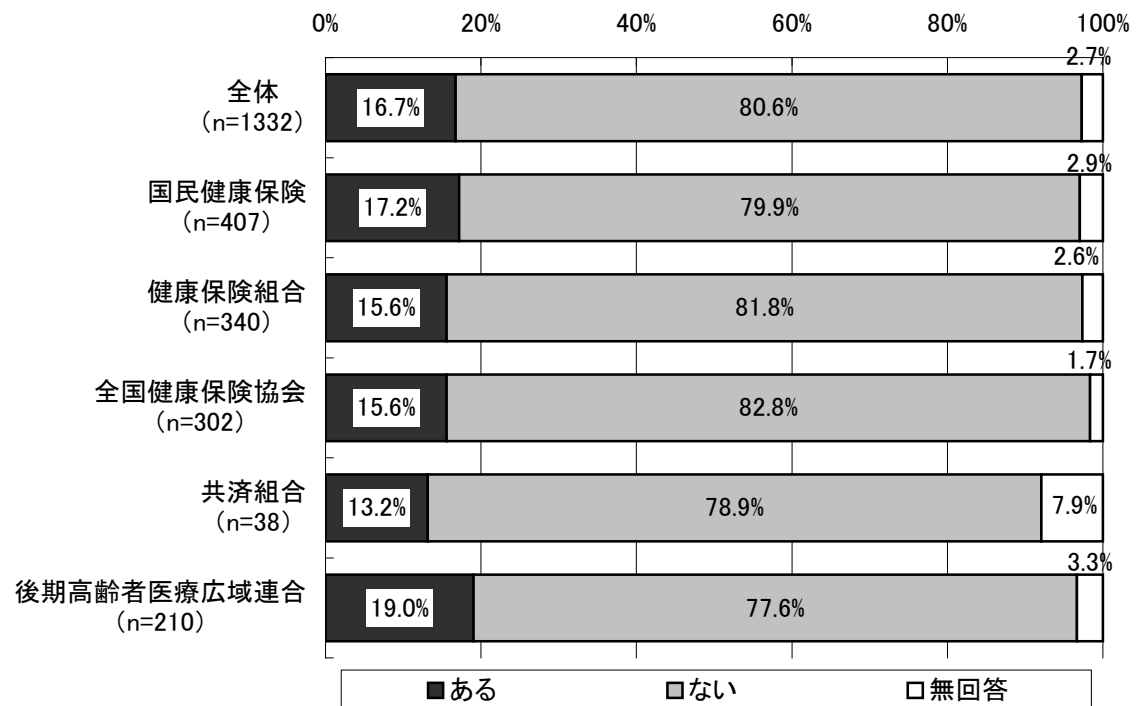
(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 215 ジェネリック医薬品軽減額通知の受取経験の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

図表 216 ジェネリック医薬品軽減額通知の受取経験の有無（公的医療保険の種類別）



(注)「全体」には、「公的医療保険の種類」について「その他」「わからない」、無回答の 35 人が含まれる。

2) ジェネリック医薬品軽減額通知に記載されていた軽減額

図表 217 ジェネリック医薬品軽減額通知に記載されていた軽減額
(ジェネリック医薬品軽減額通知を受け取った人、男女別)

(単位：円)

	人数	平均値	標準偏差	中央値
全体	77	1,779.4	5,849.0	500
男性	41	2,498.8	7,816.4	500
女性	36	960.1	1,779.2	485

(注) 軽減額について記載のあった 77 人を集計対象とした。

図表 218 ジェネリック医薬品軽減額通知に記載されていた軽減額
(ジェネリック医薬品軽減額通知を受け取った人、年齢階級別)

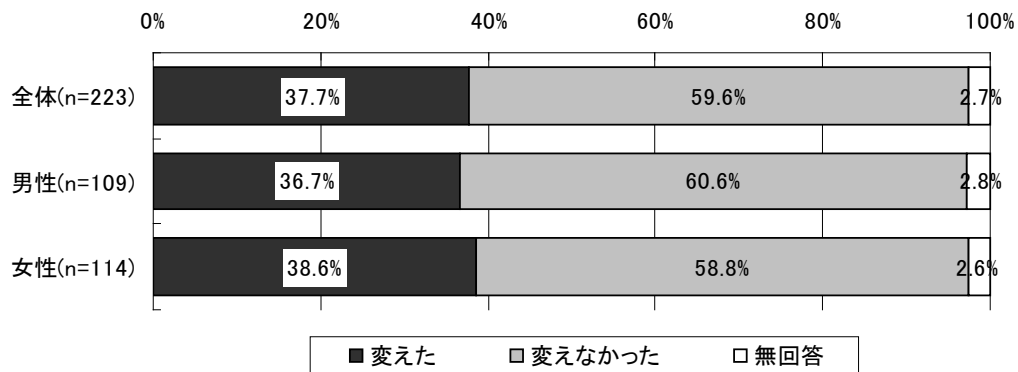
(単位：円)

	人数	平均値	標準偏差	中央値
全体	77	1,779.4	5,849.0	500
29 歳以下	3	233.3	230.9	100
30～39 歳	8	383.8	456.8	250
40～49 歳	14	2,252.1	2,989.3	1,000
50～59 歳	18	1,238.5	1,821.0	500
60～64 歳	9	938.9	795.3	1,000
65～69 歳	14	1,262.1	1,594.5	485
70～74 歳	3	266.7	57.7	300
75 歳以上	8	6,562.5	17,552.6	300

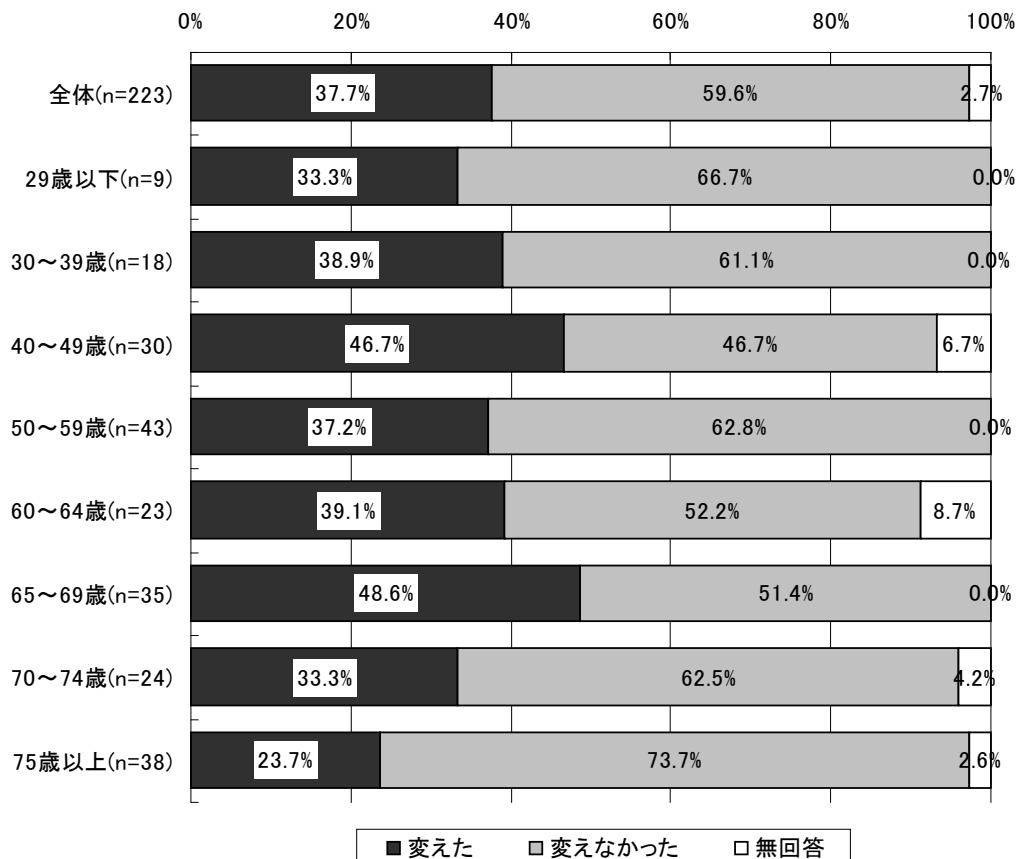
(注) 軽減額について記載のあった 77 人を集計対象とした。

②ジェネリック医薬品軽減額通知の受取により後発医薬品に変更したか

図表 219 ジェネリック医薬品軽減額通知の受取により後発医薬品に変更したか
(ジェネリック医薬品軽減額通知を受け取った人、男女別)

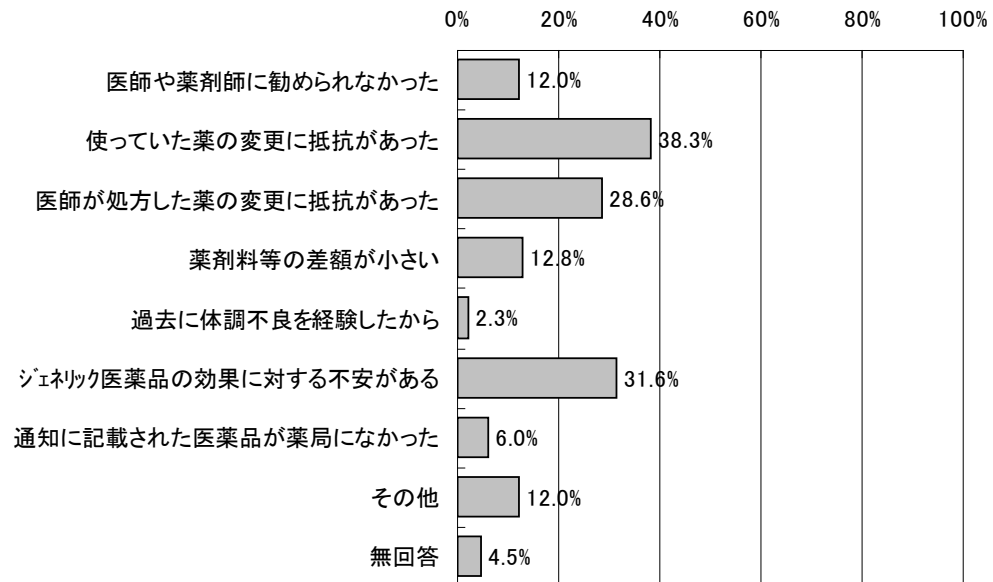


図表 220 ジェネリック医薬品軽減額通知の受取により後発医薬品に変更したか
(ジェネリック医薬品軽減額通知を受け取った人、年齢階級別)



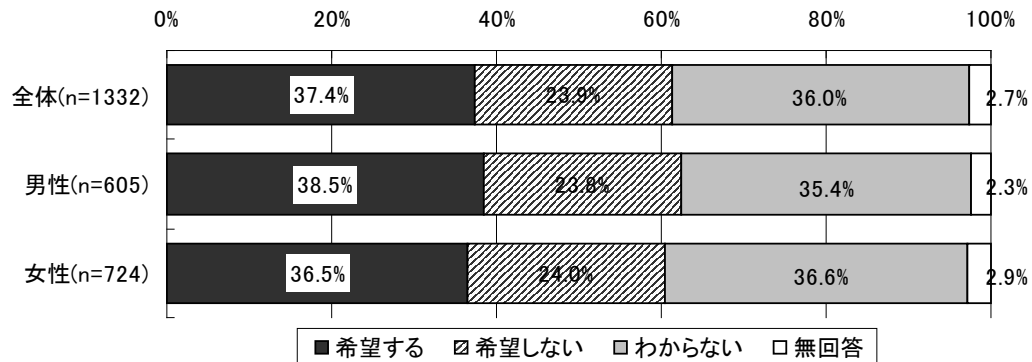
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の3人が含まれる。

図表 221 ジェネリック医薬品軽減額通知を受け取ったが、後発医薬品に変更しなかった理由（ジェネリック軽減額通知を受け取ったが後発医薬品に変更しなかった人、複数回答、n=133）



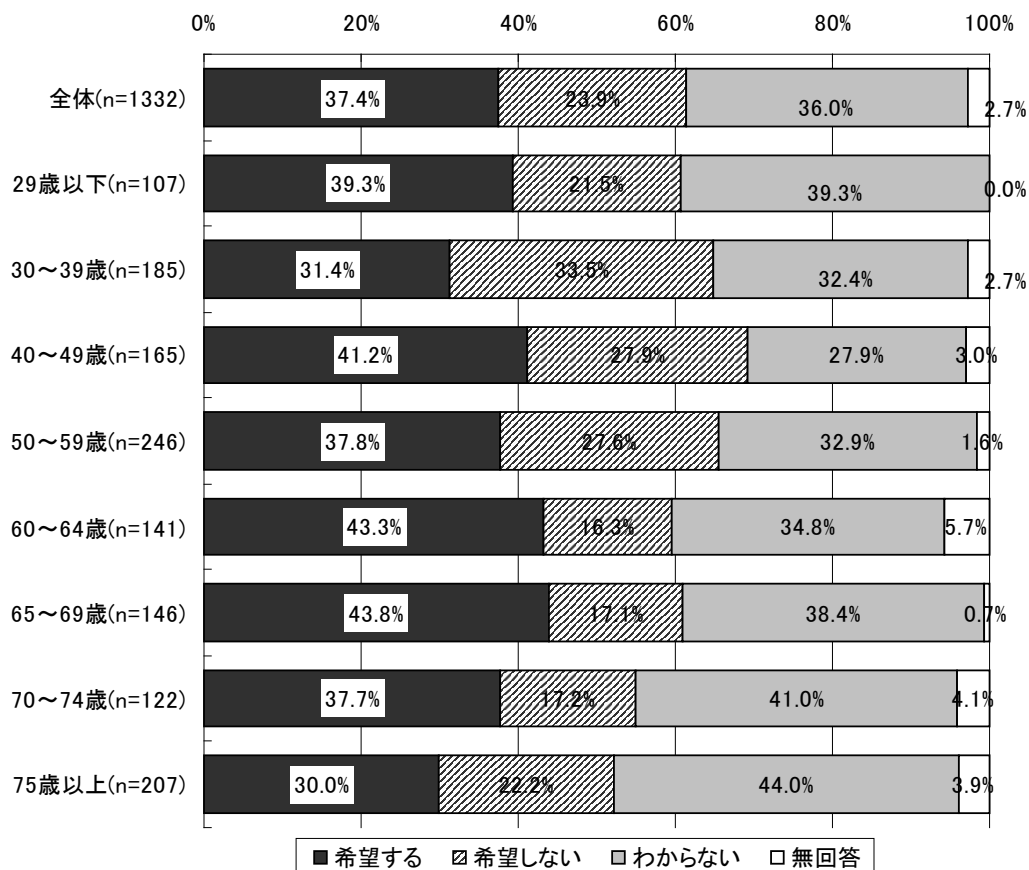
③ジェネリック医薬品軽減額通知の受取希望

図表 222 ジェネリック医薬品軽減額通知の受取希望（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 223 ジェネリック医薬品軽減額通知の受取希望（年齢階級別）

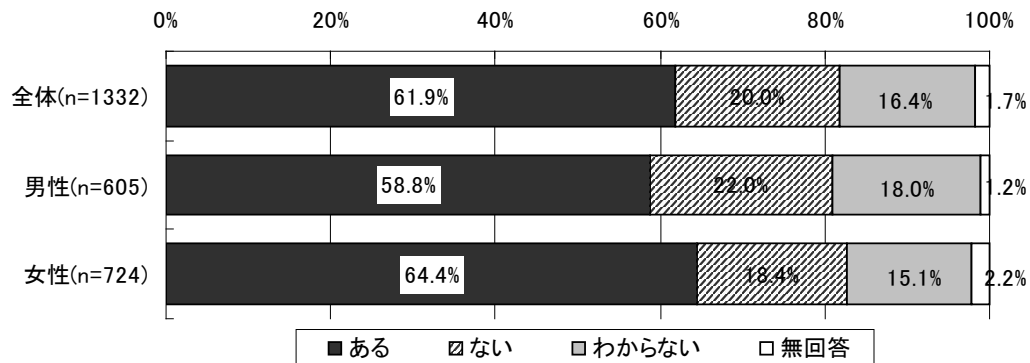


(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

(7) 薬剤情報提供文書に関する経験や考え等

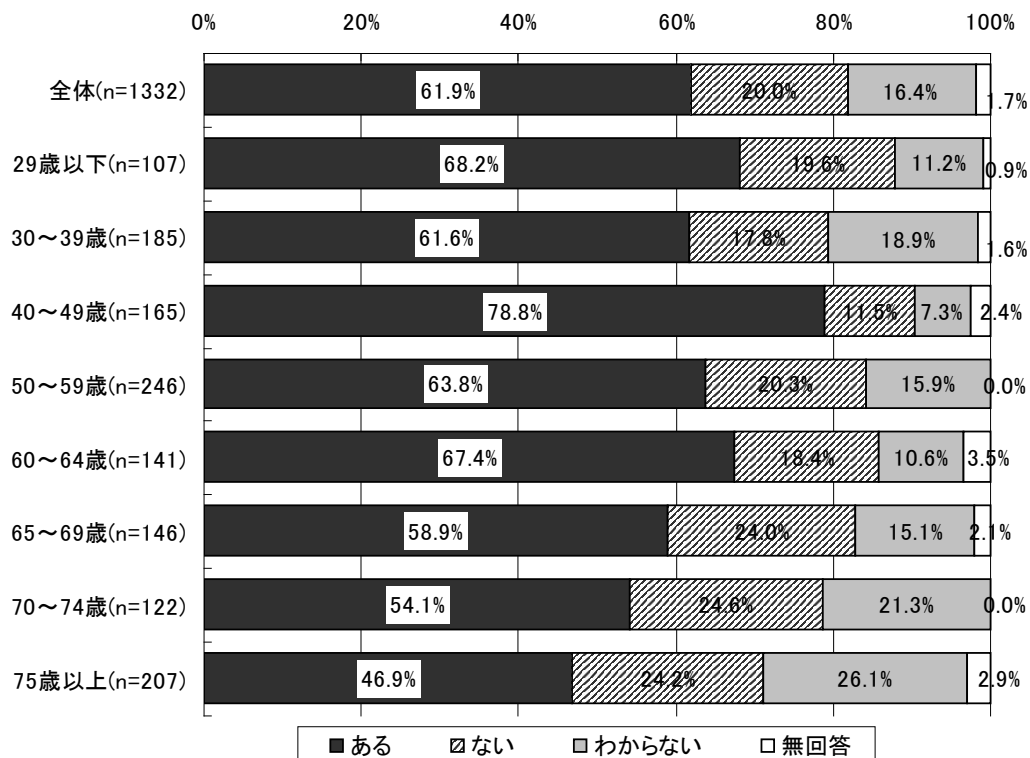
① 薬剤情報提供文書に記載の後発医薬品に関する情報を見た経験の有無

図表 224 薬剤情報提供文書に記載の後発医薬品に関する情報を見た経験の有無
(男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

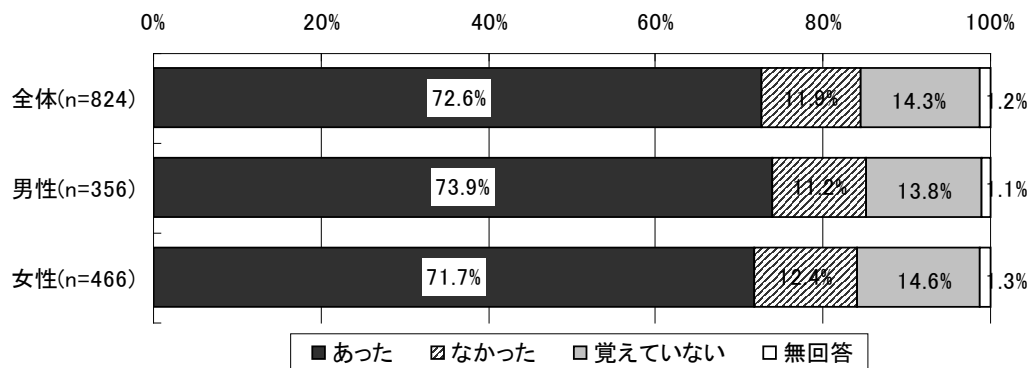
図表 225 薬剤情報提供文書に記載の後発医薬品に関する情報を見た経験の有無
(年齢階級別)



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

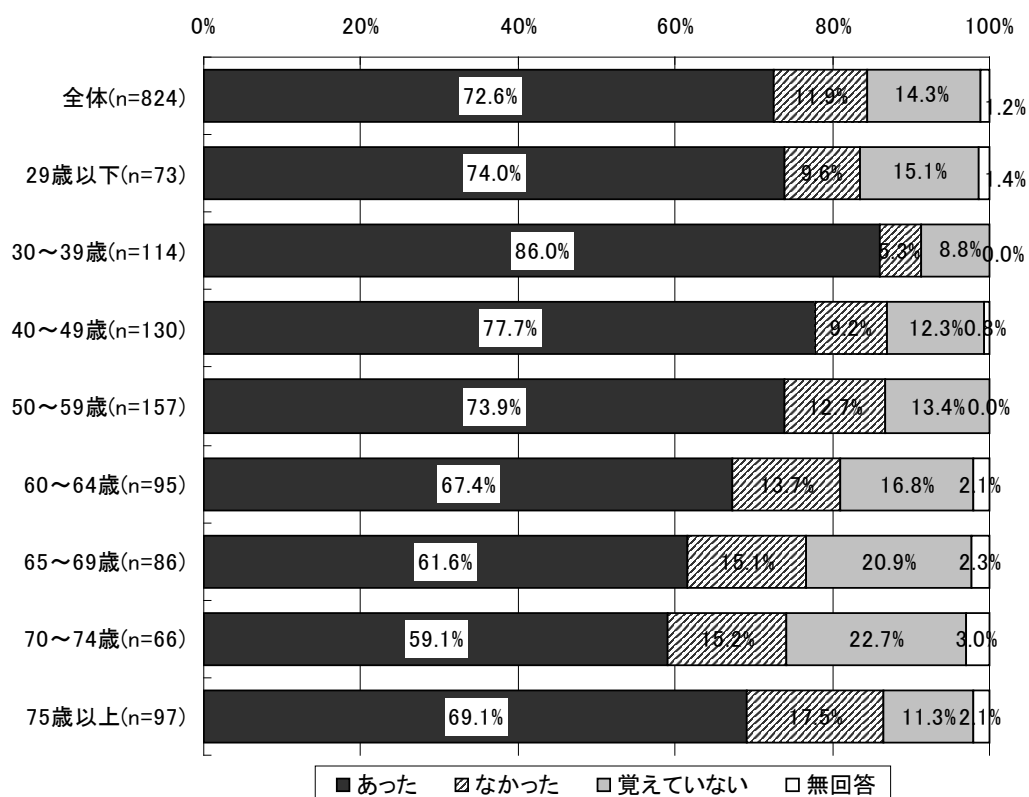
②薬剤情報提供文書における先発医薬品と後発医薬品の差額がわかる記載の有無

図表 226 薬剤情報提供文書における先発医薬品と後発医薬品の差額がわかる記載の有無（薬剤情報提供文書に記載の後発医薬品に関する情報を見た経験のある人、男女別）



（注）「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

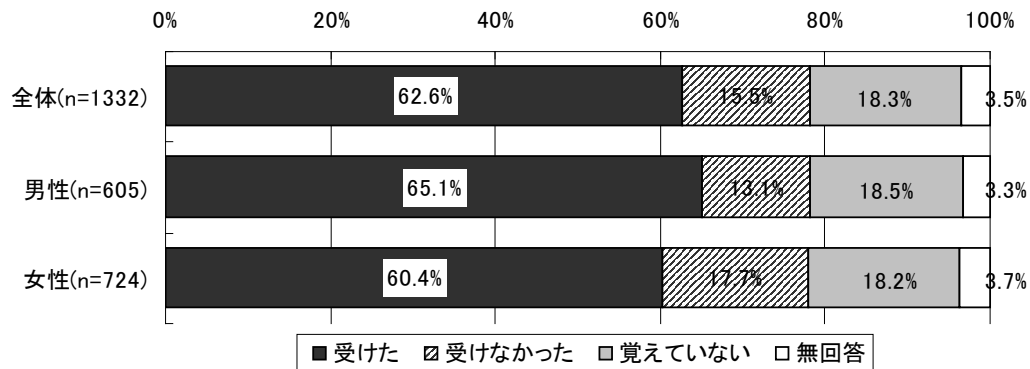
図表 227 薬剤情報提供文書における先発医薬品と後発医薬品の差額がわかる記載の有無（薬剤情報提供文書に記載の後発医薬品に関する情報を見た経験のある人、年齢階級別）



（注）「全体」には、「年齢」について無回答の6人が含まれる。

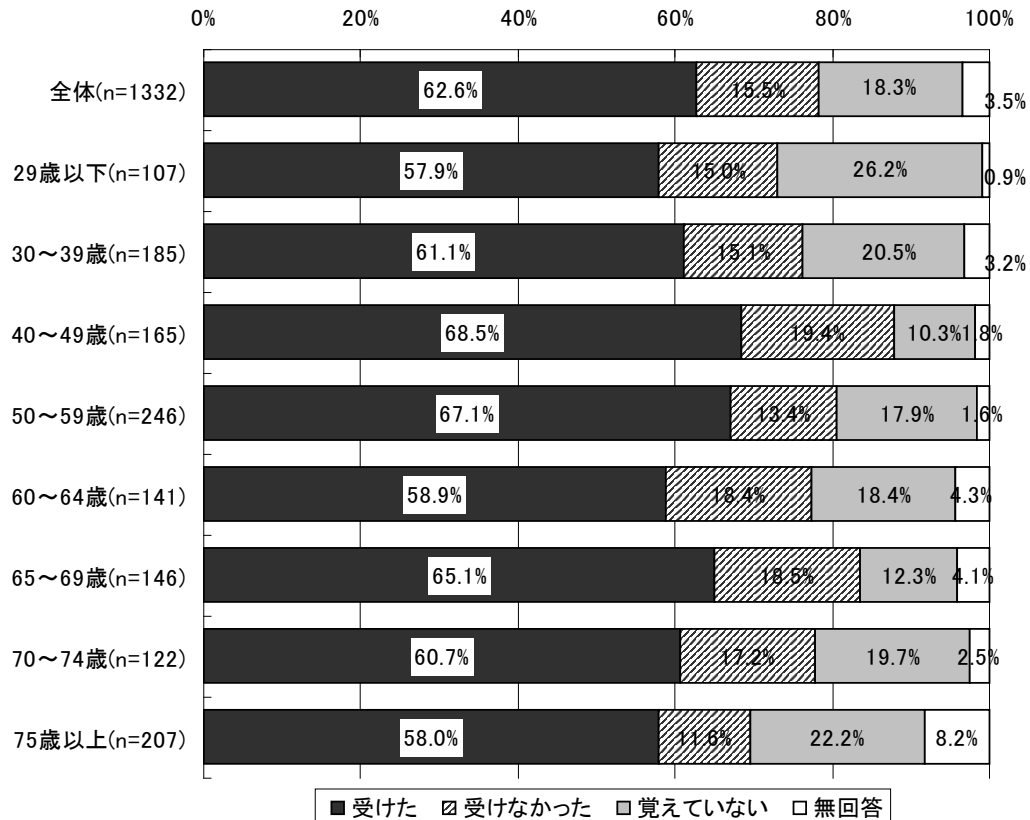
③薬剤情報提供文書を受け取った薬局で、薬剤師から後発医薬品について口頭で説明を受けたか

図表 228 薬剤情報提供文書を受け取った薬局で、薬剤師から後発医薬品について口頭で説明を受けたか（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

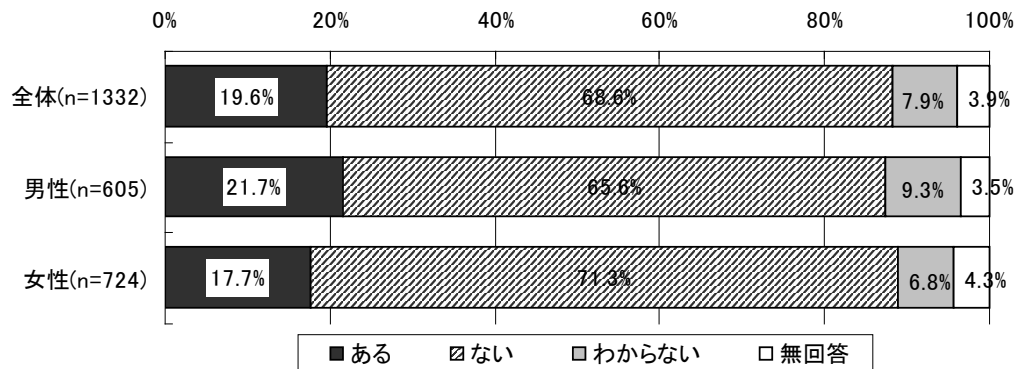
図表 229 薬剤情報提供文書を受け取った薬局で、薬剤師から後発医薬品について口頭で説明を受けたか（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

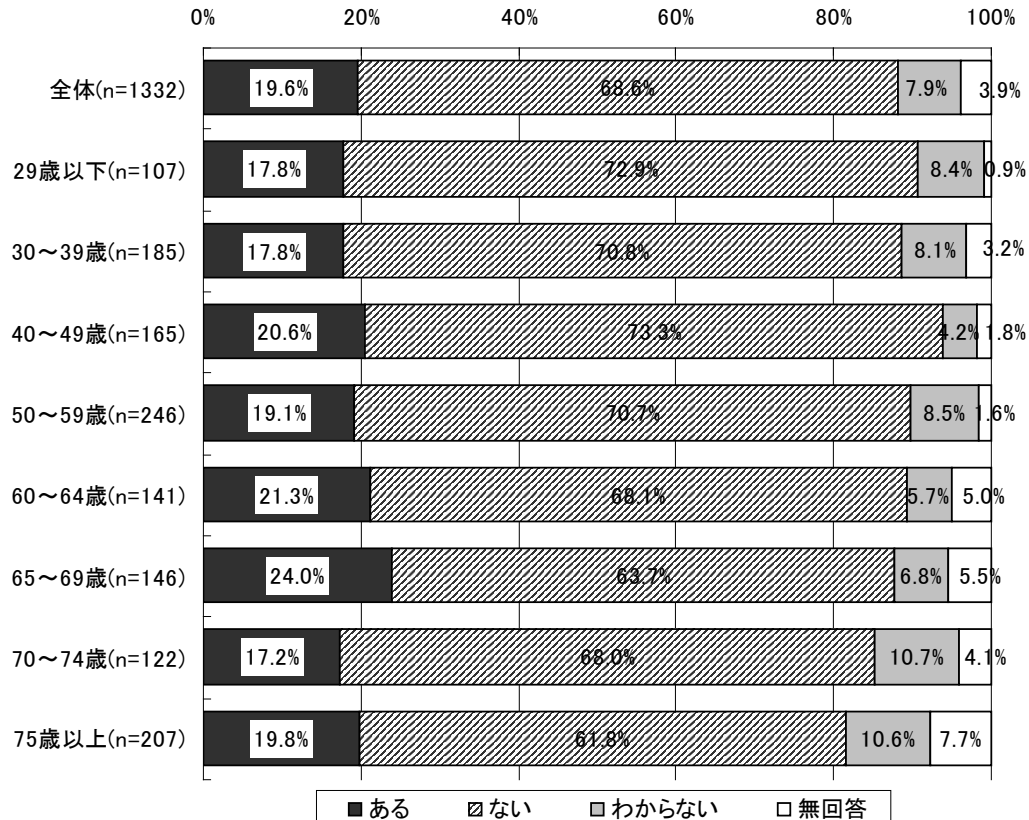
④薬剤情報提供文書の後発医薬品に関する情報を見て、医師や薬剤師に後発医薬品について処方・調剤をお願いしたことがあるか

図表 230 薬剤情報提供文書の後発医薬品に関する情報を見て、医師や薬剤師に後発医薬品について処方・調剤をお願いしたことがあるか（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

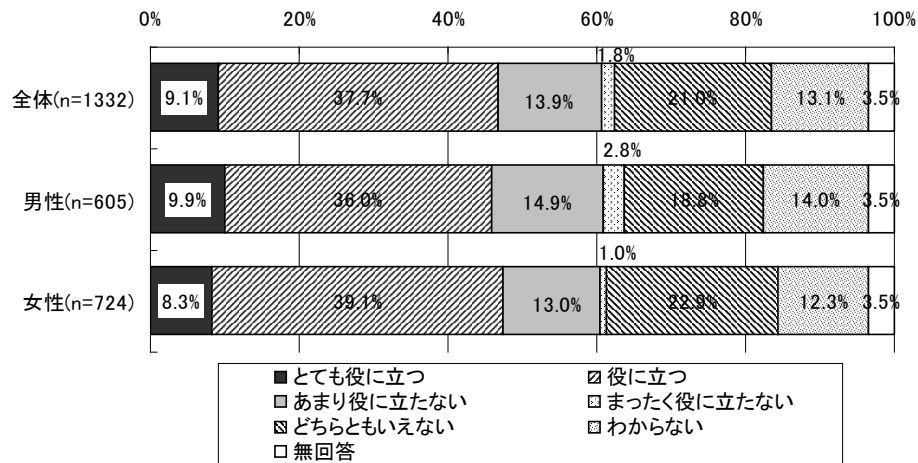
図表 231 薬剤情報提供文書の後発医薬品に関する情報を見て、医師や薬剤師に後発医薬品について処方・調剤をお願いしたことがあるか（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

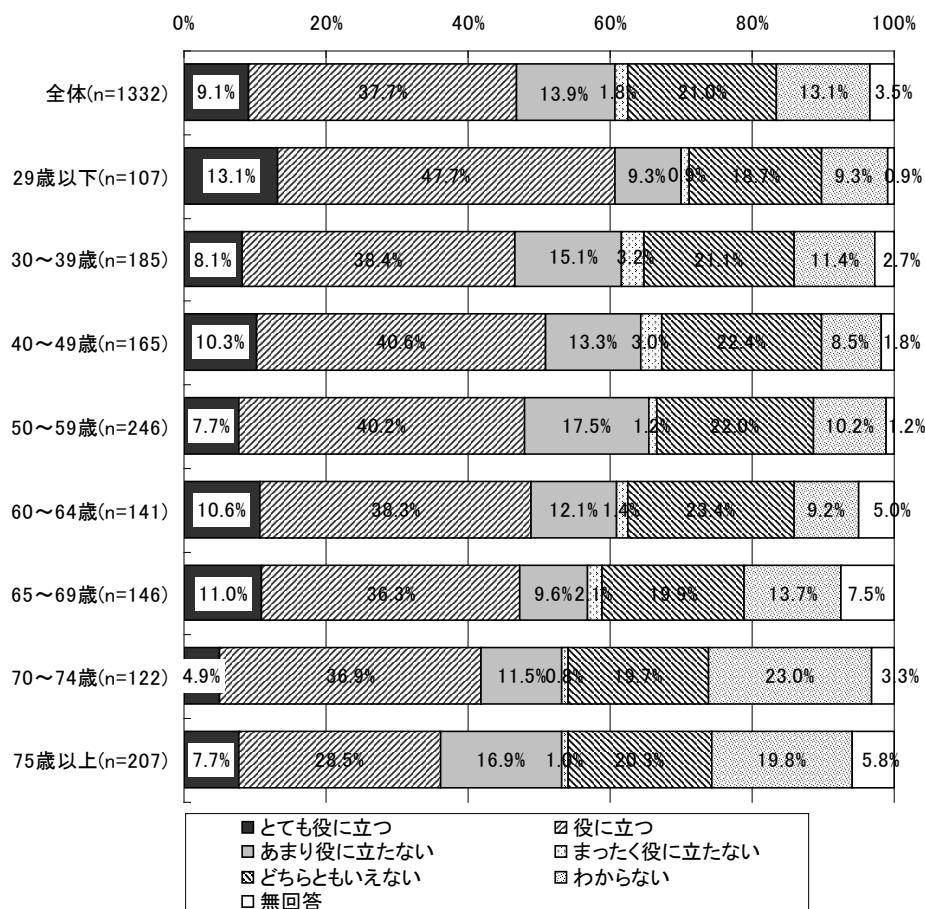
⑤薬剤情報提供文書による後発医薬品に関する情報提供は役に立つか

図表 232 薬剤情報提供文書による後発医薬品に関する情報提供は役に立つか（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 233 薬剤情報提供文書による後発医薬品に関する情報提供は役に立つか（年齢階級別）

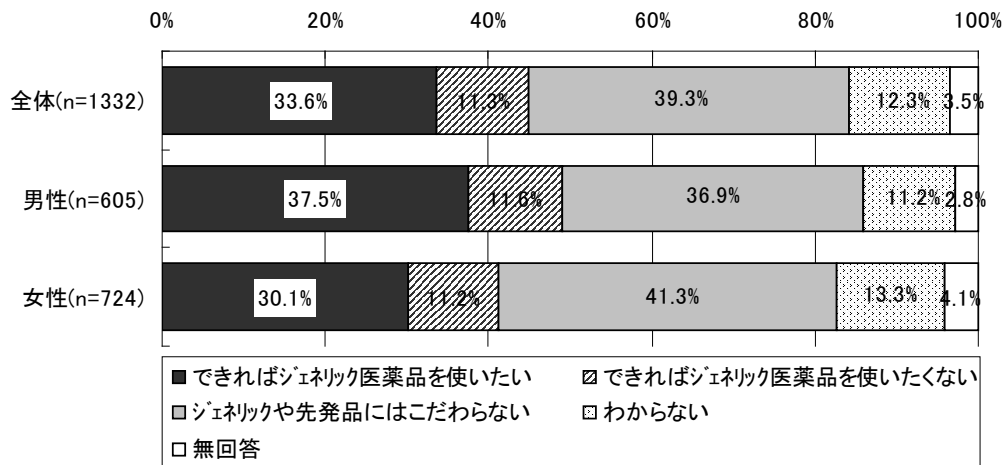


(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

(8) 後発医薬品の使用に関する考え等

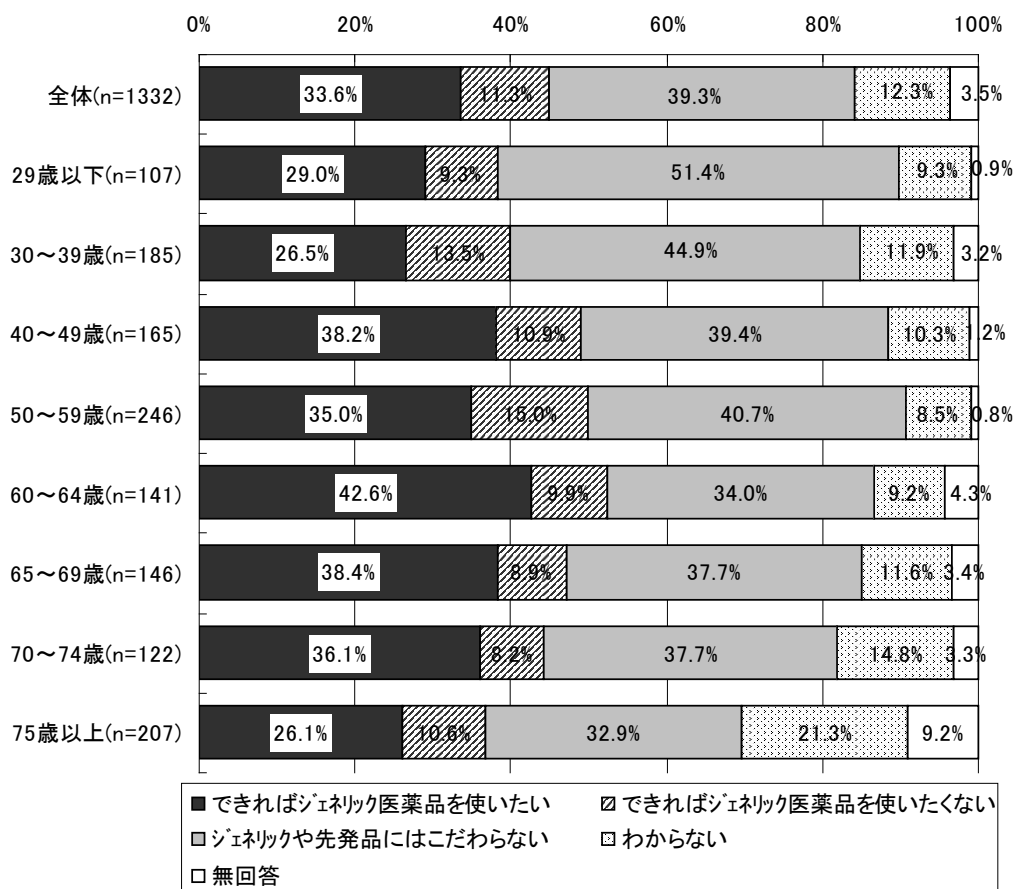
①後発医薬品の使用に関する考え等

図表 234 後発医薬品の使用に関する考え等（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

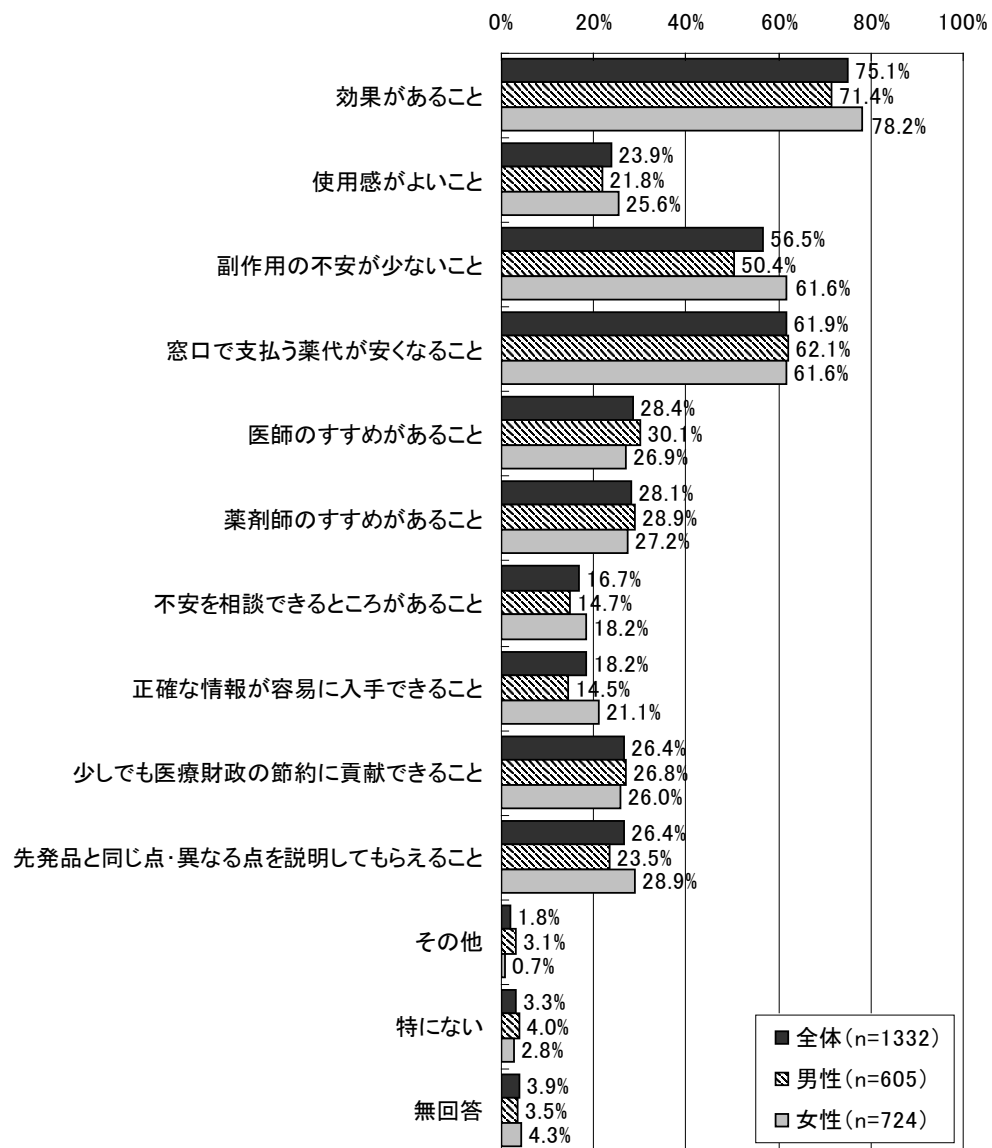
図表 235 後発医薬品の使用に関する考え等（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

②後発医薬品を使用するにあたって重要なこと

図表 236 後発医薬品を使用するにあたって重要なこと（男女別、複数回答）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

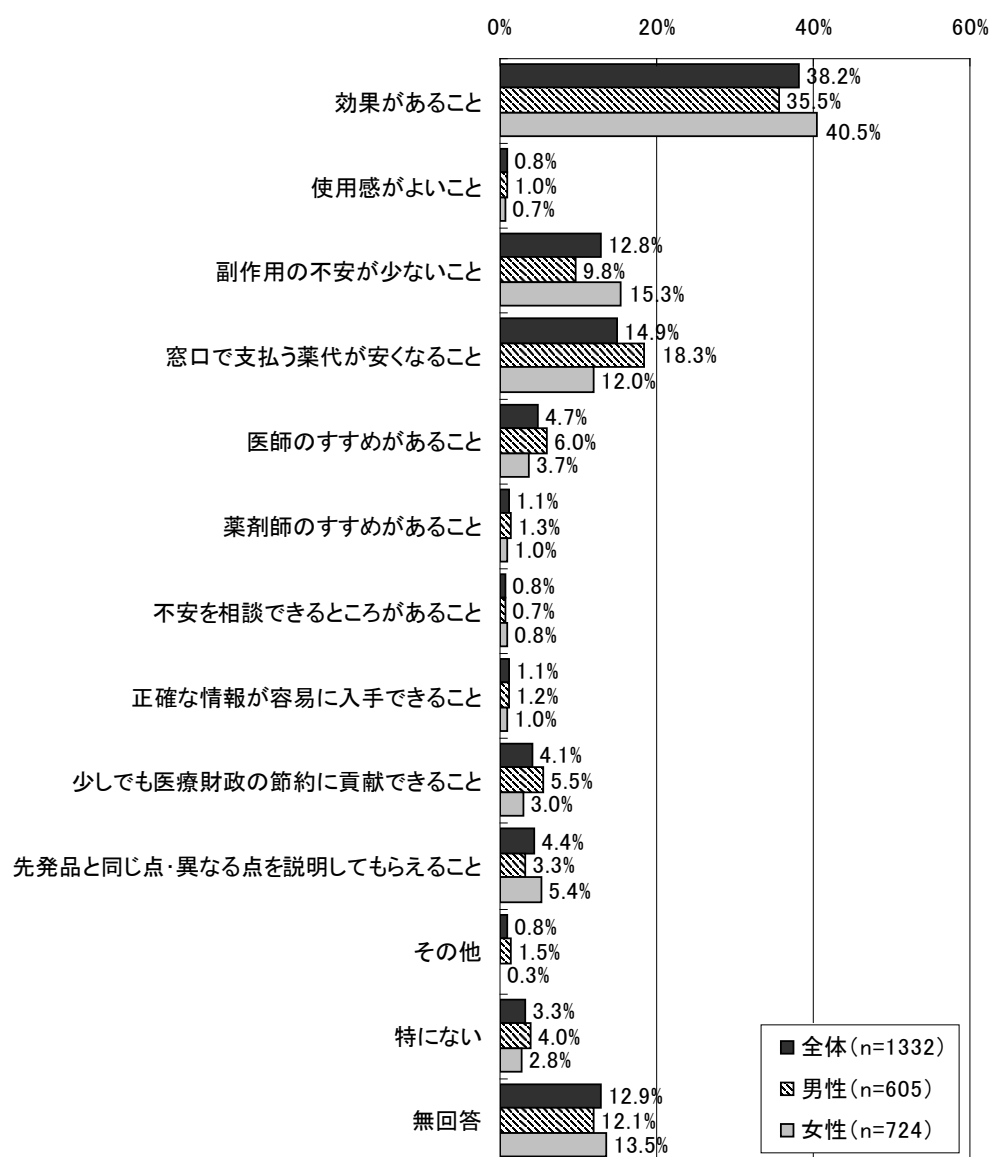
図表 237 後発医薬品を使用するにあたって重要なこと（年齢階級別、複数回答）

（上段：人、下段％）

	総数	効果があること	使用感がよいこと	副作用の不安が少ないこと	窓口で支払う薬代が安くなること	医師のすすめがあること	薬剤師のすすめがあること	不安を相談できるところがあること	正確な情報が容易に入手できること	少しでも医療財政の節約に貢献できること	先発品と同じ点・異なる点を説明してもらえること	その他	特にない	無回答
全体	1,332 100.0	1,000 75.1	318 23.9	753 56.5	824 61.9	378 28.4	374 28.1	222 16.7	242 18.2	352 26.4	352 26.4	24 1.8	44 3.3	52 3.9
29歳以下	107 100.0	81 75.7	25 23.4	62 57.9	72 67.3	29 27.1	30 28.0	21 19.6	25 23.4	25 23.4	31 29.0	1 0.9	5 4.7	3 2.8
30～39歳	185 100.0	148 80.0	57 30.8	101 54.6	119 64.3	41 22.2	37 20.0	21 11.4	27 14.6	35 18.9	46 24.9	2 1.1	5 2.7	8 4.3
40～49歳	165 100.0	140 84.8	55 33.3	107 64.8	111 67.3	50 30.3	41 24.8	22 13.3	25 15.2	36 21.8	38 23.0	1 0.6	2 1.2	2 1.2
50～59歳	246 100.0	204 82.9	67 27.2	154 62.6	166 67.5	60 24.4	64 26.0	48 19.5	54 22.0	64 26.0	73 29.7	7 2.8	5 2.0	7 2.8
60～64歳	141 100.0	101 71.6	29 20.6	81 57.4	90 63.8	36 25.5	31 22.0	27 19.1	28 19.9	42 29.8	32 22.7	4 2.8	2 1.4	8 5.7
65～69歳	146 100.0	103 70.5	27 18.5	77 52.7	93 63.7	46 31.5	55 37.7	34 23.3	28 19.2	49 33.6	44 30.1	4 2.7	4 2.7	7 4.8
70～74歳	122 100.0	85 69.7	21 17.2	66 54.1	71 58.2	44 36.1	42 34.4	20 16.4	22 18.0	42 34.4	36 29.5	0 0.0	2 1.6	6 4.9
75歳以上	207 100.0	127 61.4	35 16.9	100 48.3	96 46.4	69 33.3	71 34.3	28 13.5	29 14.0	56 27.1	48 23.2	5 2.4	19 9.2	10 4.8

（注）「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

図表 238 後発医薬品を使用するにあたって最も重要なこと（男女別、単数回答）



（注）「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 239 後発医薬品を使用するにあたって最も重要なこと（年齢階級別、単数回答）

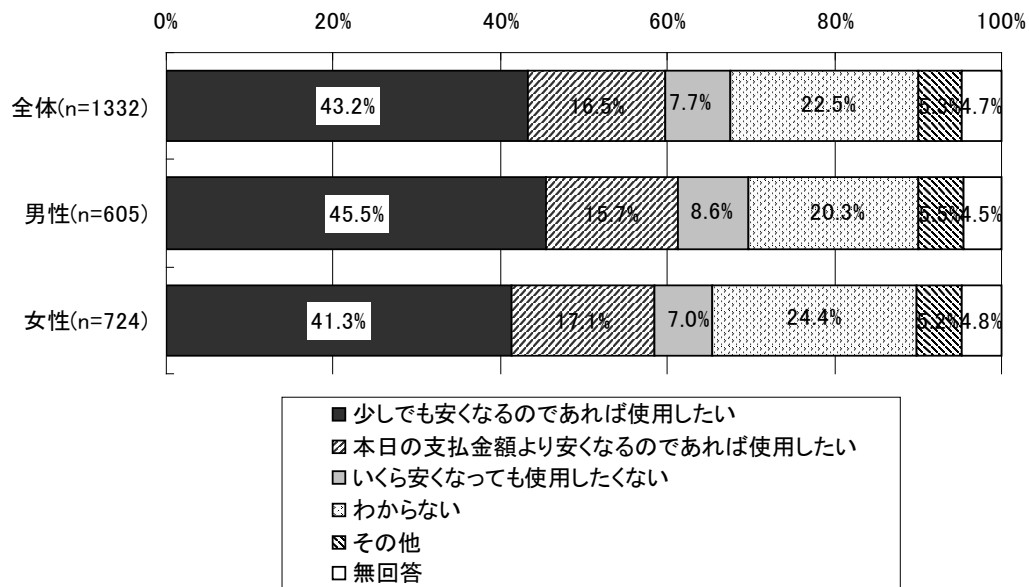
(上段：人、下段%)

	総数	効果があること	使用感がよいこと	副作用の不安が少ないこと	窓口で支払う薬代が安くなること	医師のすすめがあること	薬剤師のすすめがあること	不安を相談できるところがあること	正確な情報が容易に入手できること	少しでも医療財政の節約に貢献できること	先発品と同じ点・異なる点を説明してもらえること	その他	特にない	無回答
全体	1,332 100.0	509 38.2	11 0.8	171 12.8	198 14.9	63 4.7	15 1.1	10 0.8	14 1.1	55 4.1	59 4.4	11 0.8	44 3.3	172 12.9
29歳以下	107 100.0	46 43.0	0 0.0	13 12.1	20 18.7	6 5.6	0 0.0	0 0.0	1 0.9	1 0.9	5 4.7	0 0.0	5 4.7	10 9.3
30～39歳	185 100.0	81 43.8	5 2.7	16 8.6	23 12.4	3 1.6	3 1.6	2 1.1	2 1.1	7 3.8	9 4.9	2 1.1	5 2.7	27 14.6
40～49歳	165 100.0	78 47.3	0 0.0	24 14.5	27 16.4	7 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 3.6	5 3.0	0 0.0	2 1.2	16 9.7
50～59歳	246 100.0	114 46.3	2 0.8	36 14.6	34 13.8	5 2.0	1 0.4	2 0.8	3 1.2	6 2.4	12 4.9	1 0.4	5 2.0	25 10.2
60～64歳	141 100.0	41 29.1	1 0.7	25 17.7	26 18.4	8 5.7	0 0.0	2 1.4	3 2.1	4 2.8	4 2.8	4 2.8	2 1.4	21 14.9
65～69歳	146 100.0	50 34.2	1 0.7	14 9.6	28 19.2	5 3.4	3 2.1	1 0.7	3 2.1	9 6.2	8 5.5	2 1.4	4 2.7	18 12.3
70～74歳	122 100.0	40 32.8	0 0.0	14 11.5	20 16.4	7 5.7	1 0.8	2 1.6	0 0.0	8 6.6	6 4.9	0 0.0	2 1.6	22 18.0
75歳以上	207 100.0	56 27.1	2 1.0	27 13.0	18 8.7	21 10.1	7 3.4	1 0.5	1 0.5	14 6.8	10 4.8	2 1.0	19 9.2	29 14.0

(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

③後発医薬品の使用意向

図表 240 後発医薬品の使用意向（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 241 後発医薬品の使用を希望する際の差額

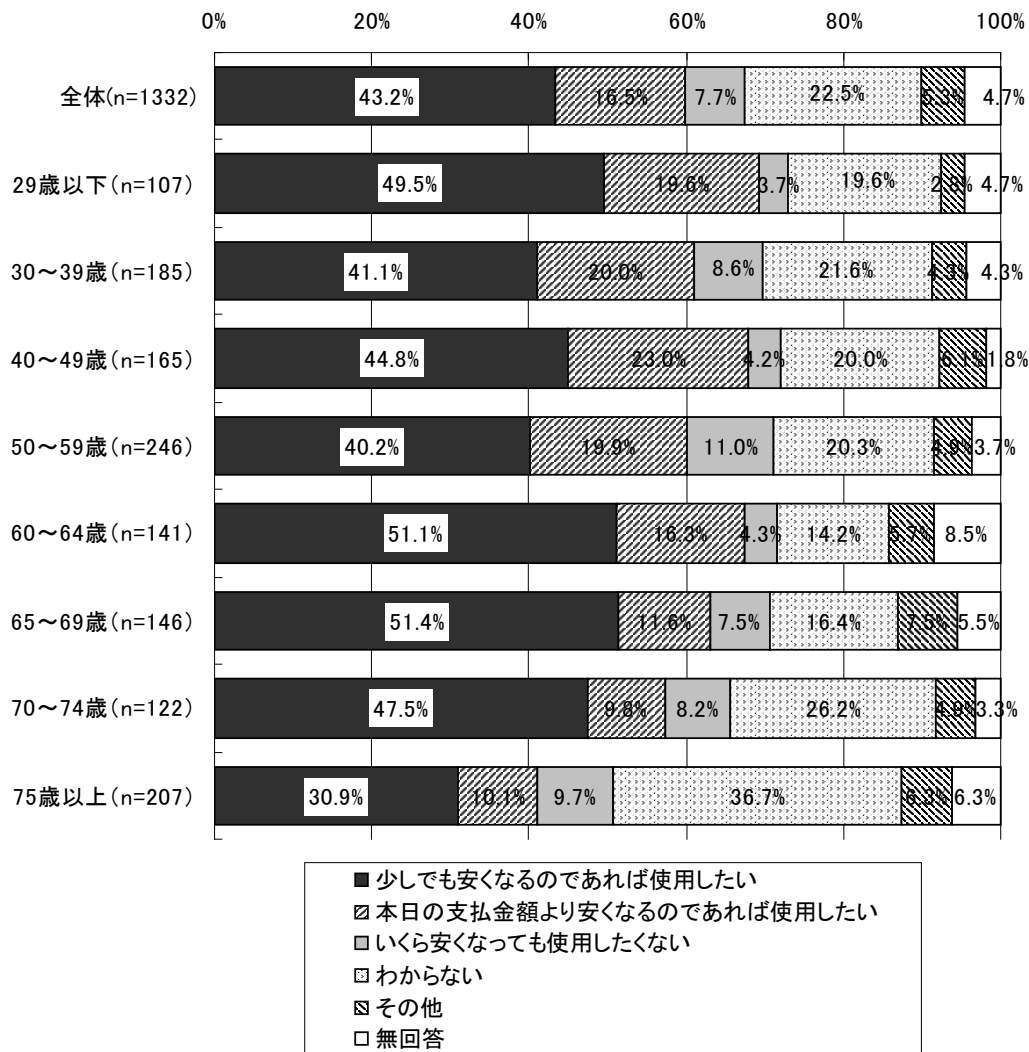
(「本日の支払金額より安くなるのであれば使用したい」と回答した人、男女別)

(単位：円)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	220	769.8	991.8	500
男性	95	951.4	1,299.6	500
女性	124	648.0	688.4	500

(注)「全体」には、「性別」について無回答の1人が含まれる。

図表 242 後発医薬品の使用意向（年齢階級別）



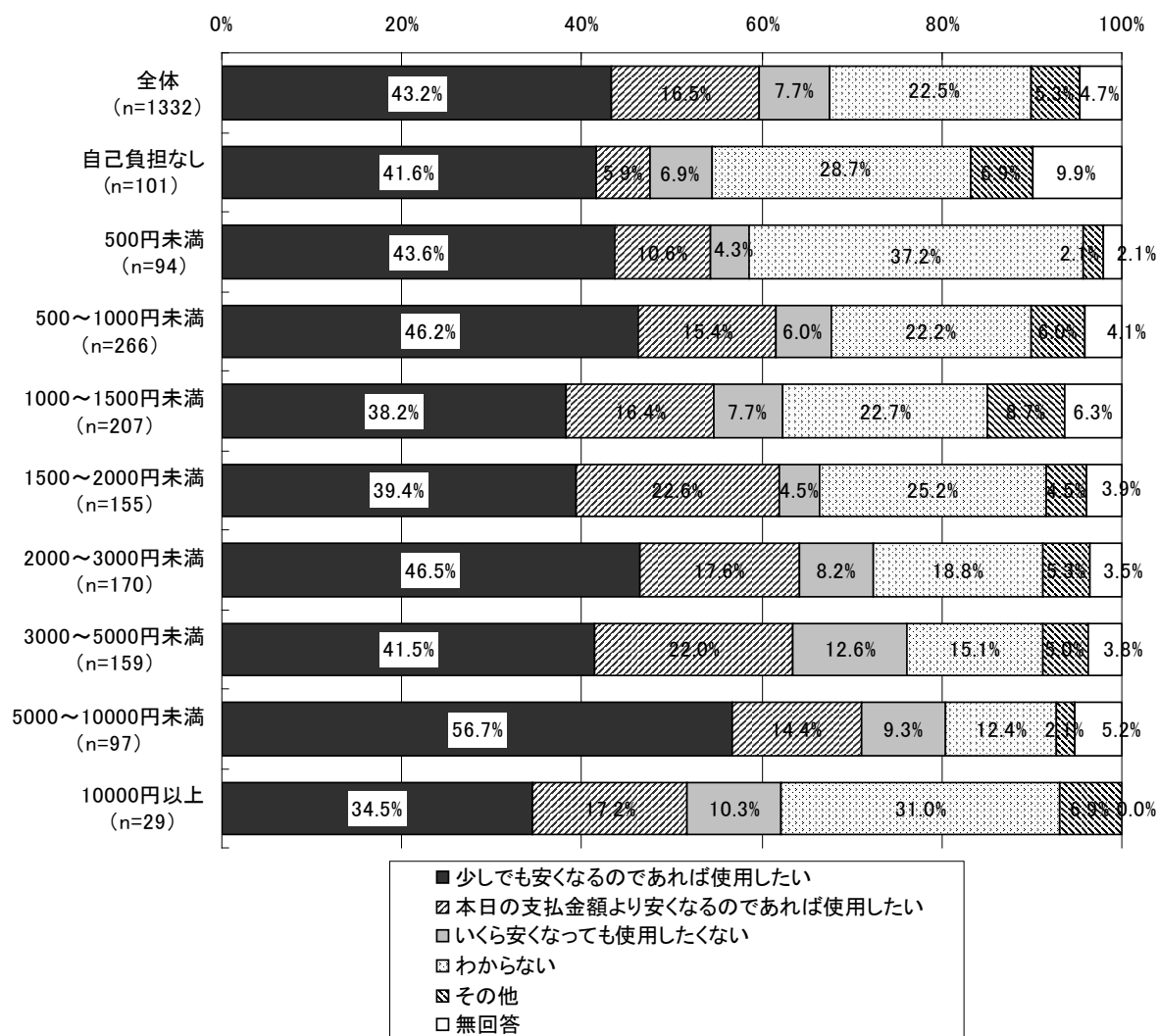
（注）「全体」には、「年齢」について無回答の13人が含まれる。

図表 243 後発医薬品の使用を希望する際の差額
 (「本日の支払金額より安くなるのであれば使用したい」と回答した人、年齢階級別)

	人数	平均値	標準偏差	中央値
全体	220	769.8	991.8	500
29 歳以下	21	414.2	318.6	300
30～39 歳	37	496.6	378.4	500
40～49 歳	38	716.7	496.7	500
50～59 歳	49	920.3	1,000.7	500
60～64 歳	23	769.7	431.9	650
65～69 歳	17	1,648.0	2,556.6	500
70～74 歳	12	746.7	823.8	500
75 歳以上	21	701.1	728.5	500

(注)「全体」には、「年齢」について無回答の 2 人が含まれる。

図表 244 後発医薬品の使用意向（本日の薬局窓口での自己負担額別）



（注）「全体」には、「本日の薬局窓口での自己負担額」について無回答の 54 人が含まれる。

図表 245 後発医薬品を使用したいと思う軽減額
 (「本日の支払金額より安くなるのであれば使用したい」と回答した人、
 本日の薬局窓口での自己負担額別)

(単位：円)

本日の自己負担額	人数(人)	軽減額		
		平均値	標準偏差	中央値
全体	220	769.8	991.8	500
500 円未満	10	195.0	75.8	200
500～1000 円未満	41	302.5	149.0	300
1000～1500 円未満	34	495.0	236.5	500
1500～2000 円未満	35	557.5	347.7	500
2000～3000 円未満	30	794.6	499.3	800
3000～5000 円未満	35	1,061.3	648.8	1,000
5000～10000 円未満	14	1,458.8	1,041.6	1,000
10000 円以上	5	5,375.0	3,351.0	4,750

(注)「全体」には、「本日の窓口負担額」について無回答の 16 人が含まれる。

目 次

I. 調査の概要	1
1. 目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査項目	2
II. 調査の結果	7
1. 回収結果	7
2. 保険薬局調査の結果	8
(1) 薬局の属性	8
①組織形態	8
②職員数	9
(2) 調剤の状況等	10
①調剤基本料	10
②基準調剤加算	11
③後発医薬品調剤体制加算	11
④処方せんの応需状況	12
⑤後発医薬品調剤率	12
⑥後発医薬品調剤率別にみた薬局数の分布	13
⑦1 か月間の取扱い処方せん枚数	14
⑧営業日数（平成 24 年 8 月 1 か月間）	14
(3) 取扱い処方せんの状況【様式 1 が「処方せんベース」である 567 施設を対象】	15
①1 週間の取扱い処方せん枚数の内訳	15
②後発医薬品への変更割合（処方せん枚数ベース）	16
③すべてが変更不可となっている処方せんのうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せんの割合（処方せん枚数ベース）	19
④後発医薬品への変更割合（薬局数ベース）	20
(4) 取扱い処方せんの状況【様式 1 が「品目ベース」である 546 施設を対象】	22
①1 週間の取扱い処方せん枚数の内訳	22
②後発医薬品への変更割合等（品目ベース）	23
(5) 後発医薬品への対応状況	26
①後発医薬品の調剤に関する考え	26
②後発医薬品使用に関する患者の意向確認	27
③後発医薬品についての患者への説明等の状況	28
④後発医薬品の調剤状況等	31

⑤医療機関への情報提供等	34
(6) 備蓄医薬品の状況等	36
①後発医薬品の採用基準	36
②医薬品の備蓄品目数	37
③医薬品の在庫金額及び廃棄額	37
(7) 患者からの意思表示の状況等	38
①「ジェネリック医薬品軽減額通知」などを患者から提示された経験の有無	38
②「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示された経験の有無	38
③「薬剤情報提供文書」を患者から提示され、後発医薬品についての説明を行った経験の有無	38
④患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫	39
(8) 後発医薬品への変更を進めるための要件	40
①薬局の立場として後発医薬品への変更を進めるための要件	40
②後発医薬品の使用を進める上で医師に望むこと	41
③後発医薬品の使用を進める上で後発医薬品メーカーや卸業者に望むこと	42
(9) 後発医薬品に変更して調剤した処方せんに係る薬剤料の状況	43
3. 診療所・病院・医師調査の結果	44
(1) 施設の概要等	44
①診療所の施設属性	44
②病院の施設属性	45
③オーダリングシステムの導入状況等	47
(2) 医師の属性等	49
①医師の属性	49
②病院医師における1日当たり平均外来診察患者数	50
(3) 診療所・病院の診療体制	50
①診療所の診療体制	50
②病院の診療体制	50
(4) 診療所・病院における医薬品の備蓄状況等	51
①医薬品の備蓄状況等	51
②診療所・病院における後発医薬品備蓄品目数の今後の予定	55
③後発医薬品の供給体制（1年前と比較して）	56
(5) 診療所・病院における後発医薬品の採用状況等	57
①後発医薬品に関する情報の収集源	57
②後発医薬品を採用する際に重視すること	59
③後発医薬品の導入・切替の際に苦労したこと（病院のみ）	61
④後発医薬品リストの近隣薬局・地域薬剤師会等への提供状況	62
(6) 入院患者に対する後発医薬品の使用状況等	63
①入院患者に対する後発医薬品の使用状況	63

②入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験の有無（平成 24 年 4 月以降）	65
③後発医薬品使用体制加算の状況	66
④今後どのような対応が進めば施設として入院患者等*に後発医薬品の使用を進めてもよいと思うか	68
(7) 外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（施設ベース）	70
①院外処方せん発行状況（平成 24 年 4 月以降）	70
②外来診療の状況	70
③病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院外処方する場合の施設としての対応方針	71
④病院における一般名処方による処方せん発行への対応状況等	71
(8) 外来診療における院外処方せん発行時や後発医薬品の処方に関する医師の考え等（医師ベース）	73
①外来診療における後発医薬品の処方に関する考え	73
②外来診療における後発医薬品の処方の変化（1 年前と比較して）	74
③後発医薬品への「変更不可」欄にチェックした処方せんの発行経験等（平成 24 年 4 月以降）	75
④一般名処方による処方せん発行の経験等（平成 24 年 4 月以降）	78
(9) 保険薬局からの情報提供の状況と意向	81
①変更調剤時の保険薬局からの情報提供等	81
②一般名処方に対する保険薬局からの情報提供等	82
③保険薬局からフィードバックされた情報の管理方法と活用状況	83
(10) 院外処方せんを発行していない施設における、外来患者に対する院内投薬の状況や後発医薬品の使用に関する考え	84
①院外処方せんを発行していない病院における、外来患者に院内投薬する際の後発医薬品の処方に関する考え	84
②院外処方せんを発行していない診療所における、外来患者に院内投薬する際の後発医薬品の処方に関する考え	85
③院外処方せんを発行していない施設における、患者が後発医薬品を選択しやすくするためにしている対応	86
(11) 患者からの意思表示等の状況	87
①「薬剤情報提供文書」を患者から提示された経験等（平成 24 年 4 月以降）	87
②「ジェネリック医薬品軽減額通知」などを患者から提示された経験	89
③「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示された経験	89
④後発医薬品について関心がある患者の状況等（平成 24 年 4 月以降）	90
⑤患者が後発医薬品を頼みやすくするための施設としての工夫	91
(12) 医療機関・医師における後発医薬品使用に関する意識等	92
①医療機関・医師における、後発医薬品が薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得る	

ために必要なデータの内容に関する認知状況.....	92
②医療機関・医師における、『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック 医薬品Q & A～』に関する認知状況	92
③後発医薬品の処方を進めるための環境	93
(13) 後発医薬品の使用を進める上で望むこと	95
①一般名処方による処方せんを発行しやすくする方法	95
②後発医薬品の使用を進める上で保険薬局や薬剤師に望むこと	96
③後発医薬品の使用を進める上でメーカーや卸業者に望むこと	98
4. 患者調査の結果	100
(1) 患者の属性等	100
①患者の基本属性	100
②薬局の来局頻度等	101
(2) 調査日における受診・調剤状況等	105
①受診した医療機関の種類等	105
②処方の状況等	106
(3) 一般名処方の処方せんの認知状況等	110
①一般名処方の処方せんの認知状況	110
②一般名処方の処方せんを受け取った経験の有無	111
③一般名処方の処方せんについて薬局の薬剤師から受けた説明内容	112
④一般名処方の処方せんを受け取って困った経験	114
(4) 処方についての今後の意向	116
(5) 後発医薬品の使用状況等	118
①後発医薬品に対する関心	118
②後発医薬品の認知状況	119
③後発医薬品の使用経験	121
④医師から後発医薬品についての説明を受けた経験の有無	122
⑤医師に後発医薬品の処方をお願いした経験の有無等	123
⑥薬局で薬剤師から後発医薬品についての説明を受けた経験の有無	124
⑦薬局で薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験の有無等	125
⑧薬局で後発医薬品に変更してもらえなかった経験の有無等（平成 24 年 4 月以降）	127
⑨先発医薬品から後発医薬品に変更した経験等	129
(6) ジェネリック医薬品軽減額通知の受取状況等	134
①ジェネリック医薬品軽減額通知の受取状況等	134
②ジェネリック医薬品軽減額通知の受取により後発医薬品に変更したか	137
③ジェネリック医薬品軽減額通知の受取希望	139
(7) 薬剤情報提供文書に関する経験や考え等	140
①薬剤情報提供文書に記載の後発医薬品に関する情報を見た経験の有無	140

②薬剤情報提供文書における先発医薬品と後発医薬品の差額がわかる記載の有無	141
③薬剤情報提供文書を受け取った薬局で、薬剤師から後発医薬品について口頭で説明を受けたか.....	142
④薬剤情報提供文書の後発医薬品に関する情報を見て、医師や薬剤師に後発医薬品について処方・調剤をお願いしたことがあるか.....	143
⑤薬剤情報提供文書による後発医薬品に関する情報提供は役に立つか.....	144
(8) 後発医薬品の使用に関する考え等.....	145
①後発医薬品の使用に関する考え等	145
②後発医薬品を使用するにあたって重要なこと	146
③後発医薬品の使用意向.....	150